Ⅱ　施設別統計

熊本県院内がん登録データに係る統計　ー2019年診断症例ー

医 療 機 関 名	国立大学法人熊本大学病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	熊本市中央区本荘1丁目1番1号
病　床　数	845床
診 療 科 数	32科
がん診療連携拠点病院指定日	2006.08.24
がん登録開始基準日	2006.08.01
平均在院日数	13.5（日）
入院患者数	18,311（人）
外来患者延数	367,801（人）
院内がん登録件数	3,577（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　3　／初級者　1　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

本院は熊本県の中心部に位置し、都道府県がん診療連携拠点病院であり、県内唯一の特定機能病院である。2019年4月1日より本院の組織的な位置付けが「医学部附属」から「大学附属」へ変更となり、名称も「熊本大学病院」へ改名した。より一層の機能強化が求められている。

2019年の院内がん登録件数は3,577件で、2018年より159件(約4.7%)の増加であった。

男女の平均年齢は66.1歳、中央値69.0歳であり、年々緩やかに上昇傾向である。

部位別の上位5部位は、件数が多い順から「肺」、「口腔咽頭」、「悪性血液疾患」、「大腸」、「乳房」である。2018年と比較して、部位別の件数増減が大きいものは「大腸」の増加と「肺」の減少であり、「大腸」に関しては2019年、245件(2018年、201件、約21.9%増)、一方、「肺」では2019年、360件(2018年、396件、約9.1%減)となっている。(2018年統計では「子宮」としていた部位の件数が本院の上位5部位に入っていたが、2019年統計から「子宮頸部」と「子宮体部」へ分類を分けたため、前年との比較は行わない。)また、上位5部位ではないが「膵」についても、2019年 123件(2018年、87件、約41.4%増)となり、増加が目立っている。

全部位に占める5大部位については、過去3年で比較すると、2017年 1223件(約36.6%)、2018年 1194件(約34.9%)、2019年 1224件(約34.2%)であり、本院の登録件数自体が増加しているため、5大部位においての件数には差がないのだが、割合は低下傾向である。

自施設初回治療もしくはその継続治療を行った症例2,981件は、手術(外科、鏡視下、内視鏡)1816件、放射線療法382件、化学療法824件、内分泌療法174件、その他の治療150件、経過観察のみ(症状緩和治療のみ含む)191件であり、例年と同じく手術が最も多くなっている。

本院は、厚生労働省委託事業への参加や研究協力も行い、院内がん登録の登録精度向上のため研修会等の実施にも力を入れている。がん検査・治療に対し関心が高まる中、2019年6月より、がんゲノム検査が保険適用となり、本院でも2019年9月より受付を開始した。(がんゲノム保険適用対象には条件あり)

今後さらなるネットワークの構築に励み医療の質の向上を目指していきたい。

診断年別登録件数
（参考）

※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

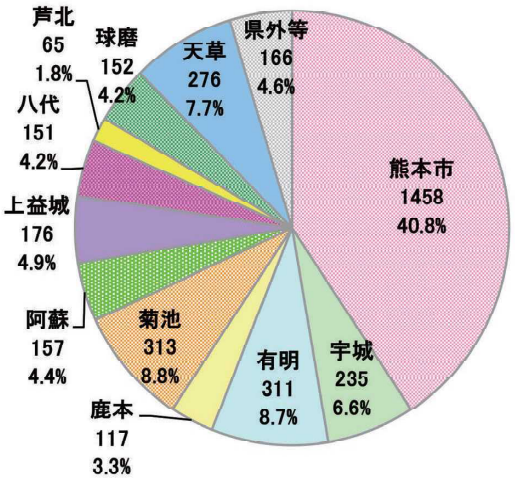
Ⅱ　施設別統計

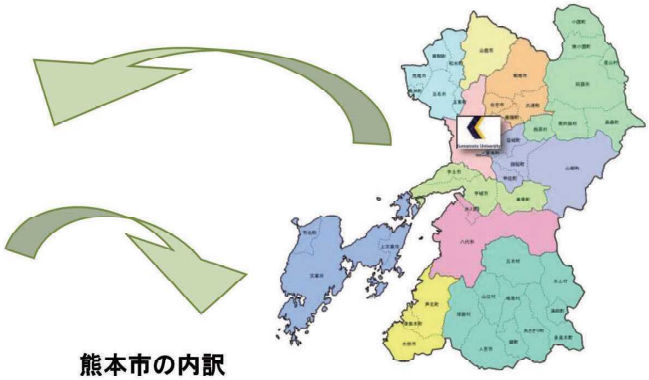
熊本大学病院

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

熊本大学病院　（3,577件）





熊本市の内訳

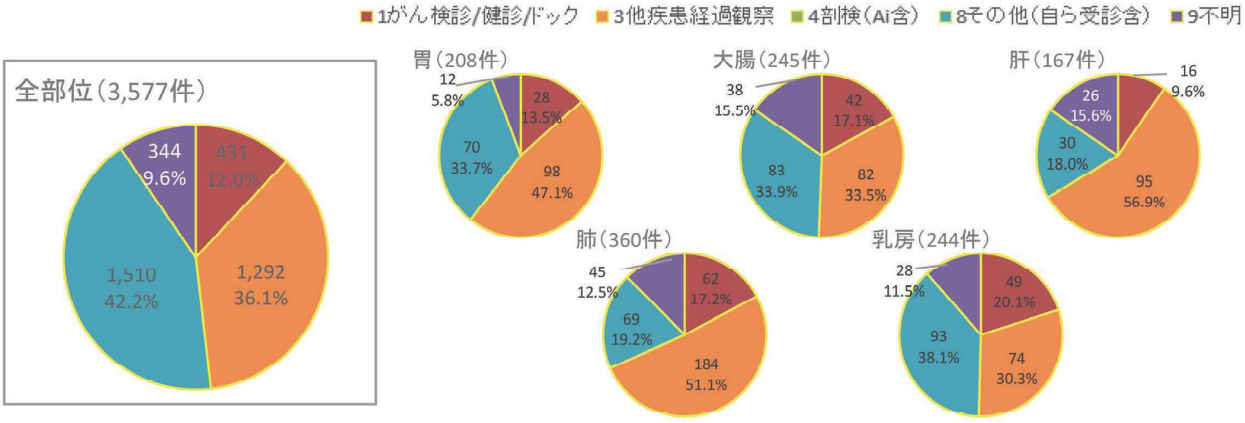
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	その他	179	鹿本	乳房	30	上益城	皮膚	21	球磨	その他	24
	肺	153		悪性血液	13		肺	20		前立腺	19
	口腔咽頭	121		肺	10		その他	20		皮膚	15
	大腸	121		その他	10		口腔咽頭	17		食道	13
	悪性血液	110		大腸	8		胃	14		複数部位	各11
宇城	その他	31	菊池	肺	36	八代	口腔咽頭	37	天草	悪性血液	35
	大腸	21		その他	33		皮膚	23		その他	31
	乳房	19		口腔咽頭	29		肺	18		口腔咽頭	26
	子宮頸部	17		大腸	29		脳脊髄	14		肺	25
	脳脊髄	17		乳房	25		その他	12		皮膚	25
有明	その他	41	阿蘇	胃	19	芦北	肝	10	県外等	その他	32
	肺	35		その他	17		肺	10		脳脊髄	21
	乳房	33		食道	15		食道	6		肺	16
	肝	25		肝	15		膵	5		皮膚	12
	悪性血液	25		複数部位	各13		その他	5		複数部位	各10

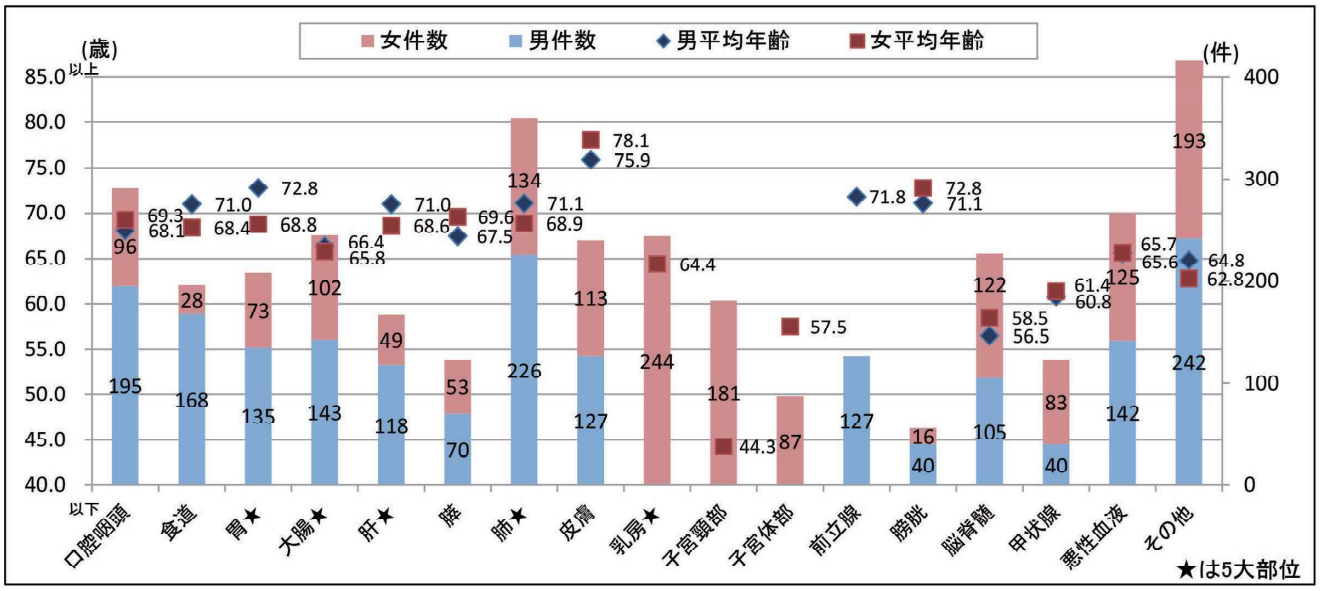
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
その他	242
肺	226
口腔咽頭	195
食道	168
大腸	143
悪性血液	142
胃	135
皮膚	127
前立腺	127
肝	118
脳脊髄	105
膵	70
膀胱	40
甲状腺	40
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	1,878

0～14歳	
脳脊髄	6
その他	5
複数部位	*
計	13

15～39歳	
脳脊髄	15
その他	14
悪性血液	11
甲状腺	6
複数部位	*
計	57

40～49歳	
その他	15
脳脊髄	13
大腸	11
悪性血液	7
口腔咽頭	6
など	
計	72

50～59歳	
その他	34
口腔咽頭	27
悪性血液	21
大腸	20
肝	15
など	
計	192

60～69歳	
肺	76
口腔咽頭	75
その他	67
食道	58
大腸	47
など	
計	554

70～79歳	
肺	91
その他	71
食道	70
前立腺	65
胃	62
など	
計	659

80～89歳	
皮膚	48
肺	37
その他	32
胃	31
口腔咽頭	29
など	
計	303

90歳～	
皮膚	10
その他	4
複数部位	*
計	28

女性全体	
乳房	244
その他	193
子宮頸部	181
肺	134
悪性血液	125
脳脊髄	122
皮膚	113
大腸	102
口腔咽頭	96
子宮体部	87
甲状腺	83
胃	73
膵	53
肝	49
食道	28
膀胱	16
前立腺	
計	1,699

0～14歳	
悪性血液	6
その他	4
複数部位	*
計	15

15～39歳	
子宮頸部	83
脳脊髄	17
その他	12
乳房	11
甲状腺	9
など	
計	161

40～49歳	
子宮頸部	42
乳房	38
その他	24
子宮体部	23
大腸	13
など	
計	194

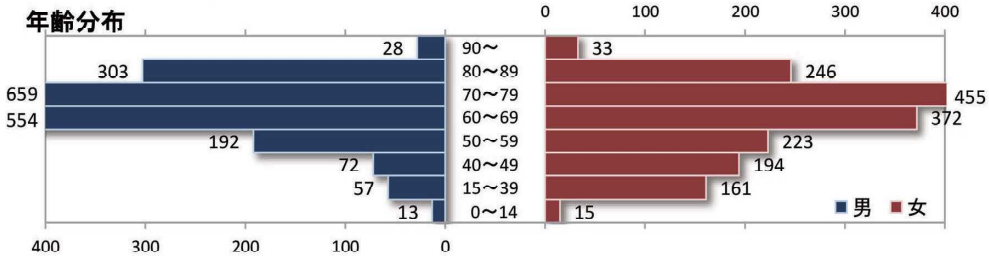
50～59歳	
子宮体部	32
乳房	31
その他	31
脳脊髄	24
子宮頸部	23
など	
計	223

60～69歳	
乳房	57
その他	46
肺	33
脳脊髄	33
甲状腺	27
など	
計	372

70～79歳	
乳房	76
肺	60
悪性血液	48
その他	45
大腸	33
など	
計	455

80～89歳	
皮膚	45
乳房	30
その他	29
口腔咽頭	26
悪性血液	22
など	
計	246

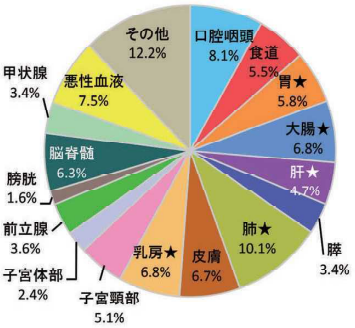
90歳～	
皮膚	18
口腔咽頭	5
複数部位	*
計	33



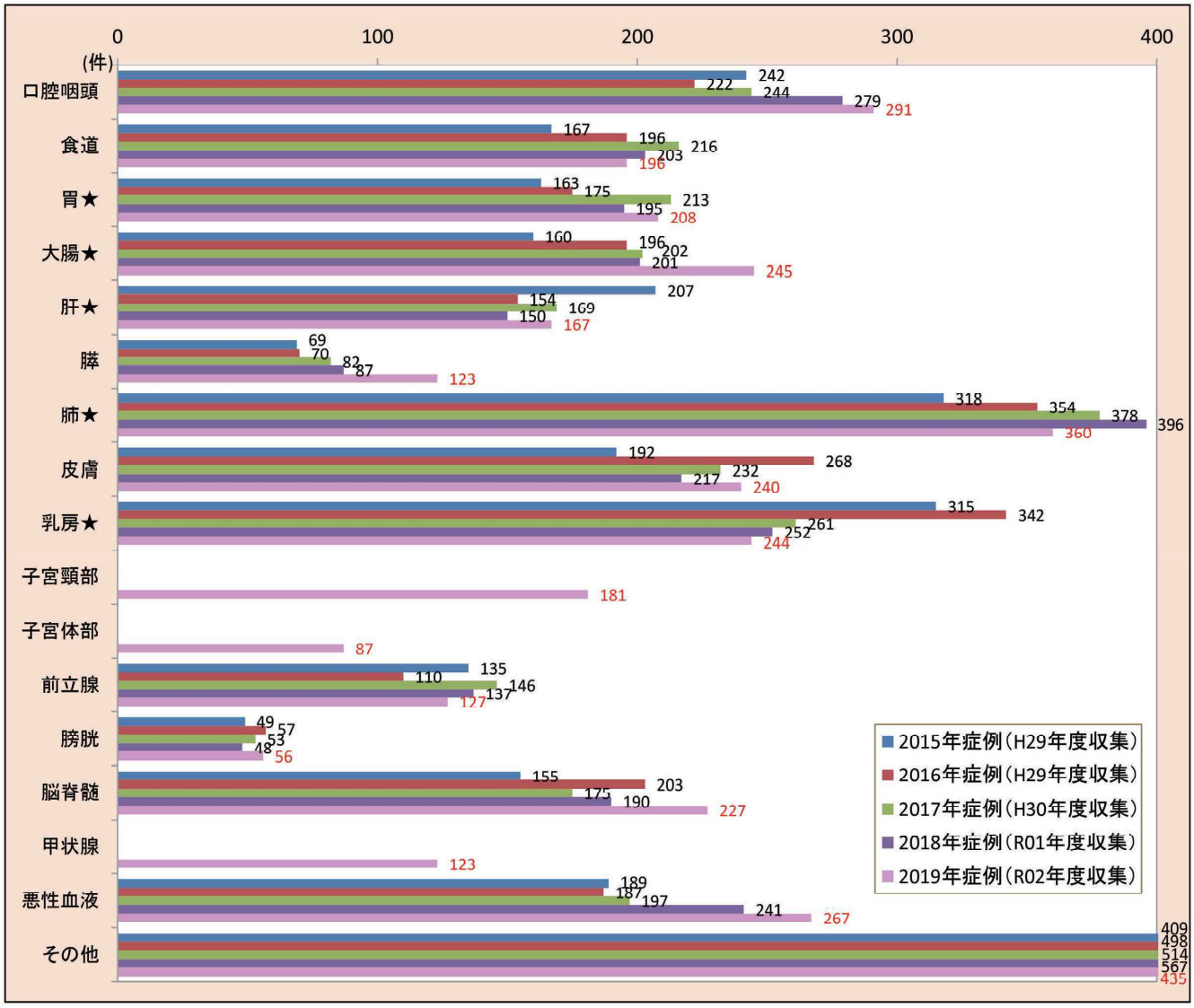
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	242	222	244	279	291
食道	167	196	216	203	196
胃★	163	175	213	195	208
大腸★	160	196	202	201	245
肝★	207	154	169	150	167
膵	69	70	82	87	123
肺★	318	354	378	396	360
皮膚	192	268	232	217	240
乳房★	315	342	261	252	244
子宮頸部	257（頸部・体部）	257（頸部・体部）	258（頸部・体部）	255（頸部・体部）	181
子宮体部					87
前立腺	135	110	146	137	127
膀胱	49	57	53	48	56
脳脊髄	155	203	175	190	227
甲状腺					123
悪性血液疾患	189	187	197	241	267
その他	409	498	514	567	435
計	3,027	3,289	3,340	3,418	3,577

2019年診断症例　主要部位別割合

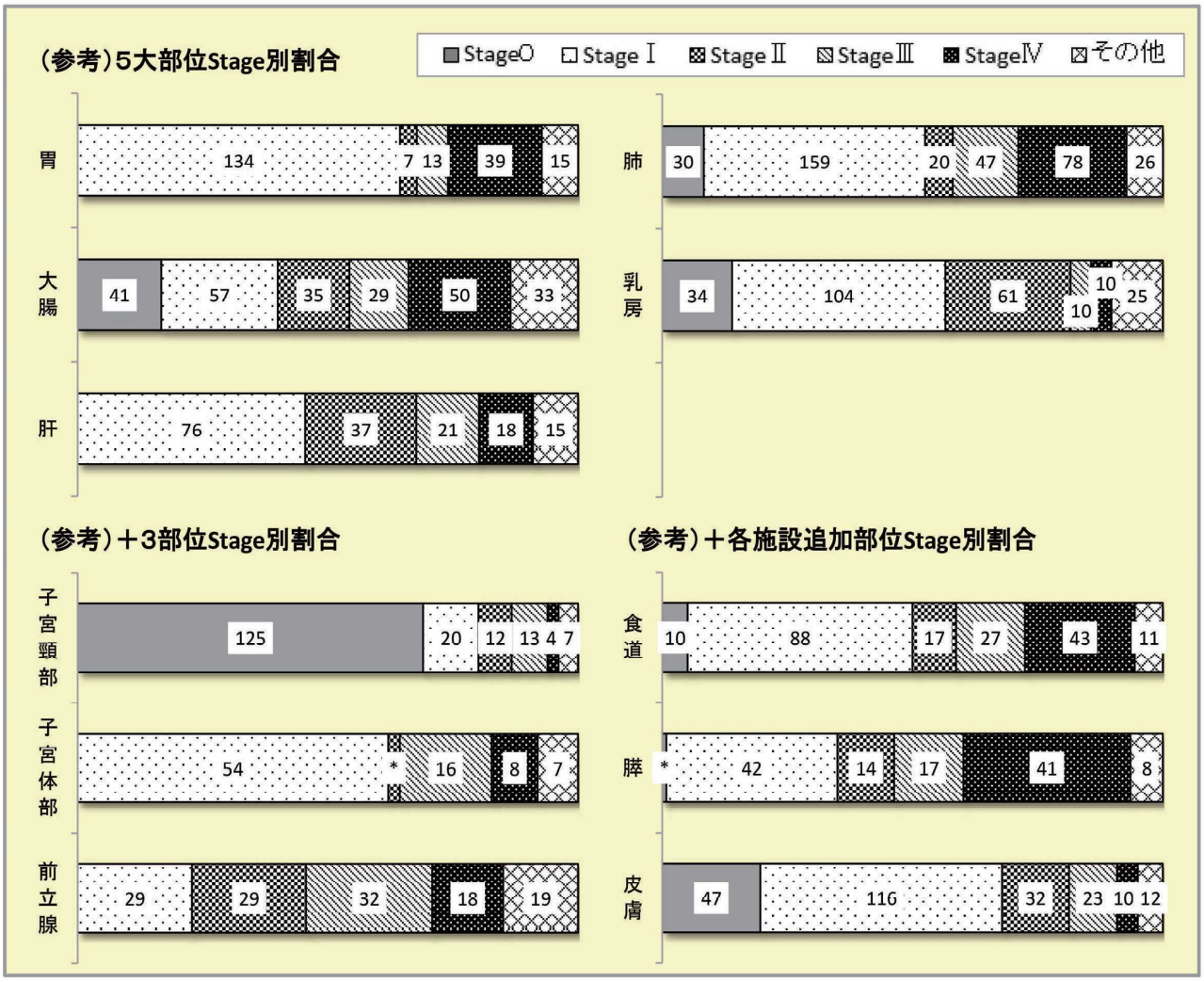


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

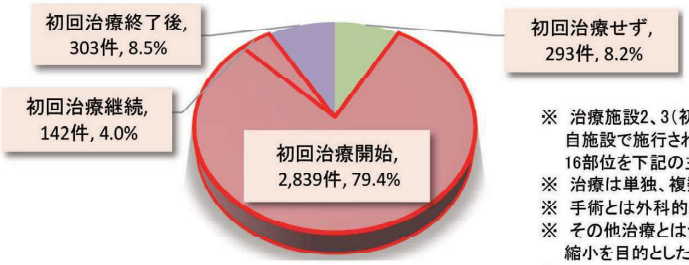
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	291	17	71	56	29	105	13
食道	196	10	88	17	27	43	11
胃★	208		134	7	13	39	15
大腸★	245	41	57	35	29	50	33
肝★	167		76	37	21	18	15
膵	123	*	42	14	17	41	8
肺★	360	30	159	20	47	78	26
皮膚	240	47	116	32	23	10	12
乳房★	244	34	104	61	10	10	25
子宮頸部	181	125	20	12	13	4	7
子宮体部	87		54	*	16	8	7
前立腺	127		29	29	32	18	19
膀胱	56	18	16	5	11	*	5
脳脊髄	227						227
甲状腺	123		62	29	7	*	22
悪性血液疾患	267		60	28	23	47	109
その他	435	21	162	35	50	70	97
計	3,577	344	1,250	419	368	545	651



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

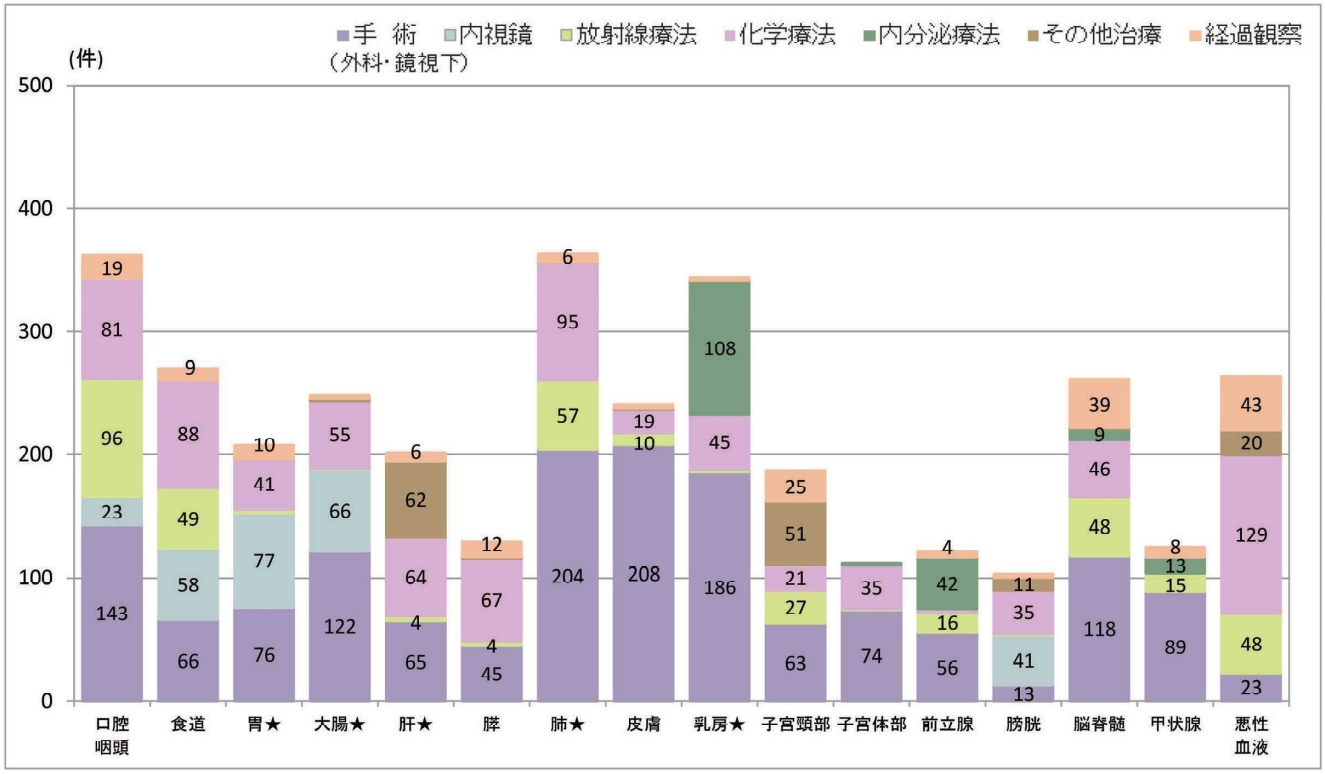
治療施設	件数
1初回治療せず	293
2初回治療開始	2,839
3初回治療継続	142
4初回治療終了後	303
8その他	0
計	3,577



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

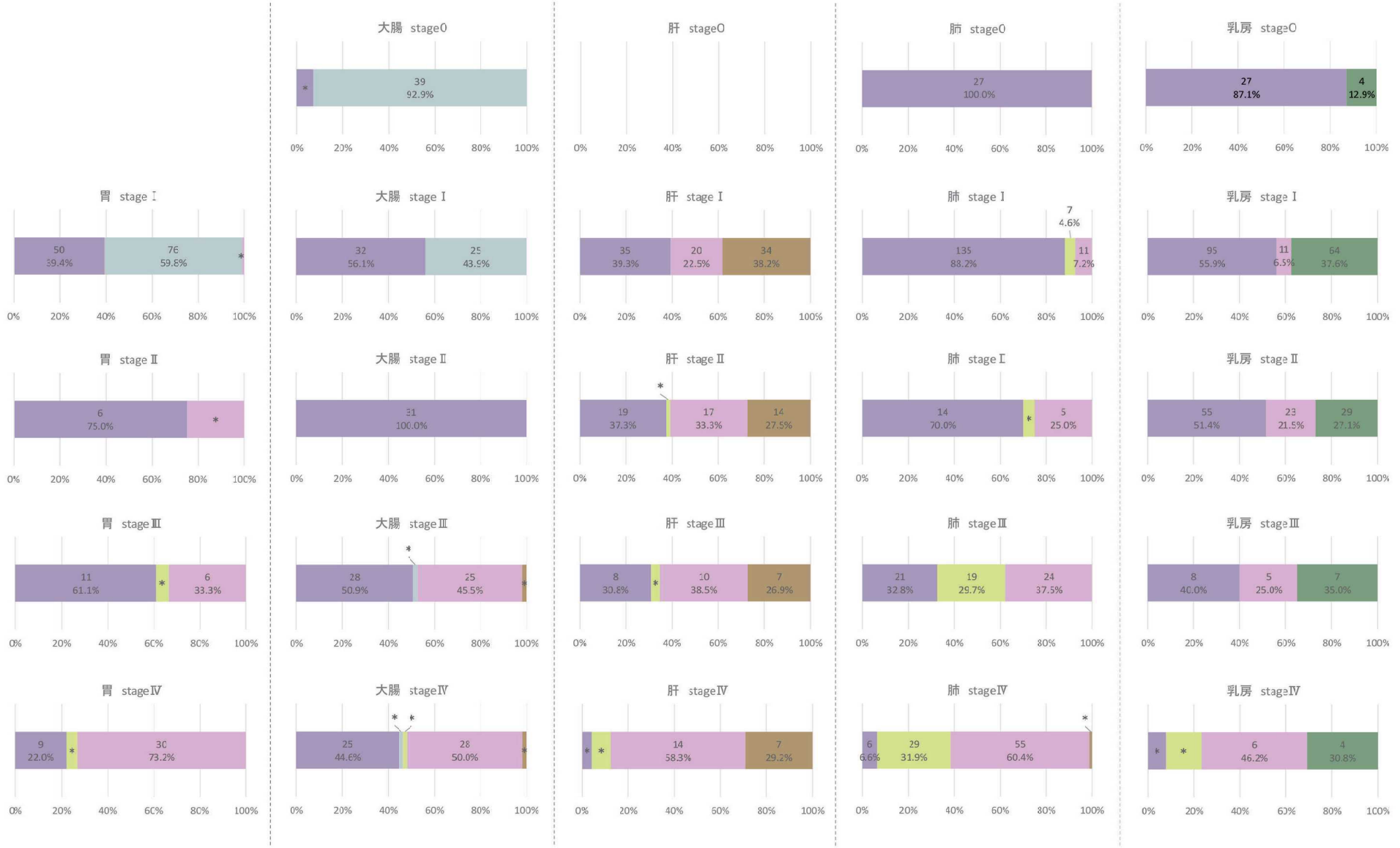
	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	143	23	96	81			19	362	79.5%	6.0%	14.5%
食道	66	58	49	88			9	270	66.4%	4.9%	28.7%
胃★	76	77	*	41			10	207	86.2%	5.3%	8.6%
大腸★	122	66	*	55		*	*	248	76.5%	8.9%	14.5%
肝★	65		4	64		62	6	201	93.8%	4.6%	1.5%
膵	45		4	67		*	12	129	88.9%	11.1%	0.0%
肺★	204		57	95		*	6	363	92.2%	3.9%	3.9%
皮膚	208		10	19		*	*	241	86.1%	1.9%	12.0%
乳房★	186		*	45	108		*	344	91.4%	4.3%	4.3%
子宮頸部	63		27	21		51	25	187	82.5%	3.2%	14.3%
子宮体部	74		*	35	*			112	71.6%	12.2%	16.2%
前立腺	56		16	*	42		4	121	78.6%	14.3%	7.1%
膀胱	13	41	*	35		11	*	103	70.8%	14.6%	14.6%
脳脊髄	118		48	46	9	*	39	261	35.6%	44.9%	19.5%
甲状腺	89		15		13		8	125	70.8%	5.6%	23.6%
悪性血液疾患	23		48	129		20	43	263	4.3%	69.6%	26.1%
計	1,551	265	382	824	174	150	191	3,537			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■内視鏡 ■放射線療法 ■化学療法 ■内分泌療法 ■その他治療



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医療機関名	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	八代市竹原町1670
病　床　数	410床
診療科数	26科
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	13.5（日）
入院患者数	9,932（人）
外来患者延数	139,732（人）
院内がん登録件数	843（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　1　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

◇2019年診断症例件数843件（前年比+84件）
◇部位別症例件数（上位5部位）
　①肺132件②大腸94件③乳房84件④前立腺72件⑤子宮頸部52件
◇男女別症例件数
　男性428件（50．8%）女性415件（49．2%）
◇平均年齢70．7歳（男性73．4歳　女性68．0歳）
◇患者住所の割合
　①八代75．7%②芦北9．3%③球磨6．6%④宇城4．5%

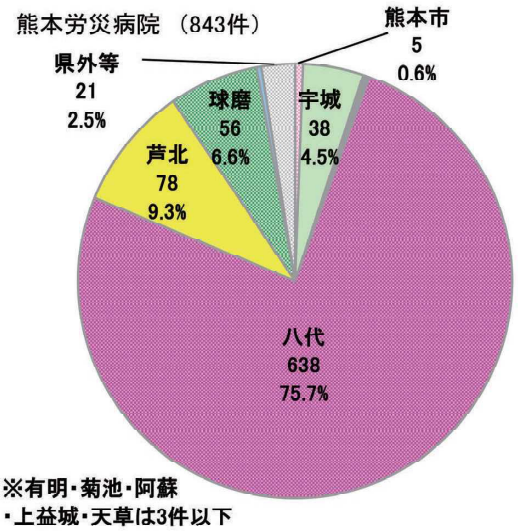
・症例件数は前年より84件増加した。部位別にみると、乳房+30件、大腸+16件の増加が目立った。なお、最も多かった部位は前年同様、肺132件であった。
・登録患者の平均年齢は70．7歳で、例年同様高い傾向にある。これは地域特性として、若年層の都市部への流出により地域全体に高齢者が多いこと、また、若い検診受診者はインターネットなどで情報を集め移動も容易であるため熊本市内の病院を受診する傾向にあること、交通手段の少ない高齢者は検診を受けず、症状が出現して地域の基幹病院を受診する傾向にあることなどが影響しているものと思われる。
・治療に関しては、高齢者・若年層に関わらず、症状が出現した状態で受診し、それらの多くが進行癌であることなどから外科的治療が出来ない場合が少なくない。しかし、治療が可能な症例については熊本県が推進している「医科歯科連携」などを積極的行い、がん患者が安心して治療を受けることができるような体制づくりを行っている。
　八代地域医療圏からの紹介が多く、「私のカルテ」による連携、治療初期段階からの必要に応じた相談支援「がんサロン」の開催、緩和ケアの実施、「私の日記」の導入など、地域医療の質の充実を推進している。がんに関する情報提供と啓発活動として、がん相談支援センターを中心としたイベント（すわんけん、すわんぬを招いての禁煙推進イベントなど）を開催し、地域へ向けた活動も行っている。

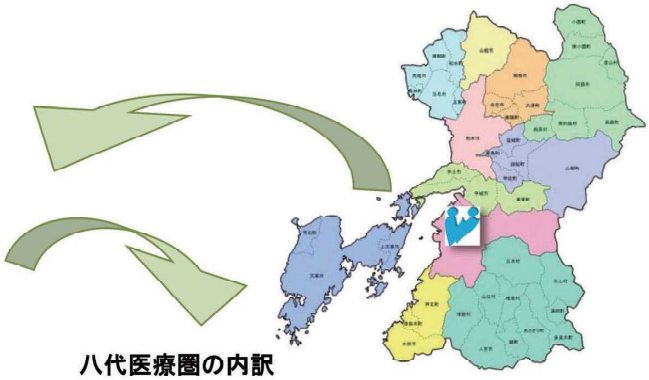
診断年別登録件数
（参考）

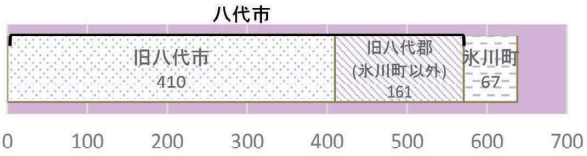
※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示







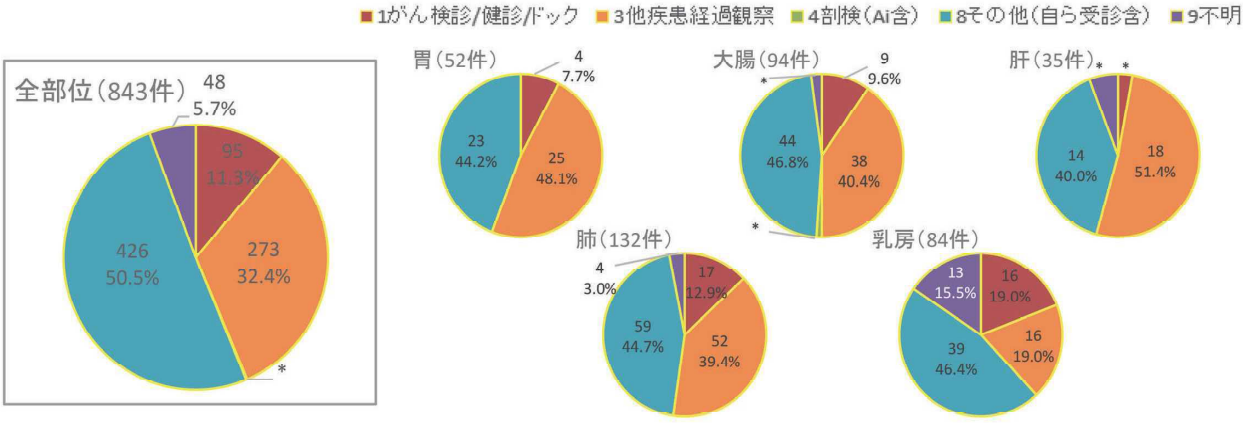
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	複数部位	*	鹿本			上益城	複数部位	*	球磨	前立腺	12
										膀胱	9
										肺	8
										その他	8
										子宮体部	4
宇城	皮膚	5	菊池	複数部位	*	八代	肺	104	天草	複数部位	*
	その他	5					大腸	83			
	胃	4					乳房	61			
	大腸	4					その他	57			
	悪性血液	4					前立腺	47			
有明	複数部位	*	阿蘇	複数部位	*	芦北	肺	13	県外等	肺	5
							乳房	8		乳房	5
							前立腺	8		複数部位	*
							その他	8			
							大腸	6			

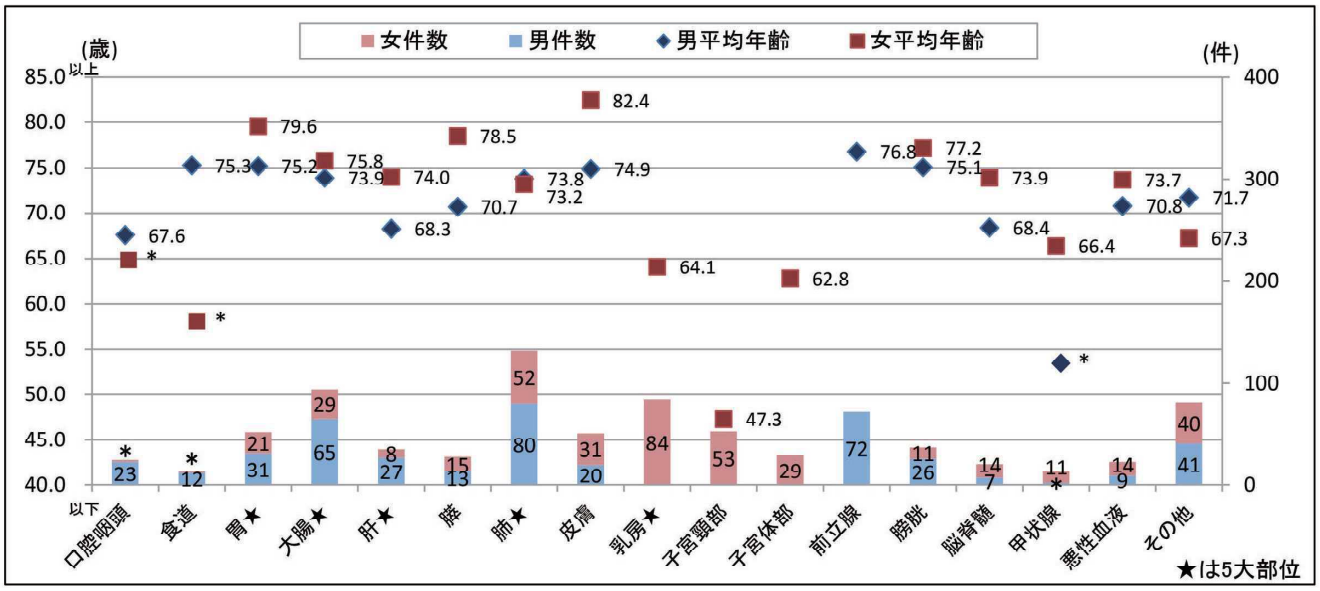
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
肺	80
前立腺	72
大腸	65
その他	41
胃	31
肝	27
膀胱	26
口腔咽頭	23
皮膚	20
膵	13
食道	12
悪性血液	9
脳脊髄	7
甲状腺	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	428

0～14歳	
計	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
複数部位	*
計	11

50～59歳	
大腸	6
口腔咽頭	5
肝	5
その他	5
複数部位	*
計	32

60～69歳	
肺	18
大腸	15
前立腺	15
その他	10
膀胱	7
など	
計	93

70～79歳	
前立腺	32
肺	29
大腸	25
胃	16
その他	12
など	
計	163

80～89歳	
肺	23
前立腺	22
大腸	17
その他	11
胃	8
など	
計	108

90歳～	
肺	4
複数部位	*
計	19

女性全体	
乳房	84
子宮頸部	53
肺	52
その他	40
皮膚	31
大腸	29
子宮体部	29
胃	21
膵	15
脳脊髄	14
悪性血液	14
膀胱	11
甲状腺	11
肝	8
口腔咽頭	*
食道	*
前立腺	
計	415

0～14歳	
複数部位	*
計	*

15～39歳	
子宮頸部	23
乳房	5
複数部位	*
計	34

40～49歳	
乳房	13
子宮頸部	13
子宮体部	4
複数部位	*
計	36

50～59歳	
乳房	14
肺	7
その他	7
子宮体部	6
子宮頸部	4
複数部位	*
計	50

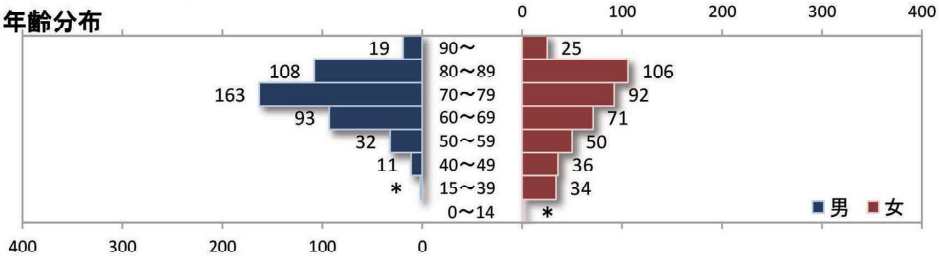
60～69歳	
乳房	19
その他	9
肺	8
子宮体部	8
子宮頸部	7
など	
計	71

70～79歳	
肺	19
乳房	17
その他	10
皮膚	8
脳脊髄	7
など	
計	92

80～89歳	
皮膚	18
乳房	15
肺	13
胃	11
大腸	9
など	
計	106

90歳～	
大腸	5
肺	4
皮膚	4
複数部位	*
計	25

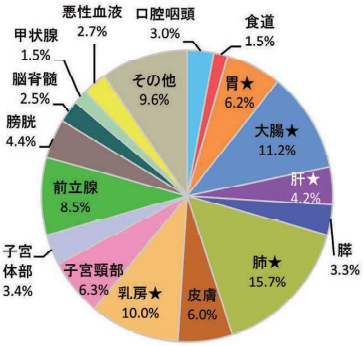
年齢分布



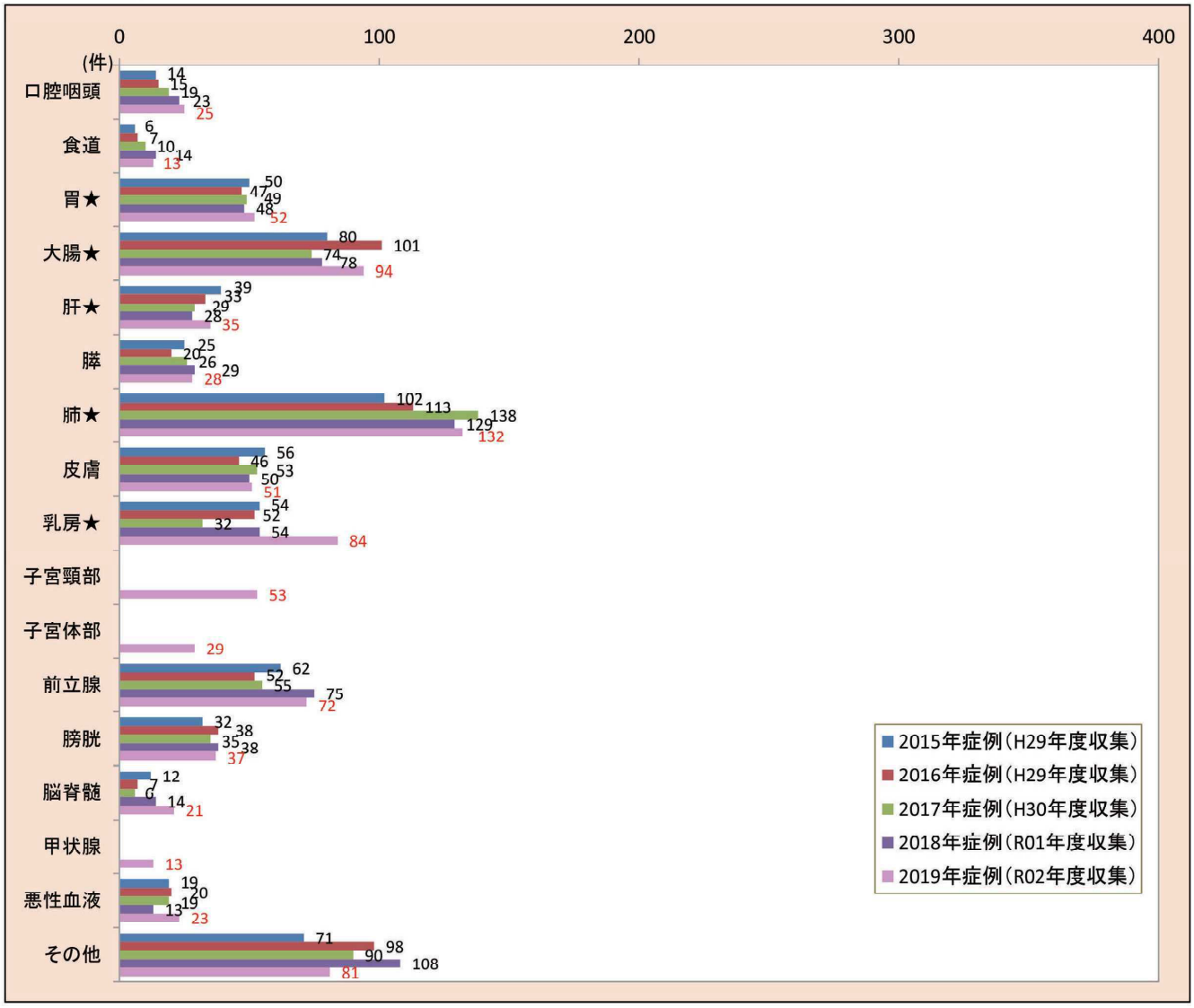
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	14	15	19	23	25
食道	6	7	10	14	13
胃★	50	47	49	48	52
大腸★	80	101	74	78	94
肝★	39	33	29	28	35
膵	25	20	26	29	28
肺★	102	113	138	129	132
皮膚	56	46	53	50	51
乳房★	54	52	32	54	84
子宮頸部	40（頸部・体部）	57（頸部・体部）	39（頸部・体部）	58（頸部・体部）	53
子宮体部					29
前立腺	62	52	55	75	72
膀胱	32	38	35	38	37
脳脊髄	12	7	6	14	21
甲状腺					13
悪性血液疾患	19	20	19	13	23
その他	71	98	90	108	81
計	662	706	674	759	843

2019年診断症例　主要部位別割合

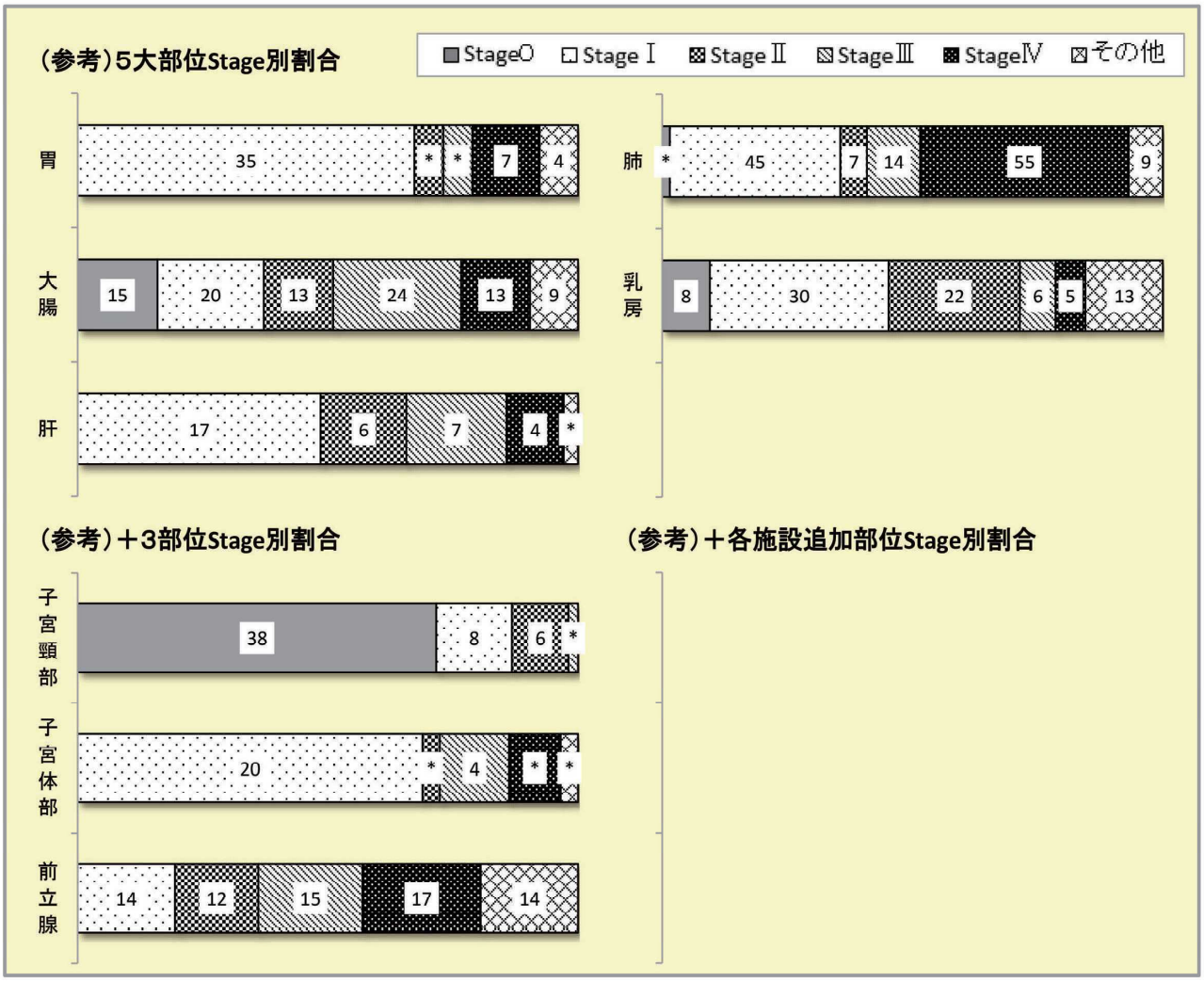


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

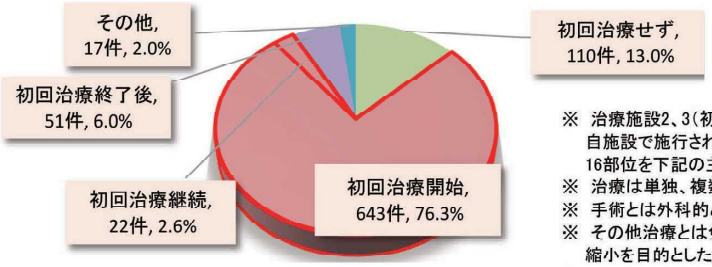
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	25		6	*	*	9	4
食道	13	*	*	*	*	*	*
胃★	52		35	*	*	7	4
大腸★	94	15	20	13	24	13	9
肝★	35		17	6	7	4	*
膵	28		7	*	*	14	*
肺★	132	*	45	7	14	55	9
皮膚	51	10	36	*	*		*
乳房★	84	8	30	22	6	5	13
子宮頸部	53	38	8	6	*		
子宮体部	29		20	*	4	*	*
前立腺	72		14	12	15	17	14
膀胱	37	18	14	*	*	*	*
脳脊髄	21						21
甲状腺	13		11	*	*		
悪性血液疾患	23		4	5			14
その他	81	*	35	10	10	13	12
計	843	93	305	97	95	144	109



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

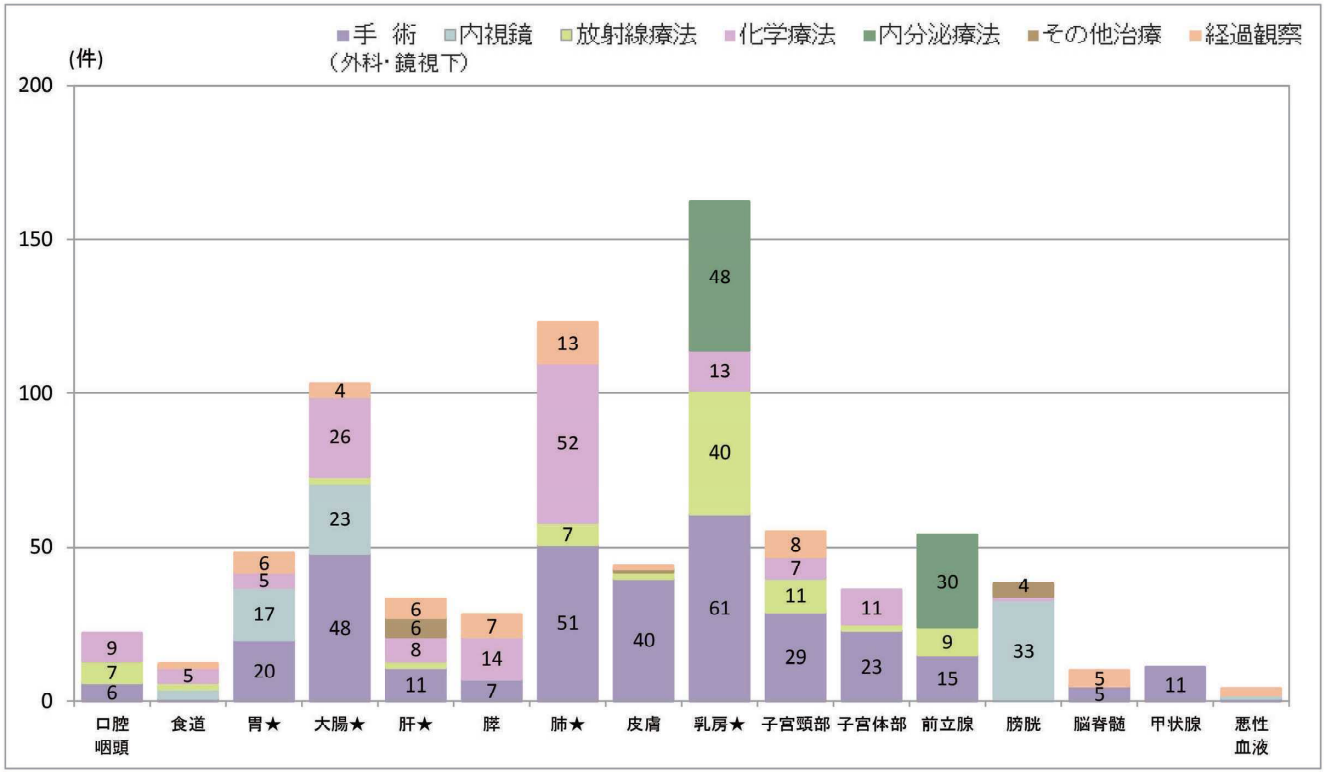
治療施設	件数
1初回治療せず	110
2初回治療開始	643
3初回治療継続	22
4初回治療終了後	51
8その他	17
計	843



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

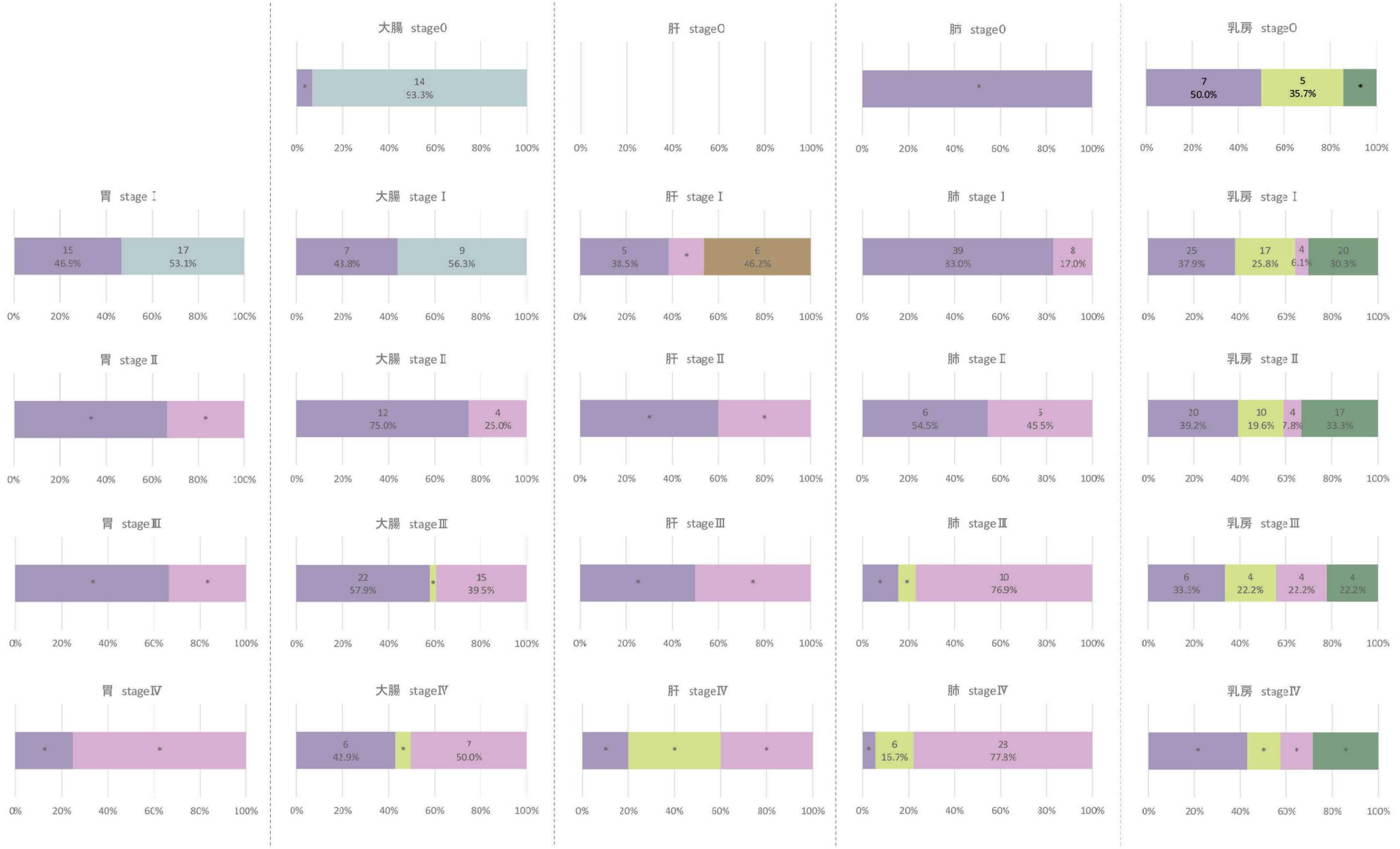
	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	6		7	9				22	66.7%	33.3%	0.0%
食道	*	*	*	5			*	12	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	20	17		5			6	48	91.4%	5.7%	2.9%
大腸★	48	23	*	26			4	103	88.6%	7.1%	4.3%
肝★	11		*	8		6	6	33	100.0%	0.0%	0.0%
膵	7			14			7	28	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	51		7	52			13	123	94.1%	5.9%	0.0%
皮膚	40		*			*	*	44	90.0%	5.0%	5.0%
乳房★	61		40	13	48			162	80.3%	19.7%	0.0%
子宮頸部	29		11	7			8	55	93.1%	3.4%	3.4%
子宮体部	23		*	11				36	91.3%	4.3%	4.3%
前立腺	15		9		30			54	80.0%	20.0%	0.0%
膀胱		33		*		4		38	45.5%	54.5%	0.0%
脳脊髄	5						5	10	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	11							11	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	*	*					*	4	100.0%	0.0%	0.0%
計	329	77	84	151	78	11	53	783			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■内視鏡 ■放射線療法 ■化学療法 ■内分泌療法 ■その他治療



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医 療 機 関 名	独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	人吉市老神町35番地
病　床　数	252床
診 療 科 数	26科
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31
がん登録開始基準日	2006.10.01
平均在院日数	9.3（日）
入院患者数	6,838（人）
外来患者延数	79,301（人）
院内がん登録件数	659（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　1　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

当院は熊本県の南部に位置しており、担当医療圏のみならず、県境の宮崎県・鹿児島県からの受診も多い。がん診療は、手術、化学療法、放射線治療、温熱療法等の集学的治療から緩和ケアまで行える体制を整えている。また、担当医療圏と近県の医療機関からの紹介も多く、治療後は「私のカルテ」を積極的に用いて、地域のがん診療拠点病院としてチーム医療、地域連携の充実に努めている。

【登録件数】 2019年登録件数は659件（男性325件、女性334件）。前年（756件）と比較すると97件減少しており、特に胃、膵、肺、乳房、前立腺ではそれぞれ10～20件ほど減少していた。男女比は男性が49.3%（前年52.1%）、女性が50.7%（前年47.9%）。
【患者住所医療圏】 担当医療圏の割合は80.6%であった。圏外の割合は19.4%で、その内96%が県外であった。担当医療圏の11市町村がある中で、隣接する宮崎県えびの市は全体で4番目、鹿児島県伊佐市は6番目に多い市町村であり、近県からの患者の占める割合は年々増加している。
【年齢】 平均年齢は、全体71.5歳（前年70.6歳）、男性73.7歳（前年72.6歳）、女性69.4歳（前年68.4歳）で男女共に高くなっており、地域の高齢化の背景が伺える結果となった。
【部位】 登録数の上位5部位は①大腸②肺③悪性血液④乳房⑤胃の順であった。前年、4番目の悪性血液が3番目となり、その他の変動はなかった。
【主要部位別Stageと治療内容】
[胃]Stage Ⅰの割合が51%と高く、治療として外科手術と内視鏡的手術が多く行われていた。
[大腸]Stage0からⅣまで件数に大きな差はなく、どのStageに対しても積極的に手術療法が実施されていた。
[肺]StageⅣの割合が高く61%であった。そのうち38%が経過観察であり、Ⅳ以外でも高齢などの理由で経過観察を選択するケースも見られた。
[肝]TA(C)Eと外科手術が多く行われていた。
[乳房]全体の80%に対して手術を実施しており、その多くは化学療法や放射線治療、内分泌療法の何れかとの組み合わせで治療を行っている。

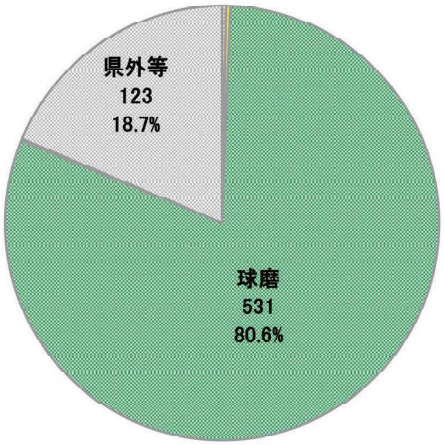
診断年別登録件数
（参考）

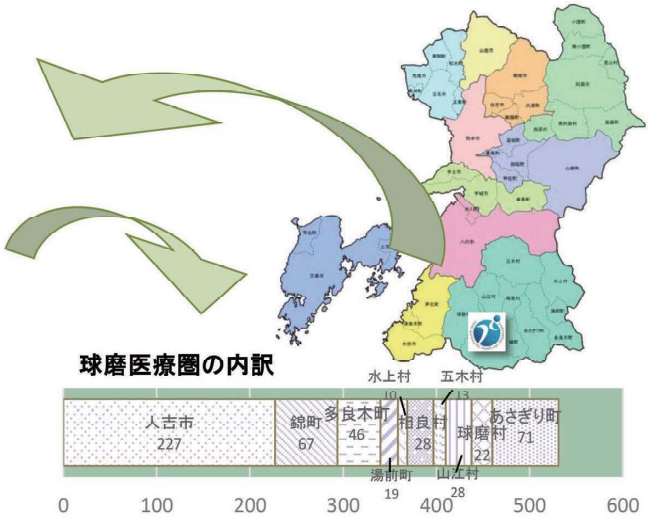
※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

人吉医療センター　（659件）　※熊本市・芦北・天草は 3件以下





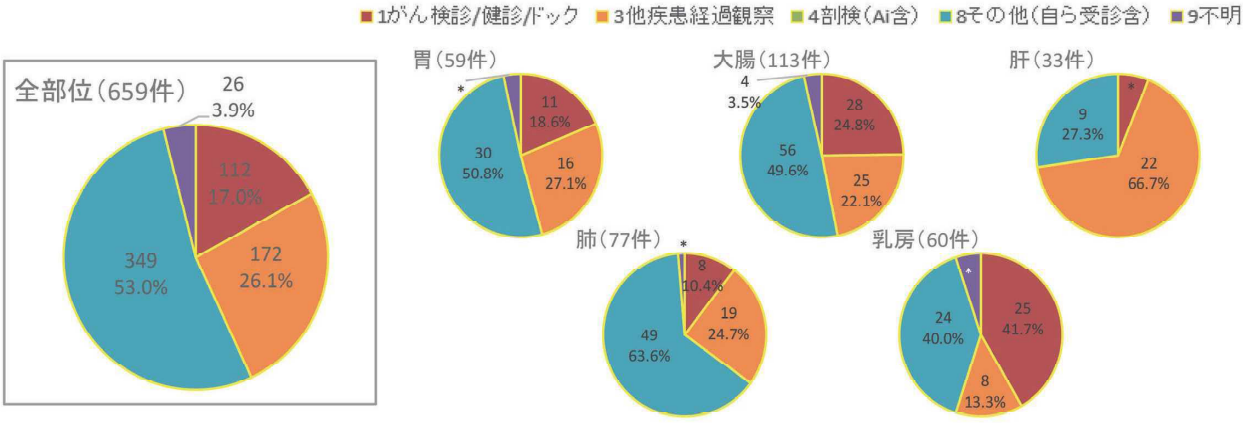
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	複数部位	*	鹿本			上益城			球磨	大腸	88
										肺	60
										胃	52
										乳房	50
										悪性血液	45
宇城			菊池			八代			天草	複数部位	*
有明			阿蘇			芦北	複数部位	*	県外等	悪性血液	26
										大腸	24
										肺	16
										乳房	10
										その他	9

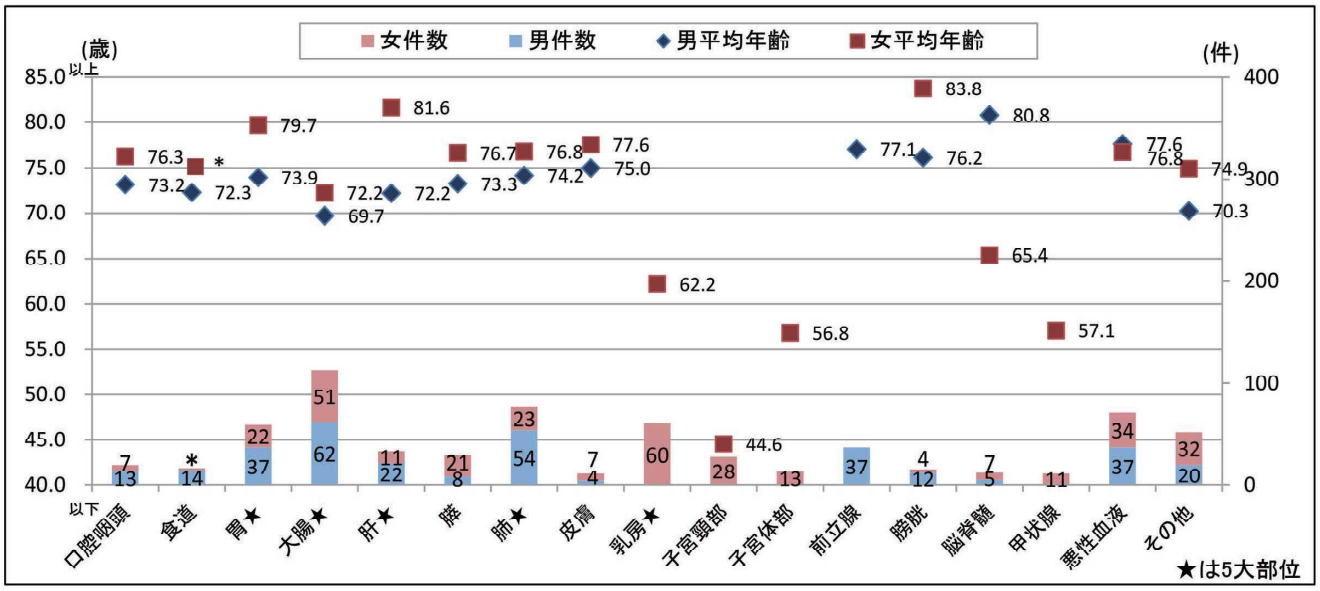
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	62
肺	54
胃	37
前立腺	37
悪性血液	37
肝	22
その他	20
食道	14
口腔咽頭	13
膀胱	12
膵	8
脳脊髄	5
皮膚	4
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	325

0～14歳	
計	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
複数部位	*
計	4

50～59歳	
大腸	5
肺	4
その他	4
複数部位	*
計	23

60～69歳	
大腸	23
肺	16
胃	12
悪性血液	10
複数部位	各5
など	
計	89

70～79歳	
大腸	21
前立腺	16
肺	15
肝	10
複数部位	各9
など	
計	101

80～89歳	
肺	17
悪性血液	15
前立腺	13
胃	10
複数部位	各8
など	
計	94

90歳～	
複数部位	*
計	13

女性全体	
乳房	60
大腸	51
悪性血液	34
その他	32
子宮頸部	28
肺	23
胃	22
膵	21
子宮体部	13
肝	11
甲状腺	11
口腔咽頭	7
皮膚	7
脳脊髄	7
膀胱	4
食道	*
前立腺	
計	334

0～14歳	
計	

15～39歳	
子宮頸部	11
複数部位	*
計	19

40～49歳	
乳房	11
子宮頸部	10
大腸	4
複数部位	*
計	35

50～59歳	
乳房	13
子宮体部	7
子宮頸部	4
その他	4
複数部位	*
計	34

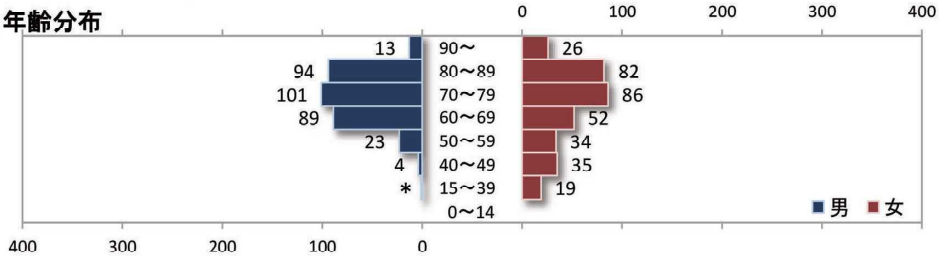
60～69歳	
乳房	13
大腸	8
膵	5
悪性血液	5
その他	5
など	
計	52

70～79歳	
大腸	18
乳房	14
悪性血液	12
その他	7
複数部位	各6
など	
計	86

80～89歳	
大腸	13
その他	12
悪性血液	10
胃	9
肺	9
など	
計	82

90歳～	
悪性血液	5
胃	4
大腸	4
複数部位	*
計	26

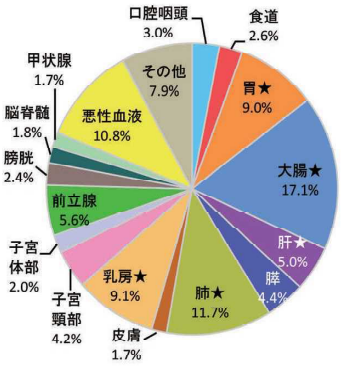
年齢分布



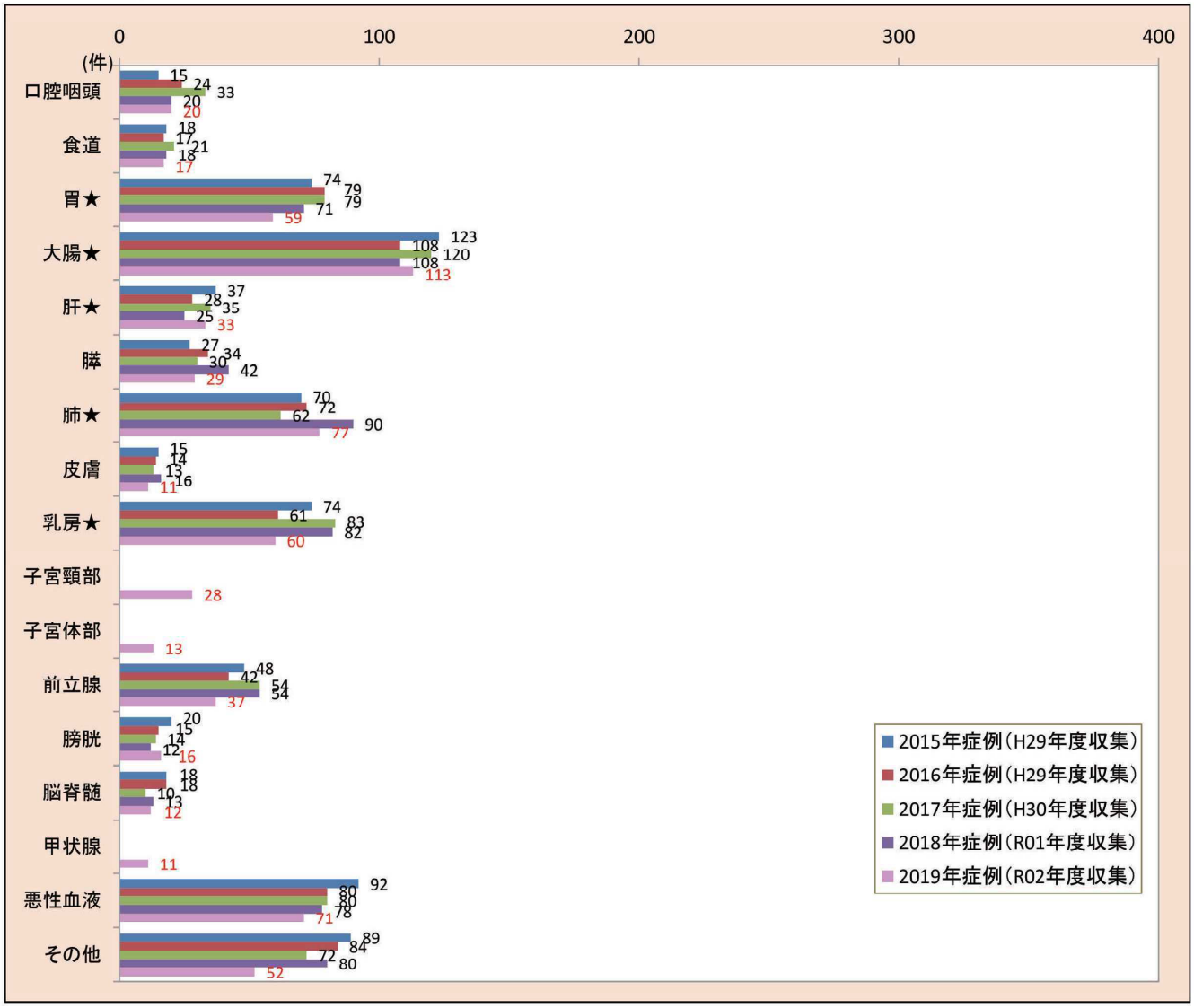
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	15	24	33	20	20
食道	18	17	21	18	17
胃★	74	79	79	71	59
大腸★	123	108	120	108	113
肝★	37	28	35	25	33
膵	27	34	30	42	29
肺★	70	72	62	90	77
皮膚	15	14	13	16	11
乳房★	74	61	83	82	60
子宮頸部	48（頸部・体部）	53（頸部・体部）	46（頸部・体部）	47（頸部・体部）	28
子宮体部					13
前立腺	48	42	54	54	37
膀胱	20	15	14	12	16
脳脊髄	18	18	10	13	12
甲状腺					11
悪性血液疾患	92	80	80	78	71
その他	89	84	72	80	52
計	768	729	752	756	659

2019年診断症例　主要部位別割合

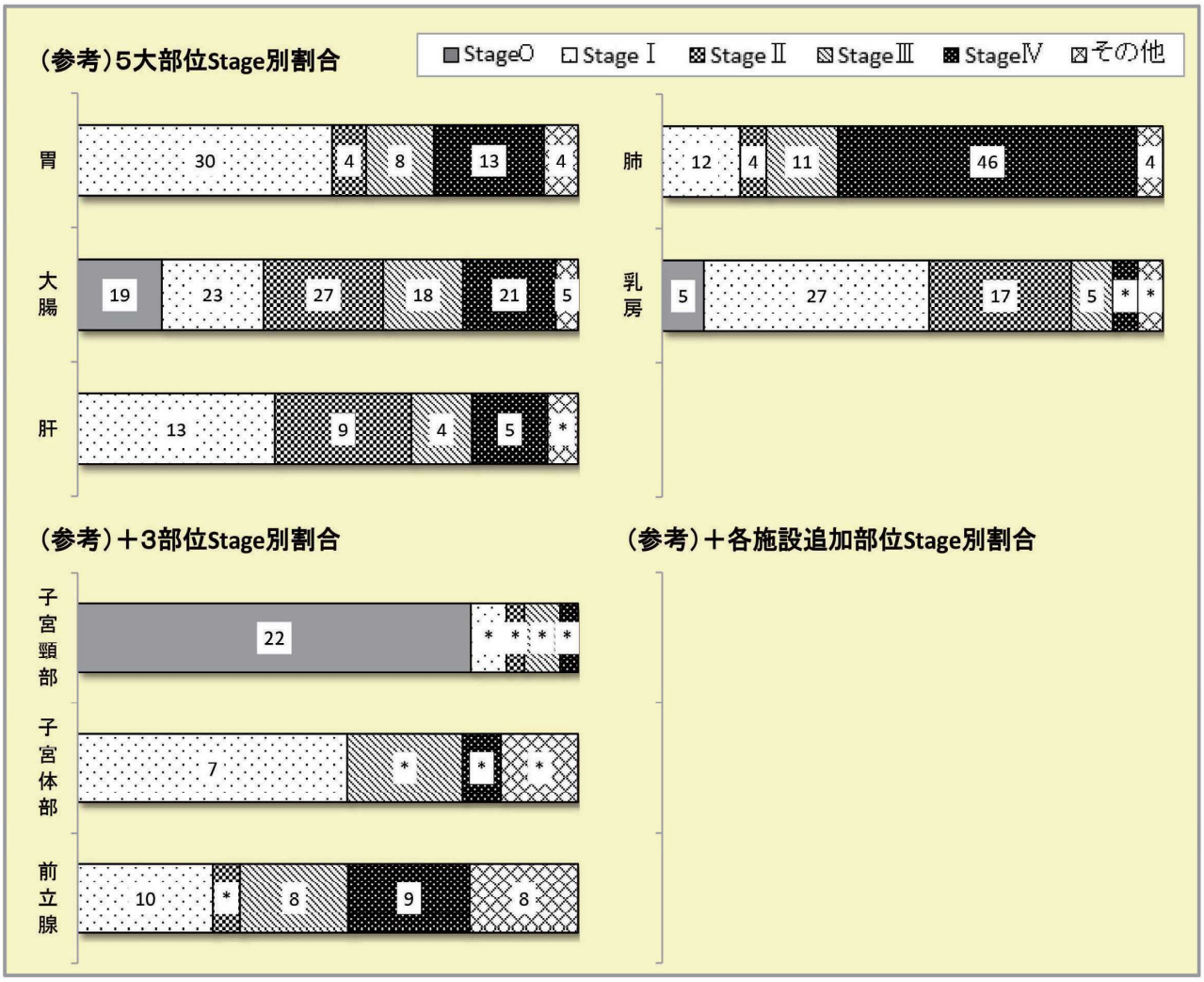


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

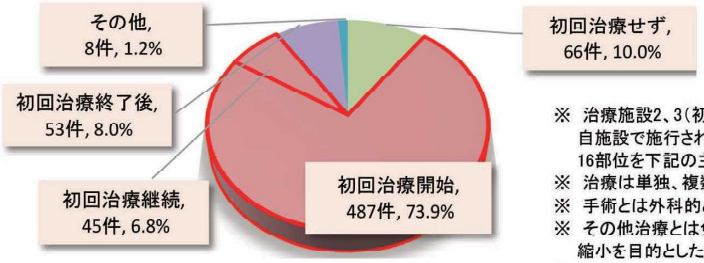
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	20	*	4	*		9	*
食道	17	*	6	*	*	4	*
胃★	59		30	4	8	13	4
大腸★	113	19	23	27	18	21	5
肝★	33		13	9	4	5	*
膵	29		4	5	*	16	*
肺★	77		12	4	11	46	4
皮膚	11		10	*			
乳房★	60	5	27	17	5	*	*
子宮頸部	28	22	*	*	*	*	
子宮体部	13		7		*	*	*
前立腺	37		10	*	8	9	8
膀胱	16	*	6	*	*	4	*
脳脊髄	12						12
甲状腺	11		8	*			*
悪性血液疾患	71			4	8	26	33
その他	52		13	11	7	12	9
計	659	51	175	91	80	170	92



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

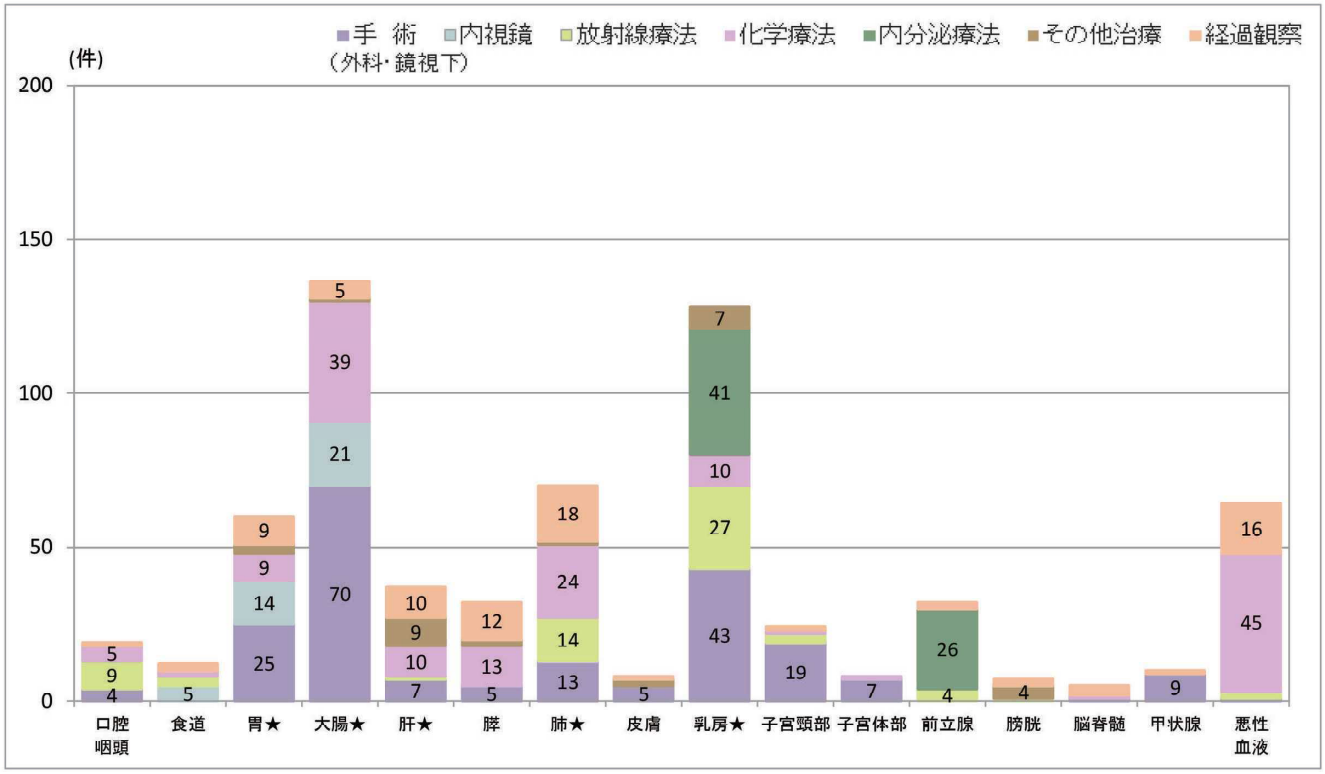
治療施設	件数
1初回治療せず	66
2初回治療開始	487
3初回治療継続	45
4初回治療終了後	53
8その他	8
計	659



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

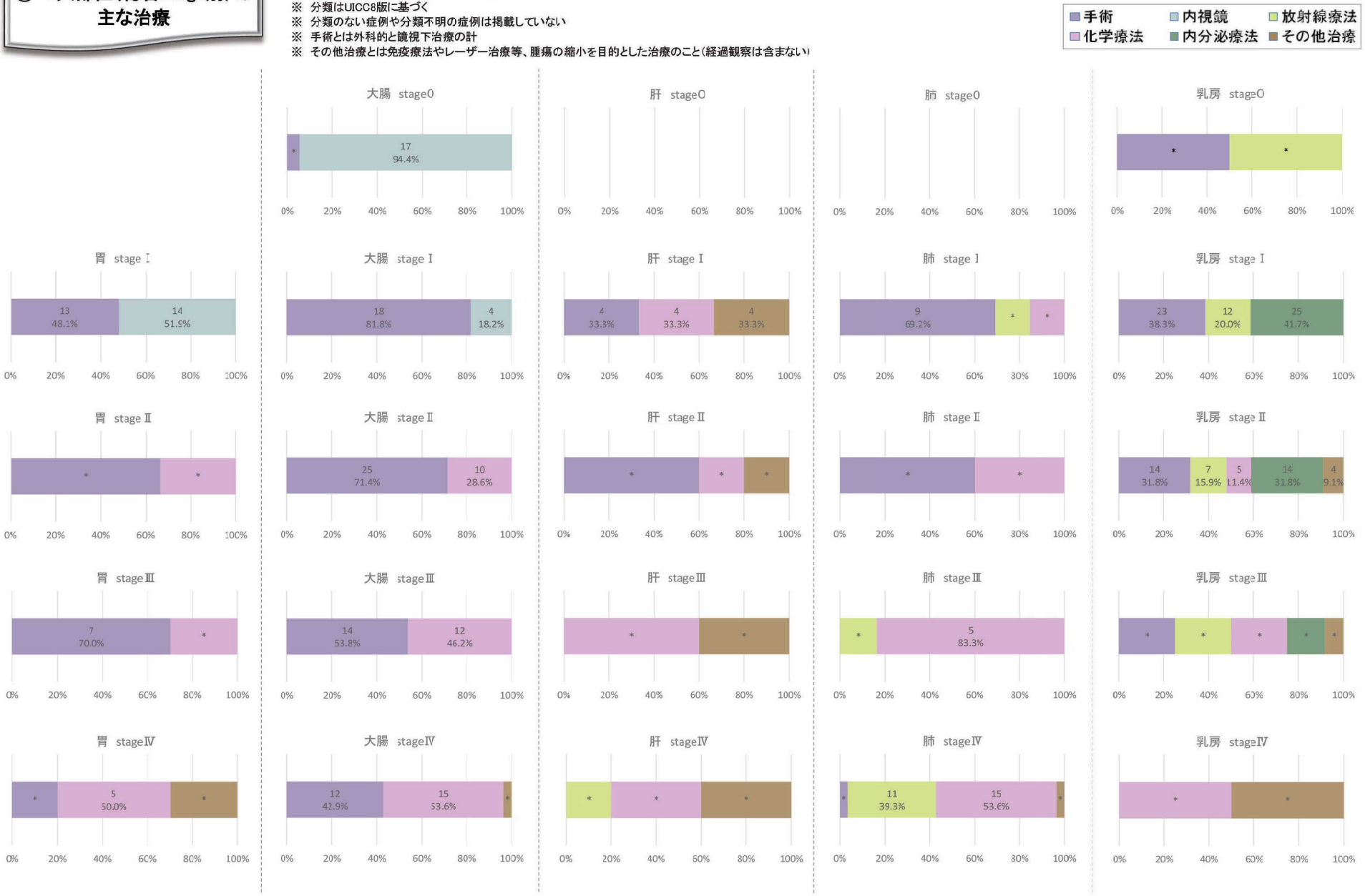
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	4		9	5			*	19	100.0%	0.0%	0.0%
食道		5	*	*			*	12	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	25	14		9		*	9	60	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	70	21		39		*	5	136	100.0%	0.0%	0.0%
肝★	7		*	10		9	10	37	100.0%	0.0%	0.0%
膵	5			13		*	12	32	80.0%	20.0%	0.0%
肺★	13		14	24		*	18	70	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	5					*	*	8	80.0%	20.0%	0.0%
乳房★	43		27	10	41	7		128	95.3%	4.7%	0.0%
子宮頸部	19		*	*			*	24	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	7			*				8	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺			4		26		*	32			
膀胱			*			4	*	7			
脳脊髄	*			*			*	5	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	9						*	10	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	*		*	45			16	64	100.0%	0.0%	0.0%
計	209	40	64	160	67	29	83	652			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医療機関名	荒尾市民病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	荒尾市荒尾2600番地
病　床　数	274床
診療科数	25科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2008.01.01
平均在院日数	15.5（日）
入院患者数	4,155（人）
外来患者延数	85,179（人）
院内がん登録件数	540（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　2　／他　1（名）

○医療機関からのコメント

【登録件数】
2019年症例は540件で前年(524件)と比較して、16件増加した。
【患者住所医療圏別】
登録症例の84.8%を有明医療圏在住の患者が占める。当院は、福岡県との県境に位置しており、県外からの受診76件中、74件が大牟田市在住の患者である。
【性別・年齢別】
男性:261件、女性:279件で、女性が3.3%多かった。
全体平均年齢は、71.6歳だった。
【主要部位別登録件数】
全体①大腸(100件)②乳房(70件)③肺(59件)④胃(51件)⑤脳脊髄(30件)で、前年と比較して、大腸(87件→100件)、肺(40件→59件)、脳脊髄(27件→30件)、前立腺(18件→27件)、肝(12件→18件)膀胱(*件→8件)が増加し、乳房(84件→70件)胃(56件→51件)、悪性血液(60件→57件)、皮膚(26件→15件)膵(19件→17件)食道(19件→7件)が減少している。
男性では、①大腸(52件)②肺(41件)③胃(34件)④悪性血液(29件)⑤前立腺(27件)。
女性では、①乳房(70件)②大腸(48件)③悪性血液(28件)④脳脊髄(20件)⑤子宮頸部(19件)の結果であった。
【主要部位別病期分類(総合stage)】
登録症例全体では、StageⅠが21.7%、StageⅡが13.0%、StageⅢが10.7%、StageⅣが19.8%であった。特に膵癌のStageⅣが64.7%、肺癌のStageⅣが49.2%、胃癌のStageⅣが39.2%と多かった。
【主要部位別治療の内訳】
自施設の初回治療・継続治療の症例405件の治療別内訳は、観血的治療(手術+内視鏡)46.4%、放射線治療19%、化学療法23.5%、内分泌療5.7%、その他の治療1.7%、経過観察12.3%であった。

診断年別登録件数
（参考）

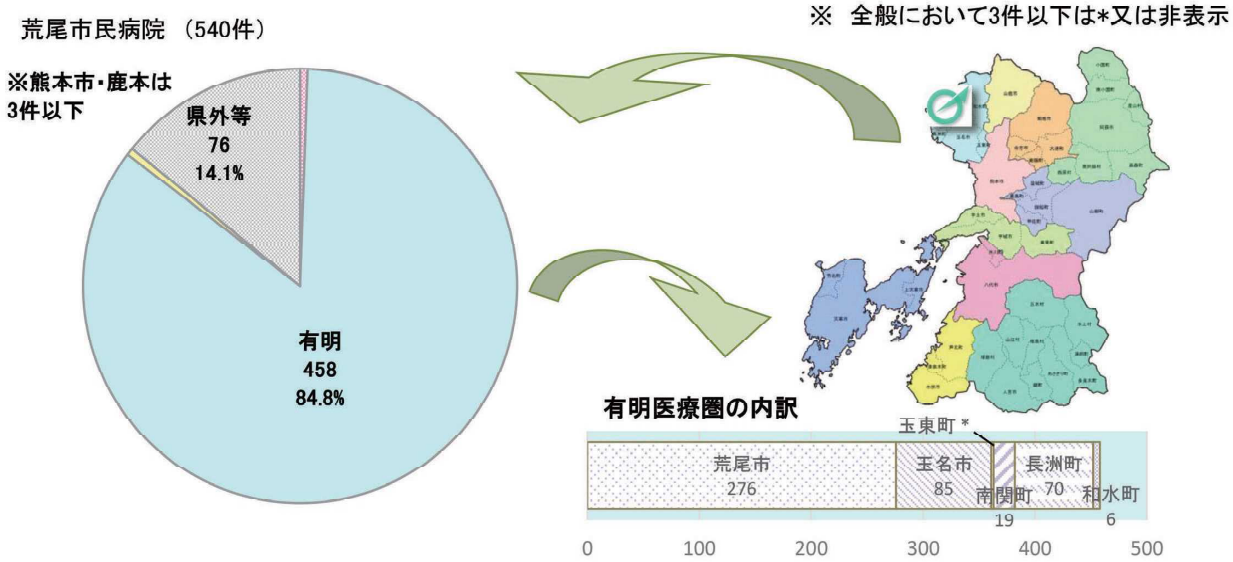
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

Ⅱ　施設別統計

荒尾市民病院

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



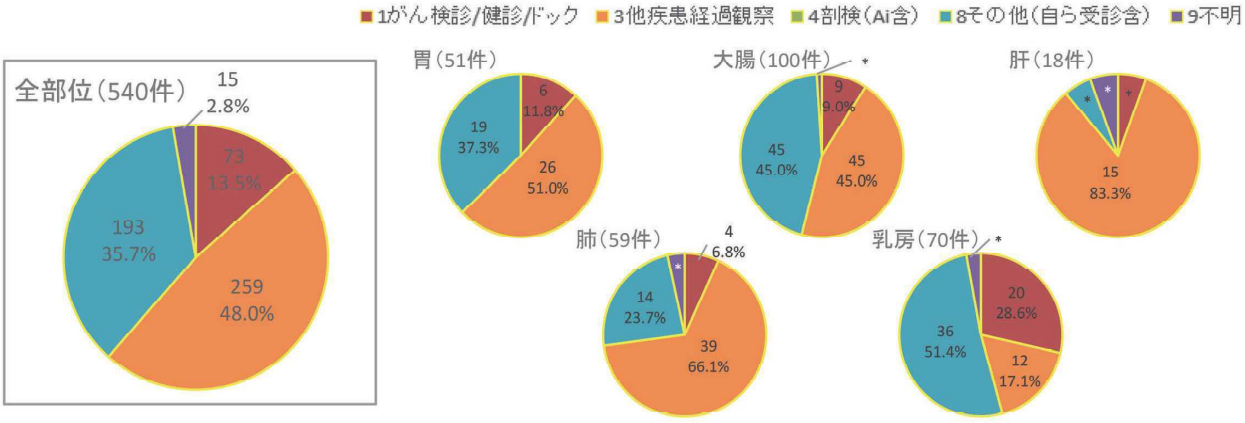
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	複数部位	*	鹿本	複数部位	*	上益城			球磨		
宇城			菊池			八代			天草		
有明	大腸	88	阿蘇			芦北			県外等	肺	21
	乳房	61								悪性血液	15
	胃	48								大腸	12
	悪性血液	41								乳房	7
	その他	41								その他	5

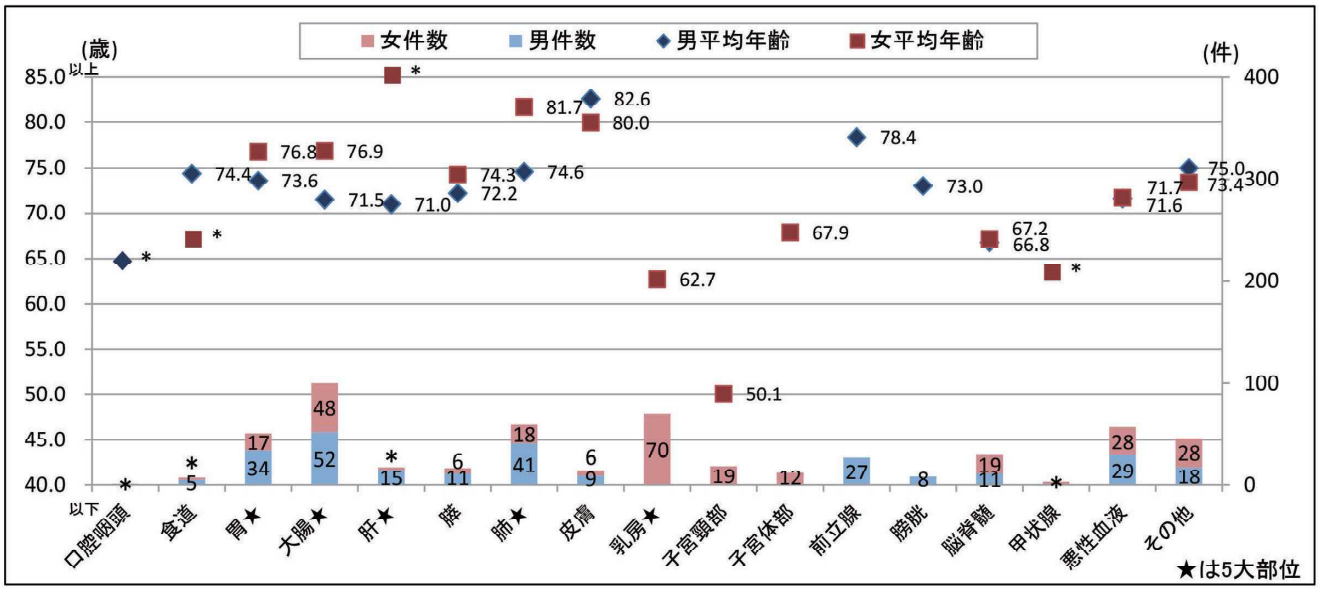
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	52
肺	41
胃	34
悪性血液	29
前立腺	27
その他	18
肝	15
膵	11
脳脊髄	11
皮膚	9
膀胱	8
食道	5
口腔咽頭	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	261

0～14歳	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
複数部位	*
計	*

50～59歳	
大腸	5
悪性血液	4
複数部位	*
計	18

60～69歳	
大腸	18
肺	9
悪性血液	8
胃	7
肝	5
など	
計	64

70～79歳	
胃	18
肺	17
大腸	13
前立腺	11
複数部位	各6
など	
計	83

80～89歳	
大腸	11
肺	10
悪性血液	9
前立腺	8
その他	8
など	
計	74

90歳～	
大腸	4
前立腺	4
複数部位	*
計	16

女性全体	
乳房	70
大腸	48
悪性血液	28
その他	27
脳脊髄	20
子宮頸部	19
肺	18
胃	17
子宮体部	12
膵	6
皮膚	6
肝	*
甲状腺	*
食道	*
口腔咽頭	
前立腺	
膀胱	
計	279

0～14歳	

15～39歳	
子宮頸部	7
など	
計	8

40～49歳	
乳房	14
複数部位	*
計	25

50～59歳	
乳房	13
子宮体部	5
その他	4
複数部位	*
計	29

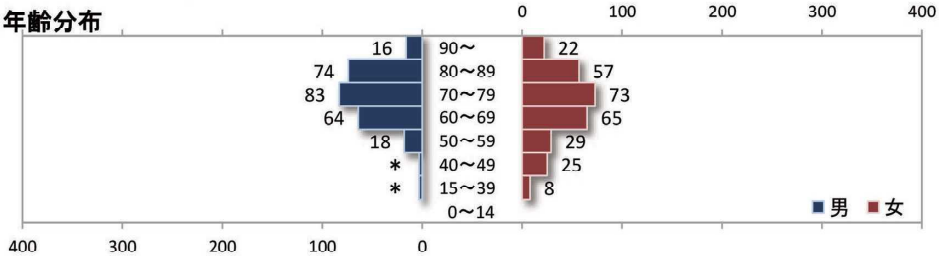
60～69歳	
乳房	22
大腸	11
悪性血液	7
その他	6
子宮頸部	4
複数部位	*
計	65

70～79歳	
大腸	18
乳房	14
悪性血液	9
胃	6
肺	6
など	
計	73

80～89歳	
大腸	14
肺	8
悪性血液	7
その他	7
複数部位	各6
など	
計	57

90歳～	
その他	5
大腸	4
複数部位	*
計	22

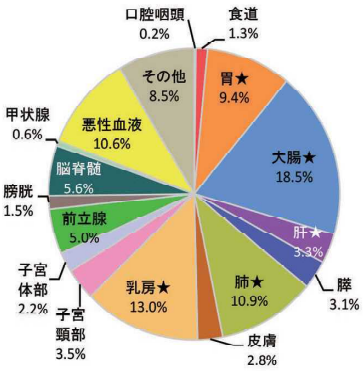
年齢分布



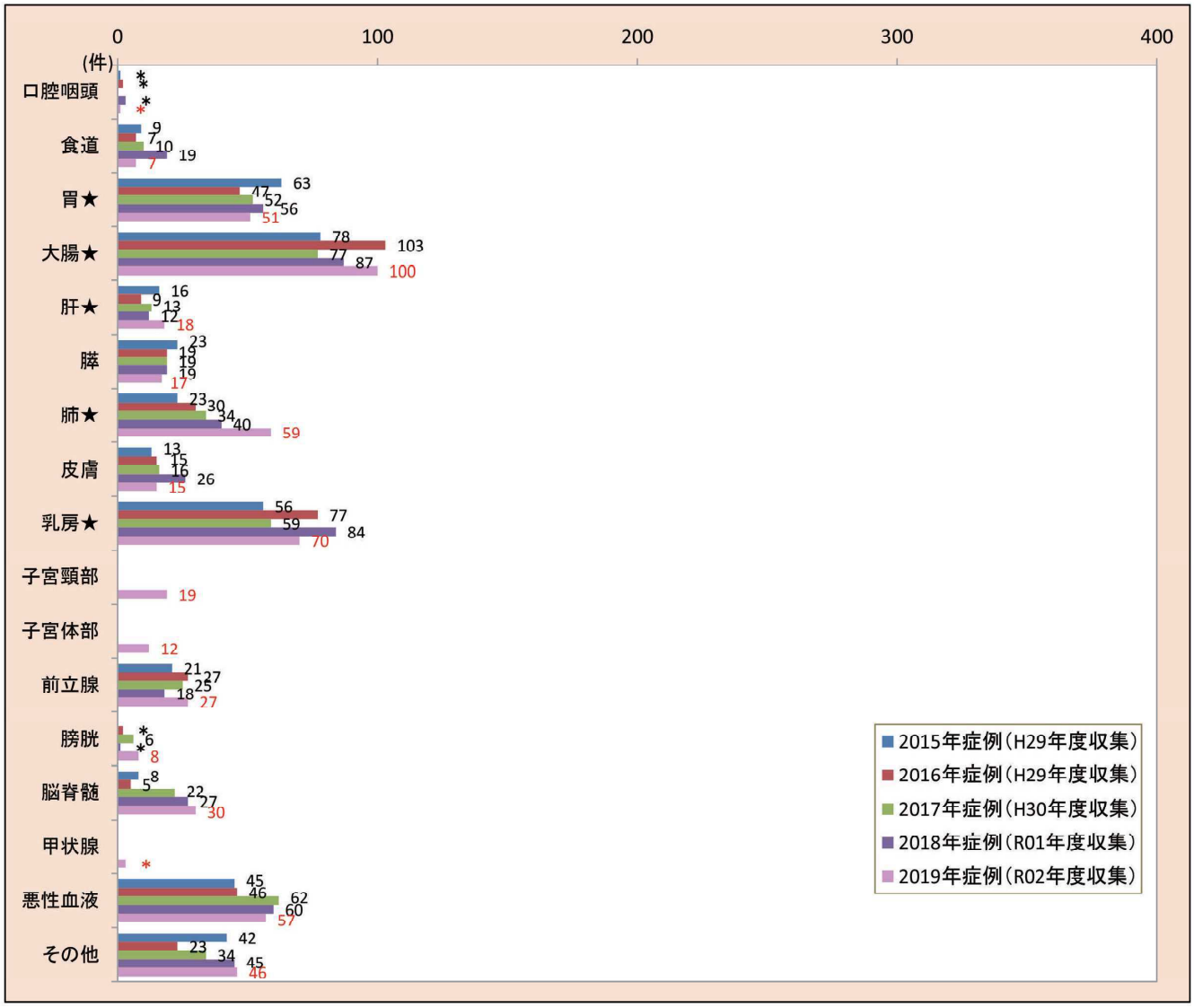
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	*	*		*	*
食道	9	7	10	19	7
胃★	63	47	52	56	51
大腸★	78	103	77	87	100
肝★	16	9	13	12	18
膵	23	19	19	19	17
肺★	23	30	34	40	59
皮膚	13	15	16	26	15
乳房★	56	77	59	84	70
子宮頸部	29（頸部・体部）	24（頸部・体部）	18（頸部・体部）	27（頸部・体部）	19
子宮体部					12
前立腺	21	27	25	18	27
膀胱		*	6	*	8
脳脊髄	8	5	22	27	30
甲状腺					*
悪性血液疾患	45	46	62	60	57
その他	42	23	34	45	46
計	427	436	447	524	540

2019年診断症例　主要部位別割合

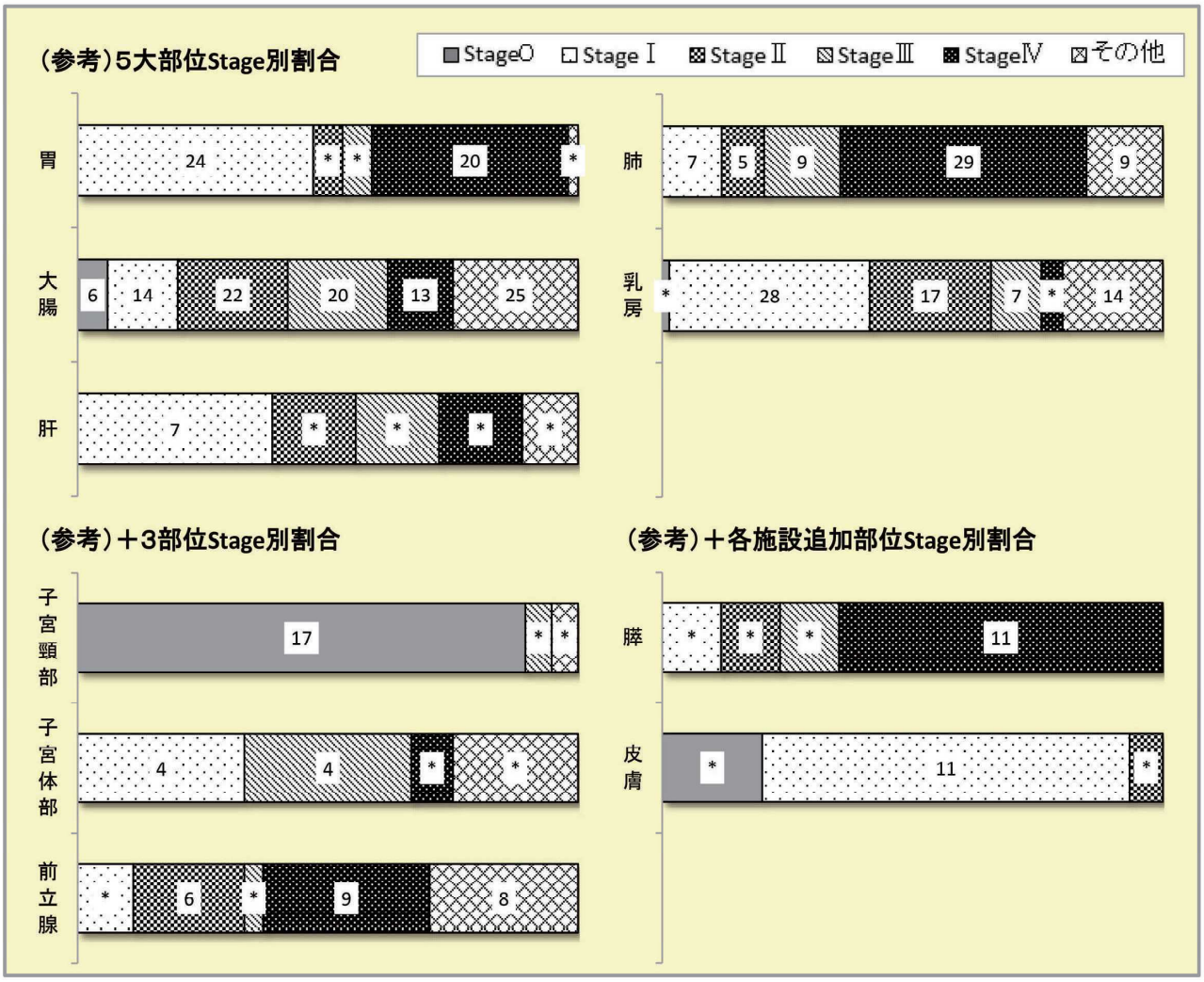


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

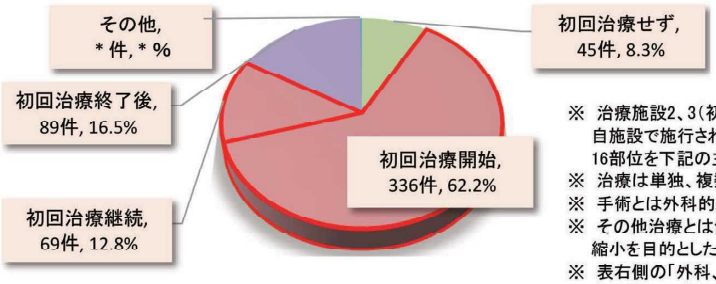
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	*					*	
食道	7	*	5				*
胃★	51		24	*	*	20	*
大腸★	100	6	14	22	20	13	25
肝★	18		7	*	*	*	*
膵	17		*	*	*	11	
肺★	59		7	5	9	29	9
皮膚	15	*	11	*			
乳房★	70	*	28	17	7	*	14
子宮頸部	19	17			*		*
子宮体部	12		4		4	*	*
前立腺	27		*	6	*	9	8
膀胱	8	*	*		*		4
脳脊髄	30						30
甲状腺	*		*	*			
悪性血液疾患	57		*	*	5	7	40
その他	46	*	7	6	*	10	19
計	540	31	117	70	58	107	157



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

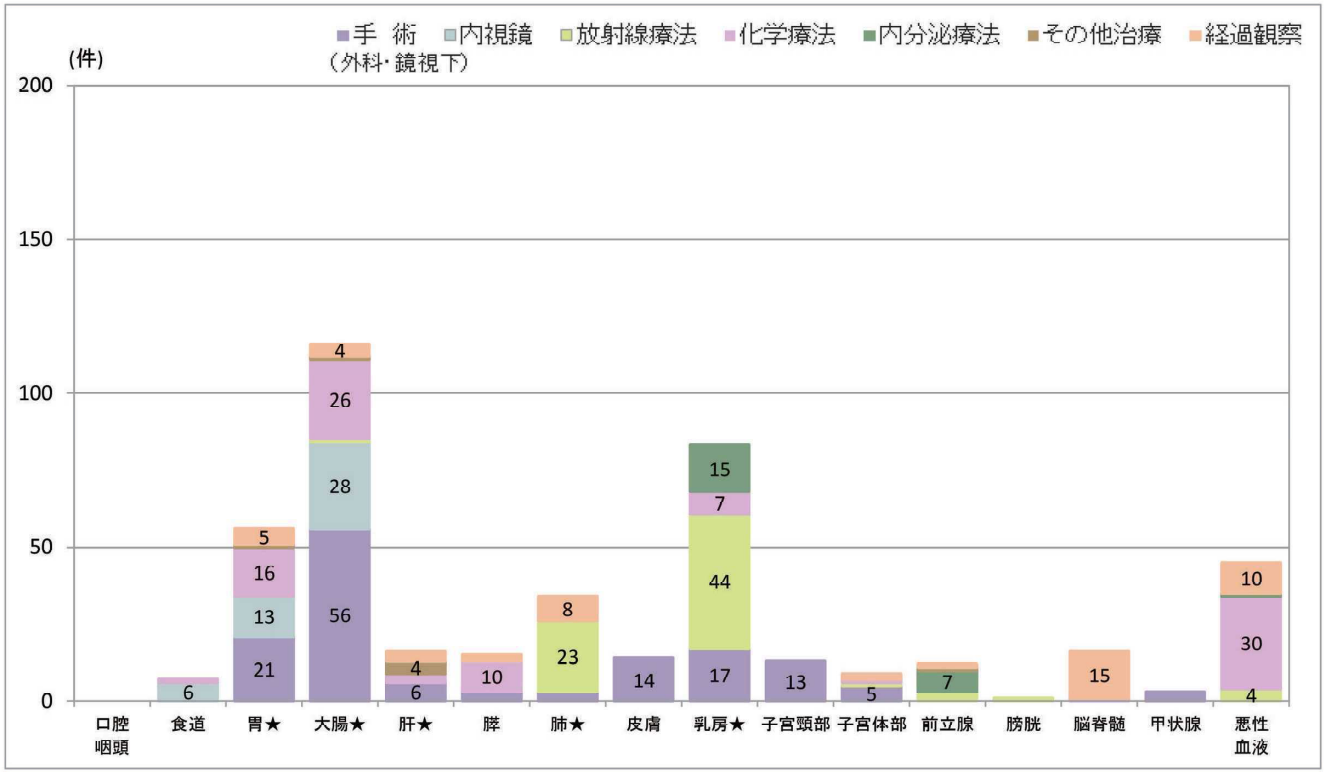
治療施設	件数
1初回治療せず	45
2初回治療開始	336
3初回治療継続	69
4初回治療終了後	89
8その他	*
計	540



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

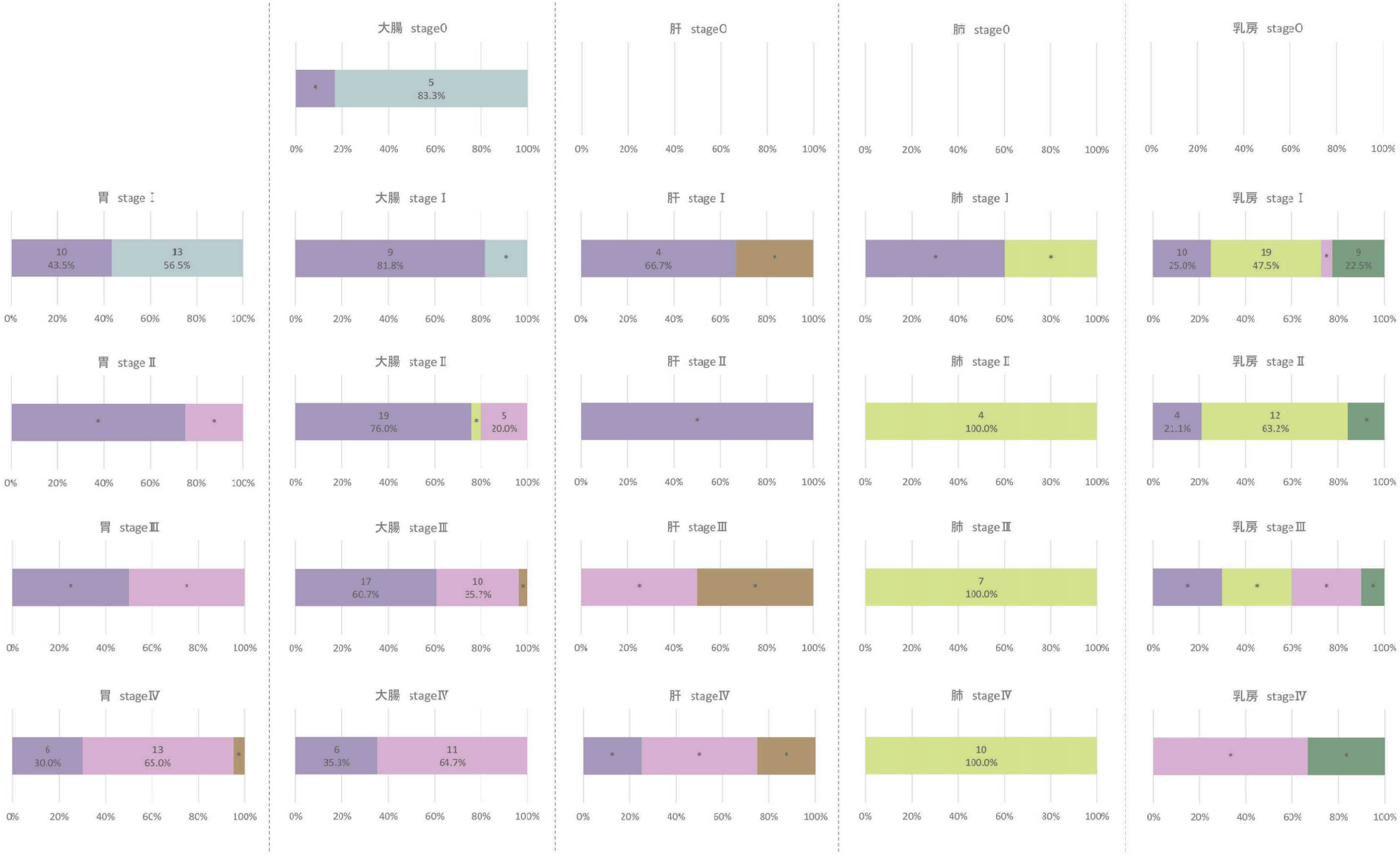
	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		6		*				7	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	21	13		16		*	5	56	85.3%	14.7%	0.0%
大腸★	56	28	*	26		*	4	116	88.1%	9.5%	2.4%
肝★	6			*		4	*	16	66.7%	33.3%	0.0%
膵	*			10			*	15	33.3%	66.7%	0.0%
肺★	*		23				8	34	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	14							14	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	17		44	7	15			83	94.1%	5.9%	0.0%
子宮頸部	13							13	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	5		*	*			*	9	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺			*		7	*	*	12			
膀胱			*					*			
脳脊髄				*			15	16			
甲状腺	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患			4	30	*		10	45			
計	141	47	77	95	23	7	50	440			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■内視鏡 ■放射線療法 ■化学療法 ■内分泌療法 ■その他治療



熊本県院内がん登録データに係る統計　ー2019年診断症例ー

医 療 機 関 名	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	熊本市中央区二の丸1-5
病　床　数	550床
診 療 科 数	34科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.09.01
平均在院日数	12.5（日）
入院患者数	14,761（人）
外来患者延数	146,401（人）
院内がん登録件数	1,909（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　1　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

【登録件数・症例数の多い登録部位】
国立病院機構熊本医療センターの2019年診断症例の院内がん登録件数は1909件であった。例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く310件、次いで大腸(結腸・直腸)273件、子宮頸部172件であった。(その他231件除く)

【性別・件数が多い部位別罹患平均年齢】
男性:①悪性血液疾患 173件 68.8歳　②大腸 139件 69.6歳　③前立腺　131件 74.8歳
女性:①子宮頸部　172件 49.4歳　②乳房 152件 62.1歳　③悪性血液疾患 137件 68.9歳

【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】
1)『悪性血液疾患』日本骨髄バンクと日本臍帯血バンクの認定施設として、同種造血幹細胞移植を実践している。
2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
3)『子宮頸部』過去の実績から多くのがん患者様の治療を経験しており、手術療法、化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。

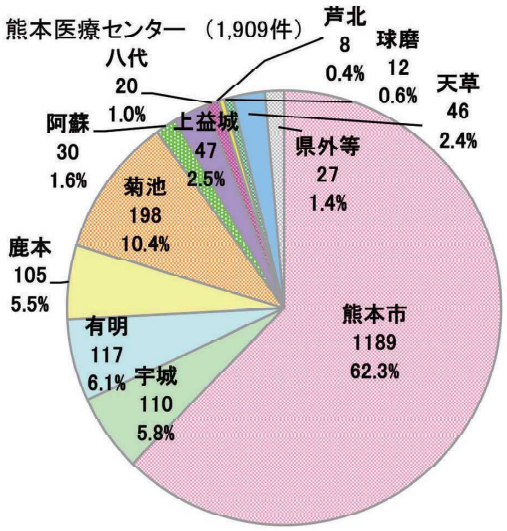
【熊本医療センターの特徴・役割】
精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。
2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医4名の体制となったことで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。
2020年より新館にがん総合医療センターが開設したことで、より多くの患者様に寄り添ったがん治療を提供する体制を整えた。今後も地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図っていく。

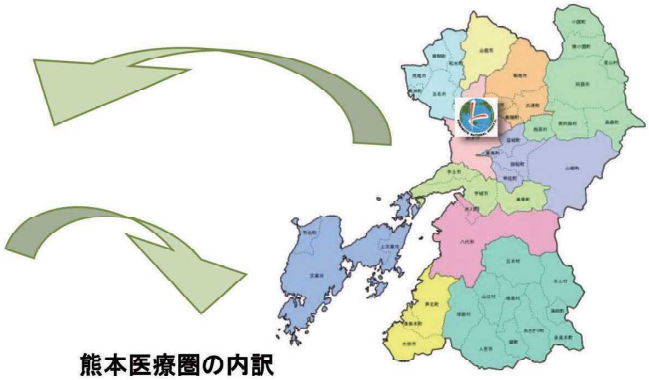
診断年別登録件数
（参考）

※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





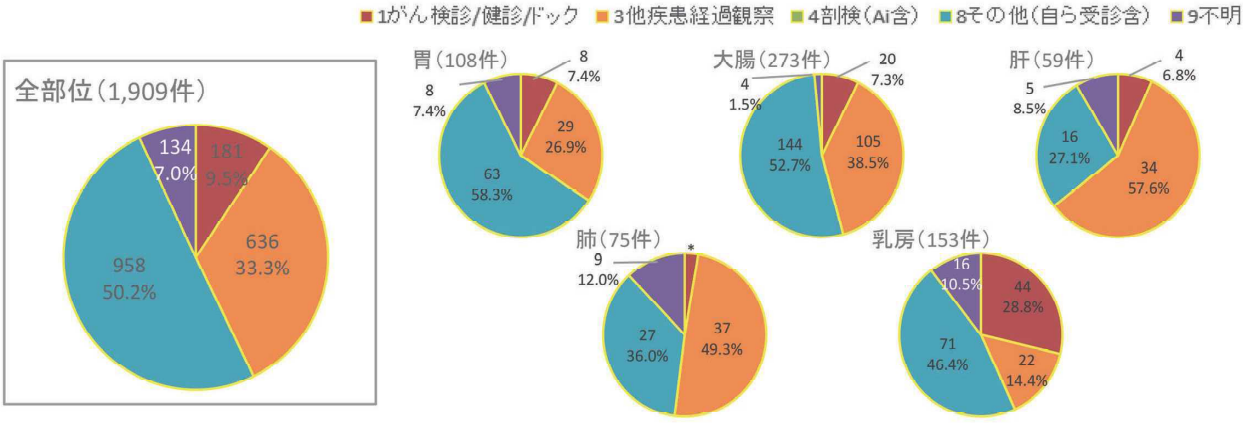
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	大腸	193	鹿本	前立腺	15	上益城	悪性血液	12	球磨	悪性血液	4
	悪性血液	172		その他	15		大腸	8		複数部位	*
	その他	132		悪性血液	13		子宮頸部	7			
	乳房	113		膀胱	12		子宮体部	4			
	子宮頸部	91		複数部位	各11		その他	4			
宇城	悪性血液	26	菊池	悪性血液	27	八代	前立腺	6	天草	悪性血液	15
	その他	17		その他	26		その他	5		その他	11
	皮膚	13		膀胱	23		悪性血液	4		子宮頸部	5
	大腸	11		子宮頸部	22		複数部位	*		膀胱	4
	子宮頸部	10		大腸	20					複数部位	*
有明	大腸	26	阿蘇	子宮頸部	6	芦北	悪性血液	4	県外等	悪性血液	12
	子宮頸部	20		悪性血液	6		複数部位	*		複数部位	*
	悪性血液	15		その他	6						
	その他	12		膀胱	5						
	子宮体部	10		複数部位	*						

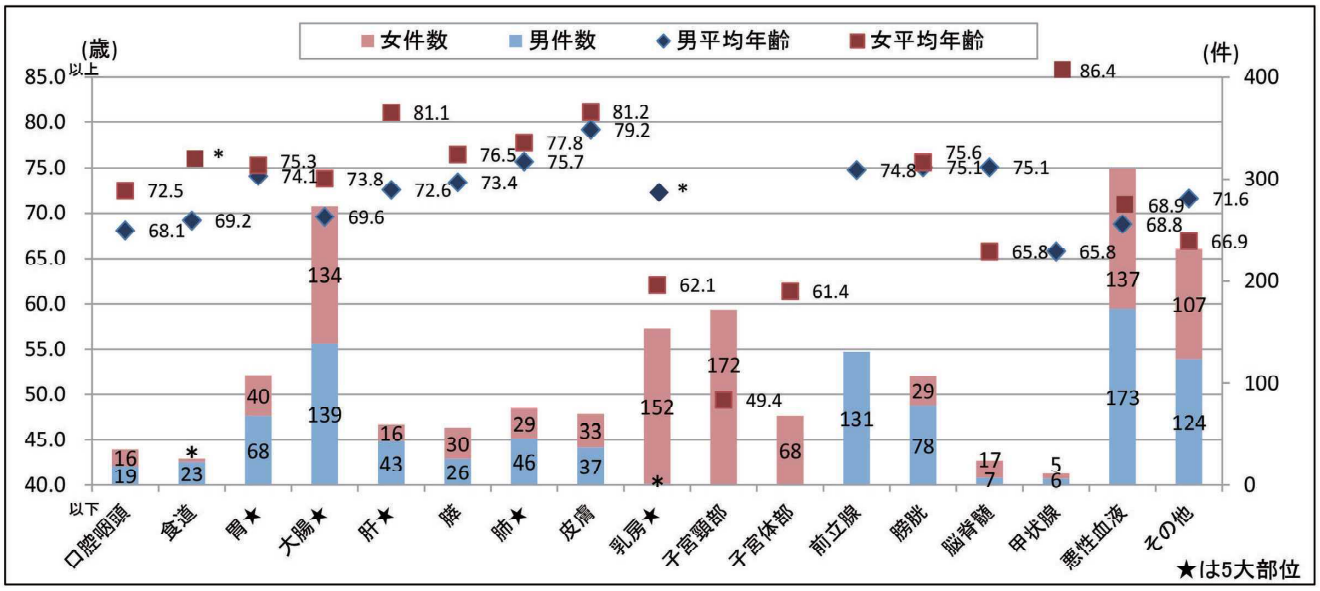
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

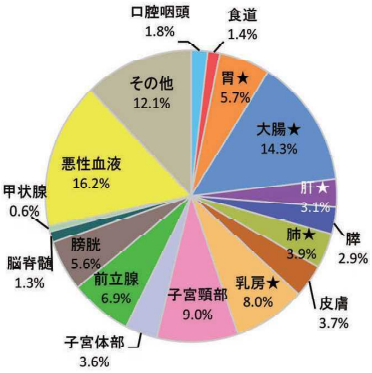
男性全体	
悪性血液	173
大腸	139
前立腺	131
その他	124
膀胱	78
胃	68
肺	46
肝	43
皮膚	37
膵	26
食道	23
口腔咽頭	19
脳脊髄	7
甲状腺	6
乳房	*
子宮頸部	
子宮体部	
計	921

0～14歳	

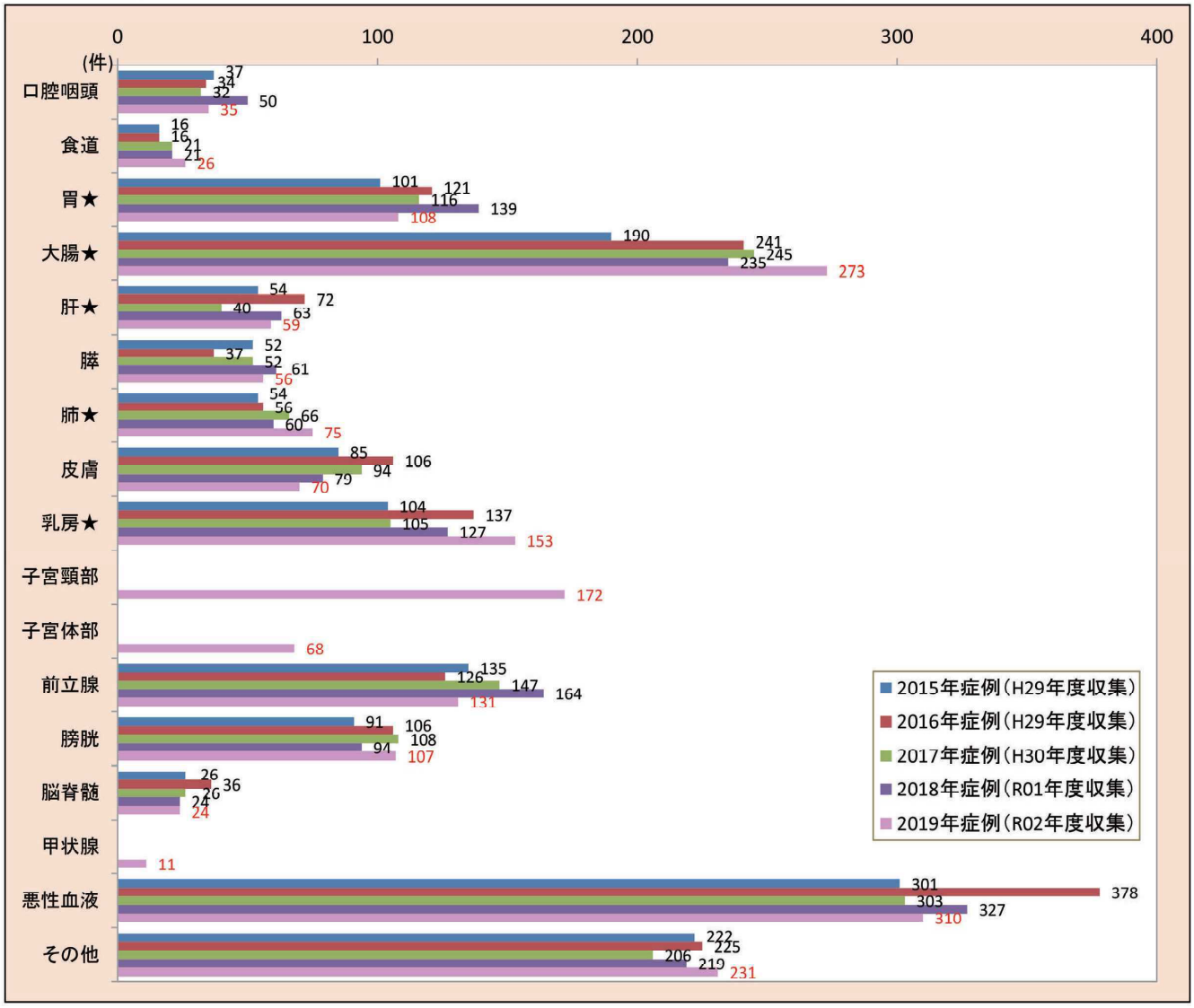
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	37	34	32	50	35
食道	16	16	21	21	26
胃★	101	121	116	139	108
大腸★	190	241	245	235	273
肝★	54	72	40	63	59
膵	52	37	52	61	56
肺★	54	56	66	60	75
皮膚	85	106	94	79	70
乳房★	104	137	105	127	153
子宮頸部	270（頸部・体部）	258（頸部・体部）	240（頸部・体部）	210（頸部・体部）	172
子宮体部					68
前立腺	135	126	147	164	131
膀胱	91	106	108	94	107
脳脊髄	26	36	26	24	24
甲状腺					11
悪性血液疾患	301	378	303	327	310
その他	222	225	206	219	231
計	1,738	1,949	1,801	1,873	1,909

2019年診断症例　主要部位別割合

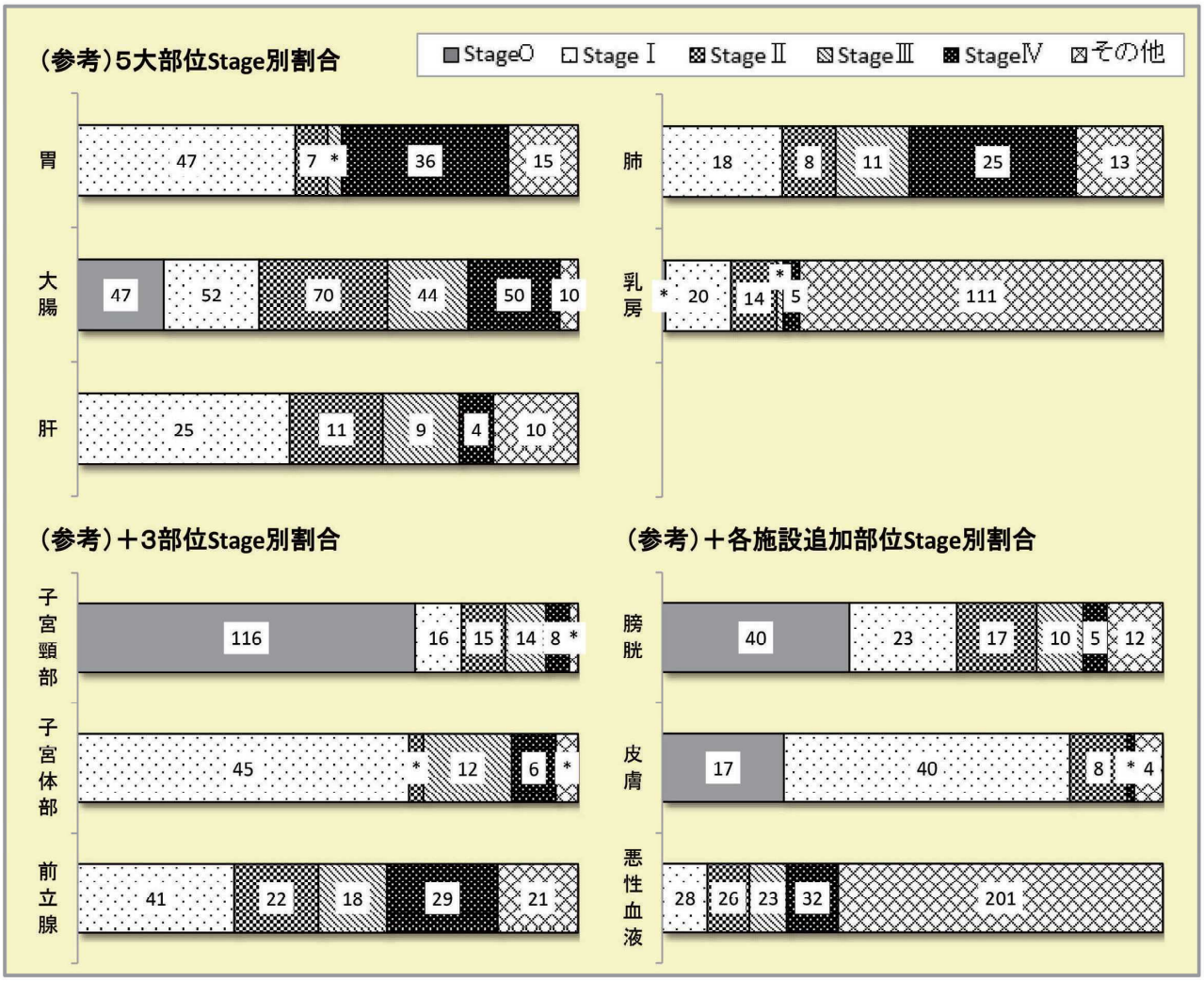


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

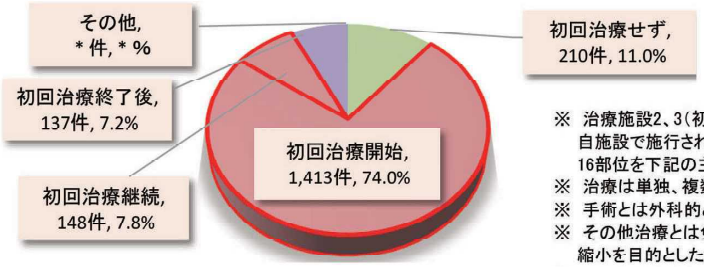
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	35	*	11	*	*	6	10
食道	26	4	5	*	*	10	*
胃★	108		47	7	*	36	15
大腸★	273	47	52	70	44	50	10
肝★	59		25	11	9	4	10
膵	56		14	7	4	28	*
肺★	75		18	8	11	25	13
皮膚	70	17	40	8		*	4
乳房★	153	*	20	14	*	5	111
子宮頸部	172	116	16	15	14	8	*
子宮体部	68		45	*	12	6	*
前立腺	131		41	22	18	29	21
膀胱	107	40	23	17	10	5	12
脳脊髄	24						24
甲状腺	11		4	*	*	*	*
悪性血液疾患	310		28	26	23	32	201
その他	231	15	76	17	31	37	55
計	1,909	243	465	229	188	284	500



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

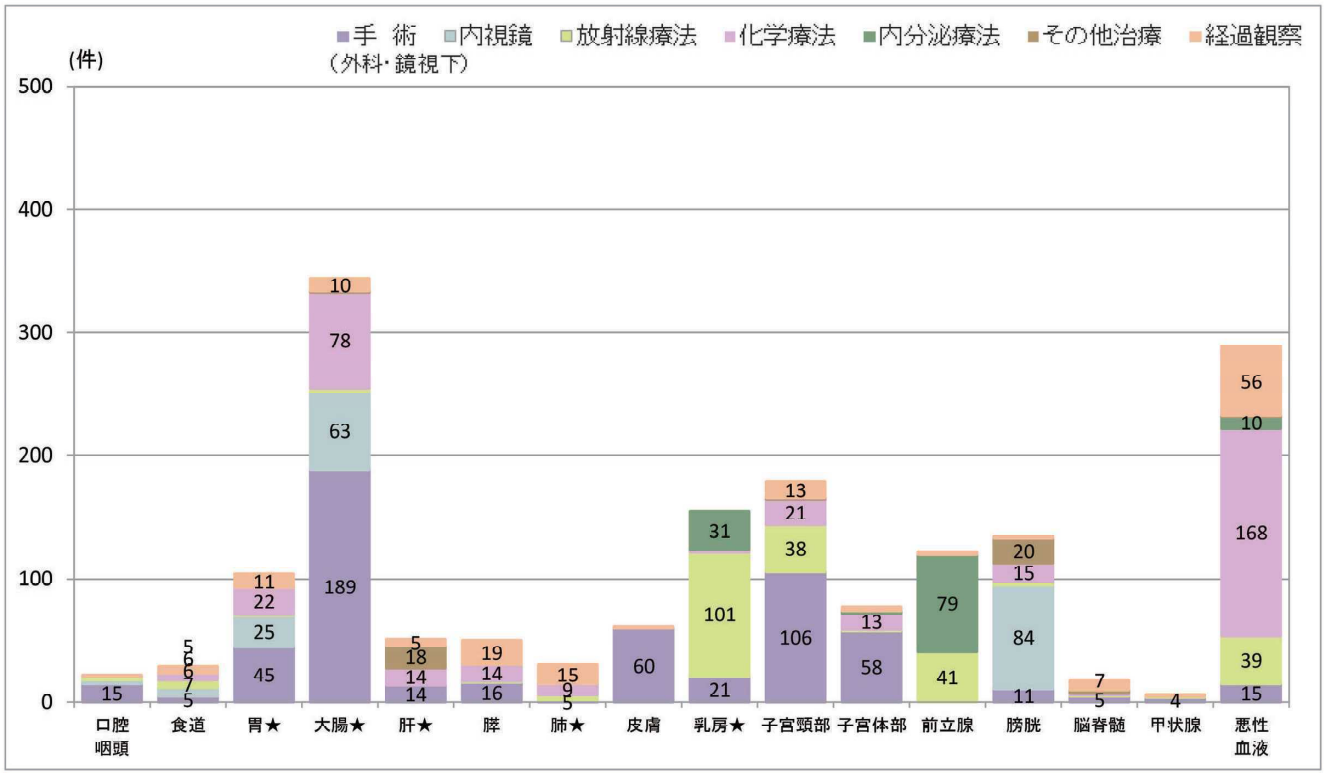
治療施設	件数
1初回治療せず	210
2初回治療開始	1,413
3初回治療継続	148
4初回治療終了後	137
8その他	*
計	1,909



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

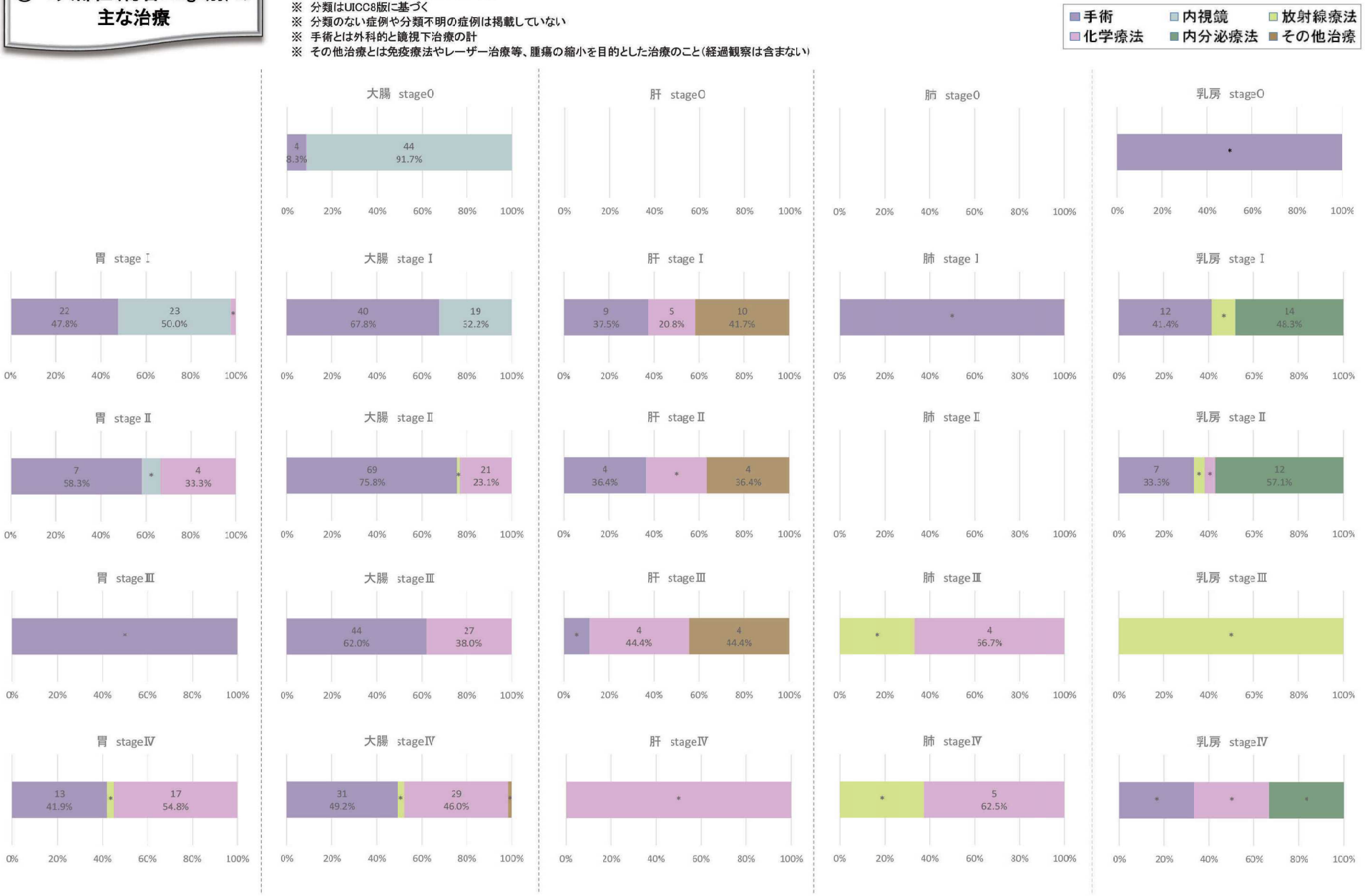
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	15	*	*				*	22	94.4%	5.6%	0.0%
食道	5	7	6	6			5	29	91.7%	8.3%	0.0%
胃★	45	25	*	22			11	104	82.6%	17.4%	0.0%
大腸★	189	63	*	78		*	10	344	88.2%	11.3%	0.4%
肝★	14			14		18	5	51	92.9%	7.1%	0.0%
膵	16		*	14			19	50	93.8%	6.3%	0.0%
肺★	*		5	9			15	30	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	60						*	61	93.3%	5.0%	1.7%
乳房★	21		101	*	31			155	90.5%	9.5%	0.0%
子宮頸部	106		38	21		*	13	179	99.1%	0.9%	0.0%
子宮体部	58		*	13	*		*	77	91.4%	8.6%	0.0%
前立腺			41		79		*	122			
膀胱	11	84	*	15		20	*	134	66.7%	31.0%	2.3%
脳脊髄	5		*	*		*	7	17	80.0%	20.0%	0.0%
甲状腺	4		*				*	6	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	15		39	168	10	*	56	289	60.0%	33.3%	6.7%
計	565	182	244	363	122	44	150	1,670			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　ー2019年診断症例ー

医 療 機 関 名	熊本赤十字病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	熊本市東区長嶺南二丁目1番1号
病　床　数	490床
診 療 科 数	32科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	9.3（日）
入院患者数	17,343（人）
外来患者延数	278,938（人）
院内がん登録件数	2,053（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　2　／初級者　0　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

【医療圏】
熊本市44.6%（前年46.4%）　菊池25.4%（前年19.6%）
阿蘇11.2%（前年12.6%）
○担当医療圏である熊本、菊池、阿蘇が約8割を占め、地域がん診療連携拠点病院の役割を果たしていると考えられる。

【件数の比較】
・全体件数　2,053件（前年：1,981件）
・部位別件数（『その他』を除く上位3部位）
全体　『大腸』269件（前年289件）、『乳房』231件（前年211件）、『肺』208件（前年136件）
男性　『大腸』153件（前年173件）、『前立腺』133件（前年159件）、『胃』136件（前年145件）
女性　『乳房』230件（前年208件）、『子宮頸部』175件（前年131件）、『大腸』116件（前年116件）
○全体の部位別件数では、『大腸』が最も多くを占めた。
5大がん（胃・大腸・肝・肺・乳房）の件数は958件で全体の約半数を占める。
○『肺』の件数が増加した理由については、呼吸器外科を新設し、専門の医師が増えたことによると考えられる。

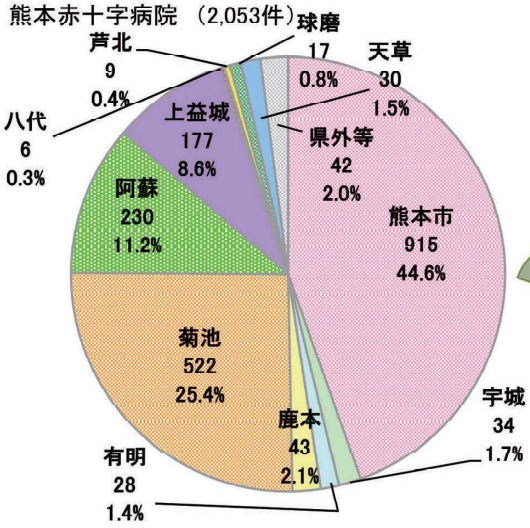
【治療内容の特徴】
○胃のステージⅠ、大腸のステージ0では内視鏡治療を積極的に行う。手術、化学療法、放射線治療などそれぞれの専門家がいることにより集学的治療が可能となっている。
○2019年から手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入（適応：肺がん・縦隔腫瘍・直腸がん）し、患者の状況に合わせた治療提案を行っている。
○呼吸器領域については、県内唯一の単孔式胸腔鏡手術を実施している。

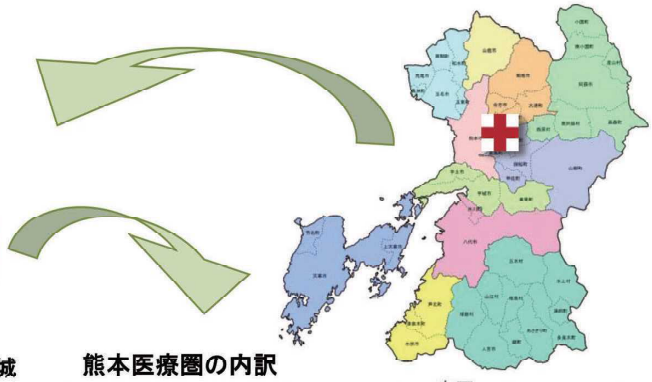
診断年別登録件数
（参考）

※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





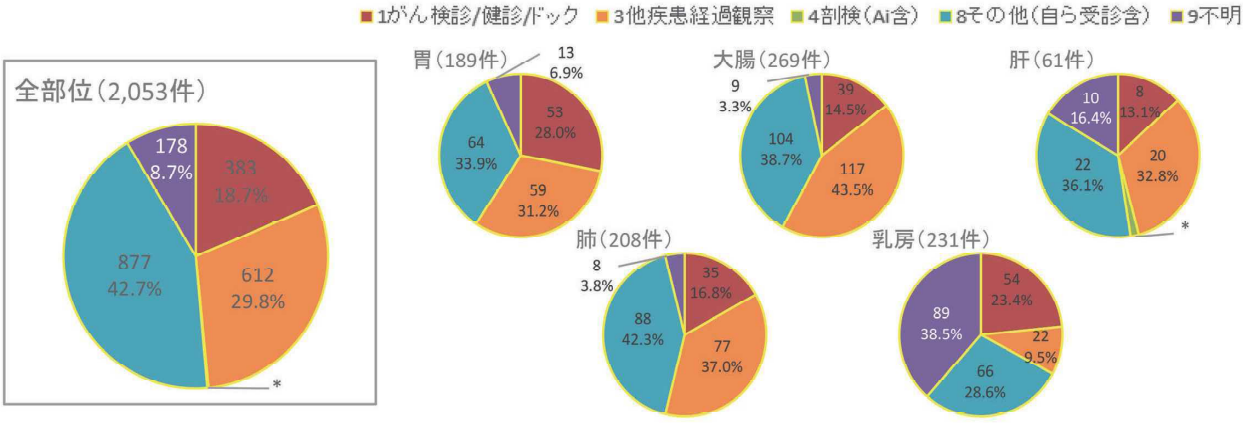
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	大腸	128	鹿本	乳房	11	上益城	乳房	22	球磨	前立腺	4
	乳房	104		大腸	5		大腸	20		その他	4
	その他	101		悪性血液	5		その他	20		複数部位	*
	肺	94		肝	4		悪性血液	17			
	胃	79		肺	4		子宮頸部	14			
宇城	その他	5	菊池	大腸	78	八代	複数部位	*	天草	悪性血液	7
	大腸	4		胃	65					肺	5
	肺	4		乳房	65					大腸	4
	前立腺	4		子宮頸部	52					乳房	4
	悪性血液	4		肺	49					前立腺	4
有明	肺	5	阿蘇	その他	35	芦北	肺	4	県外等	その他	7
	胃	4		肺	27		複数部位	*		胃	5
	乳房	4		子宮頸部	21					肺	5
	その他	4		悪性血液	21					悪性血液	5
	複数部位	*		前立腺	20					大腸	4

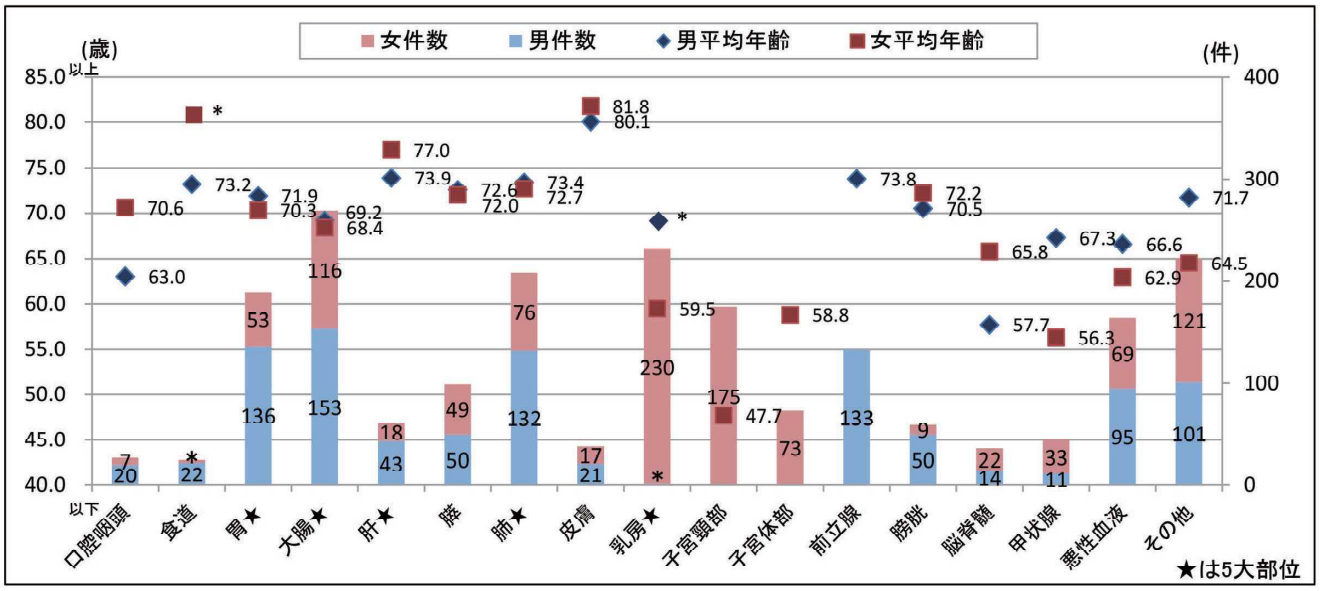
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	153
胃	136
前立腺	133
肺	132
その他	101
悪性血液	95
膵	50
膀胱	50
肝	43
食道	22
皮膚	21
口腔咽頭	20
脳脊髄	14
甲状腺	11
乳房	*
子宮頸部	
子宮体部	
計	982

0～14歳	
悪性血液	5
複数部位	*
計	6

15～39歳	
悪性血液	6
複数部位	*
計	14

40～49歳	
大腸	7
悪性血液	4
複数部位	*
計	23

50～59歳	
大腸	16
胃	12
肺	11
その他	8
複数部位など	各6
計	83

60～69歳	
大腸	52
肺	43
胃	42
前立腺	33
その他	24
など	
計	270

70～79歳	
前立腺	65
胃	53
大腸	48
その他	47
肺	39
など	
計	350

80～89歳	
肺	33
大腸	27
悪性血液	25
前立腺	24
胃	20
など	
計	205

90歳～	
胃	6
前立腺	6
肺	5
悪性血液	4
その他	4
複数部位	*
計	31

女性全体	
乳房	230
子宮頸部	175
その他	121
大腸	116
肺	76
子宮体部	73
悪性血液	69
胃	53
膵	49
甲状腺	33
脳脊髄	22
肝	18
皮膚	17
膀胱	9
口腔咽頭	7
食道	*
前立腺	
計	1071

0～14歳	
悪性血液	9
複数部位	*
計	11

15～39歳	
子宮頸部	57
乳房	15
その他	9
甲状腺	8
悪性血液	4
複数部位	*
計	102

40～49歳	
子宮頸部	50
乳房	46
子宮体部	11
その他	11
大腸	9
など	
計	142

50～59歳	
乳房	55
子宮頸部	35
子宮体部	32
その他	19
大腸	17
など	
計	192

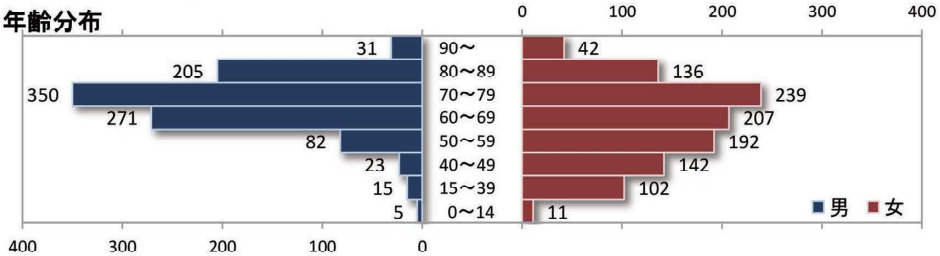
60～69歳	
乳房	53
大腸	29
その他	27
子宮頸部	17
子宮体部	16
など	
計	207

70～79歳	
乳房	44
肺	33
大腸	31
その他	27
膵	23
など	
計	239

80～89歳	
その他	20
大腸	19
悪性血液	19
肺	14
乳房	14
など	
計	136

90歳～	
大腸	8
その他	6
肺	5
皮膚	5
膵	4
複数部位	*
計	42

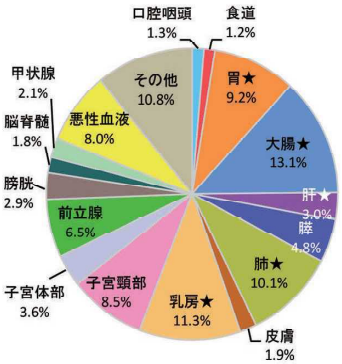
年齢分布



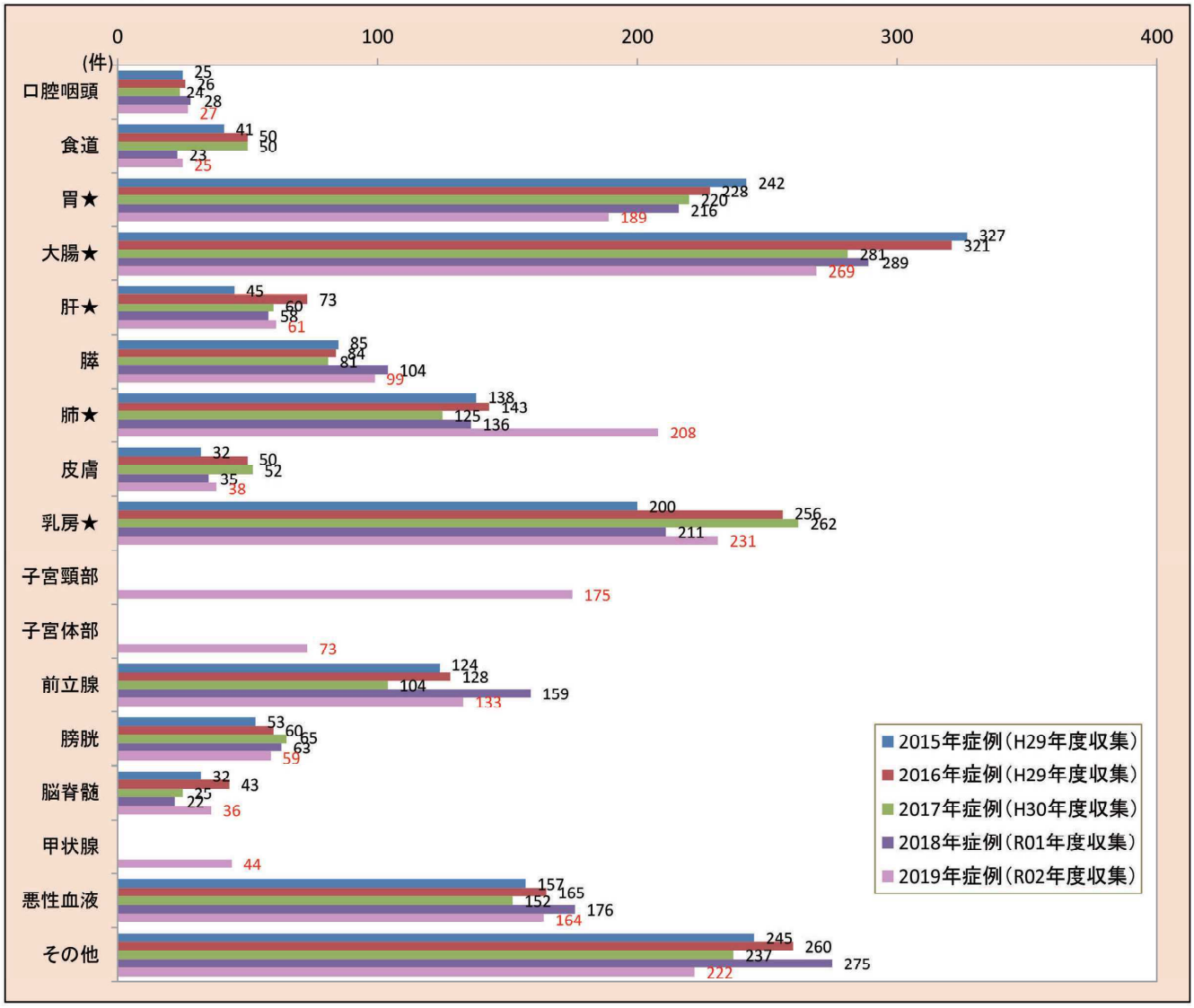
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	25	26	24	28	27
食道	41	50	50	23	25
胃★	242	228	220	216	189
大腸★	327	321	281	289	269
肝★	45	73	60	58	61
膵	85	84	81	104	99
肺★	138	143	125	136	208
皮膚	32	50	52	35	38
乳房★	200	256	262	211	231
子宮頸部	138（頸部・体部）	252（頸部・体部）	201（頸部・体部）	186（頸部・体部）	175
子宮体部					73
前立腺	124	128	104	159	133
膀胱	53	60	65	63	59
脳脊髄	32	43	25	22	36
甲状腺					44
悪性血液疾患	157	165	152	176	164
その他	245	260	237	275	222
計	1,884	2,139	1,939	1,981	2,053

2019年診断症例　主要部位別割合

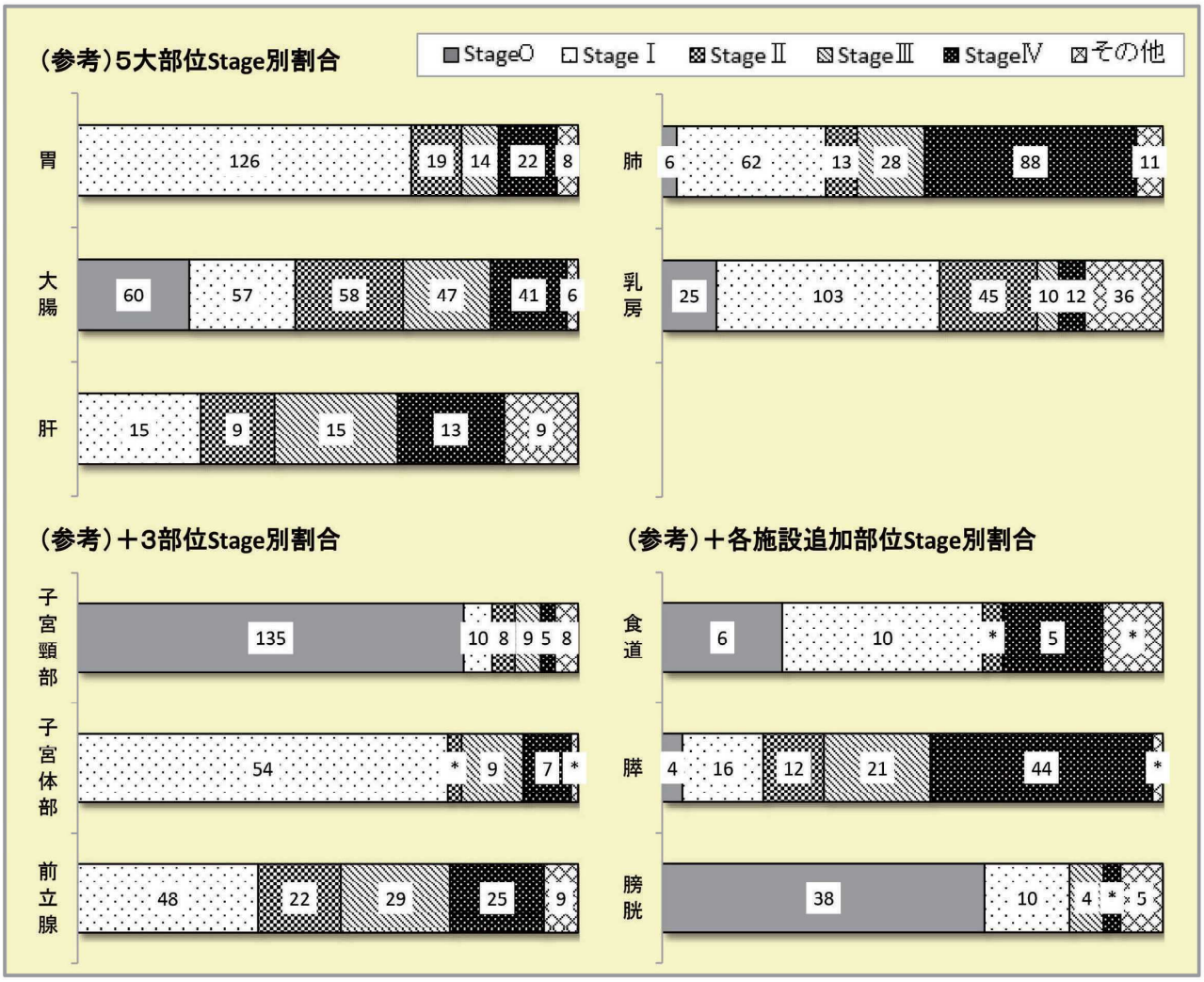


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

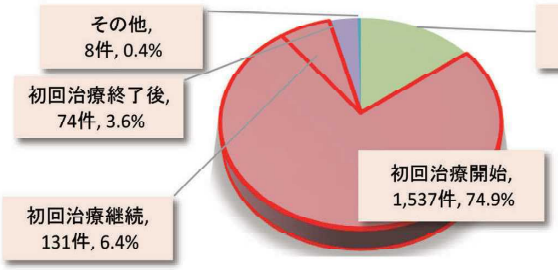
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	27	*	9	6	*	7	*
食道	25	6	10	*		5	*
胃★	189		126	19	14	22	8
大腸★	269	60	57	58	47	41	6
肝★	61		15	9	15	13	9
膵	99	4	16	12	21	44	*
肺★	208	6	62	13	28	88	11
皮膚	38	6	26	4			*
乳房★	231	25	103	45	10	12	36
子宮頸部	175	135	10	8	9	5	8
子宮体部	73		54	*	9	7	*
前立腺	133		48	22	29	25	9
膀胱	59	38	10		4	*	5
脳脊髄	36						36
甲状腺	44		28	13		*	*
悪性血液疾患	164		21	18	10	28	87
その他	222	7	77	26	29	28	55
計	2,053	288	672	256	228	328	281



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

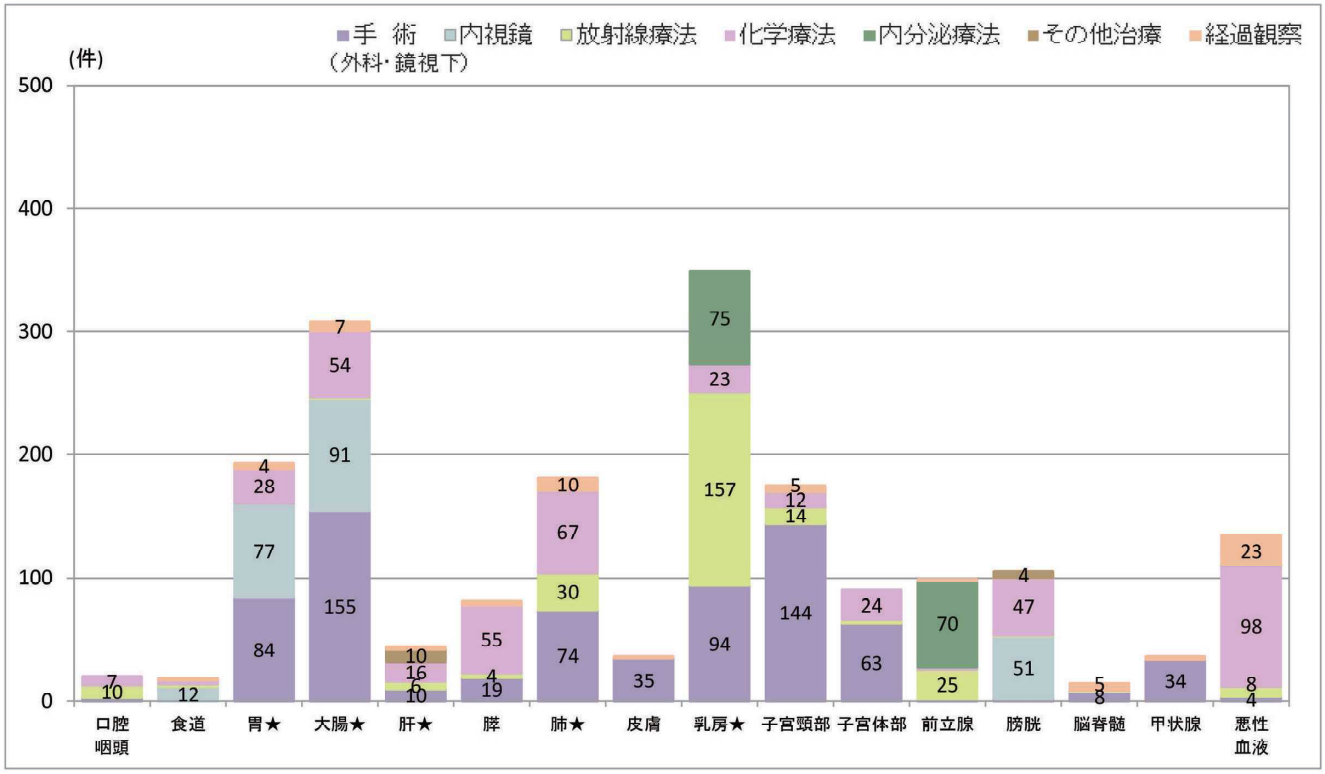
治療施設	件数
1初回治療せず	303
2初回治療開始	1,537
3初回治療継続	131
4初回治療終了後	74
8その他	8
計	2,053



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	*		10	7				20	100.0%	0.0%	0.0%
食道		12	*	*			*	18	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	84	77		28			4	193	99.4%	0.6%	0.0%
大腸★	155	91	*	54			7	308	95.3%	4.7%	0.0%
肝★	10		6	16		10	*	44	90.0%	10.0%	0.0%
膵	19		4	55			*	81	84.2%	15.8%	0.0%
肺★	74		30	67			10	181	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	35						*	36	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	94		157	23	75			349	97.9%	2.1%	0.0%
子宮頸部	144		14	12			5	175	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	63		*	24				90	93.7%	6.3%	0.0%
前立腺	*		25	*	70		*	99	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	*	51	*	47		4		105	86.8%	13.2%	0.0%
脳脊髄	8		*				5	14	87.5%	12.5%	0.0%
甲状腺	34						*	36	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	4		8	98	*		23	134	75.0%	25.0%	0.0%
計	730	231	262	436	146	14	64	1,883			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■内視鏡 ■放射線療法 ■化学療法 ■内分泌療法 ■その他治療

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医 療 機 関 名	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	熊本市南区近見5丁目3番1号
病　床　数	400床
診 療 科 数	19科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	9.2（日）
入院患者数	15,094（人）
外来患者延数	147,363（人）
院内がん登録件数	1,866（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　2　／初級者　2　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

【患者住所医療圏別登録状況】
熊本市(45.0%)、宇城(16.2%)2つの医療圏で6割を占めていた。

【年齢＝()内は2018年診断症例との比較】
全体平均:71.1歳(+0.3歳)　男性平均:71.1歳(+0.5歳)　女性平均:71.0歳(-0.4歳)
男女ともに平均年齢71歳。年齢分布をみると、2018年と同様、男女ともに70～79歳の罹患数が一番多い結果となった。

【登録件数】
登録件数は1,866件(男性1,185件、女性681件)で、前年より78件増加。男女比に関してはほぼ変化なく、男性が63.5%(前年70.2%)、女性が36.5%(前年29.8%)であった。

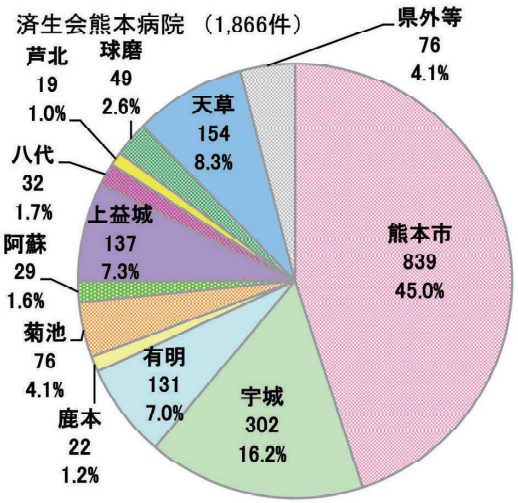
【部位別状況】
胃・大腸:『がん検診/健診/ドック』指摘の早期発見が多く、内視鏡による低侵襲治療が多く選択されている。
肺:手術(前年127件→本年126件)、放射線治療(前年32件→本年50件)・化学療法(前年97件→本年120件)であり、放射線治療(前年79件→本年152件)・化学療法(前年360件→本年393件)全体の3割近い件数を占めている。
乳房:2018年9月にリニアックを導入し、乳癌術後照射目的の紹介受診が増えた(前年6件→本年61件)。今後も徐々に増えていくと考える。
前立腺:件数(前年295件→本年271件)、治療件数等前年と変化なく推移している。治療内訳は、手術(前年169件→本年158件)、放射線治療(前年22件→本年18件)、薬物治療(前年110件→本年114件)となっている。
なお、上位5部位の割合についての状況は以下の通りである。
<<2018年>>1.前立腺(16.5%)　2. 肺(16.2%)　3. 大腸(16.0%)　4.胃(12.1%)　5.膵(6.2%)
<<2019年>>1.肺(16.2%)　2. 前立腺(14.5%)　3. 大腸(14.5%)　4.胃(11.3%)　5.乳房(5.5%)

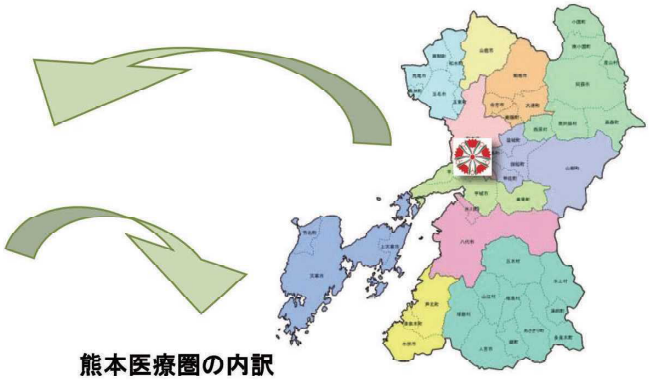
診断年別登録件数
（参考）

※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





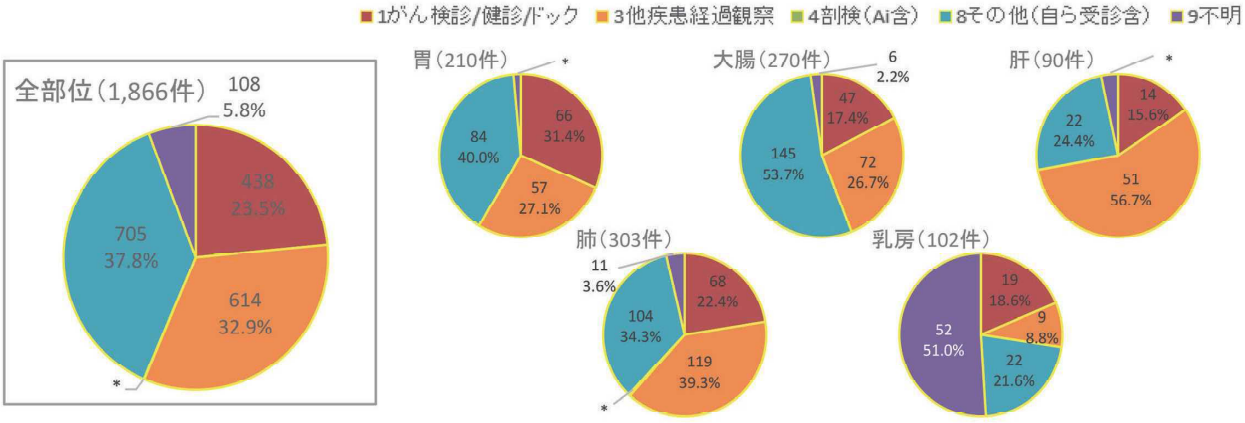
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	大腸	134	鹿本	胃	4	上益城	大腸	21	球磨	肺	14
	肺	120		複数部位	*		前立腺	19		その他	11
	前立腺	109					その他	18		前立腺	8
	その他	97					肺	17		胃	6
	胃	81					胃	16		複数部位	*
宇城	大腸	58	菊池	前立腺	22	八代	前立腺	8	天草	肺	51
	肺	45		脳脊髄	13		その他	8		その他	23
	胃	44		その他	10		肺	7		前立腺	20
	前立腺	38		肺	8		複数部位	*		胃	16
	その他	38		複数部位	各7					大腸	10
有明	肺	25	阿蘇	前立腺	10	芦北	前立腺	8	県外等	脳脊髄	15
	胃	23		胃	5		複数部位	*		その他	14
	大腸	23		複数部位	*					肺	10
	前立腺	19								大腸	9
	その他	10								前立腺	9

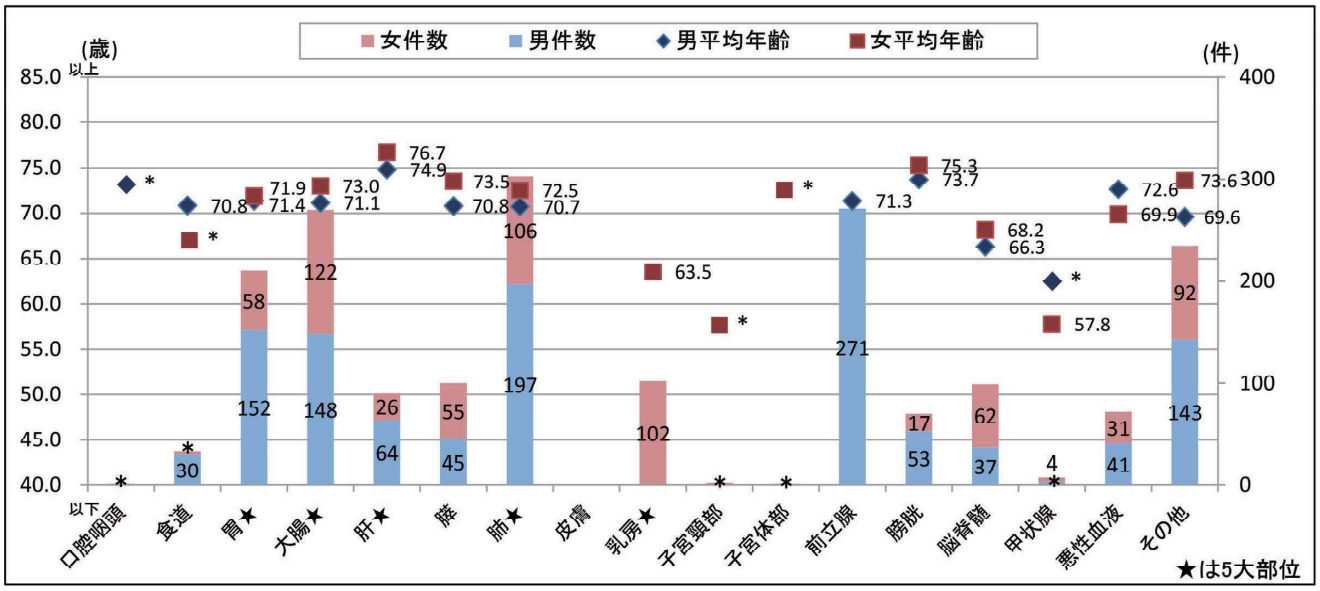
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	271
肺	197
胃	152
大腸	148
その他	143
肝	64
膀胱	53
膵	45
悪性血液	41
脳脊髄	37
食道	30
甲状腺	*
口腔咽頭	*
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	1185

0～14歳	

15～39歳	
その他	5
複数部位	*
計	9

40～49歳	
その他	9
胃	6
肺	6
大腸	4
複数部位	*
計	32

50～59歳	
肺	17
胃	16
その他	14
大腸	12
前立腺	10
など	
計	99

60～69歳	
前立腺	93
肺	62
大腸	46
胃	44
その他	39
など	
計	353

70～79歳	
前立腺	142
肺	73
大腸	49
胃	43
その他	34
など	
計	432

80～89歳	
胃	35
その他	35
肺	32
大腸	31
肝	25
など	
計	224

90歳～	
胃	8
その他	7
肺	6
前立腺	5
複数部位	各4
など	
計	36

女性全体	
大腸	122
肺	106
乳房	102
その他	92
脳脊髄	62
胃	58
膵	55
悪性血液	31
肝	26
膀胱	17
甲状腺	4
食道	*
子宮頸部	*
子宮体部	*
口腔咽頭	
皮膚	
前立腺	
計	681

0～14歳	

15～39歳	
複数部位	*
計	13

40～49歳	
乳房	17
大腸	5
肺	5
悪性血液	5
その他	4
複数部位	*
計	43

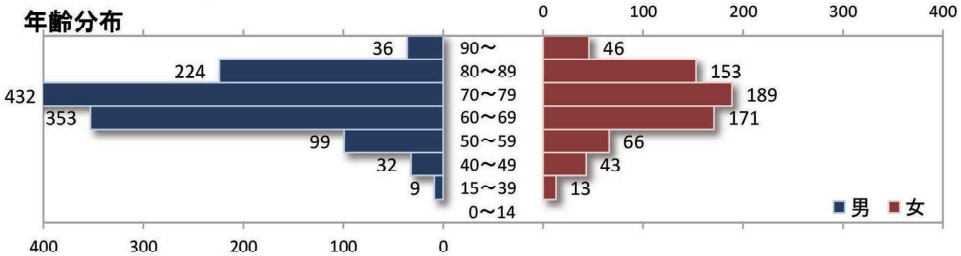
50～59歳	
乳房	19
大腸	13
脳脊髄	8
肺	7
複数部位	各4
など	
計	66

60～69歳	
その他	30
大腸	29
乳房	26
肺	23
脳脊髄	18
など	
計	171

70～79歳	
肺	42
大腸	29
乳房	25
その他	21
脳脊髄	19
など	
計	189

80～89歳	
大腸	34
肺	23
その他	18
膵	16
胃	15
など	
計	153

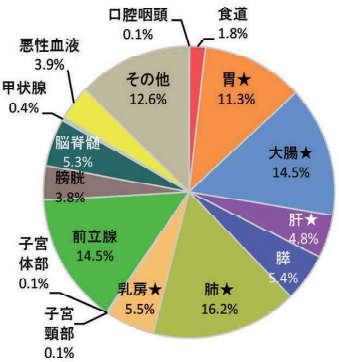
90歳～	
その他	14
大腸	11
胃	5
肺	5
複数部位	*
計	46



⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭		*	*		*
食道	41	35	26	26	33
胃★	279	249	222	216	210
大腸★	288	292	303	286	270
肝★	93	93	100	76	90
膵	77	102	98	111	100
肺★	294	301	303	289	303
皮膚		*	*		
乳房★	41	51	32	36	102
子宮頸部	*				*
子宮体部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	*
前立腺	268	238	259	295	271
膀胱	94	74	76	77	70
脳脊髄	101	114	98	110	99
甲状腺					7
悪性血液疾患	76	77	65	58	72
その他	227	206	216	208	235
計	1,881	1,834	1,801	1,788	1,866

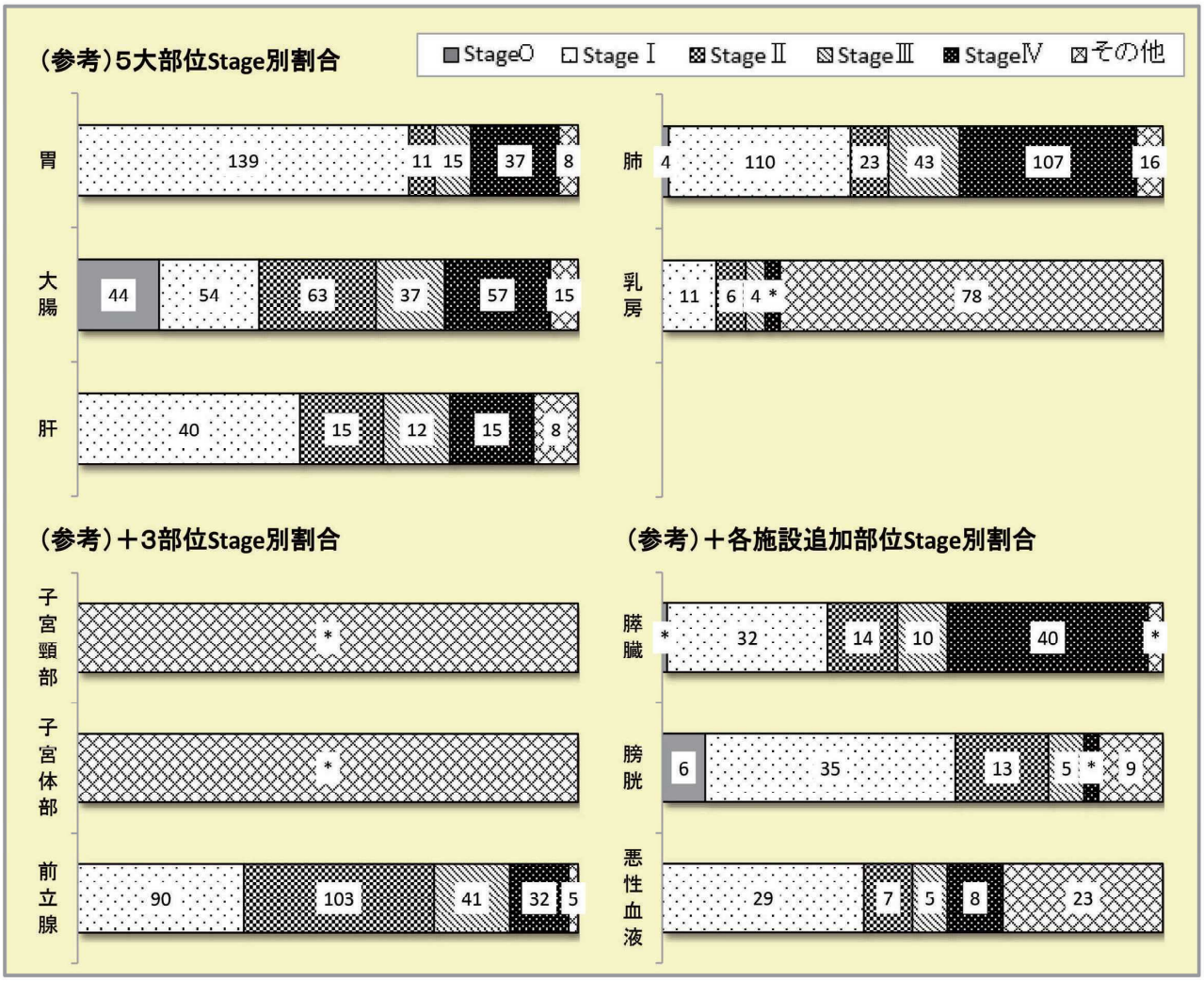
2019年診断症例　主要部位別割合



※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離

⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

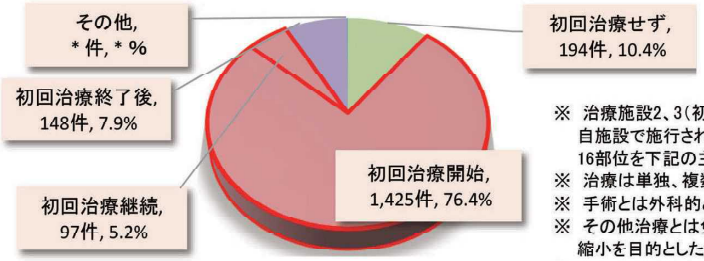
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	＊						＊
食道	33	4	17	6	＊		4
胃★	210		139	11	15	37	8
大腸★	270	44	54	63	37	57	15
肝★	90		40	15	12	15	8
膵	100	＊	32	14	10	40	＊
肺★	303	4	110	23	43	107	16
皮膚	0						
乳房★	102		11	6	4	＊	78
子宮頸部	＊						＊
子宮体部	＊						＊
前立腺	271		90	103	41	32	5
膀胱	70	6	35	13	5	＊	9
脳脊髄	99						99
甲状腺	7		＊	＊		＊	＊
悪性血液疾患	72		29	7	5	8	23
その他	235	＊	120	24	25	33	31
計	1,866	61	680	287	199	335	304



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

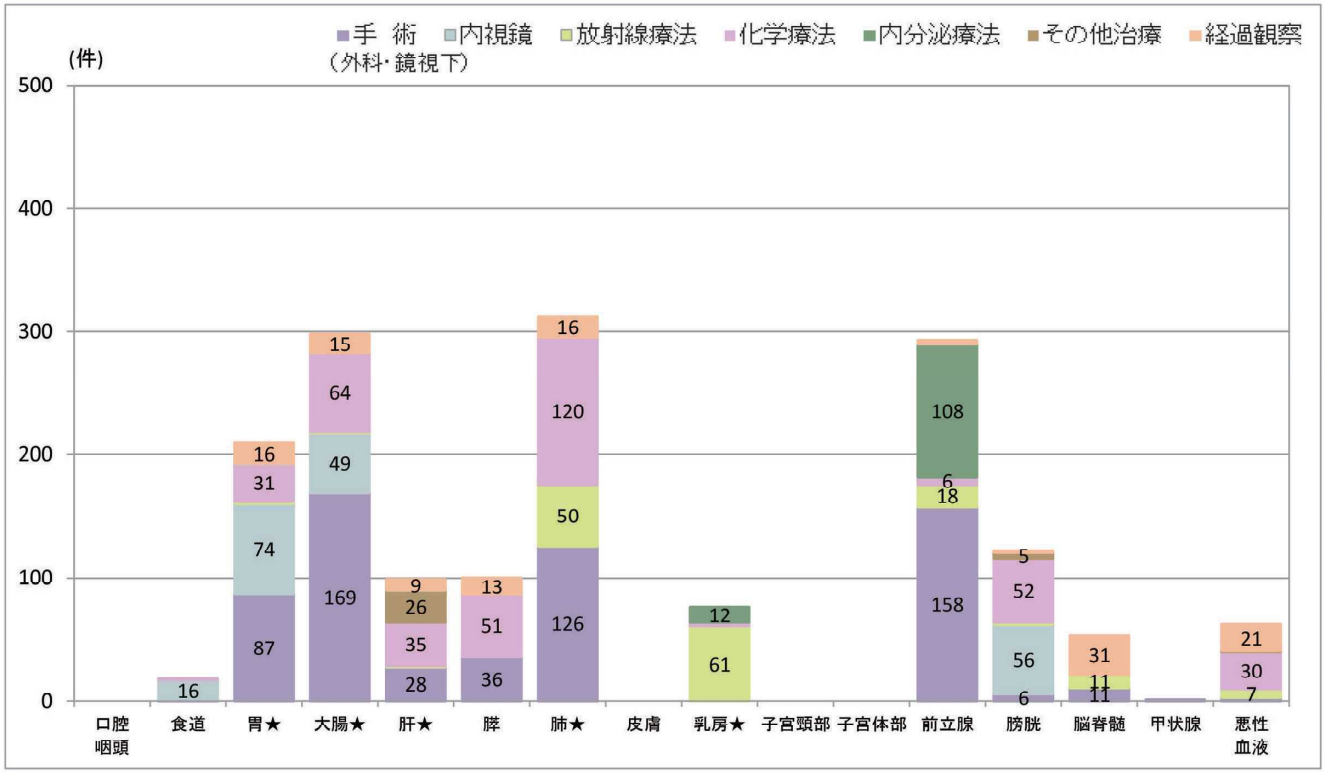
治療施設	件数
1初回治療せず	194
2初回治療開始	1,425
3初回治療継続	97
4初回治療終了後	148
8その他	*
計	1,866



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

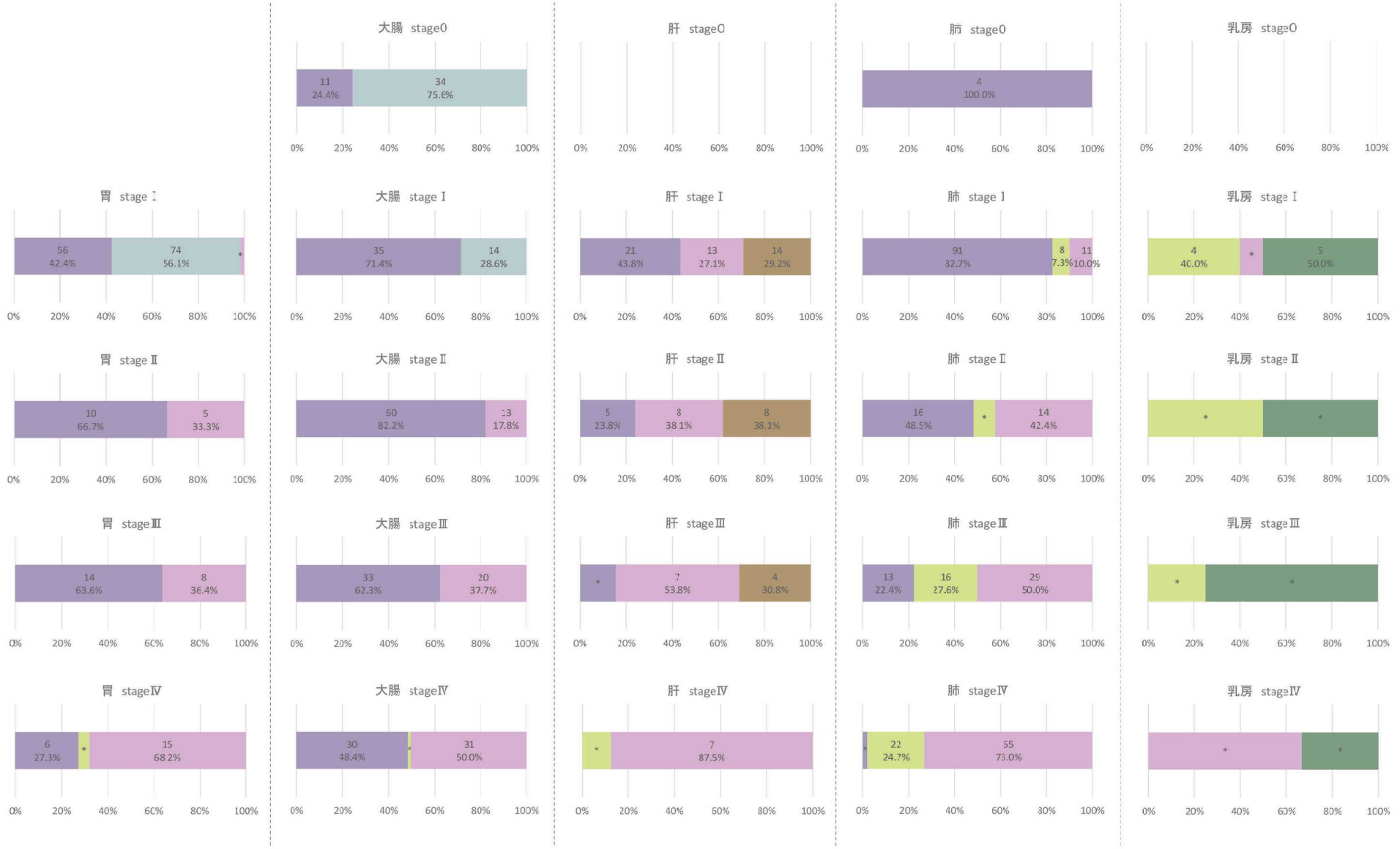
	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道	*	16		*				18	94.1%	5.9%	0.0%
胃★	87	74	*	31			16	209	91.7%	8.3%	0.0%
大腸★	169	49	*	64			15	298	81.9%	18.1%	0.0%
肝★	28		*	35		26	9	99	100.0%	0.0%	0.0%
膵	36			51			13	100	94.4%	5.6%	0.0%
肺★	126		50	120			16	312	98.4%	1.6%	0.0%
皮膚								0			
乳房★			61	*	12			76			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺	158		18	6	108		*	293	79.7%	20.3%	0.0%
膀胱	6	56	*	52		5	*	122	19.0%	81.0%	0.0%
脳脊髄	11		11				31	53	90.9%	9.1%	0.0%
甲状腺	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	*		7	30		*	21	62	100.0%	0.0%	0.0%
計	626	195	152	393	120	32	125	1,643			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■内視鏡 ■放射線療法 ■化学療法 ■内分泌療法 ■その他治療



熊本県院内がん登録データに係る統計　ー2019年診断症例ー

医 療 機 関 名	一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	天草市亀場町食場854番1
病　床　数	210床
診 療 科 数	13科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2007.04.01
平均在院日数	14.6（日）
入院患者数	4,921（人）
外来患者延数	60,245（人）
院内がん登録件数	426（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　0　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

【登録件数】2019年登録件数は426件（前年423件）と微増であった。
男性が66％（前年63％）女性が34％（前年37％）であった。
男性では1位：大腸癌（59）、2位：前立腺癌（54）、3位：胃癌（45）、女性では1位：大腸癌（36）、2位：乳癌（29）、3位：胃癌（18）。
男性の件数が増加しており、前立腺癌の登録数増加が関係していると推察される。
【年齢・性別】平均年齢74.3才であり2018年73.6才と高齢化傾向は変わらない。
【地域】登録症例426件中424件（99.5％）が天草二次医療圏となっている。
【部位】5大癌は243件（57.0％）、2018年は281件（60.4％）。登録件数は大腸癌（95件）、胃癌（63件）、肺癌（37件）、肝癌（19件）、乳癌（29件）。
【病期】登録症例全体ではStage Ⅰ が33.6％。胃癌ではStage Ⅰ 期（65％）、Ⅱ期（8％）、Ⅲ期（8％）、Ⅳ期（10％）と早期発見の割合が高いが、大腸癌においてはpStage0期（33％）、Ⅰ期（15％）、Ⅱ期（25％）、Ⅲ期（15％）、Ⅳ期（3％）と差は認められない。
【治療】自施設初回治療・継続治療の症例351件の治療内訳は、観血的手術（手術、鏡視下、内視鏡）60.1％、化学療法22.5％、内分泌療法14.5％、その他3.4％、経過観察11.1％であった。当院を受診する5大部位癌の治療において、手術、化学療法、内視鏡的治療、体腔鏡治療などは、ほぼ自施設において治療を行っているが放射線治療が必要な場合は、放射線照射可能施設へ紹介を行っている。血液、リンパ系の悪性症例は、専門医不在のため他院（主に熊本市内）へ紹介を行っている。
◆2014年8月よりスタートした『天草メディカルネット』は2020年11月現在、利用21,300人となっており、ICT医療連携による天草医療圏全体の医療水準の底上げや、地域医療再生の一助となるよう機能の充実を進めています。また「くまもとメディカルネットワーク」の利用を積極的に推進しています。

診断年別登録件数
（参考）

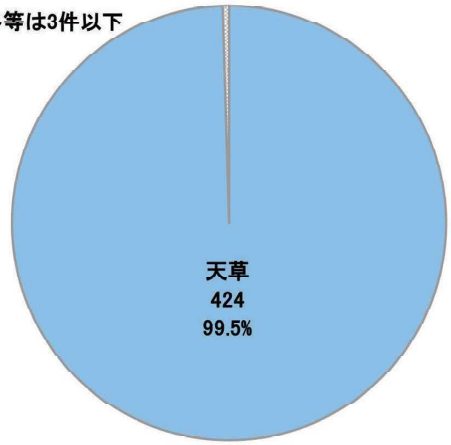
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

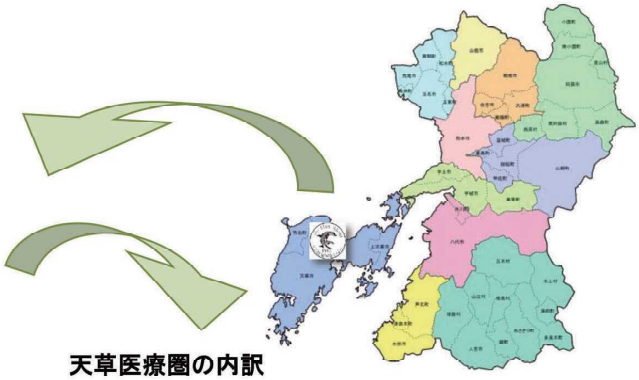
①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

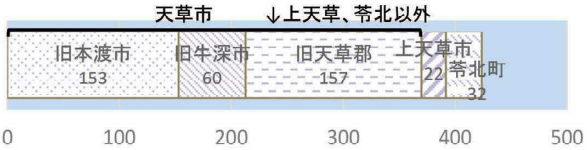
天草地域医療センター　（426件）

※県外等は3件以下





天草医療圏の内訳



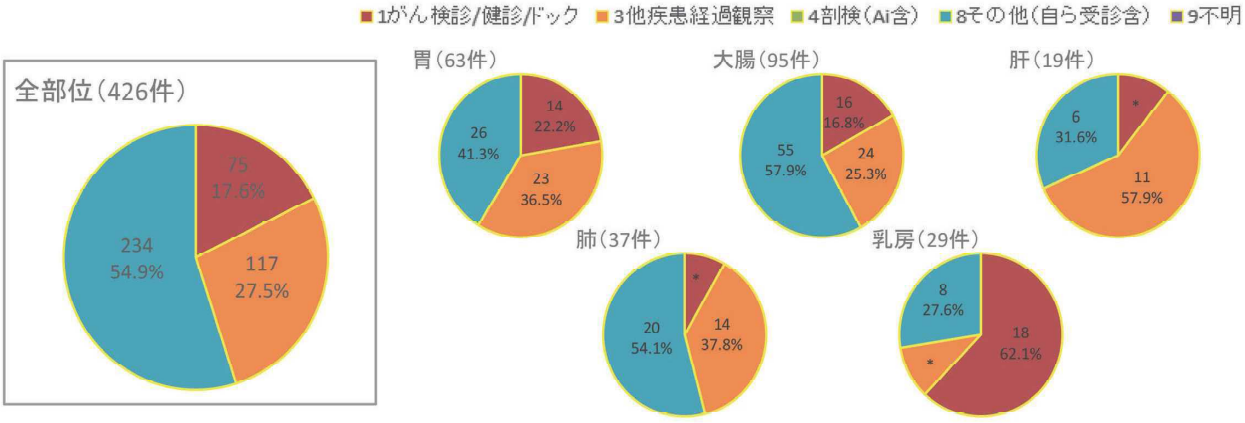
◇　医療圏別上位5部位

熊本市			鹿本			上益城			球磨		
宇城			菊池			八代			天草	大腸	95
										胃	63
										前立腺	54
										その他	52
										肺	37
有明			阿蘇			芦北			県外等	複数部位	*

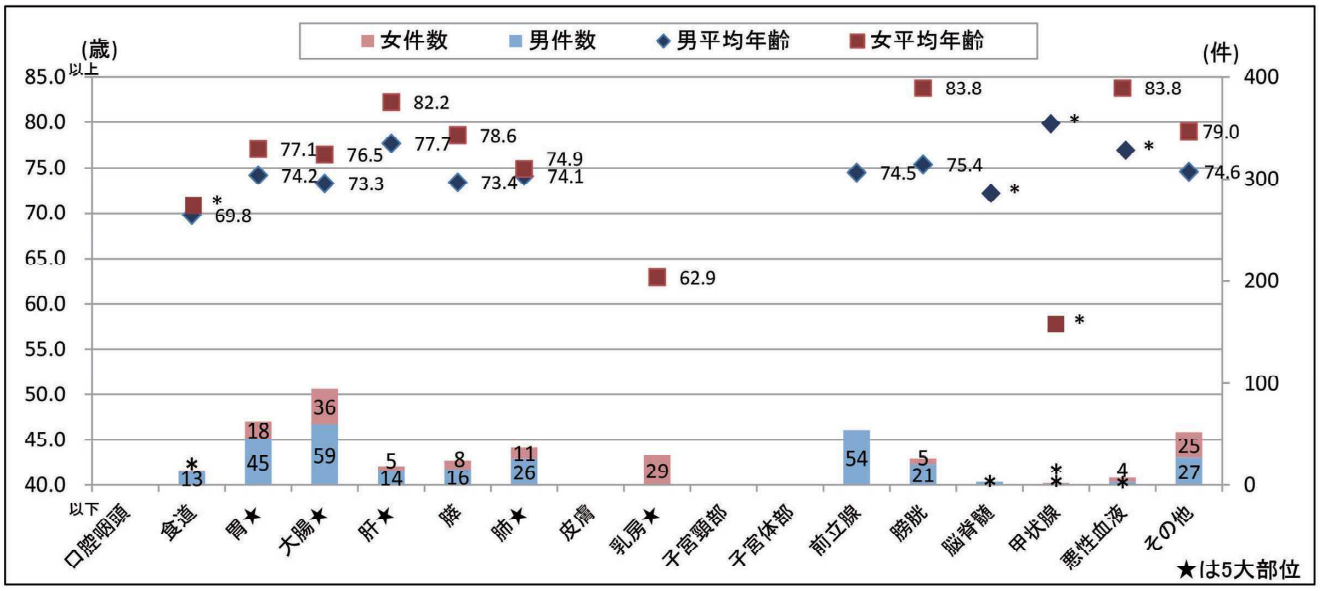
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	59
前立腺	54
胃	45
その他	27
肺	26
膀胱	21
膵	16
肝	14
食道	13
脳脊髄	*
悪性血液	*
甲状腺	*
口腔咽頭	
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	282

0～14歳	
計	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
複数部位	*
計	5

50～59歳	
複数部位	*
計	7

60～69歳	
大腸	20
前立腺	15
胃	13
その他	10
膀胱	6
など	
計	80

70～79歳	
前立腺	21
胃	18
肺	15
大腸	14
膵	10
など	
計	98

80～89歳	
大腸	18
前立腺	15
その他	12
胃	11
膀胱	8
など	
計	81

90歳～	
複数部位	*
計	9

女性全体	
大腸	36
乳房	29
その他	25
胃	18
肺	11
膵	8
肝	5
膀胱	5
悪性血液	4
食道	*
甲状腺	*
口腔咽頭	
皮膚	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
脳脊髄	
計	144

0～14歳	
計	

15～39歳	
計	

40～49歳	
乳房	5
複数部位	*
計	7

50～59歳	
乳房	5
複数部位	*
計	8

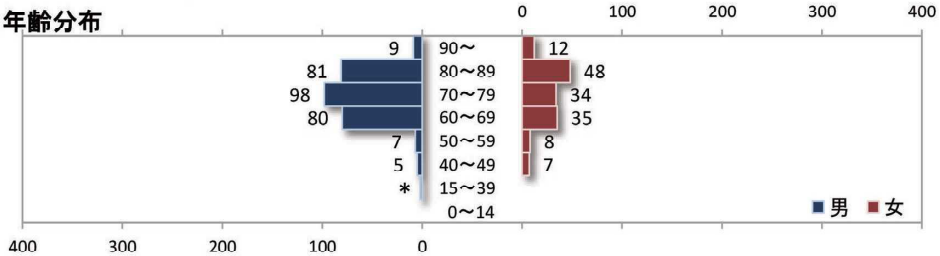
60～69歳	
乳房	12
大腸	8
胃	5
その他	5
複数部位	*
計	35

70～79歳	
大腸	8
その他	6
乳房	5
胃	4
肺	4
複数部位	*
計	34

80～89歳	
大腸	13
その他	12
胃	7
肺	4
複数部位	*
計	48

90歳～	
大腸	4
複数部位	*
計	12

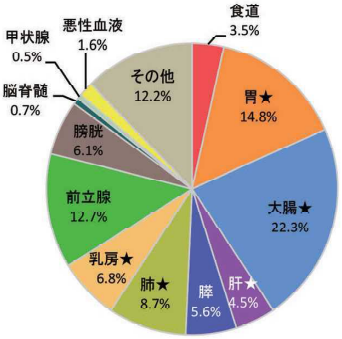
年齢分布



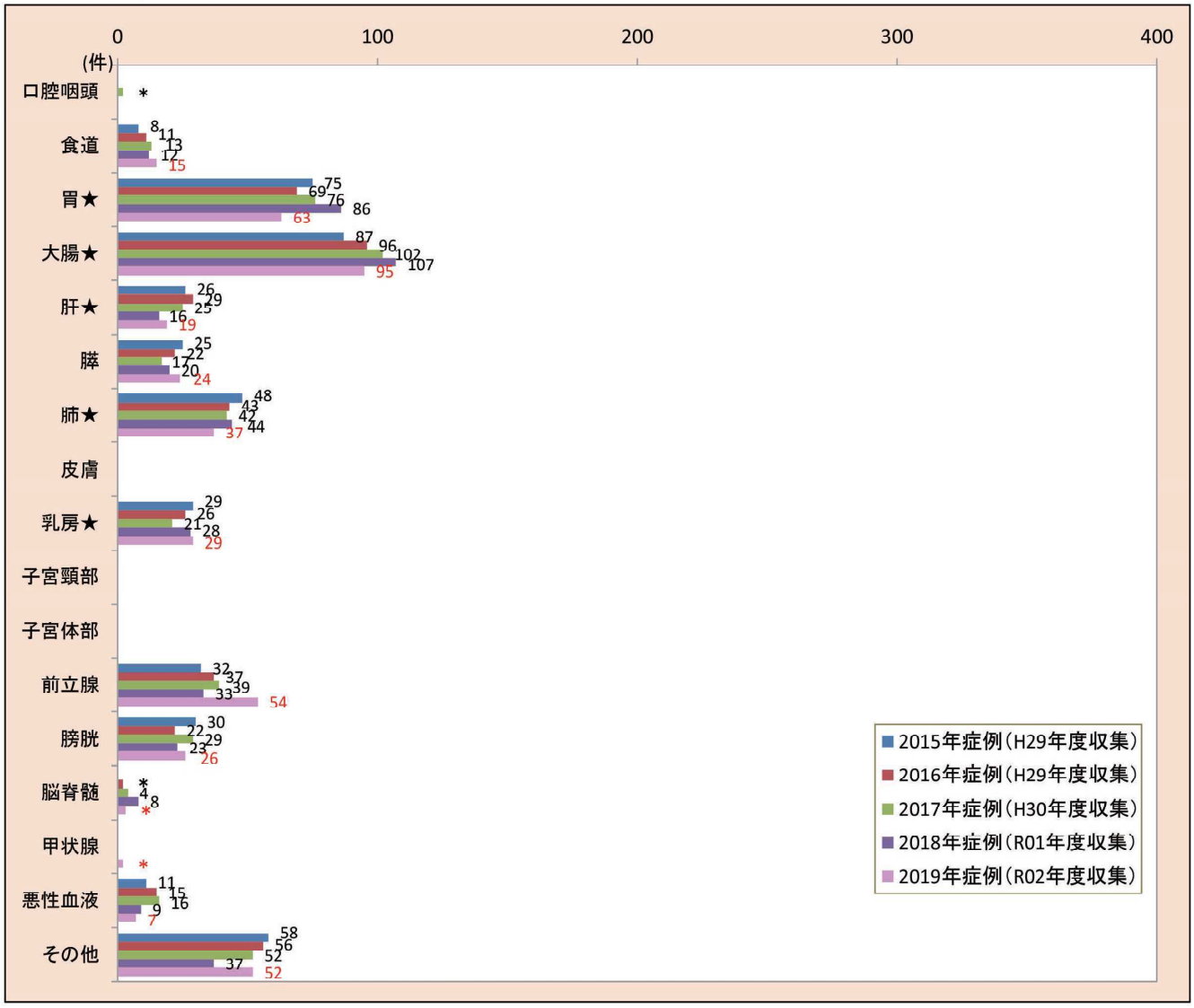
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭			*		
食道	8	11	13	12	15
胃★	75	69	76	86	63
大腸★	87	96	102	107	95
肝★	26	29	25	16	19
膵	25	22	17	20	24
肺★	48	43	42	44	37
皮膚					
乳房★	29	26	21	28	29
子宮頸部	*		*		
子宮体部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	
前立腺	32	37	39	33	54
膀胱	30	22	29	23	26
脳脊髄		*	4	8	*
甲状腺					*
悪性血液疾患	11	15	16	9	7
その他	58	56	52	37	52
計	430	428	439	423	426

2019年診断症例　主要部位別割合

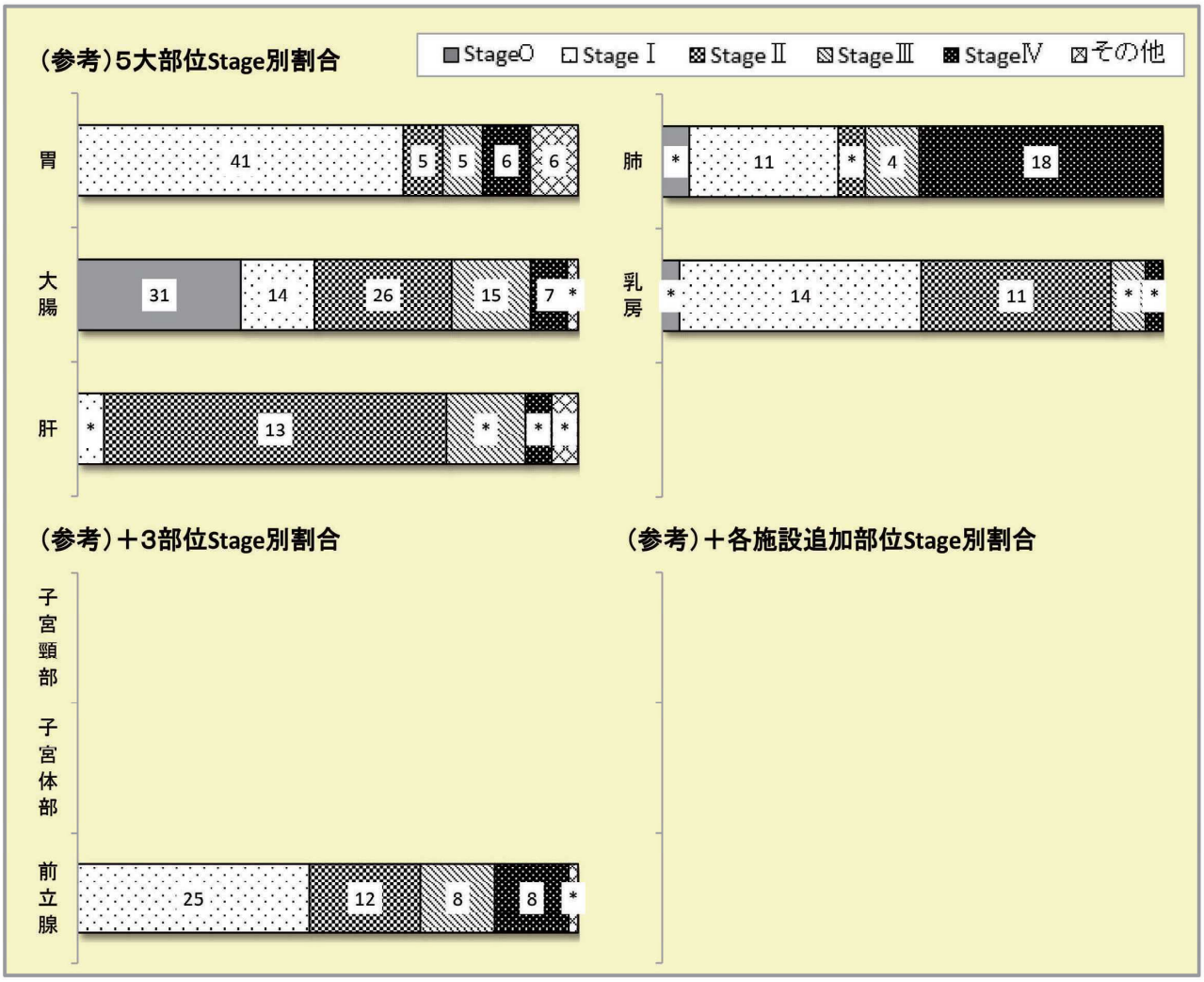


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

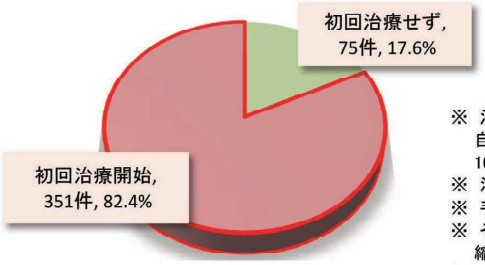
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	0						
食道	15	5	5			*	*
胃★	63		41	5	5	6	6
大腸★	95	31	14	26	15	7	*
肝★	19		*	13	*	*	*
膵	24		*		5	13	*
肺★	37	*	11	*	4	18	
皮膚	0						
乳房★	29	*	14	11	*	*	
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	54		25	12	8	8	*
膀胱	26	7	12	6			*
脳脊髄	*						*
甲状腺	*			*		*	
悪性血液疾患	7						7
その他	52	*	17	*	4	6	21
計	426	47	143	79	46	63	48



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

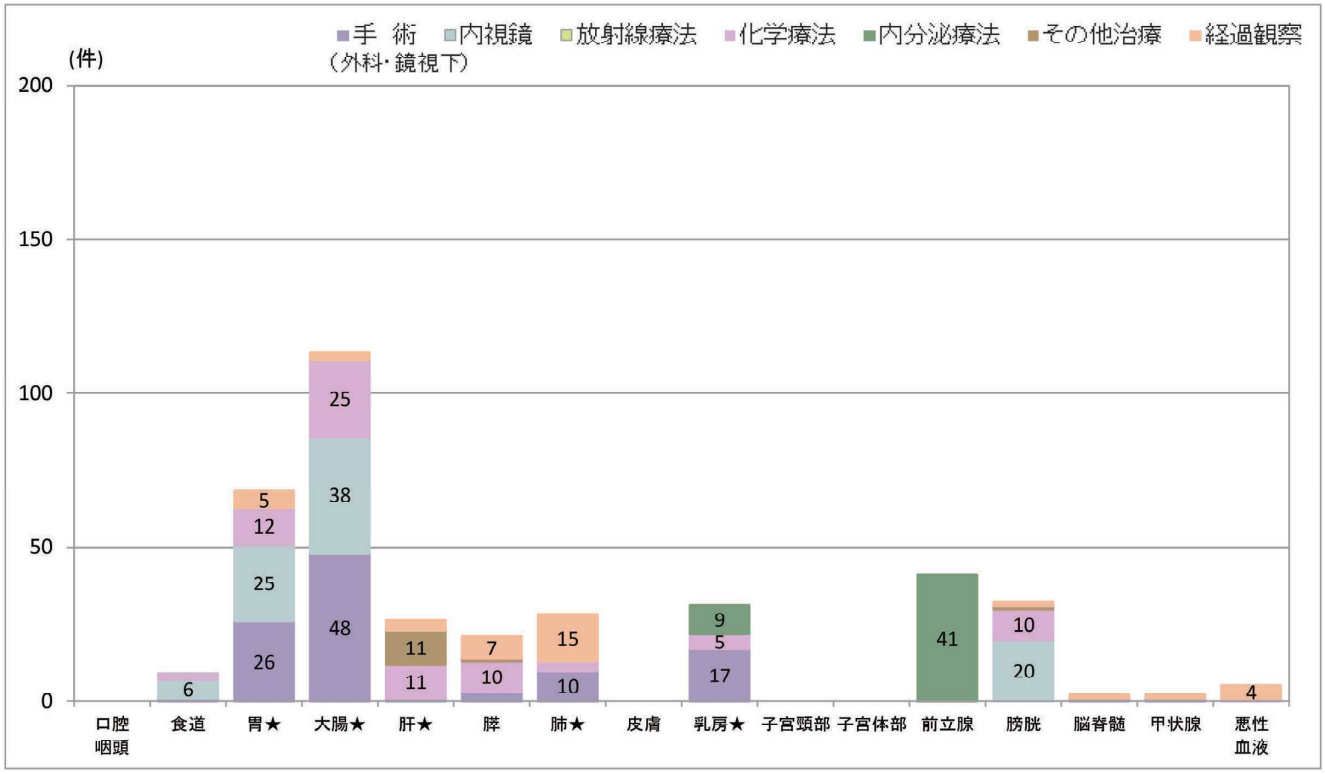
治療施設	件数
1初回治療せず	75
2初回治療開始	351
3初回治療継続	0
4初回治療終了後	0
8その他	0
計	426



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

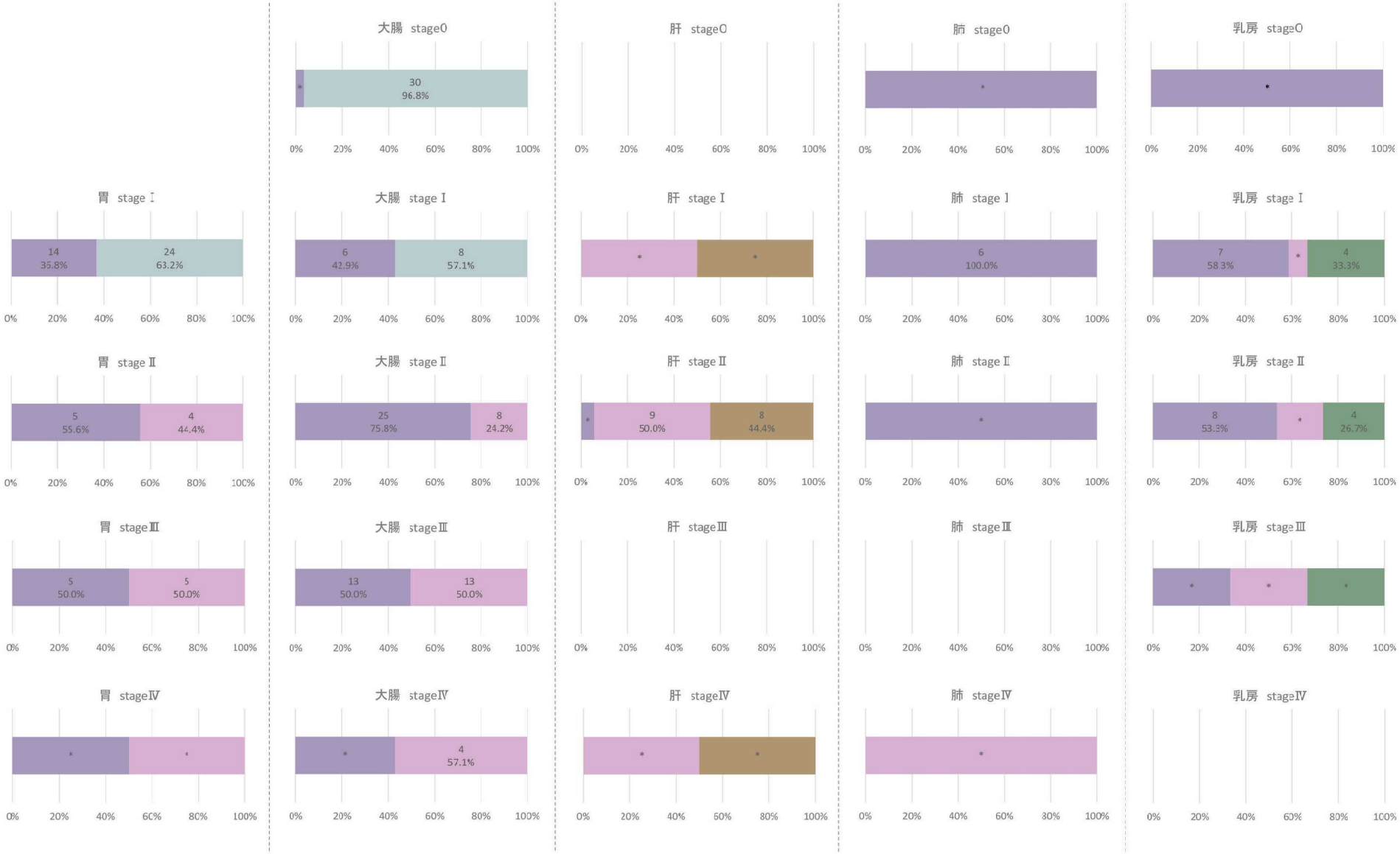
	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道	*	6		*				9	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	26	25		12			5	68	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	48	38		25			*	113	100.0%	0.0%	0.0%
肝★	*			11		11	*	26	100.0%	0.0%	0.0%
膵	*			10		*	7	21	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	10			*			15	28	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	17			5	9			31	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺					41			41			
膀胱		20		10		*	*	32	100.0%	0.0%	0.0%
脳脊髄	*						*	*	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	*						*	*	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患				*			4	5			
計	108	89	0	79	50	13	39	378			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術　■内視鏡　■放射線療法
■化学療法　■内分泌療法　■その他治療



熊本県院内がん登録データに係る統計　ー2019年診断症例ー

医 療 機 関 名	独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	天草市東町101番地
病　床　数	155床
診 療 科 数	13科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	19.0（日）
入院患者数	2,402（人）
外来患者延数	51,294（人）
院内がん登録件数	244（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　1　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

【登録件数】 2019年登録件数は244件で前年より減少となった。
【性別】 前年同様、男性82件(34%)、女性162件(66%)で女性が約2倍の件数となっている。
【年齢】 平均年齢68.1歳(前年67.4歳)、 男性平均68.1歳(前年69.7歳)、女性平均68.2歳(前年67.4歳)、70歳以上の割合は52.0%(前年48.8%)である。
【部位別症例件数と平均年齢(上位5部位)】
1.乳房(62件、65.8歳)　2.皮膚(27件、82.9歳)　3.悪性血液(25件、72.3歳)
4.子宮頸部(24件、44.6歳)　5.肺(22件、72.4歳)
前年と同様、乳癌が多かった。
【男女別症例件数と平均年齢(上位5部位)】
男性
1.肺(18件、73.2歳)　2.皮膚(11件、78.8歳)　3.悪性血液(10件、70.6歳)
3.胃(7件、72.1歳)　5.口腔咽頭(6件、76.5歳)前立腺(6件、75.5歳)
女性
1.乳房(62件、65.6歳)　2.子宮頸部(24件、44.6歳)　3.皮膚(16件、85.8歳)
4.悪性血液(15件、73.4歳)　5.子宮体部(12件、53.8歳)
【医療圏】 244件中238件(97.5%)が天草医療圏在住の患者である。
【当院の特徴】
当院は天草医療圏で唯一放射線治療ができる施設である。
2018年7月よりセンチネルリンパ節生検の施設認定を受け、一期的乳癌手術も当院にて可能となった。
医師・緩和ケア認定看護師・がん化学療法看護認定看護師・がん性疼痛看護認定看護師・がん放射線看護認定看護師・がん専門相談員・薬剤師・管理栄養士・理学療法士等によるチーム医療に取り組んでいる。また、私のカルテによる連携、がんサロンの開催やがん患者・家族会のサポート等、地域においてがん患者が安心して治療を受けられるよう支援している。

診断年別登録件数
（参考）

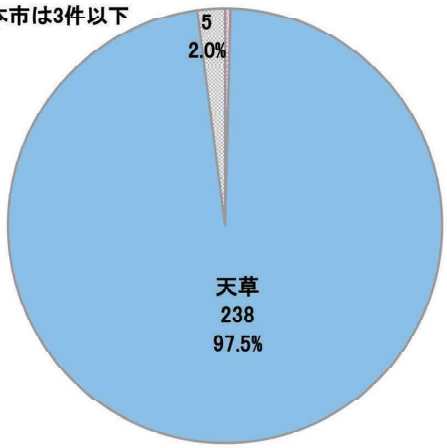
※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

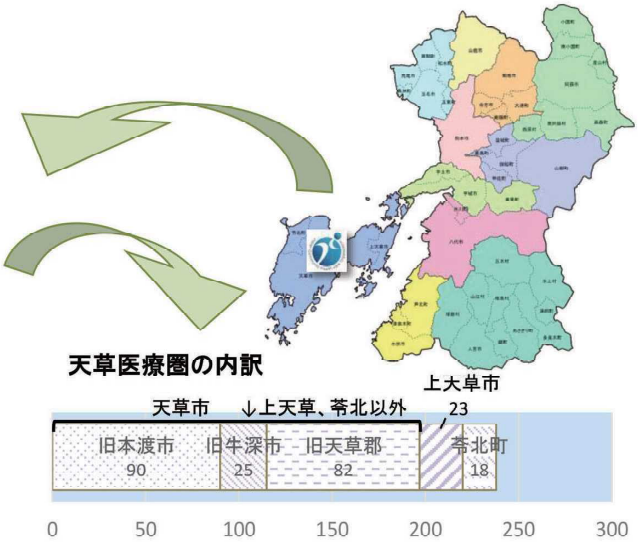
①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

天草中央総合病院　（244件）

※熊本市は3件以下





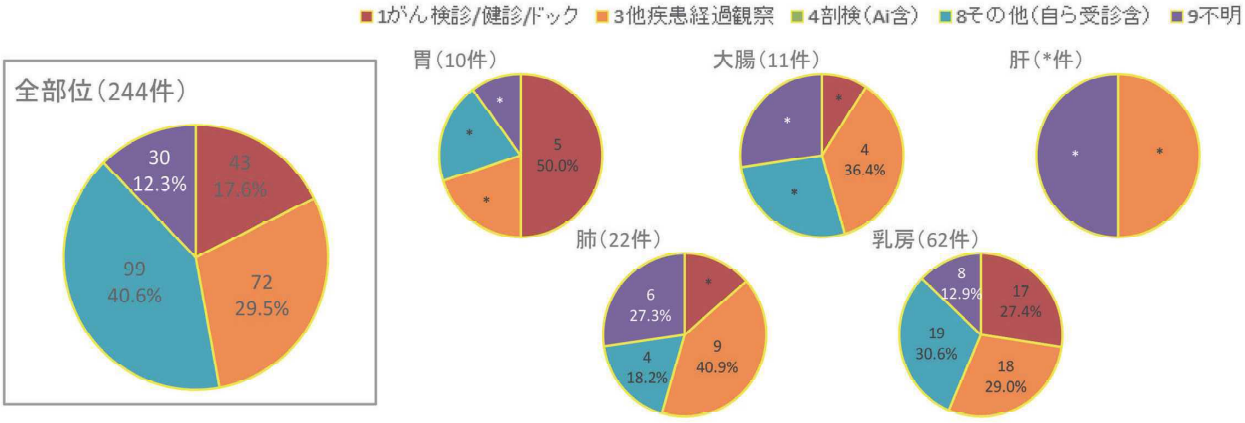
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	複数部位	*	鹿本			上益城			球磨		
宇城			菊池			八代			天草	乳房	61
										皮膚	27
										悪性血液	25
										子宮頸部	24
										肺	21
有明			阿蘇			芦北			県外等	複数部位	*

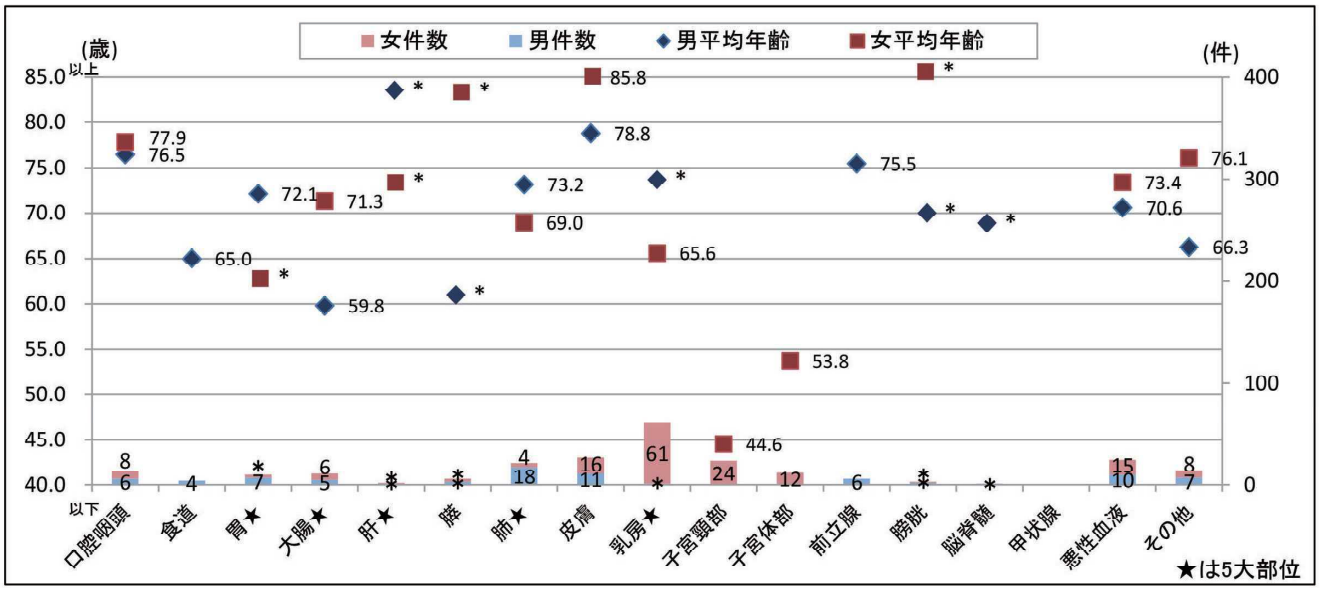
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
肺	18
皮膚	11
悪性血液	10
胃	7
その他	7
口腔咽頭	6
前立腺	6
大腸	5
食道	4
膵	*
膀胱	*
肝	*
乳房	*
脳脊髄	*
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	82

0～14歳	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
複数部位	*
計	*

50～59歳	
複数部位	*
計	7

60～69歳	
胃	4
肺	4
複数部位	*
計	20

70～79歳	
肺	7
皮膚	6
複数部位	*
計	24

80～89歳	
肺	5
皮膚	5
悪性血液	4
複数部位	*
計	24

90歳～	
複数部位	*
計	*

女性全体	
乳房	61
子宮頸部	24
皮膚	16
悪性血液	15
子宮体部	12
口腔咽頭	8
その他	8
大腸	6
肺	4
胃	*
膵	*
肝	*
膀胱	*
食道	
前立腺	
脳脊髄	
甲状腺	
計	162

0～14歳	

15～39歳	
子宮頸部	8
複数部位	*
計	13

40～49歳	
乳房	9
子宮頸部	9
複数部位	*
計	20

50～59歳	
子宮体部	8
乳房	6
子宮頸部	5
複数部位	*
計	22

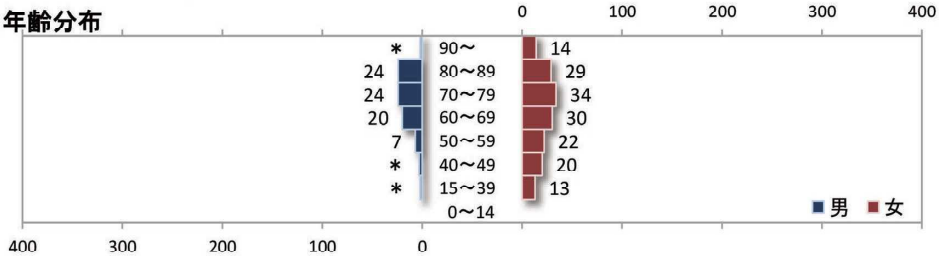
60～69歳	
乳房	16
複数部位	*
計	30

70～79歳	
乳房	17
悪性血液	6
複数部位	*
計	34

80～89歳	
乳房	9
皮膚	6
悪性血液	6
口腔咽頭	4
複数部位	*
計	29

90歳～	
皮膚	6
複数部位	*
計	14

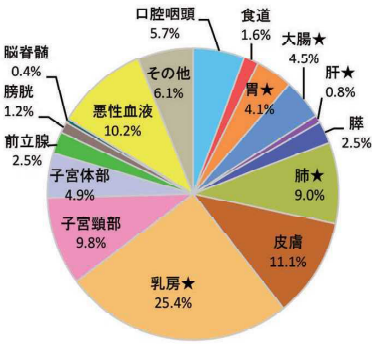
年齢分布



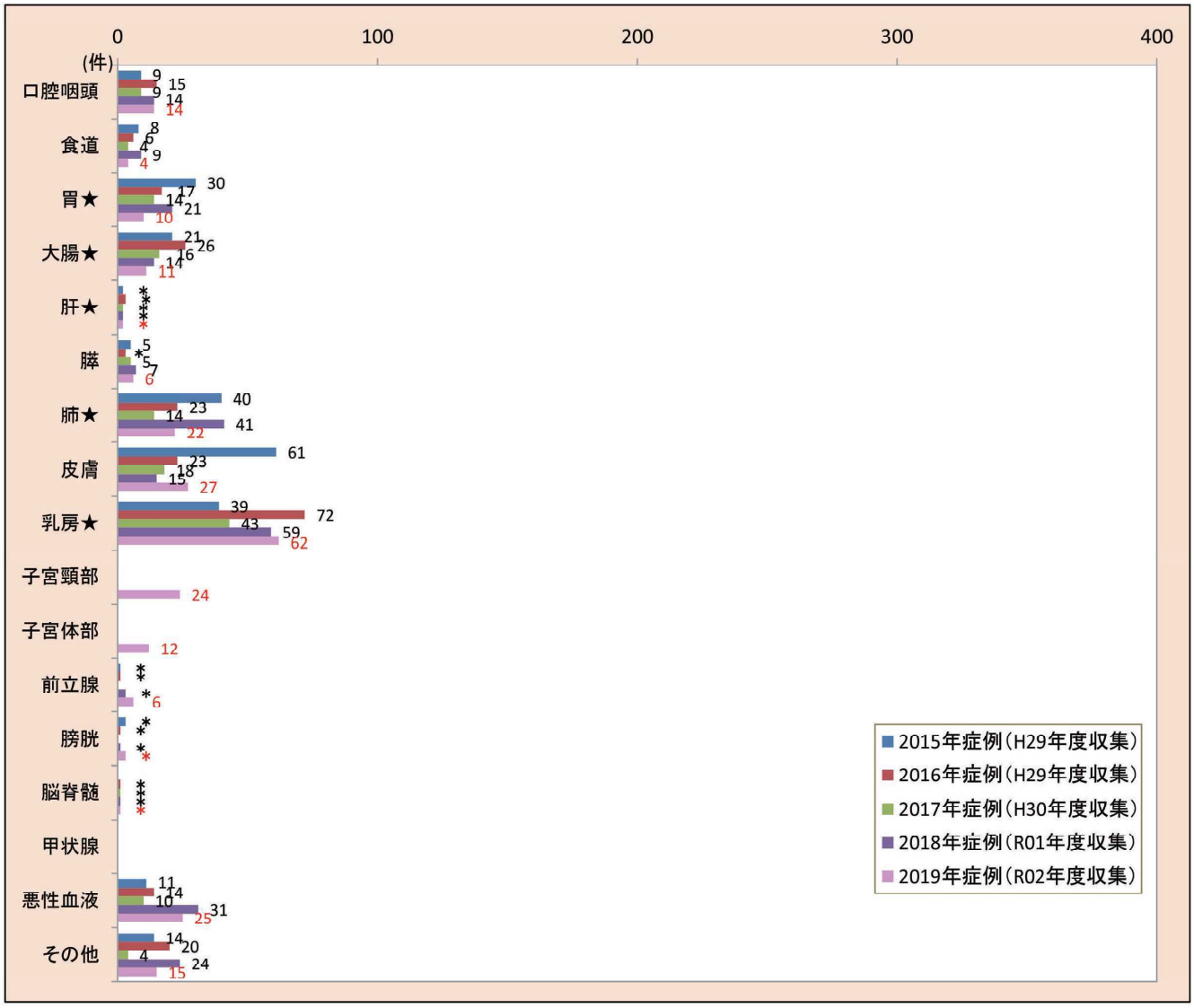
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	9	15	9	14	14
食道	8	6	4	9	4
胃★	30	17	14	21	10
大腸★	21	26	16	14	11
肝★	*	*	*	*	*
膵	5	*	5	7	6
肺★	40	23	14	41	22
皮膚	61	23	18	15	27
乳房★	39	72	43	59	62
子宮頸部	4（頸部・体部）	11（頸部・体部）	13（頸部・体部）	55（頸部・体部）	24
子宮体部					12
前立腺	*	*		*	6
膀胱	*	*		*	*
脳脊髄		*	*	*	*
甲状腺					
悪性血液疾患	11	14	10	31	25
その他	14	20	4	24	15
計	248	236	153	297	244

2019年診断症例　主要部位別割合

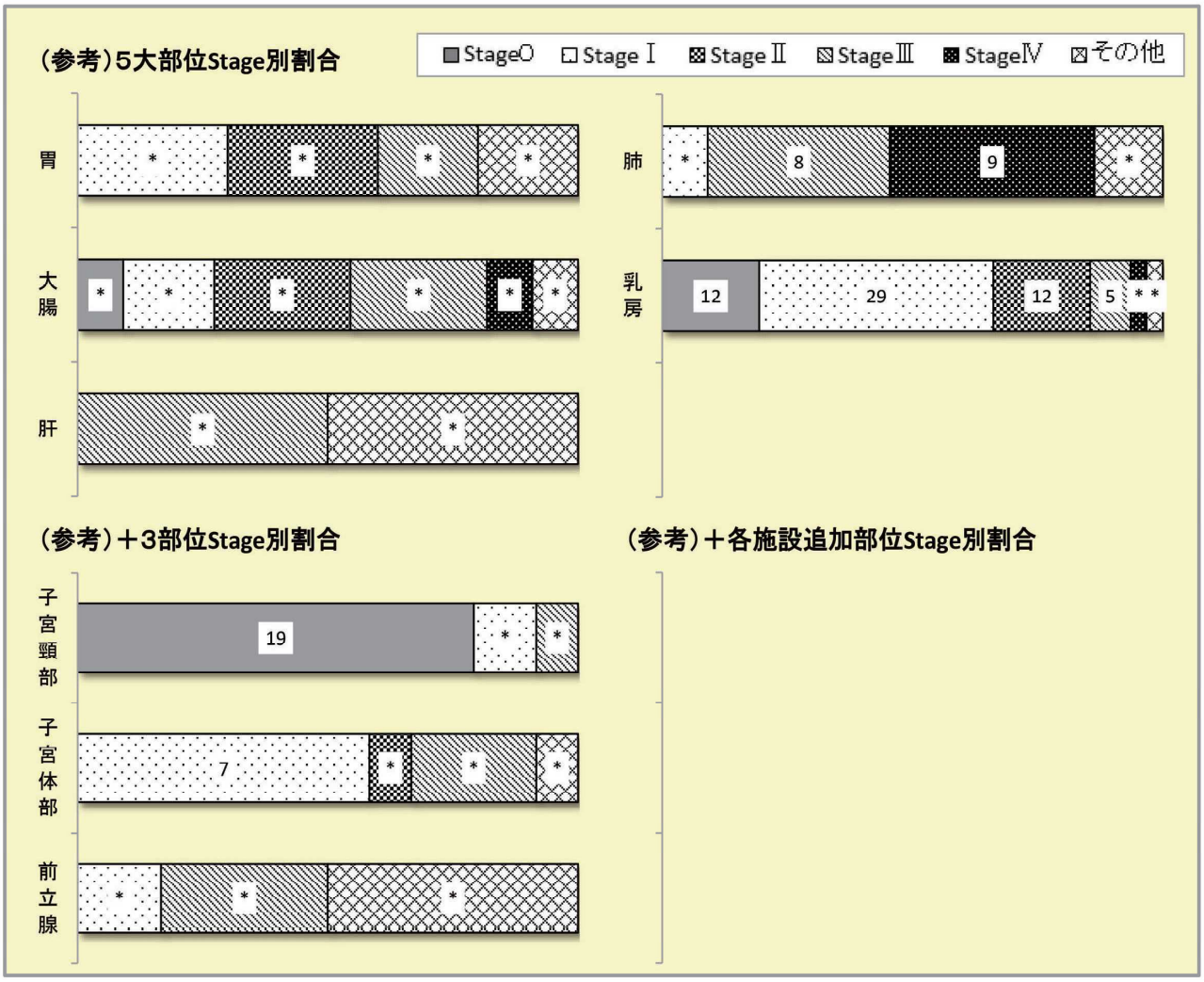


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

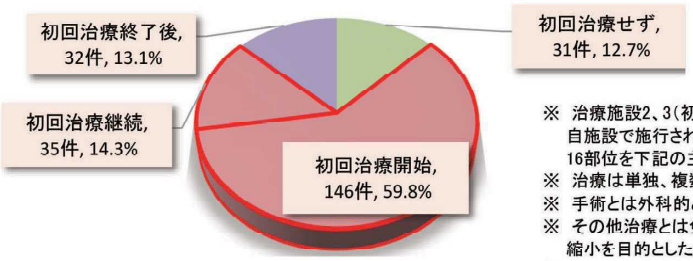
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	14	*	*	4	*	6	
食道	4		4				
胃★	10		*	*	*		*
大腸★	11	*	*	*	*	*	*
肝★	*				*		*
膵	6			*		4	
肺★	22		*		8	9	*
皮膚	27	6	17	*			*
乳房★	62	12	29	12	5	*	*
子宮頸部	24	19	*		*		
子宮体部	12		7	*	*		*
前立腺	6		*		*		*
膀胱	*		*				*
脳脊髄	*						*
甲状腺	0						
悪性血液疾患	25		7	5	*	*	7
その他	15		*		4	*	6
計	244	39	80	33	34	28	30



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

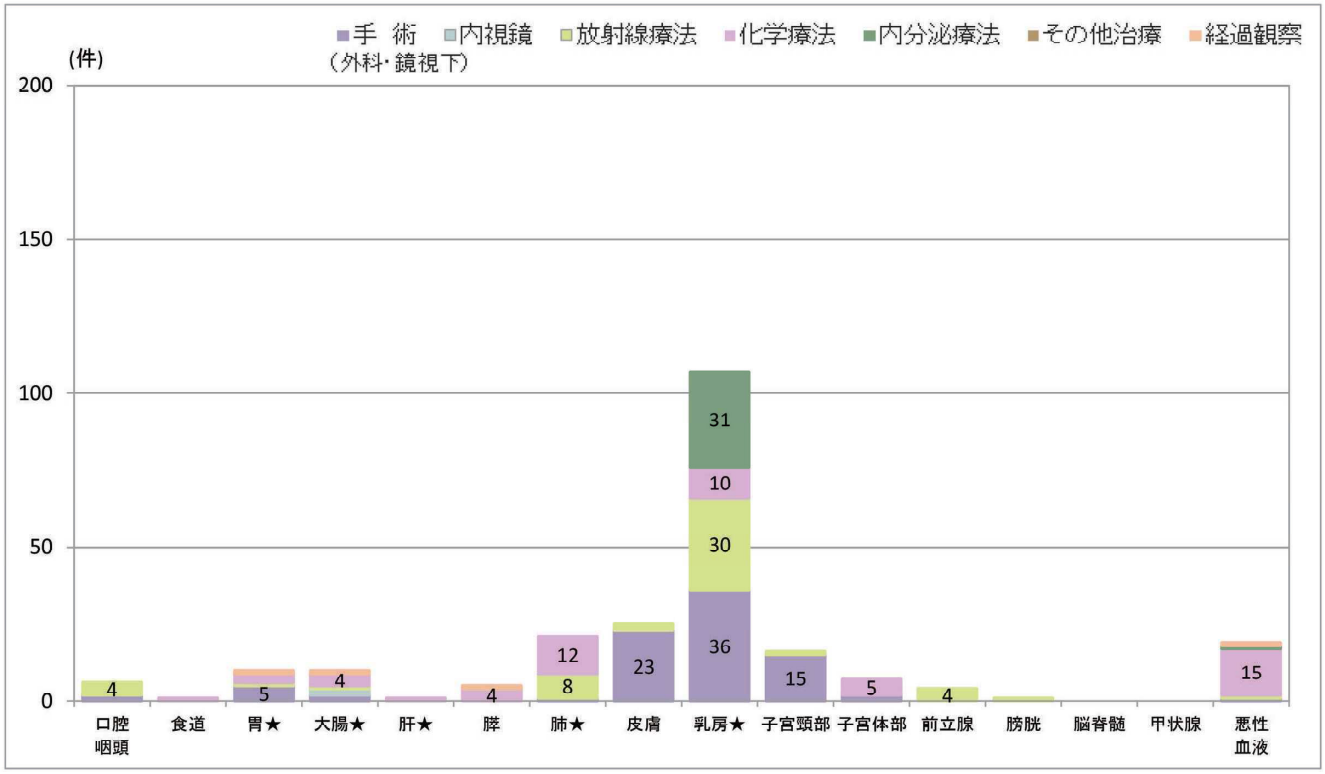
治療施設	件数
1初回治療せず	31
2初回治療開始	146
3初回治療継続	35
4初回治療終了後	32
8その他	0
計	244



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

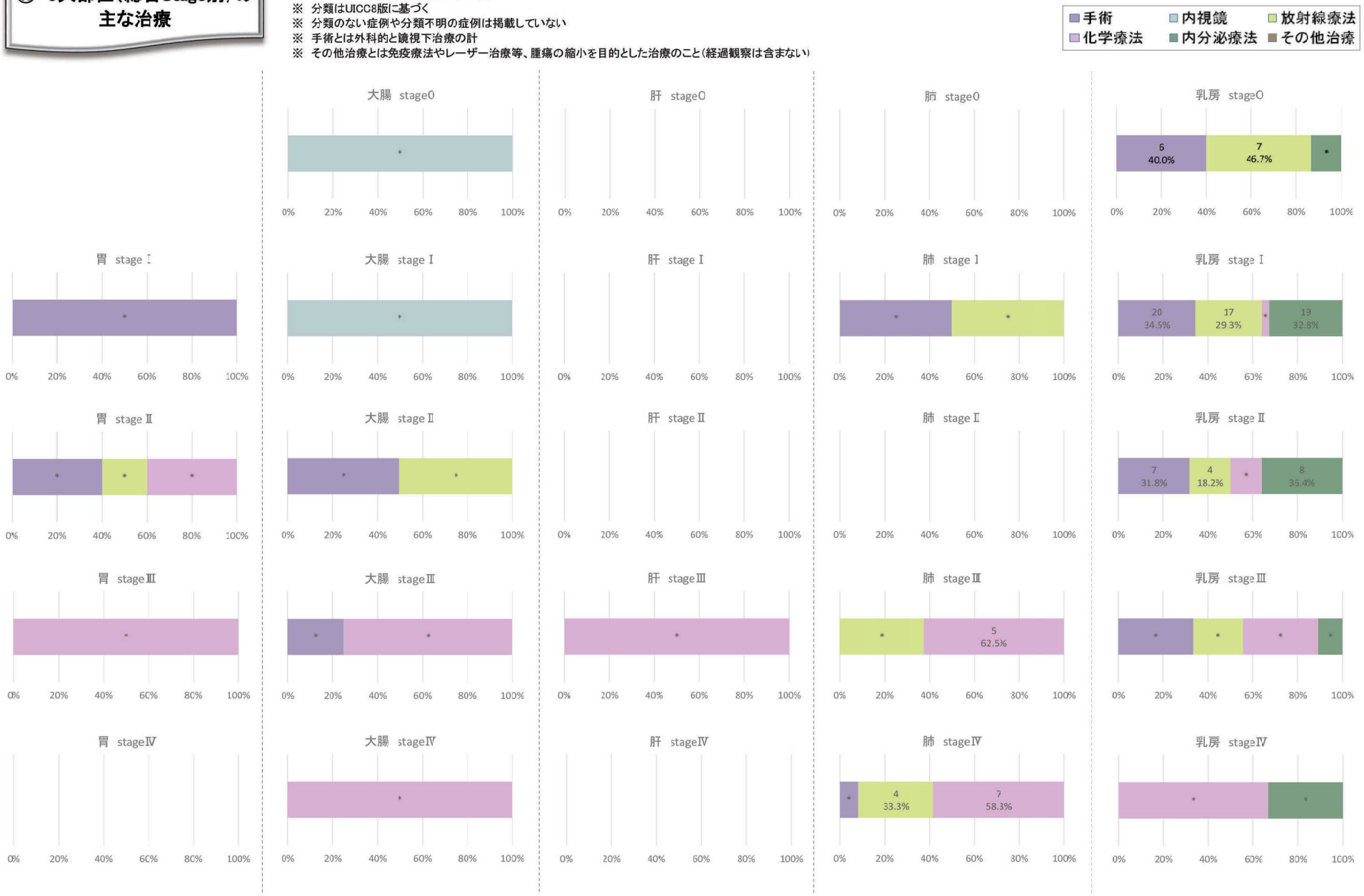
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	*		4					6	100.0%	0.0%	0.0%
食道				*				*			
胃★	5		*	*			*	10	80.0%	20.0%	0.0%
大腸★	*	*	*	4			*	10	100.0%	0.0%	0.0%
肝★				*				*			
膵				4			*	5			
肺★	*		8	12				21	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	23		*					25	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	36		30	10	31			107	94.4%	5.6%	0.0%
子宮頸部	15		*					16	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	*			5				7	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺			4					4			
膀胱			*					*			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患	*		*	15	*		*	19	0.0%	100.0%	0.0%
計	87	*	53	55	32	0	4	233			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医 療 機 関 名	独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター

○基本情報

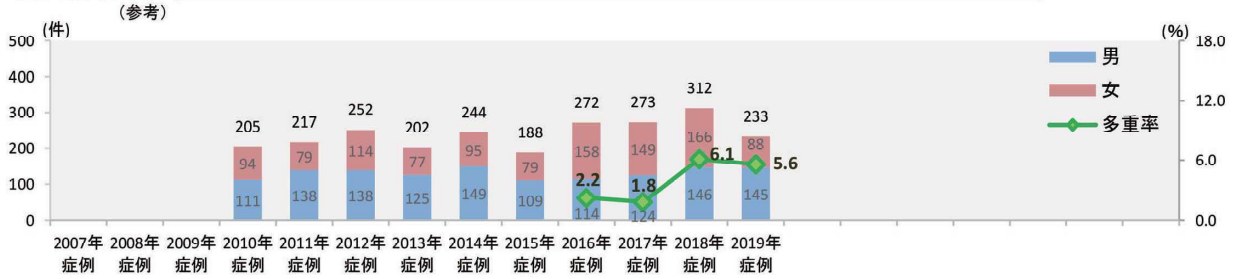
【令和元年12月現在】

所　在　地	合志市須屋2659番地
病　床　数	446床
診 療 科 数	17科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2009.11.01
平均在院日数	29.0（日）
入院患者数	4,597（人）
外来患者延数	63,722（人）
院内がん登録件数	233（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　1　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

【 登録件数 】 2019年は外来症例を含め233症例で，2018年に比べ79例減少していました。
【当院の特徴】 国立病院機構熊本再春医療センターは合志市須屋に位置し、菊池郡市医療圏に属しています。平成22年8月に熊本県から、「がん診療連携拠点病院」へ指定されました。平成24年8月から地域医療支援病院の指定を受けました。県北の中核病院として救急急性期一般医療と政策医療（神経筋疾患、重症心身障害、成育医療、運動器疾患など）を受け持っています。がん診療に関しては肺癌・大腸癌・胃癌・肝癌・膵癌・乳癌などの診断と治療を行っています。診断機能としては、CT，MRI，シンチグラム（核医学），マンモグラフィー，超音波，内視鏡を始めとする断装置を有しています。がん治療に関しては外科手術（大部分は胸腔鏡、腹腔鏡による鏡視下手術），抗癌化学療法，緩和医療を行い，外来化学療法，も併せて行っております。平成23年から当院でも年一回の緩和ケア講習会を医師・看護師・薬剤師を含めた医療従事者30名前後の参加のもとに開催しております。また、「がんサロン再春」を院内に設け、がん患者さん同士の交流の場を提供しており、桜の花見会，クリスマス会などを行っています。しかし、現在は新型コロナウイルスの影響等で閉鎖中です。
【部位別症例件数】 肺癌122例（7例減少）、大腸癌47例（2例減少）、胃癌20例（1例増加）、食道癌3例（1例減少）、乳癌14例（58例減少）、その他です。がん発生部位は肺癌52.4%・大腸癌20.2・胃癌8.6%・肝・胆、膵臓を含め6.9%・乳癌6.0%となっています。
【医療圏】 本院で診療を受けるがん患者が居住する医療圏は担当医療圏である菊池郡市が64.8%、熊本市19.3%、山鹿・鹿本12.0%となっています。また、70歳以上の高齢者が占める割合が高いことが特徴です。
【今後の抱負】 がん診療連携拠点病院として、がん診療の地域連携を進め、「私のカルテ」の導入を促進して参りたいと考えています。

診断年別登録件数
（参考）

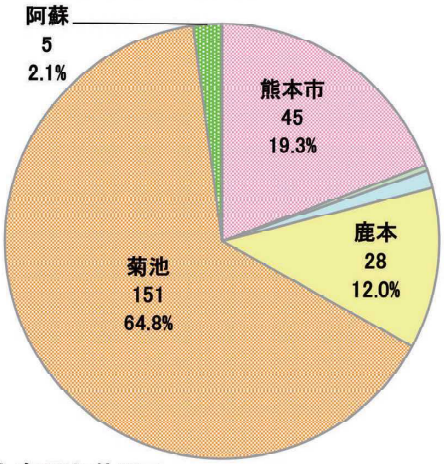


※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

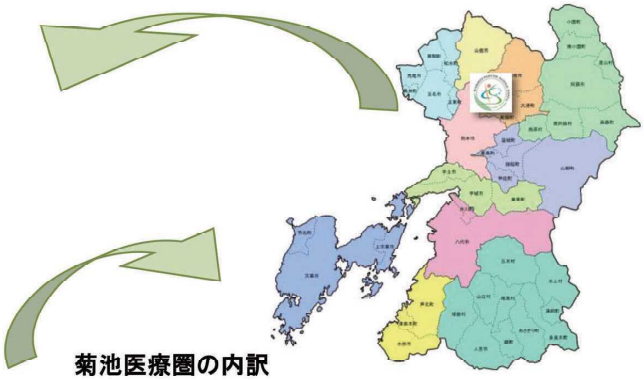
①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

熊本再春医療センター　（233件）



※宇城・有明は3件以下



菊池医療圏の内訳

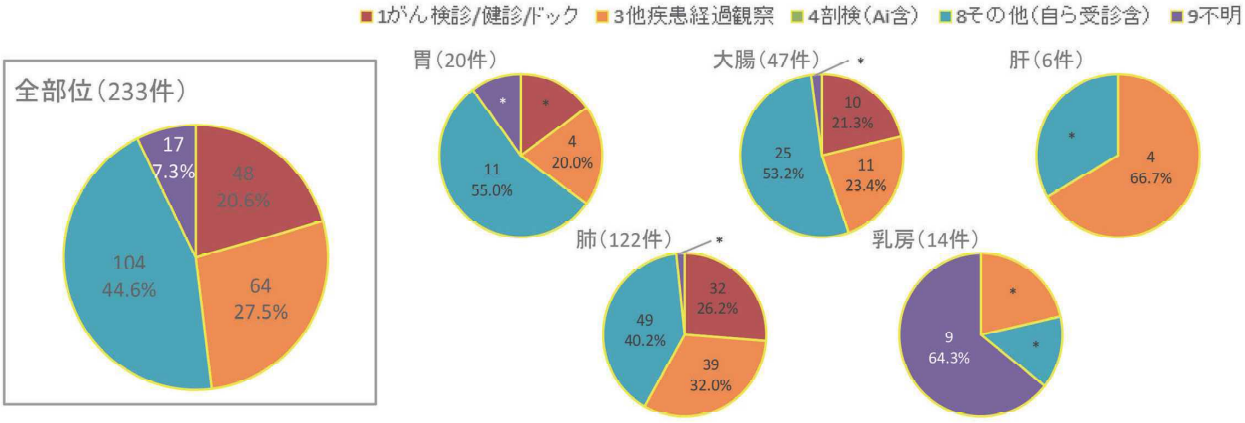
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	肺	32	鹿本	肺	22	上益城			球磨		
	大腸	4		複数部位	*						
	複数部位	*									
宇城	複数部位	*	菊池	肺	61	八代			天草		
				大腸	39						
				胃	17						
				乳房	10						
				膵	9						
有明	複数部位	*	阿蘇	肺	5	芦北			県外等		

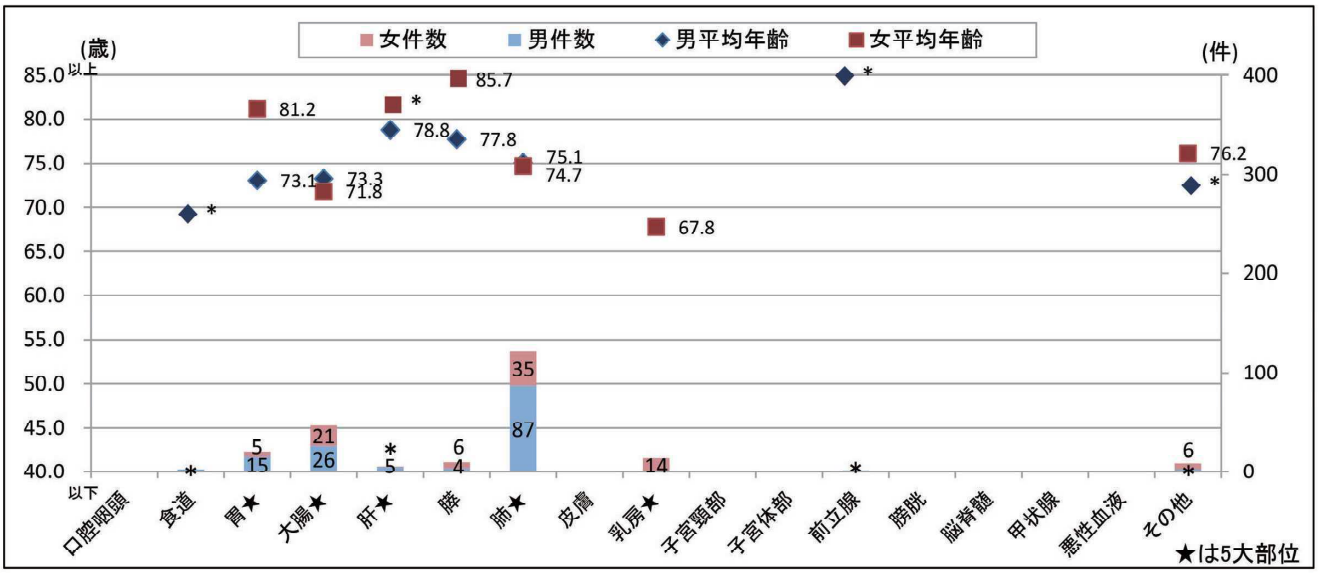
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
肺	87
大腸	26
胃	15
肝	5
膵	4
食道	*
その他	*
前立腺	*
口腔咽頭	
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	145

0～14歳	

15～39歳	

40～49歳	
複数部位	*
計	*

50～59歳	
複数部位	*
計	*

60～69歳	
肺	18
大腸	9
胃	4
複数部位	*
計	34

70～79歳	
肺	40
大腸	7
胃	5
複数部位	*
計	59

80～89歳	
肺	24
大腸	8
胃	5
複数部位	*
計	42

90歳～	
複数部位	*
計	5

女性全体	
肺	35
大腸	21
乳房	14
膵	6
その他	6
胃	5
肝	*
口腔咽頭	
食道	
皮膚	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	88

0～14歳	

15～39歳	

40～49歳	
乳房	4
複数部位	*
計	6

50～59歳	
肺	4
計	4

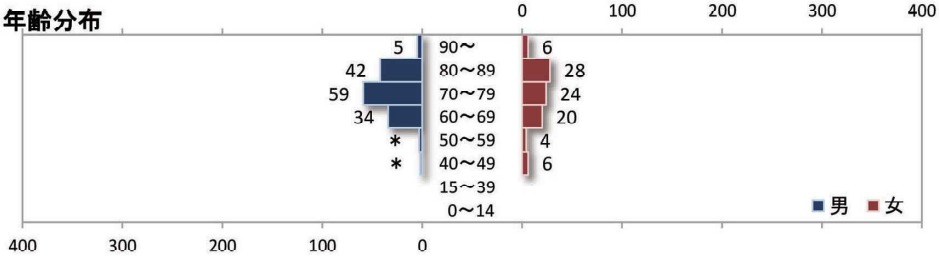
60～69歳	
肺	10
大腸	7
複数部位	*
計	20

70～79歳	
肺	8
胃	4
大腸	4
その他	4
複数部位	*
計	24

80～89歳	
肺	10
大腸	8
乳房	5
複数部位	*
計	28

90歳～	
複数部位	*
計	6

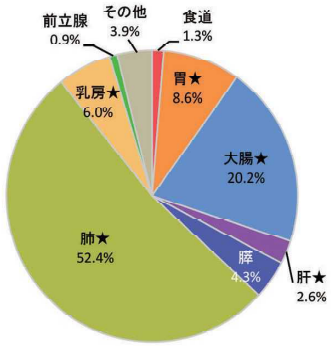
年齢分布



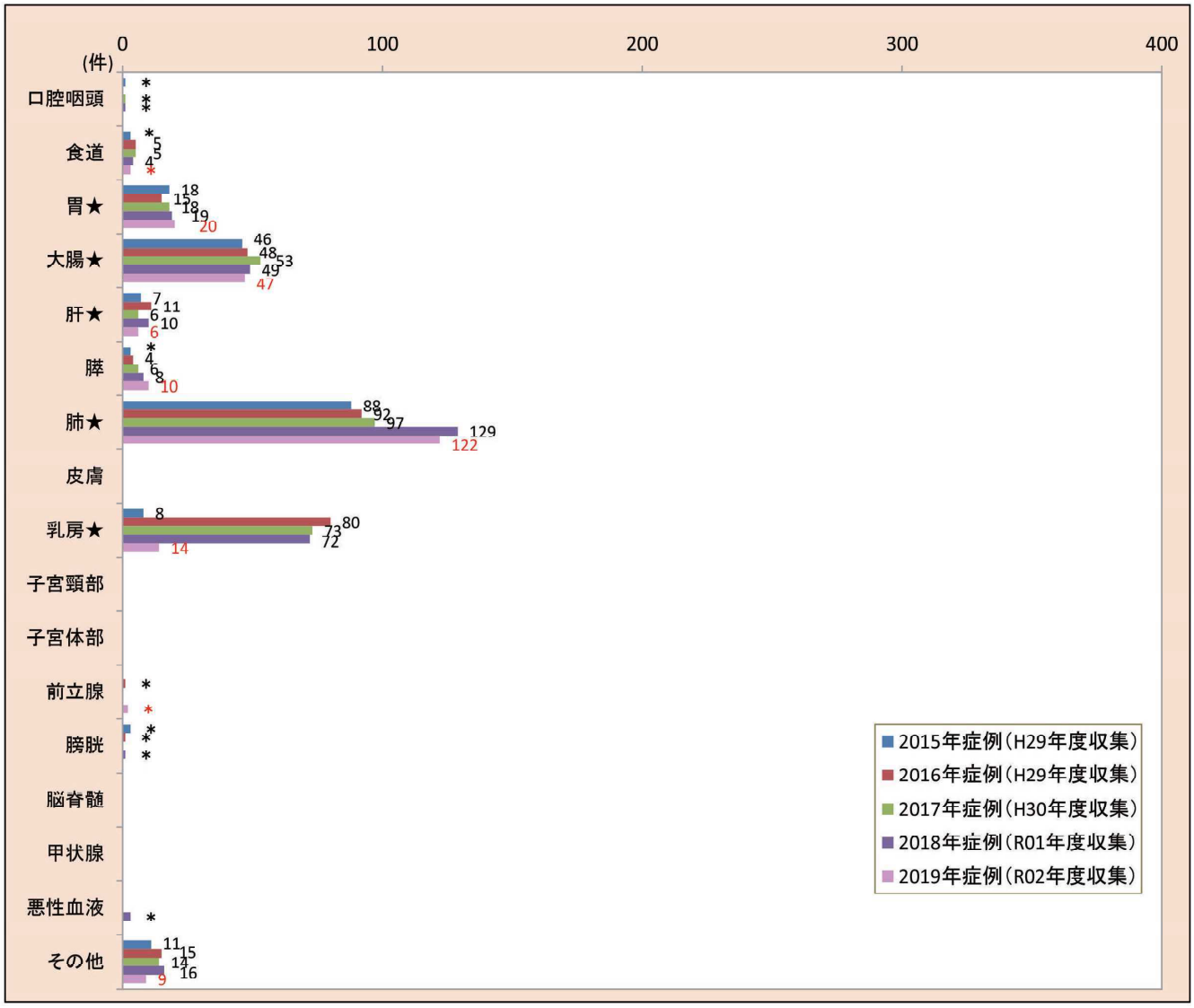
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	*		*	*	
食道	*	5	5	4	*
胃★	18	15	18	19	20
大腸★	46	48	53	49	47
肝★	7	11	6	10	6
膵	*	4	6	8	10
肺★	88	92	97	129	122
皮膚					
乳房★	8	80	73	72	14
子宮頸部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	
子宮体部					
前立腺		*			*
膀胱	*	*		*	
脳脊髄					
甲状腺					
悪性血液疾患				*	
その他	11	15	14	16	9
計	188	272	273	312	233

2019年診断症例　主要部位別割合

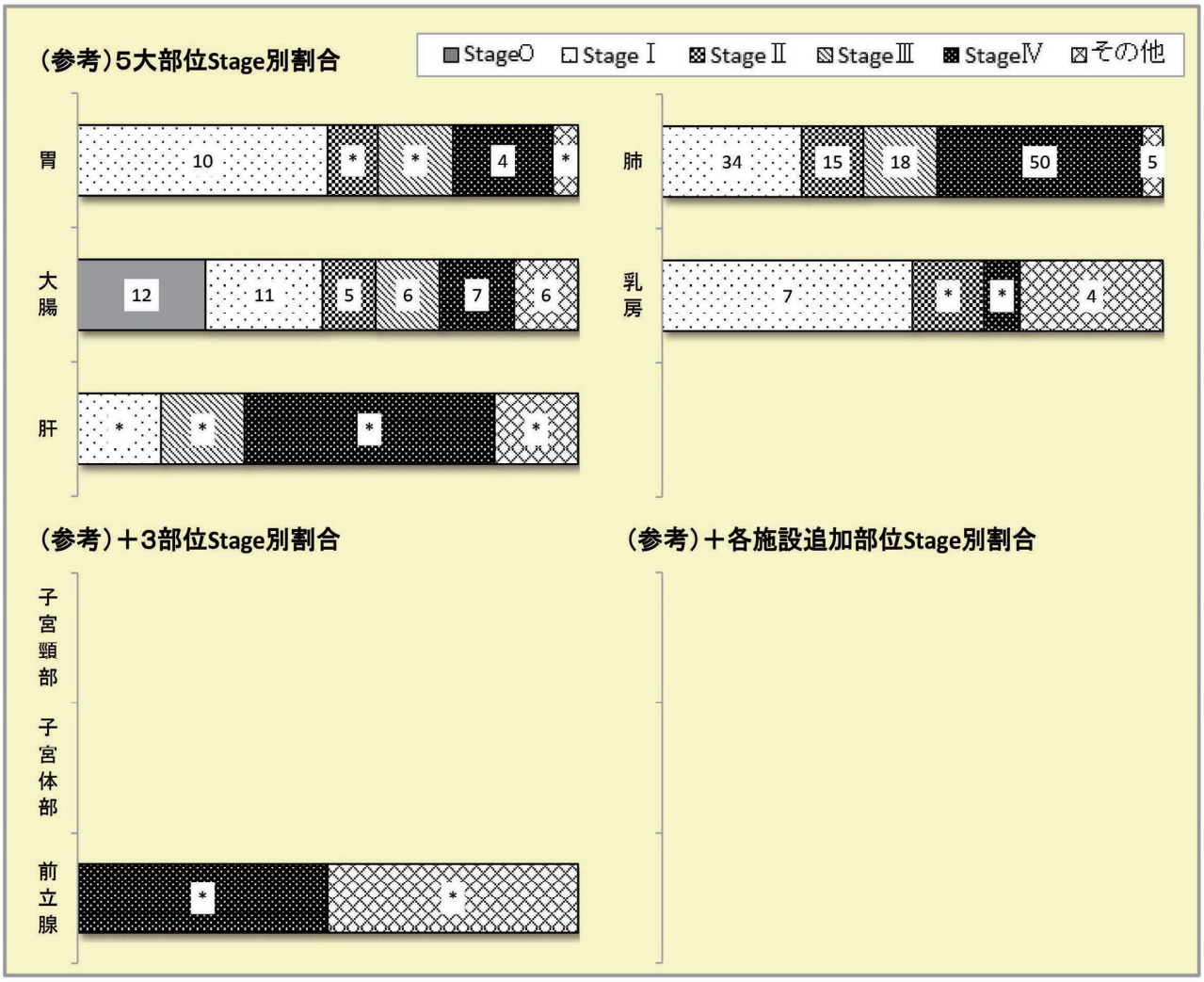


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

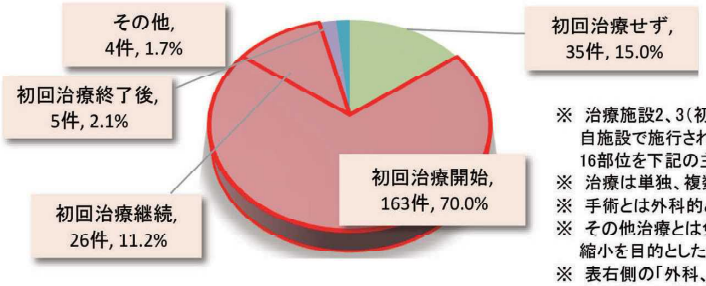
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	0						
食道	*				*		*
胃★	20		10	*	*	4	*
大腸★	47	12	11	5	6	7	6
肝★	6		*		*	*	*
膵	10		*		*	5	*
肺★	122		34	15	18	50	5
皮膚	0						
乳房★	14		7	*		*	4
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	*					*	*
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	0						
その他	9					*	7
計	233	12	64	24	30	73	30



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

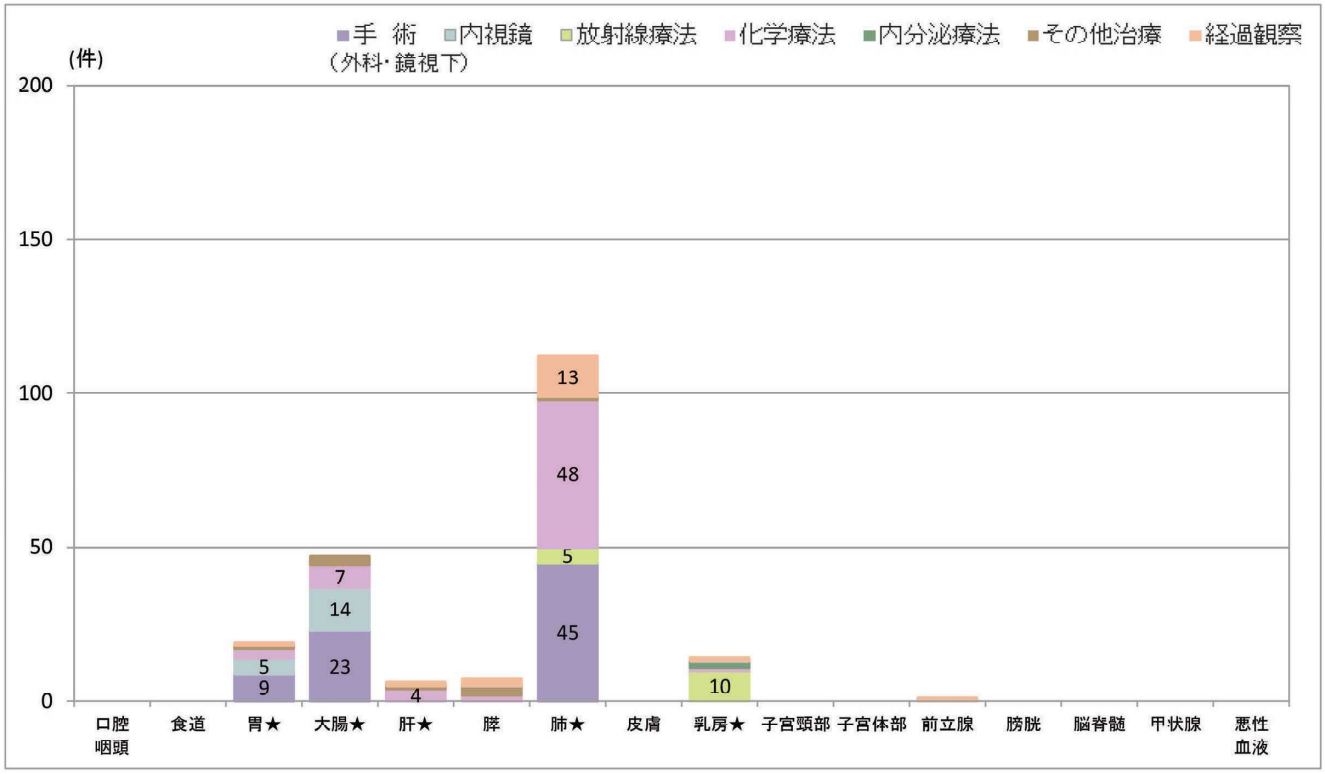
治療施設	件数
1初回治療せず	35
2初回治療開始	163
3初回治療継続	26
4初回治療終了後	5
8その他	4
計	233



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

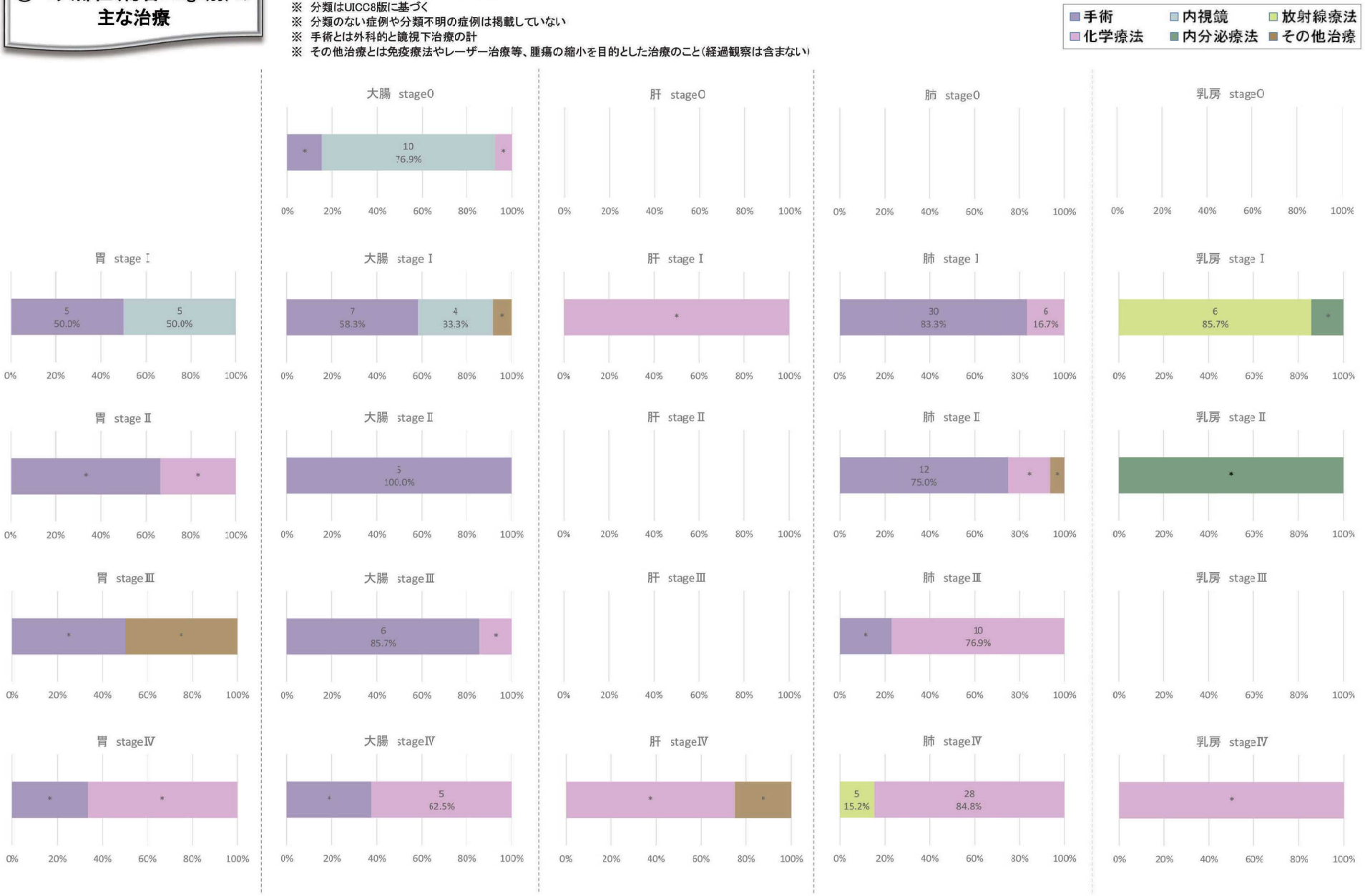
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★	9	5		*		*	*	19	88.9%	11.1%	0.0%
大腸★	23	14		7		*		47	91.3%	8.7%	0.0%
肝★				4		*	*	6			
膵				*		*	*	7			
肺★	45		5	48		*	13	112	95.6%	4.4%	0.0%
皮膚								0			
乳房★			10	*	*		*	14			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺							*	*			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	77	19	15	65	*	9	19	206			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医療機関名	独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	八代市通町10番10号
病　床　数	400床
診療科数	46科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2007.04.01
平均在院日数	17.6（日）
入院患者数	7,346（人）
外来患者延数	140,474（人）
院内がん登録件数	740（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　1　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

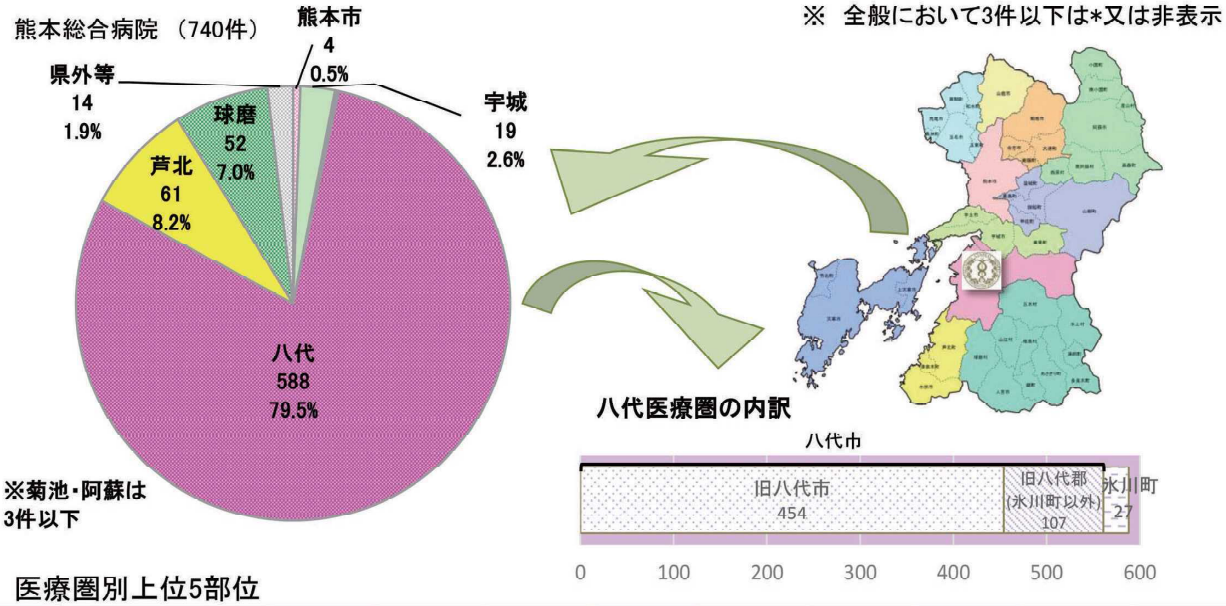
当院は2006年からがんセンターを設立し、特にがん治療に力を入れている。
1.症例件数
当院における2019年の症例件数は740件（前年比＋82件）であり、男女比としては男性が59．9％（443件）、女性が40．1％（297件）であった。また八代医療圏における患者の割合は79．5％となっている。
2.平均年齢
症例の平均年齢は72．4歳（前年比＋0．2）であり、年齢層では前年同様男性は70歳代が最も多く、女性は80歳代が最も多かった。
3.部位別症例件数
部位別では、大腸がん118件（15．9％）、悪性血液疾患115件（15．5％）、前立腺がん106件（14．3％）、胃がん76件（10．3％）の順で多かった。登録部位の順は前年と比べて、大腸がんが悪性血液疾患を上回っていて、大腸がんの件数増加が認められた。また上位4部位で全体の56．1％を占めていた。
4.治療
症例の増加に従い手術（外科・体腔鏡）や化学療法等の治療件数も増えてきている。
内訳は、手術が治療全体の35．7％、化学療法25．3％、内分泌療法10．1％、内視鏡9．9％、放射線治療法8．4％の順になっており、内分泌療法の伸びが大きい。
そして9月より、daVinciによる胃がんの手術も始まり、今後手術件数増加が見込まれる。
胃や大腸は進行癌であっても化学療法を行い、癌の進行度に応じた術式を選択し、個々の症例に最も適切な手術を行うようにしており、可能な限り根治術を目指している。
当院は最新の質の高いがん治療を行っているが、今後も継続しながら更なる地域医療や施設との連携を図って行く必要がある。

診断年別登録件数
（参考）

※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



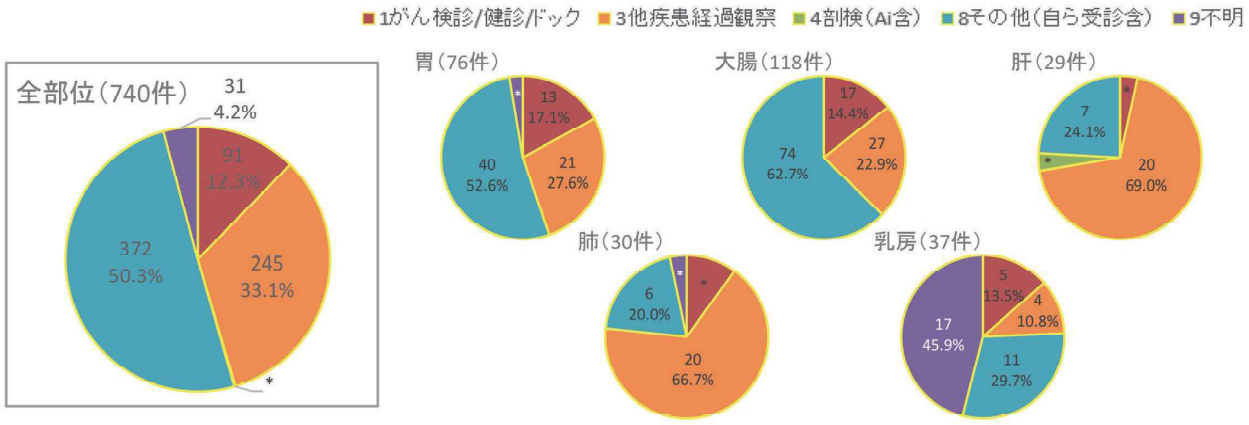
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	複数部位	*	鹿本			上益城			球磨	前立腺	21
										膀胱	10
										その他	10
										複数部位	*
宇城	複数部位	*	菊池	複数部位	*	八代	大腸	103	天草		
							悪性血液	83			
							前立腺	71			
							胃	67			
							その他	40			
有明			阿蘇	複数部位	*	芦北	悪性血液	22	県外等	悪性血液	7
							前立腺	9		複数部位	*
							大腸	8			
							複数部位	*			

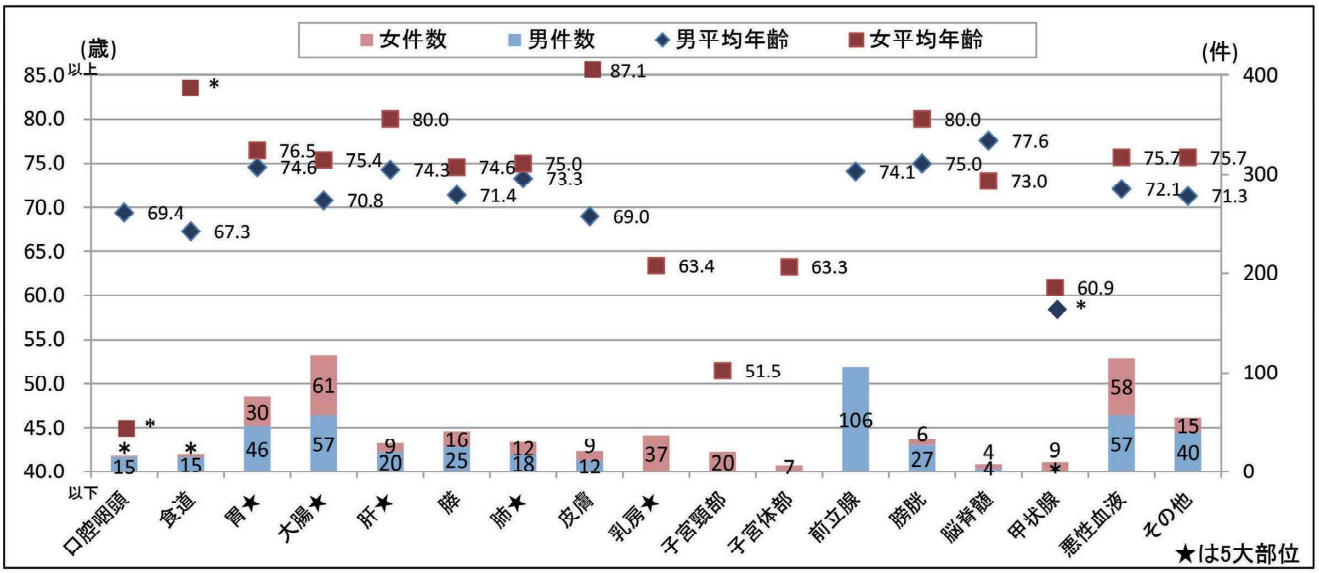
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	106
大腸	57
悪性血液	57
胃	46
その他	40
膀胱	27
膵	25
肝	20
肺	18
口腔咽頭	15
食道	15
皮膚	12
脳脊髄	4
甲状腺	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	443

0～14歳	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
複数部位	*
計	9

50～59歳	
大腸	8
悪性血液	5
口腔咽頭	4
食道	4
皮膚	4
複数部位	*
計	38

60～69歳	
前立腺	36
大腸	17
悪性血液	17
胃	13
その他	12
など	
計	121

70～79歳	
前立腺	45
大腸	19
悪性血液	18
胃	17
膀胱	11
など	
計	151

80～89歳	
前立腺	19
胃	13
悪性血液	13
その他	11
膀胱	10
など	
計	102

90歳～	
前立腺	5
複数部位	*
計	20

女性全体	
大腸	61
悪性血液	58
乳房	37
胃	30
子宮頸部	20
膵	16
その他	15
肺	12
肝	9
皮膚	9
甲状腺	9
子宮体部	7
膀胱	6
脳脊髄	4
食道	*
口腔咽頭	*
前立腺	
計	297

0～14歳	

15～39歳	
子宮頸部	5
複数部位	*
計	9

40～49歳	
乳房	8
悪性血液	5
大腸	4
子宮頸部	4
複数部位	*
計	27

50～59歳	
乳房	7
子宮頸部	5
複数部位	*
計	17

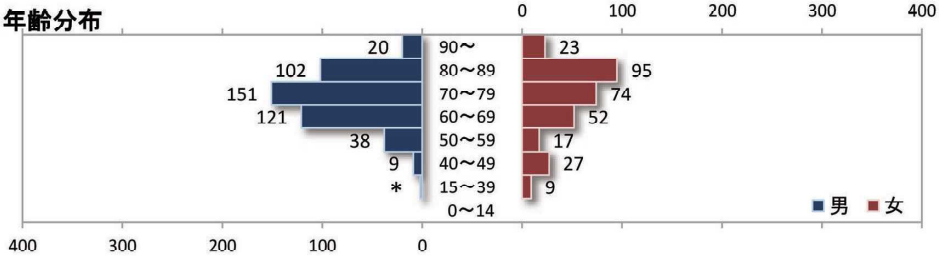
60～69歳	
大腸	10
悪性血液	10
乳房	8
胃	5
甲状腺	5
複数部位	*
計	52

70～79歳	
大腸	19
悪性血液	14
乳房	9
その他	7
胃	6
など	
計	74

80～89歳	
悪性血液	25
大腸	22
胃	13
肝	6
複数部位	各5
など	
計	95

90歳～	
大腸	5
皮膚	4
複数部位	*
計	23

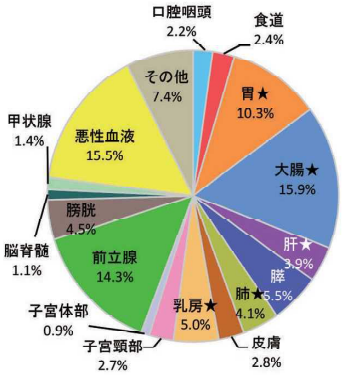
年齢分布



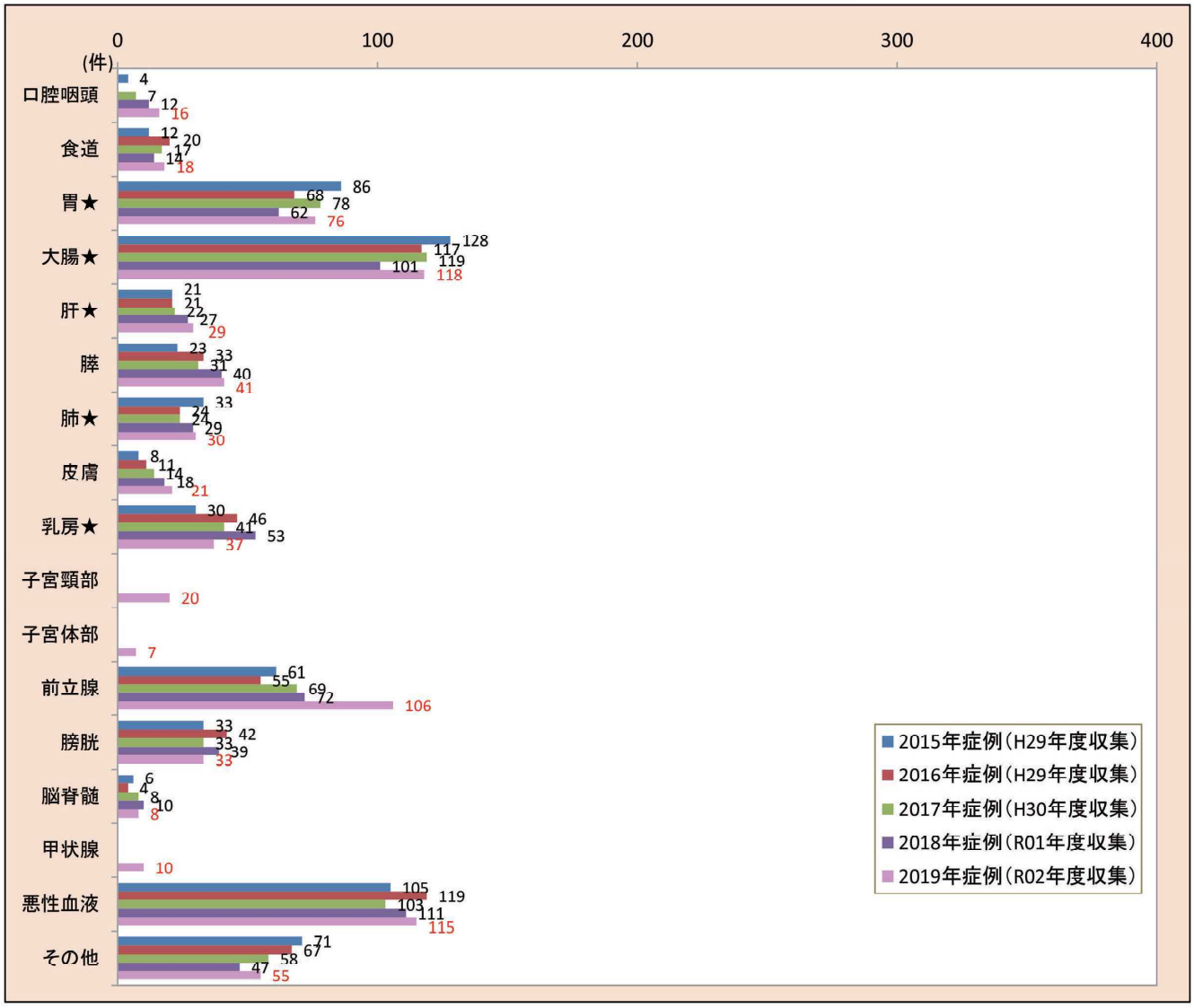
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	4		7	12	16
食道	12	20	17	14	18
胃★	86	68	78	62	76
大腸★	128	117	119	101	118
肝★	21	21	22	27	29
膵	23	33	31	40	41
肺★	33	24	24	29	30
皮膚	8	11	14	18	21
乳房★	30	46	41	53	37
子宮頸部	12（頸部・体部）	20（頸部・体部）	21（頸部・体部）	23（頸部・体部）	20
子宮体部					7
前立腺	61	55	69	72	106
膀胱	33	42	33	39	33
脳脊髄	6	4	8	10	8
甲状腺					10
悪性血液疾患	105	119	103	111	115
その他	71	67	58	47	55
計	633	647	645	658	740

2019年診断症例　主要部位別割合

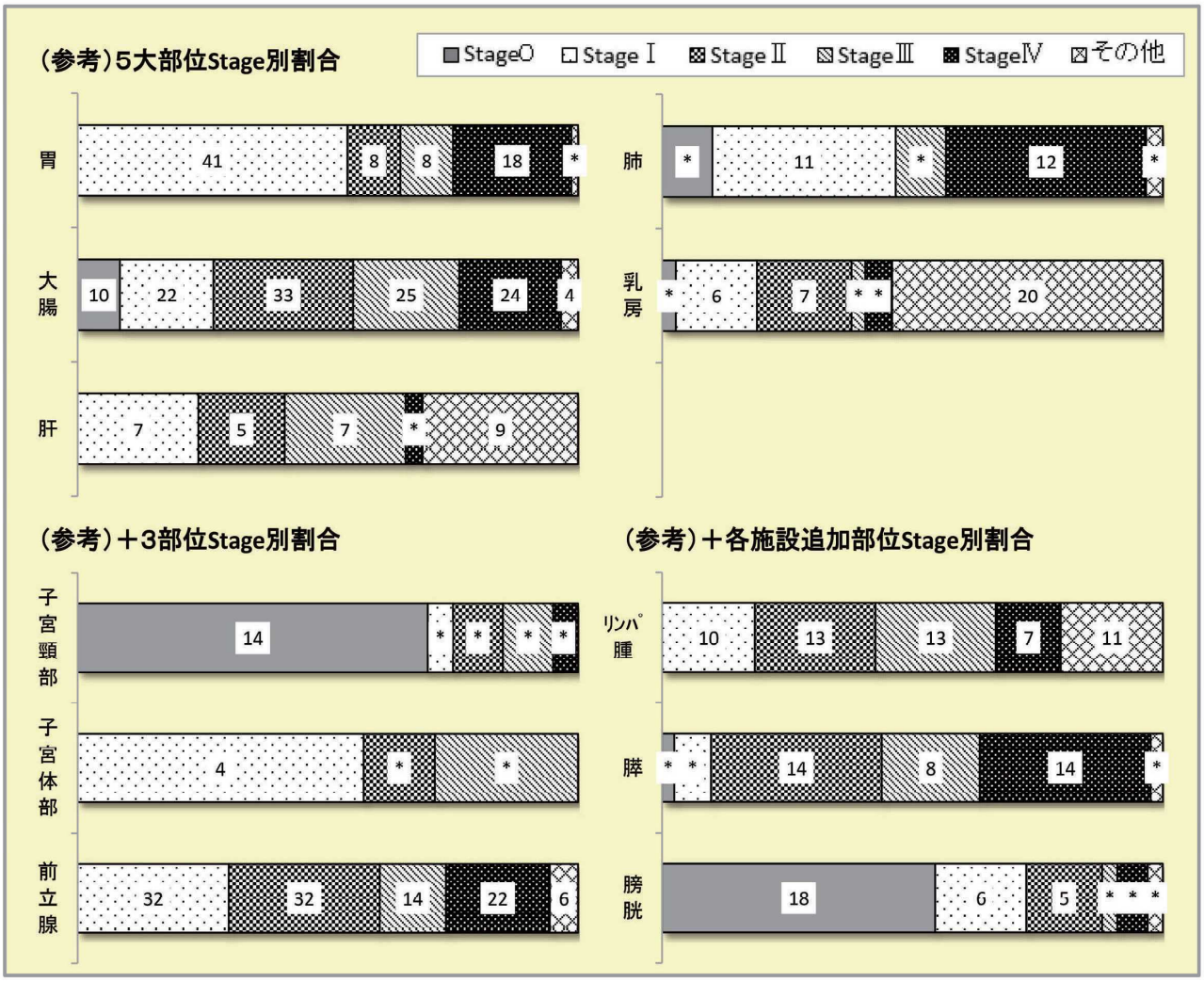


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

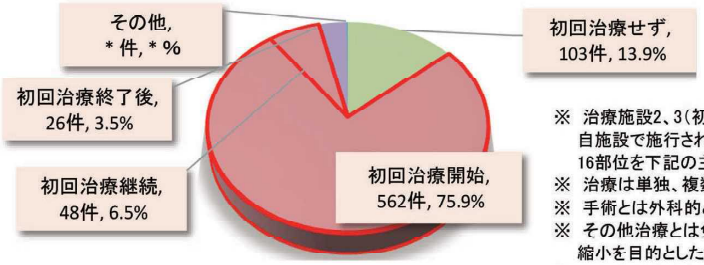
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	16	*	*	4	*	5	*
食道	18		7	*	*	7	
胃★	76		41	8	8	18	*
大腸★	118	10	22	33	25	24	4
肝★	29		7	5	7	*	9
膵	41	*	*	14	8	14	*
肺★	30	*	11		*	12	*
皮膚	21	*	11	*		*	*
乳房★	37	*	6	7	*	*	20
子宮頸部	20	14	*	*	*	*	
子宮体部	7		4	*	*		
前立腺	106		32	32	14	22	6
膀胱	33	18	6	5	*	*	*
脳脊髄	8						8
甲状腺	10		6	*			*
悪性血液疾患	115		10	13	13	7	72
その他	55	5	19	*	6	12	10
計	740	56	188	135	93	129	139



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

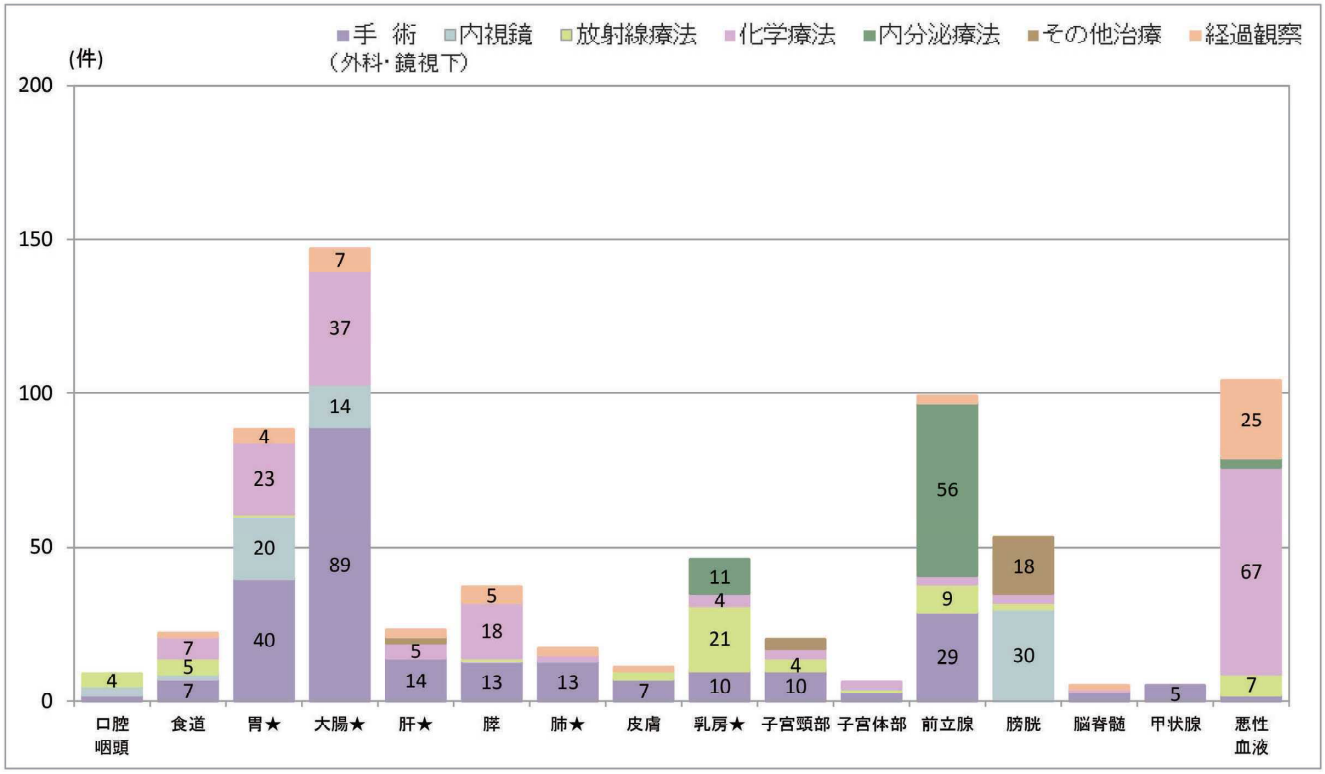
治療施設	件数
1初回治療せず	103
2初回治療開始	562
3初回治療継続	48
4初回治療終了後	26
8その他	*
計	740



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	*	*	4					9	100.0%	0.0%	0.0%
食道	7	*	5	7			*	22	88.9%	11.1%	0.0%
胃★	40	20	*	23			4	88	92.9%	7.1%	0.0%
大腸★	89	14		37			7	147	87.0%	13.0%	0.0%
肝★	14			5		*	*	23	100.0%	0.0%	0.0%
膵	13		*	18			5	37	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	13			*			*	17	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	7		*				*	11	85.7%	14.3%	0.0%
乳房★	10		21	4	11			46	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部	10		4	*		*		20	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	*		*	*				6	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺	29		9	*	56		*	99	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱		30	*	*		18		53	56.7%	43.3%	0.0%
脳脊髄	*			*			*	5	66.7%	33.3%	0.0%
甲状腺	5							5	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	*		7	67	*		25	104	100.0%	0.0%	0.0%
計	247	69	58	175	70	23	50	692			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■内視鏡 ■放射線療法 ■化学療法 ■内分泌療法 ■その他治療

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医療機関名	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	熊本市南区田井島1丁目5番1号
病　床　数	361床
診療科数	21科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2008.01.01
平均在院日数	11.8（日）
入院患者数	9,219（人）
外来患者延数	126,429（人）
院内がん登録件数	1,235（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　4　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

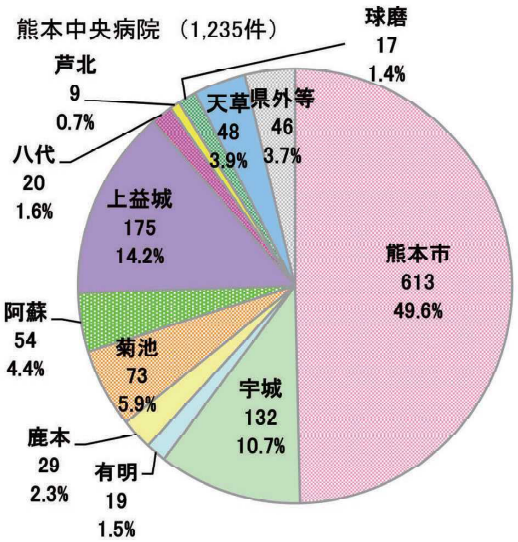
[件数]
当院の症例数は1235件であり、昨年と比べ約10%の増加となっている(前年1123件)。
[男女比・平均年齢]
男女比率は男性69.3%(856件)、女性30.7%(379件)、平均年齢は72.0歳であり、ほぼ前年同様である。
[患者住所医療圏]
熊本市が49.6%を占め、続いて上益城(14.2%)、宇城(10.7%)、菊池(5.9%)と、熊本市に限らず複数の医療圏をカバーしており、くまちゅう画像ネットの利用など地域連携に取り組んでいる結果といえる。
[当院の特徴]
当院症例の特徴としては、前立腺と肺で全体の半数(50.4%)を占めていることが挙げられ、前立腺の手術、内分泌療法等を主とする泌尿器系の治療と、肺の手術、化学療法、放射線療法等を主とする呼吸器系の治療に特化している。
主要部位別件数の上位からみると、前立腺(320件)、肺(303件)、大腸(148件)、膀胱(112件)、乳房(92件)となり、上位5部位に5大がんのうち3部位が入っている。
また、統計上では「部位区分:その他」に含まれているが、腎、尿路等の症例数も多く、前立腺、膀胱と合わせると、泌尿器系の症例数は495件に上る。同様に消化器系の症例数は278件となる。
治療に関しては、例年どおり手術の中でも体腔鏡的手術(胸腔鏡、腹腔鏡)の症例数が多く、QOLを考慮した治療を行っていると言える。また、消化器系の症例においては、大腸(40件)、胃(28件)、食道(11件)と内視鏡的治療も行っており、進行度に合わせた治療の選択が可能である。
手術以外では、腫瘍内科、外来化学療法室での化学療法、放射線科での放射線療法と、内科的治療の体制も整備されており、集学的治療を行うことができる。

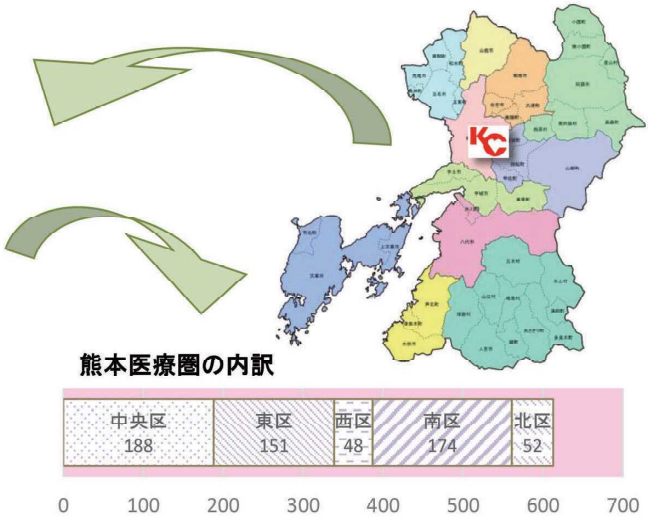
診断年別登録件数
（参考）

※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





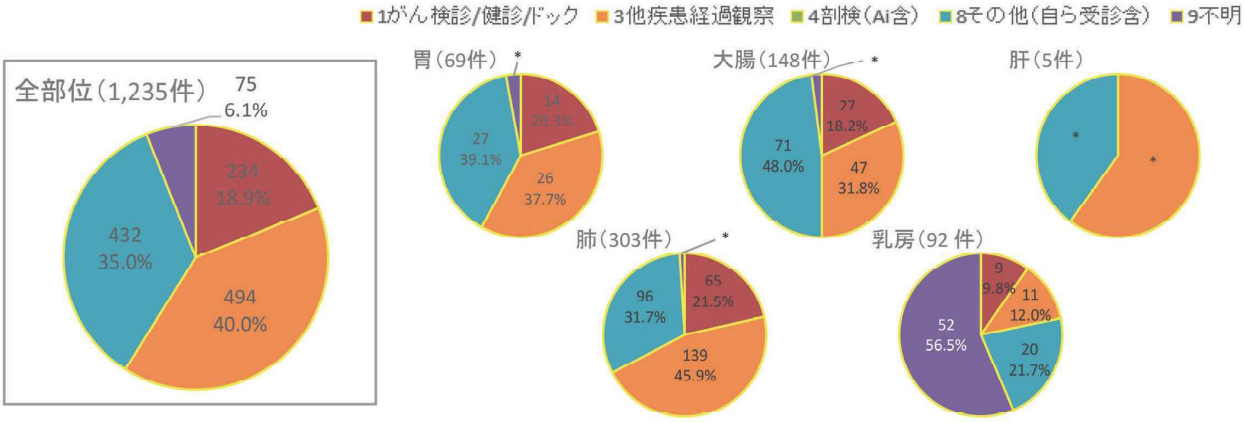
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	肺	154	鹿本	前立腺	14	上益城	前立腺	56	球磨	前立腺	9
	前立腺	129		肺	5		肺	34		複数部位	*
	大腸	95		膀胱	5		大腸	20			
	乳房	60		複数部位	*		胃	16			
	その他	52					膀胱	13			
宇城	前立腺	45	菊池	前立腺	25	八代	肺	6	天草	前立腺	11
	肺	22		膀胱	16		前立腺	5		肺	9
	その他	15		肺	10		複数部位	*		膀胱	7
	膀胱	14		その他	6					大腸	5
	大腸	12		複数部位	*					その他	5
有明	肺	10	阿蘇	肺	20	芦北	肺	8	県外等	肺	23
	複数部位	*		前立腺	13		複数部位	*		前立腺	9
				膀胱	7					大腸	5
				その他	6					その他	4
				大腸	4					複数部位	*

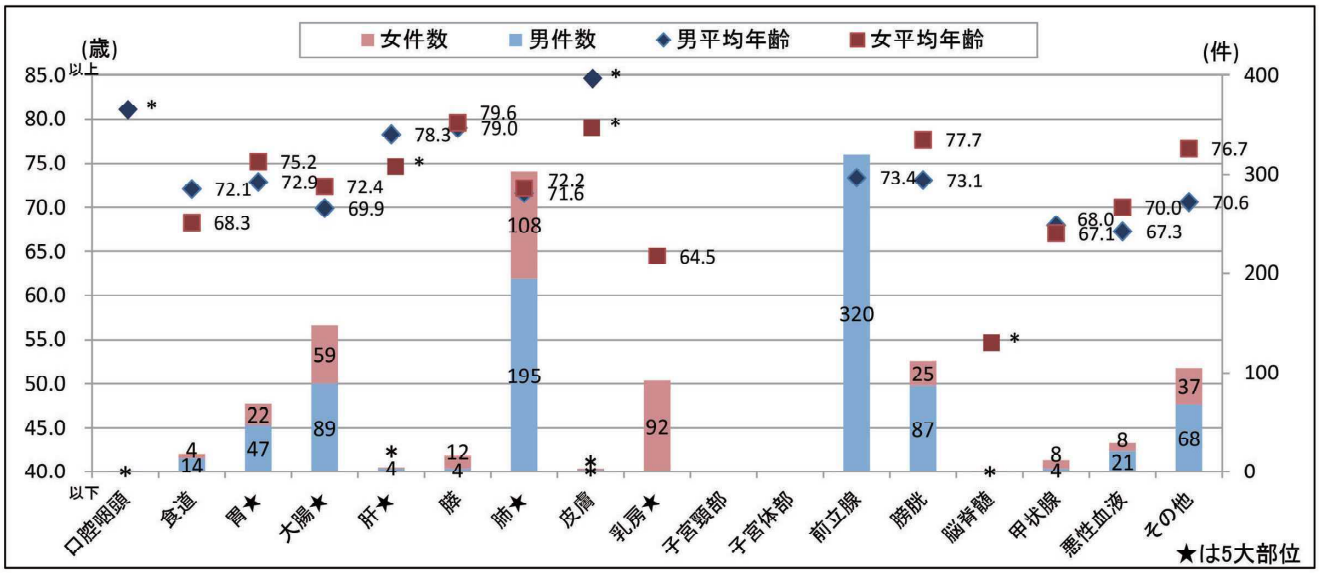
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	320
肺	195
大腸	89
膀胱	87
その他	68
胃	47
悪性血液	21
食道	14
肝	4
膵	4
甲状腺	4
皮膚	*
口腔咽頭	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
計	856

0～14歳	
計	

15～39歳	
複数部位	*
計	4

40～49歳	
大腸	4
複数部位	*
計	15

50～59歳	
肺	15
大腸	8
膀胱	8
前立腺	5
複数部位	*
計	43

60～69歳	
前立腺	87
肺	68
大腸	26
その他	26
膀胱	23
など	
計	258

70～79歳	
前立腺	162
肺	68
大腸	34
膀胱	24
その他	21
など	
計	342

80～89歳	
前立腺	62
肺	41
膀胱	25
大腸	16
胃	11
など	
計	178

90歳～	
その他	5
膀胱	4
複数部位	*
計	16

女性全体	
肺	108
乳房	92
大腸	59
その他	37
膀胱	25
胃	22
膵	12
甲状腺	8
悪性血液	8
食道	4
皮膚	*
肝	*
脳脊髄	*
口腔咽頭	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
計	379

0～14歳	
計	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
乳房	9
複数部位	*
計	16

50～59歳	
乳房	20
大腸	8
肺	8
複数部位	*
計	40

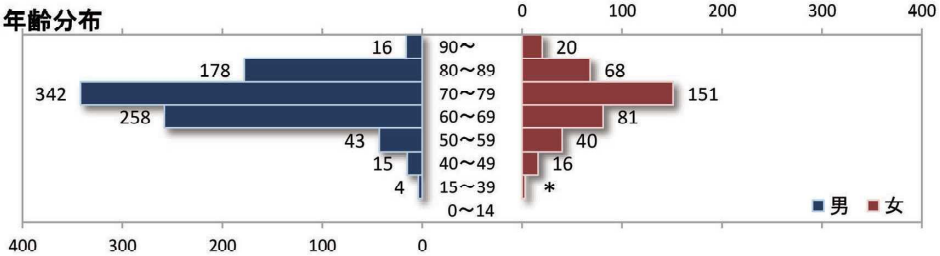
60～69歳	
肺	27
乳房	26
大腸	12
その他	6
胃	5
複数部位	*
計	81

70～79歳	
肺	46
乳房	26
大腸	24
その他	17
膀胱	16
など	
計	151

80～89歳	
肺	21
大腸	9
その他	9
乳房	8
膀胱	7
など	
計	68

90歳～	
大腸	5
肺	4
その他	4
複数部位	*
計	20

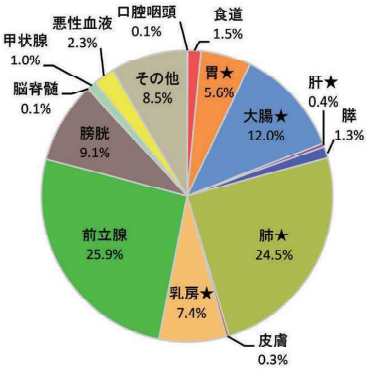
年齢分布



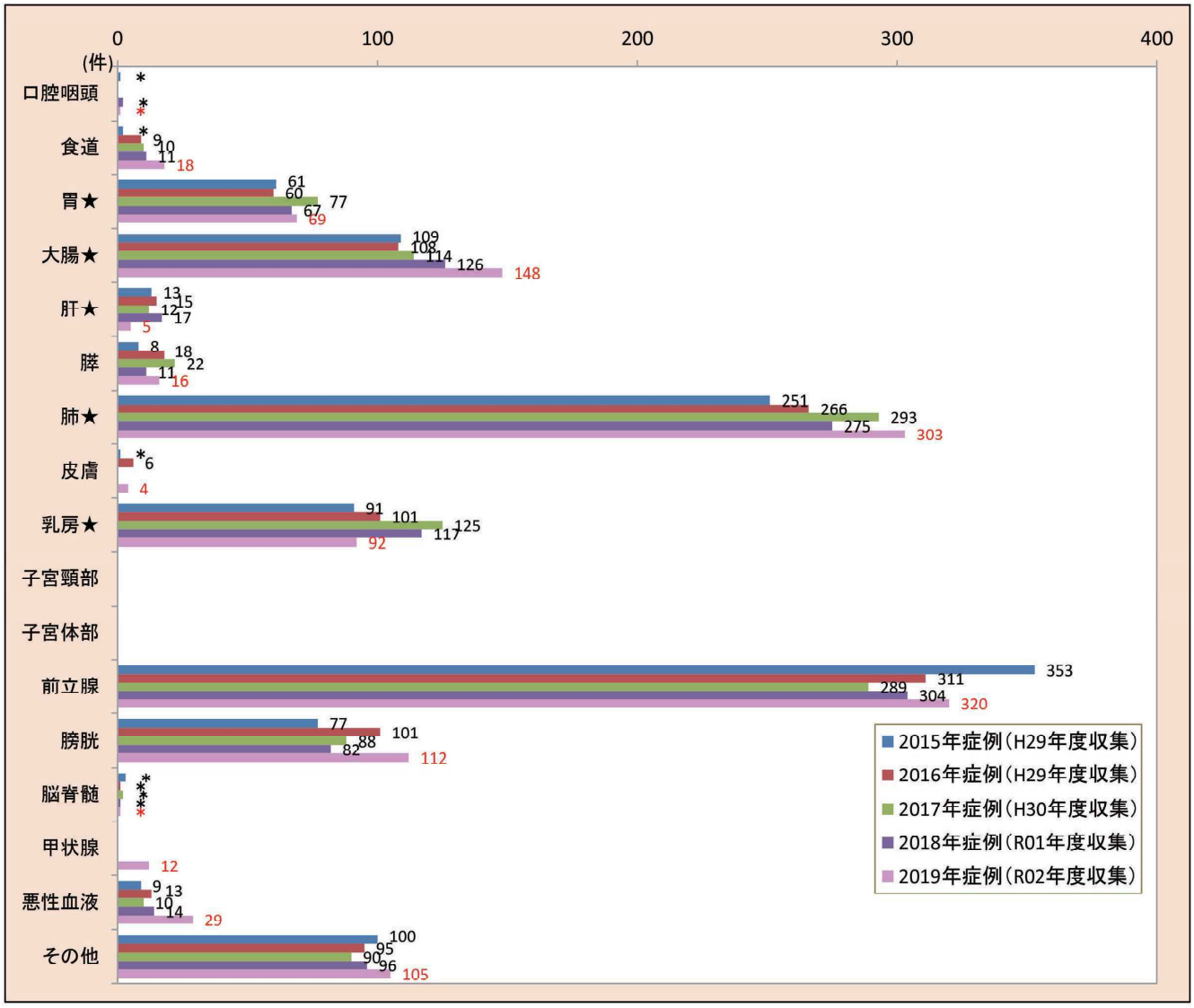
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	*			*	*
食道	*	9	10	11	18
胃★	61	60	77	67	69
大腸★	109	108	114	126	148
肝★	13	15	12	17	5
膵	8	18	22	11	16
肺★	251	266	293	275	303
皮膚	*	6			4
乳房★	91	101	125	117	92
子宮頸部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	*（頸部・体部）	（頸部・体部）	
子宮体部					
前立腺	353	311	289	304	320
膀胱	77	101	88	82	112
脳脊髄	*	*	*	*	*
甲状腺					12
悪性血液疾患	9	13	10	14	29
その他	100	95	90	96	105
計	1,079	1,104	1,133	1,123	1,235

2019年診断症例　主要部位別割合

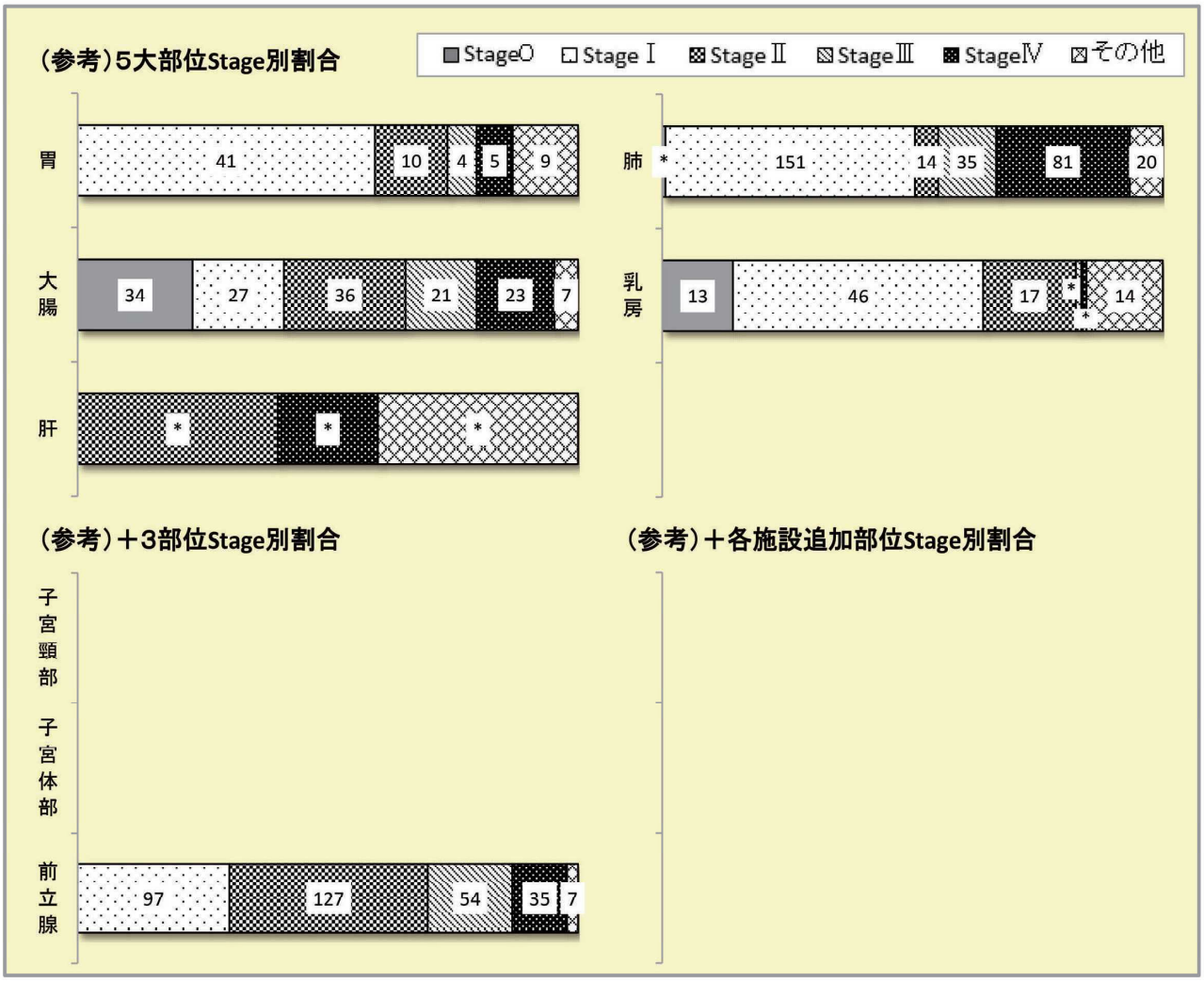


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

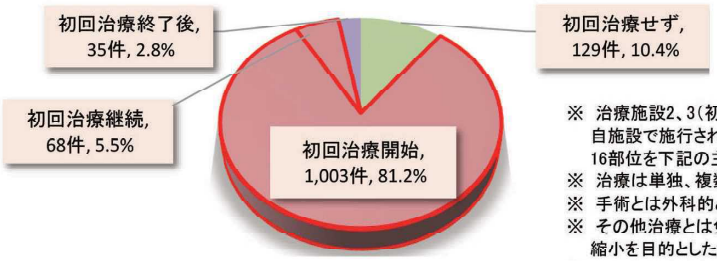
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	*						*
食道	18	*	10			*	4
胃★	69		41	10	4	5	9
大腸★	148	34	27	36	21	23	7
肝★	5			*		*	*
膵	16			*		8	5
肺★	303	*	151	14	35	81	20
皮膚	4		*	*			*
乳房★	92	13	46	17	*	*	14
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	320		97	127	54	35	7
膀胱	112	42	43	6	8	*	12
脳脊髄	*						*
甲状腺	12		8	*			*
悪性血液疾患	29		*		*	*	24
その他	105	4	44	12	10	12	23
計	1,235	97	470	231	134	171	132



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

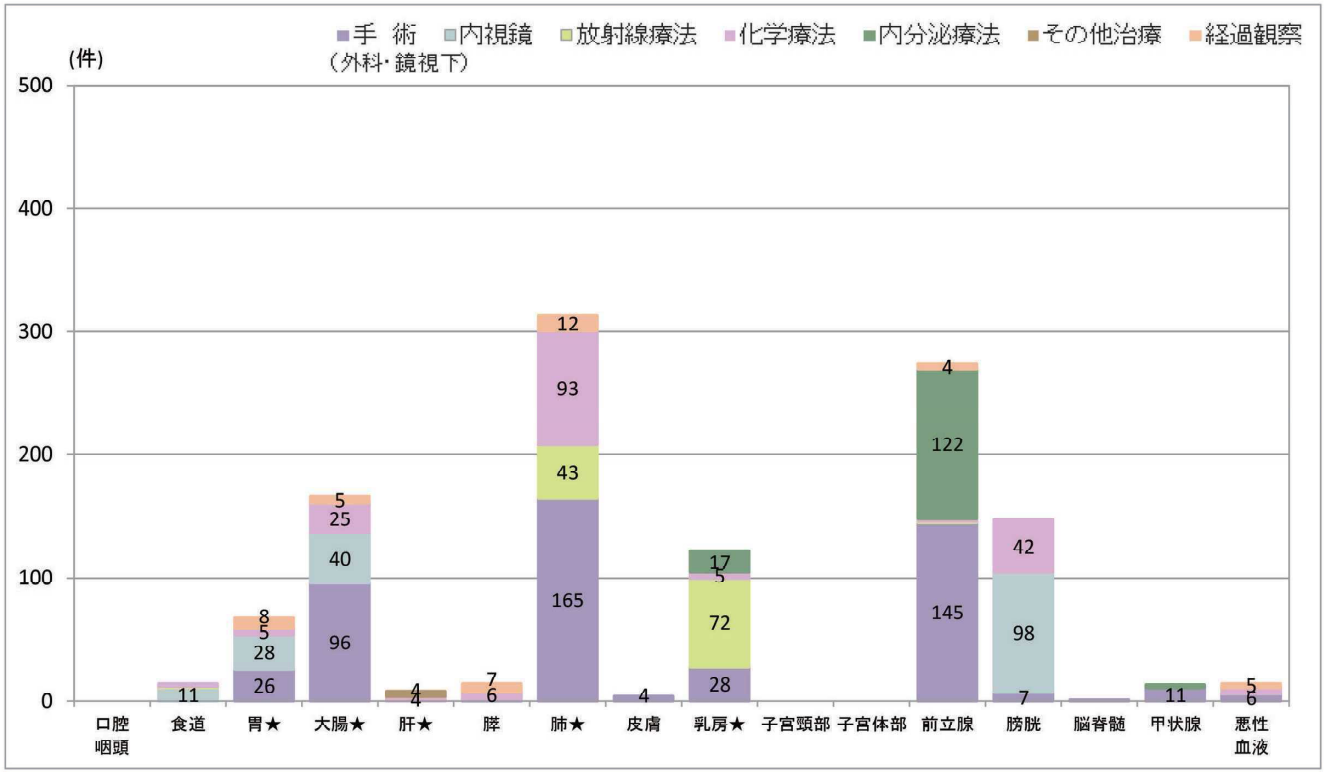
治療施設	件数
1初回治療せず	129
2初回治療開始	1,003
3初回治療継続	68
4初回治療終了後	35
8その他	0
計	1,235



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

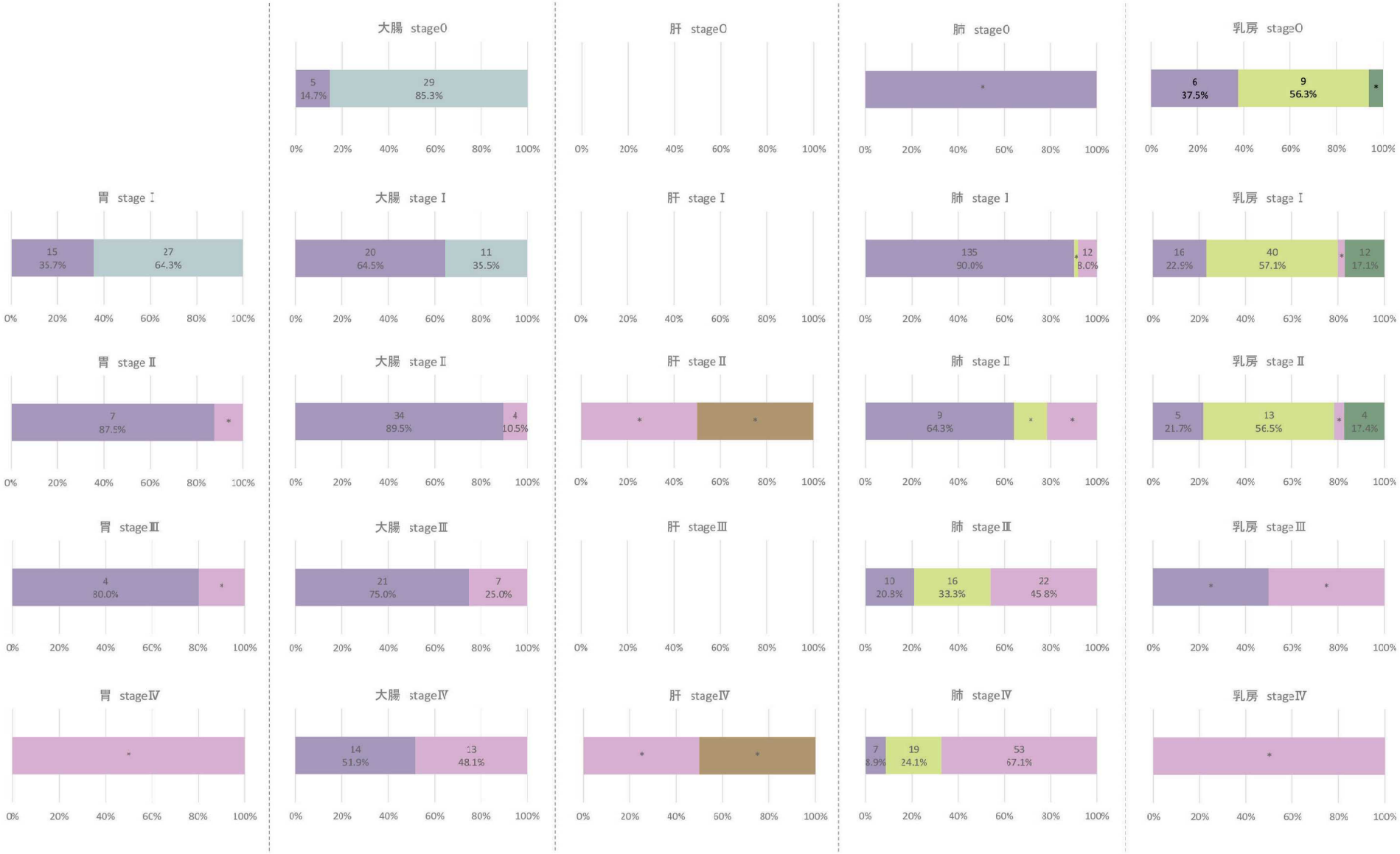
	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		11	*	*				14	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	26	28		5			8	67	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	96	40		25			5	166	93.9%	6.1%	0.0%
肝★				4		4		8			
膵	*			6			7	14	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	165		43	93			12	313	97.6%	2.4%	0.0%
皮膚	4							4	50.0%	50.0%	0.0%
乳房★	28		72	5	17			122	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺	145		*	*	122		4	274	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	7	98		42				147	46.2%	53.8%	0.0%
脳脊髄	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	11				*			13	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	6			5			*	14	83.3%	16.7%	0.0%
計	490	177	117	189	141	4	39	1,157			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■内視鏡 ■放射線療法 ■化学療法 ■内分泌療法 ■その他治療



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医 療 機 関 名	国保水俣市立総合医療センター

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	水俣市天神町1丁目2番1号
病　床　数	361床
診 療 科 数	18科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2010.01.01
平均在院日数	20.9（日）
入院患者数	4,862（人）
外来患者延数	190,954（人）
院内がん登録件数	391（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　1　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

〈登録件数〉　全体で391件（前年344件）と増加した（2019年より外来診断の症例を含めた影響も考えられた）。
〈患者住所医療圏〉　主な医療圏は担当である芦北（水俣・津奈木・芦北）の244件（62.4%）である一方、鹿児島県から来院する患者が142件（36.8%）あり、県外からの来院の割合が前年の30%よりも増加していた。
〈平均年齢　男女比〉　登録症例の全体の平均年齢は72.1歳であり、前年よりもわずかに減少したが、70歳以上の割合は62.6%を占めていた。男女比は男性251件（64.2%）、女性140件（35.8%）と例年通り男性の割合が高かった。
〈部位別登録件数〉　5大癌は肺癌71件（18.2%）、大腸癌55件（14.1%）、乳癌35件（9.0%）、胃癌31件（7.9%）、肝癌17件（4.3%）であり、肺癌は前年よりも28件と大きく増加した。ここ数年胃癌は減少傾向である一方、膵癌や皮膚癌といった5大癌以外の癌腫に増加傾向を認めている。
〈Stageと治療内容〉　全体のStage別の割合は0期は12.3%、Ⅰ期は40.2%、Ⅱ－Ⅲ期は24.2%、Ⅳ期は18.4%であった。当院で施行した初回治療の割合は、手術＋内視鏡による治療が174件（52.4%）であり主に胃癌、大腸癌、皮膚癌、乳癌、膀胱癌が占めていた。化学療法および内分泌療法は134件（40.4%）であり、主に肺癌、前立腺癌、膵癌、乳癌が占めていた。
〈特徴〉　当院は県南端のがん診療連携拠点病院であり、県境の病院である。鹿児島県出水市、伊佐市と接しているため、熊本県内だけではなく鹿児島県から来院されていることが大きな特色である。
　また当院をかかりつけとする患者も多く、癌の発見契機の半数近く（48%）が他疾患経過観察中であった。併存疾患を有する高齢のがん患者も多く、総合病院の強みを活かし、幅広い専門診療科によるがん診療と、他職種連携によるチーム医療で安全で確実ながん診療を行い、在宅復帰に向けての地域支援センター・地域包括ケアシステムを用いて、安心して退院できるようにサポートしている。
　さらに「くまもとメディカルネットワーク」にも積極的に参加し、熊本大学病院との連携をすすめることで情報を交換し、地域でも最新の質の高いがん医療が提供できるように努めている。

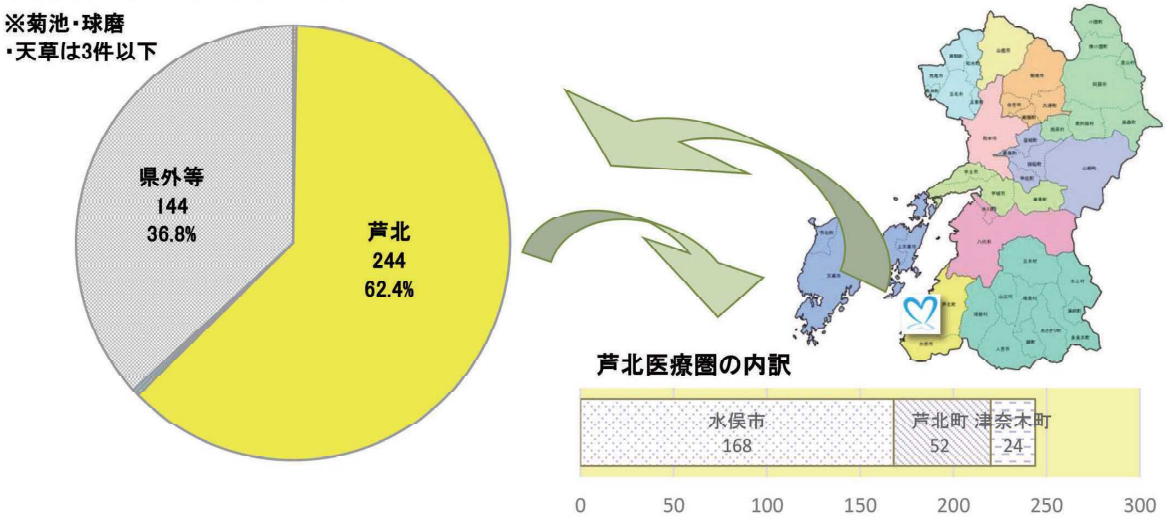
診断年別登録件数
（参考）

※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

水俣市立総合医療センター　（391件）



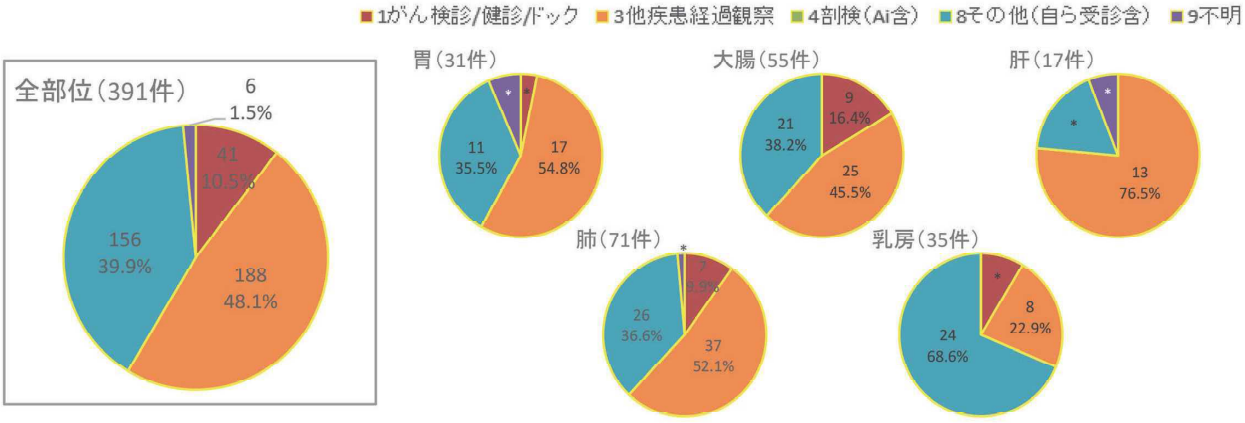
◇　医療圏別上位5部位

熊本市			鹿本			上益城			球磨	複数部位	*
宇城			菊池	複数部位	*	八代			天草	複数部位	*
有明			阿蘇			芦北	大腸	44	県外等	肺	39
							肺	32		前立腺	19
							前立腺	29		皮膚	14
							皮膚	22		乳房	14
							複数部位	各20		複数部位	各11

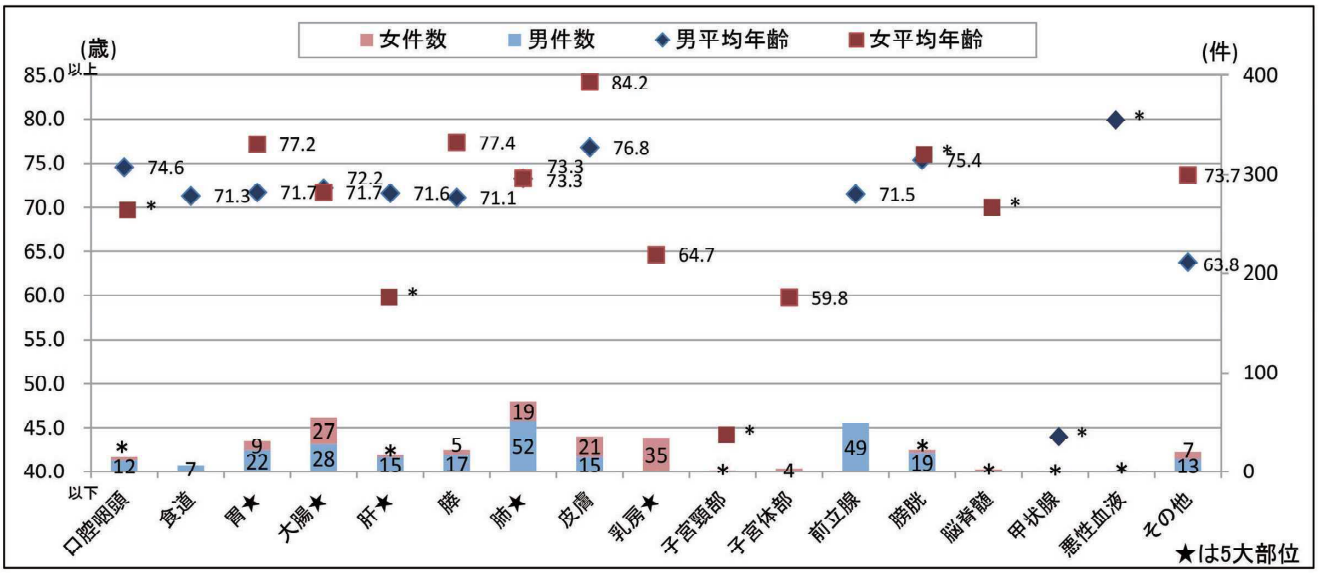
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
肺	52
前立腺	49
大腸	28
胃	22
膀胱	19
膵	17
肝	15
皮膚	15
その他	13
口腔咽頭	12
食道	7
甲状腺	*
悪性血液	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
計	251

0～14歳	
計	

15～39歳	
複数部位	*
計	4

40～49歳	
複数部位	*
計	8

50～59歳	
複数部位	*
計	15

60～69歳	
前立腺	15
肺	14
胃	7
肝	7
大腸	6
など	
計	65

70～79歳	
前立腺	24
肺	18
大腸	12
膀胱	9
胃	8
など	
計	92

80～89歳	
肺	14
皮膚	8
前立腺	8
複数部位	各4
複数部位	*
計	56

90歳～	
複数部位	*
計	11

女性全体	
乳房	35
大腸	27
皮膚	21
肺	19
胃	9
その他	7
膵	5
子宮体部	4
口腔咽頭	*
膀胱	*
脳脊髄	*
肝	*
子宮頸部	*
食道	
前立腺	
甲状腺	
悪性血液	
計	140

0～14歳	
計	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
乳房	8
複数部位	*
計	13

50～59歳	
大腸	4
複数部位	*
計	12

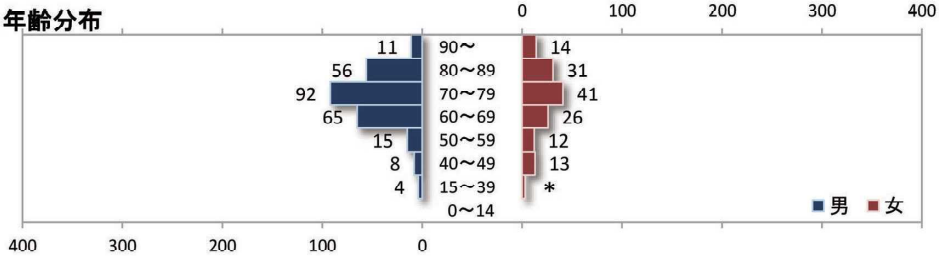
60～69歳	
乳房	8
大腸	7
複数部位	*
計	26

70～79歳	
大腸	12
肺	9
皮膚	6
乳房	6
複数部位	*
計	41

80～89歳	
乳房	6
肺	5
皮膚	5
胃	4
複数部位	*
計	31

90歳～	
皮膚	9
複数部位	*
計	14

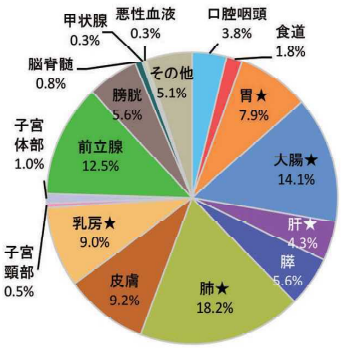
年齢分布



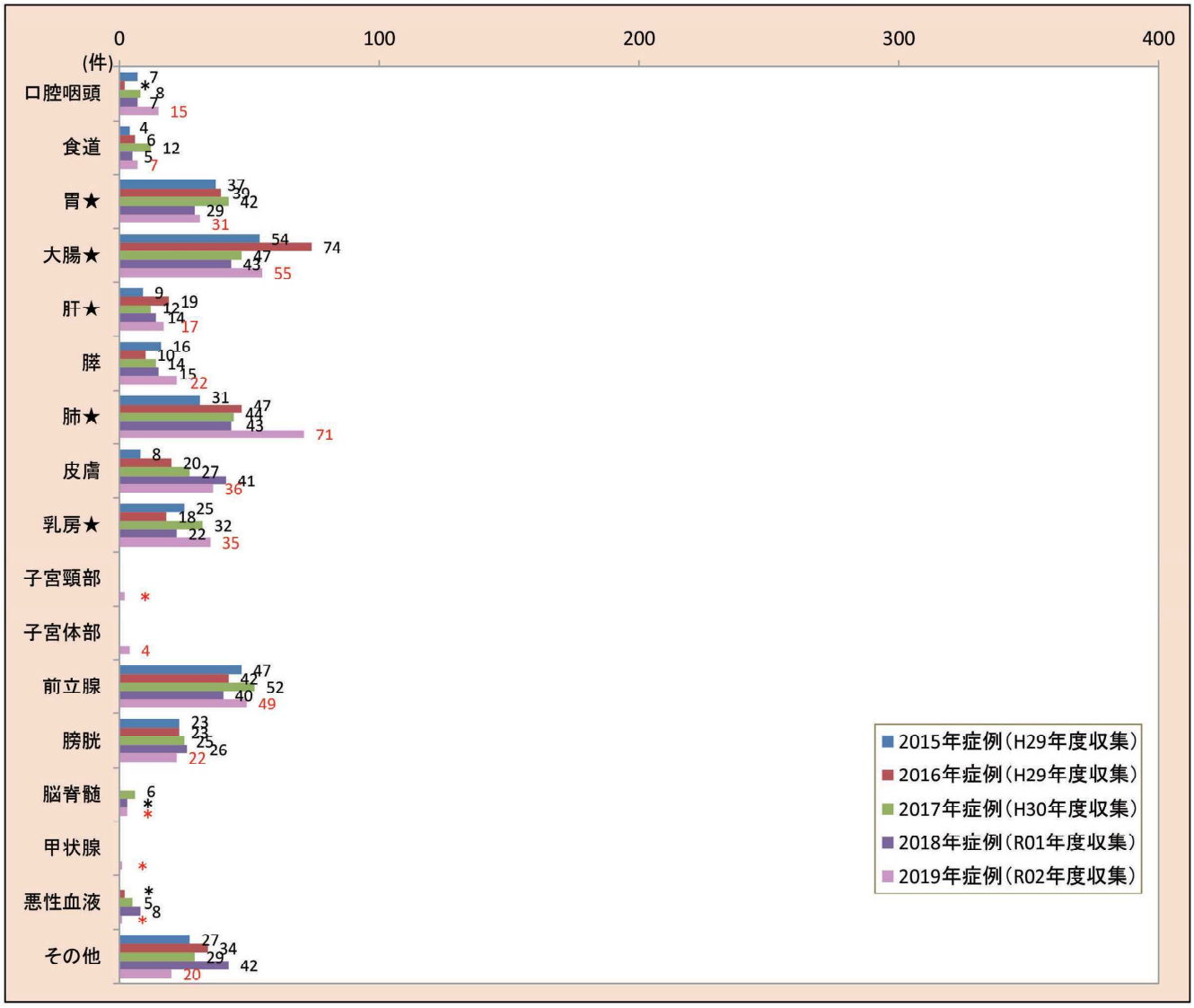
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	7	*	8	7	15
食道	4	6	12	5	7
胃★	37	39	42	29	31
大腸★	54	74	47	43	55
肝★	9	19	12	14	17
膵	16	10	14	15	22
肺★	31	47	44	43	71
皮膚	8	20	27	41	36
乳房★	25	18	32	22	35
子宮頸部	4（頸部・体部）	7（頸部・体部）	6（頸部・体部）	6（頸部・体部）	*
子宮体部					4
前立腺	47	42	52	40	49
膀胱	23	23	25	26	22
脳脊髄			6	*	*
甲状腺					*
悪性血液疾患		*	5	8	*
その他	27	34	29	42	20
計	292	343	361	344	391

2019年診断症例　主要部位別割合

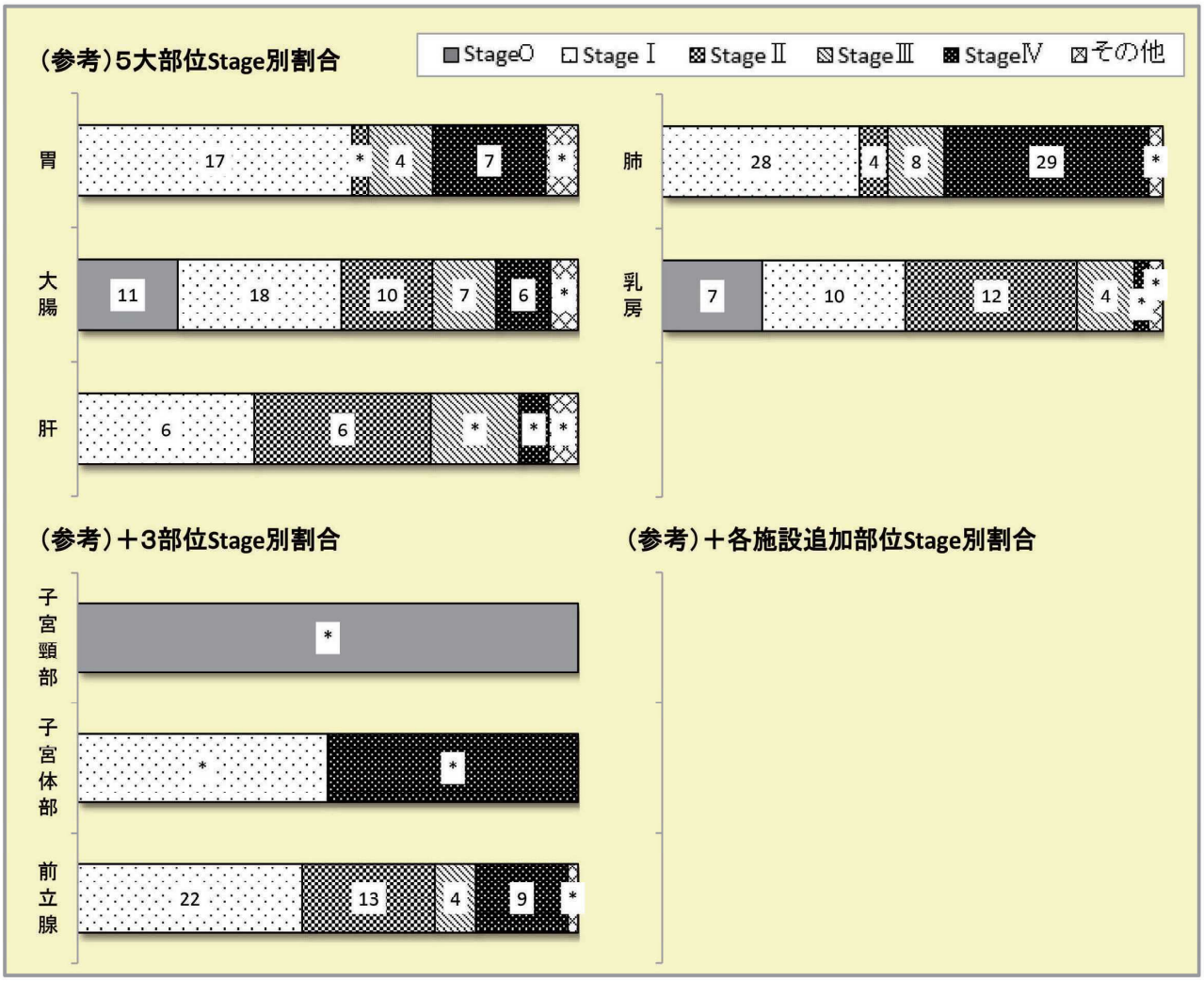


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

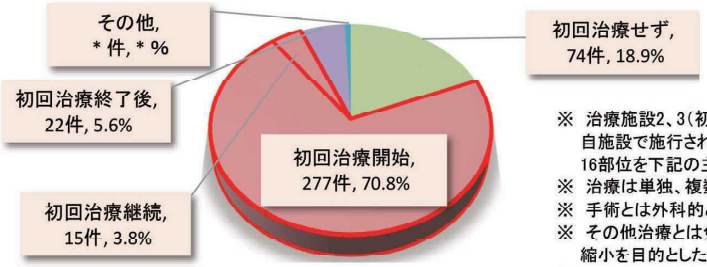
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	15	6	5	*	*	*	
食道	7	*	*	*		*	*
胃★	31		17	*	4	7	*
大腸★	55	11	18	10	7	6	*
肝★	17		6	6	*	*	*
膵	22		8	*	*	9	
肺★	71		28	4	8	29	*
皮膚	36	6	29	*			
乳房★	35	7	10	12	4	*	*
子宮頸部	*	*					
子宮体部	4		*			*	
前立腺	49		22	13	4	9	*
膀胱	22	14	*	*	*		*
脳脊髄	*						*
甲状腺	*		*				
悪性血液疾患	*						*
その他	20	*	7	*	*	6	*
計	391	48	157	57	38	72	19



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

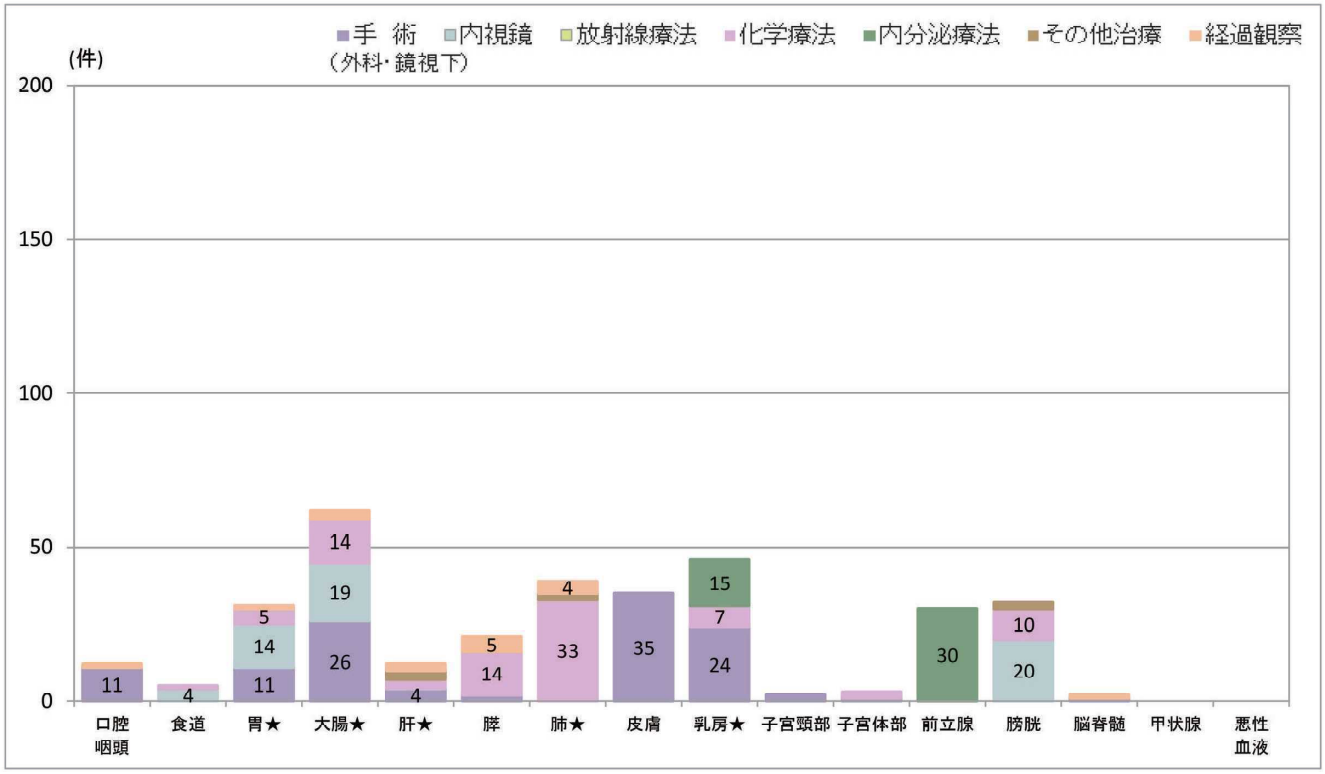
治療施設	件数
1初回治療せず	74
2初回治療開始	277
3初回治療継続	15
4初回治療終了後	22
8その他	*
計	391



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

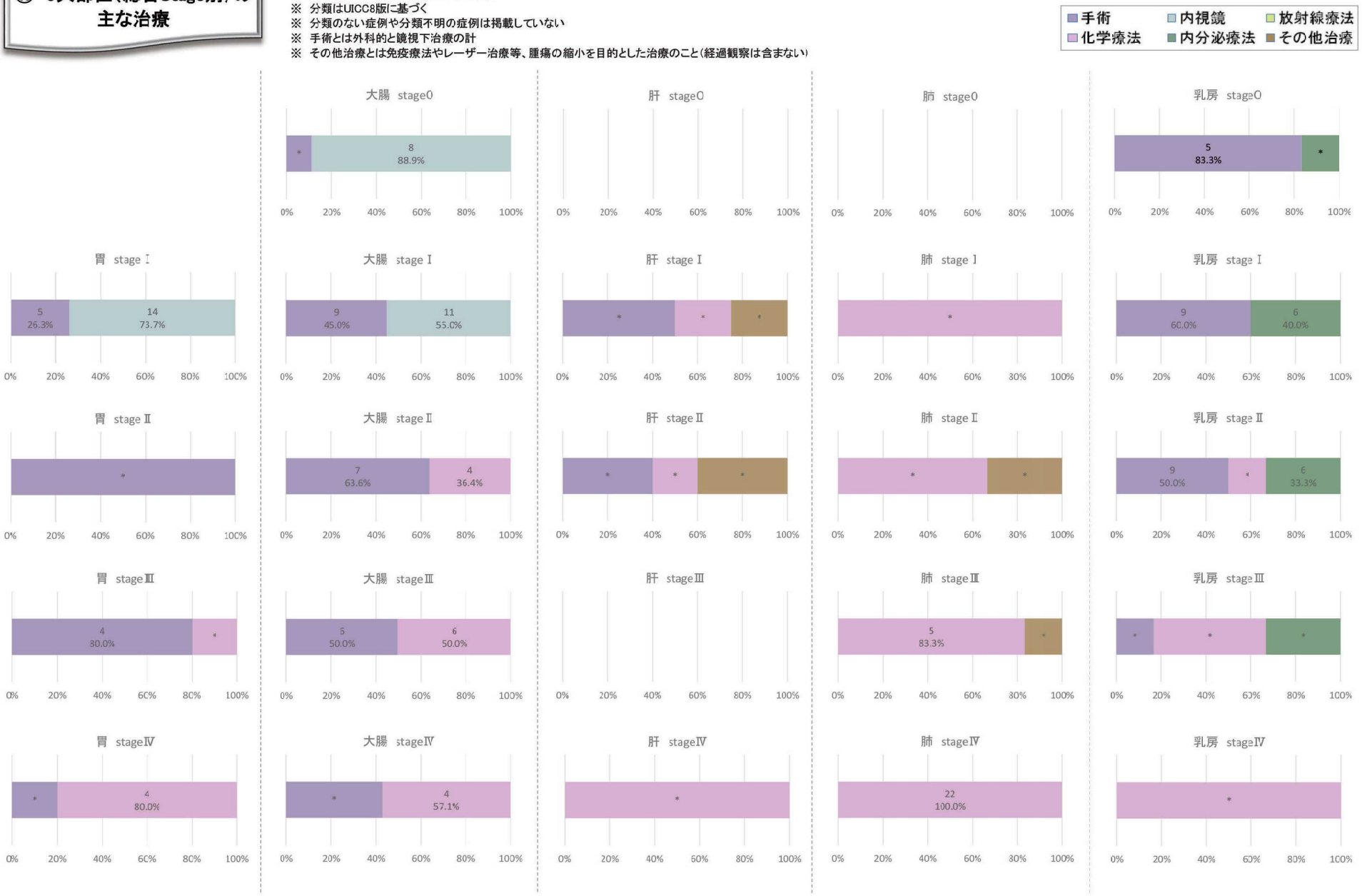
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	11						*	12	100.0%	0.0%	0.0%
食道		4		*				5	75.0%	25.0%	0.0%
胃★	11	14		5			*	31	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	26	19		14			*	62	100.0%	0.0%	0.0%
肝★	4			*		*	*	12	100.0%	0.0%	0.0%
膵	*			14			5	21	100.0%	0.0%	0.0%
肺★				33		*	4	39			
皮膚	35							35	97.1%	2.9%	0.0%
乳房★	24			7	15			46	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	*			*				*	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺					30			30			
膀胱		20		10		*		32	70.0%	30.0%	0.0%
脳脊髄	*						*	*	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	117	57	0	89	45	7	17	332			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　ー2019年診断症例ー

医 療 機 関 名	医療法人創起会くまもと森都総合病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	熊本市中央区大江3-2-65
病　床　数	199床
診 療 科 数	23科
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07
がん登録開始基準日	2008.04.01
平均在院日数	11.4（日）
入院患者数	5,420（人）
外来患者延数	104,796（人）
院内がん登録件数	980（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　4　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

2019年診断症例として980件のがん登録を行った。2018年症例の登録数913件と比べ、2019年登録件数は67件増加した。登録数を部位別で見ると、2018年症例と比較して子宮、悪性血液疾患、胃、肝臓、食道、大腸、皮膚の件数は増加した。

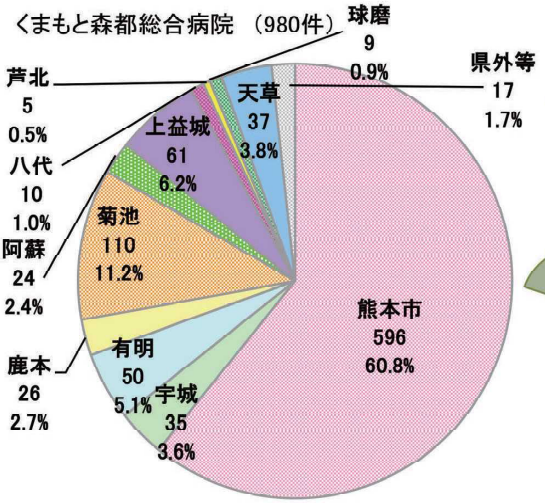
【当院の特徴】
2019年データでは、乳がんが502例(51.2%)と多く、悪性血液疾患147例(15%)、子宮がん122例(12.4%)、皮膚がん54例(5.5%)、肝がん41例(4.2%)と合わせて全体のほぼ9割を占めている。その他は大腸がん38例(3.9%)、胃癌23例(2.3%)、膵14例(1.4%)の順に多かった。主ながんについては、ほぼ自施設で診断から治療まで施行されている。
【患者の年齢層】
登録患者の平均年齢は62.4歳(男性74.82歳、女性59.4歳)。男女比は約2:8と女性が多い傾向にあった。主な内訳は乳がんが 59.7歳、悪性血液疾患 71.4歳、子宮がん 41.8歳、大腸がん 70.5歳、皮膚がん 78.6歳、肝がん 71歳であった。
【患者の医療圏】
患者住所は、半数以上(60.8%)が熊本市内だったが、その他にも菊池11.2%、宇城3.6%、上益城6.2%、天草3.8%、有明5.1%、などの医療圏からの受診が多い。昨年との比較では熊本市、有明、菊池　、阿蘇、上益城医療圏からの受診が増加した。
【部位別治療内容】
乳がんに対しては手術療法、化学療法、内分泌療法と集学的に治療が実施されている。造血器腫瘍は、化学療法が施行されており、自己血末梢血幹細胞移植を併用した大量化学療法も施行されている。皮膚がん、子宮がん、胃がん、大腸がんは手術療法を中心とした治療が行われている。肝臓がんについては他院で治療後の後治療目的にて紹介になる場合が多いため手術症例は少なく、TACEなどを含む化学療法を施行した症例が多くなっている。

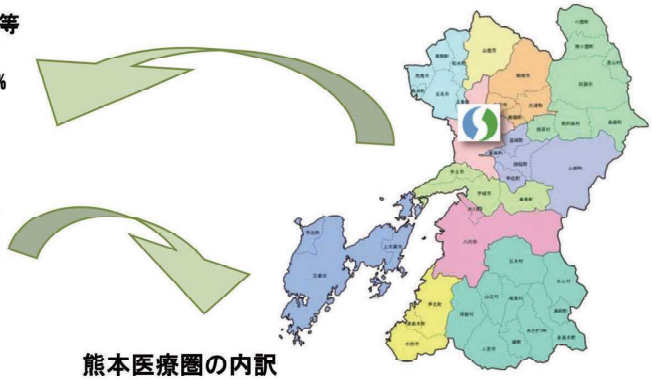
診断年別登録件数
（参考）

※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





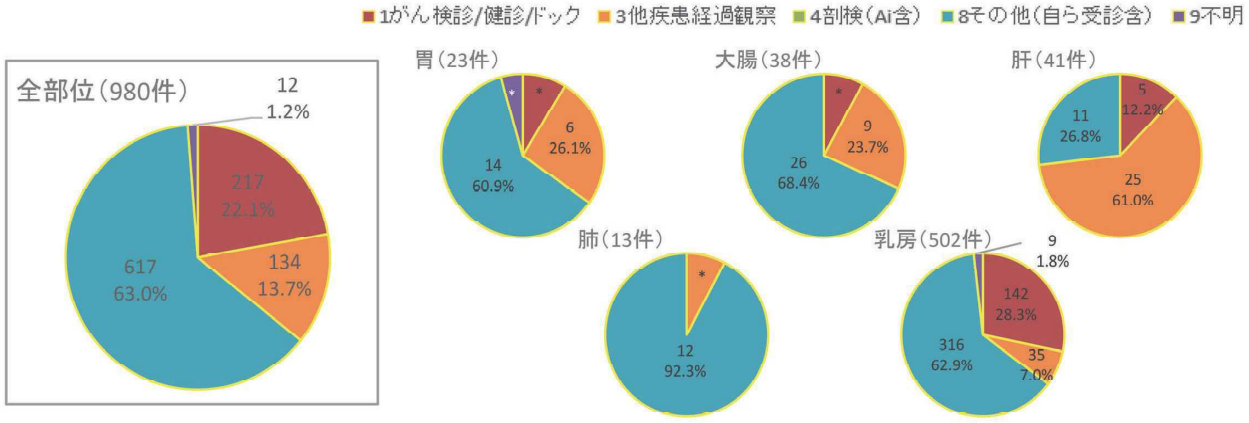
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	乳房	279	鹿本	乳房	16	上益城	乳房	27	球磨	乳房	8
	悪性血液	88		子宮頸部	4		悪性血液	13		複数部位	*
	子宮頸部	68		複数部位	*		子宮頸部	10			
	皮膚	42					複数部位	*			
	複数部位	各27									
宇城	乳房	28	菊池	乳房	52	八代	乳房	5	天草	乳房	20
	子宮頸部	4		子宮頸部	19		複数部位	*		悪性血液	15
	複数部位	*		肝	9					複数部位	*
				悪性血液	9						
				皮膚	8						
有明	乳房	41	阿蘇	乳房	11	芦北	乳房	4	県外等	乳房	11
	悪性血液	4		悪性血液	6		複数部位	*		悪性血液	4
	複数部位	*		複数部位	*					複数部位	*

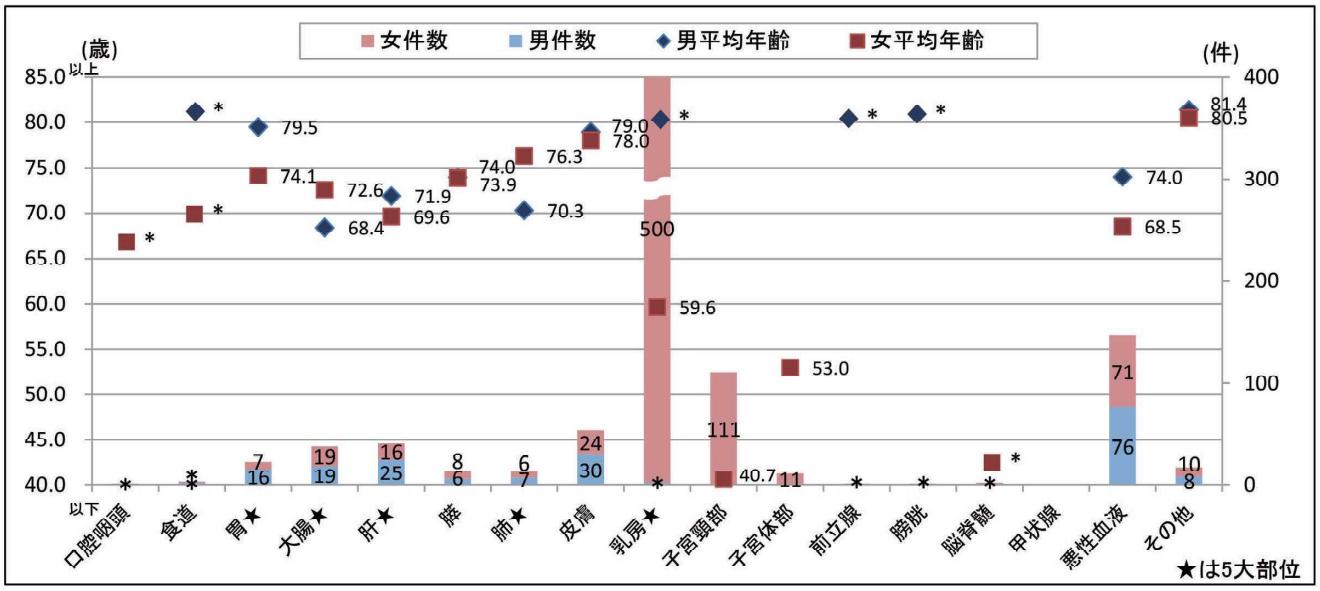
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
悪性血液	76
皮膚	30
肝	25
大腸	19
胃	16
その他	8
肺	7
膵	6
食道	*
乳房	*
前立腺	*
膀胱	*
口腔咽頭	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
甲状腺	
計	193

0～14歳	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
複数部位	*
計	*

50～59歳	
大腸	6
悪性血液	6
など	
計	13

60～69歳	
悪性血液	15
肝	8
大腸	5
複数部位	*
計	37

70～79歳	
悪性血液	31
皮膚	13
肝	11
胃	6
膵	4
複数部位	*
計	73

80～89歳	
悪性血液	19
皮膚	11
胃	6
大腸	4
肝	4
複数部位	*
計	55

90歳～	
悪性血液	4
複数部位	*
計	12

女性全体	
乳房	500
子宮頸部	111
悪性血液	71
皮膚	24
大腸	19
肝	16
子宮体部	11
その他	10
膵	8
胃	7
肺	6
脳脊髄	*
口腔咽頭	*
食道	*
前立腺	
膀胱	
甲状腺	
計	787

0～14歳	

15～39歳	
子宮頸部	50
乳房	34
悪性血液	7
複数部位	*
計	93

40～49歳	
乳房	96
子宮頸部	46
複数部位	*
計	152

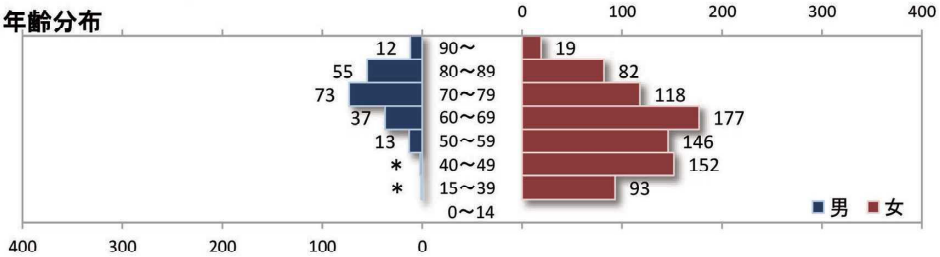
50～59歳	
乳房	121
子宮頸部	11
悪性血液	7
子宮体部	4
複数部位	*
計	146

60～69歳	
乳房	134
悪性血液	10
大腸	9
肝	7
膵	4
複数部位	*
計	177

70～79歳	
乳房	66
悪性血液	27
肝	7
皮膚	5
大腸	4
複数部位	*
計	118

80～89歳	
乳房	43
悪性血液	16
皮膚	6
大腸	4
その他	4
複数部位	*
計	82

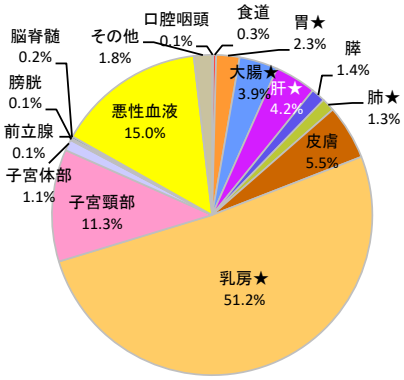
90歳～	
皮膚	7
乳房	6
複数部位	*
計	19



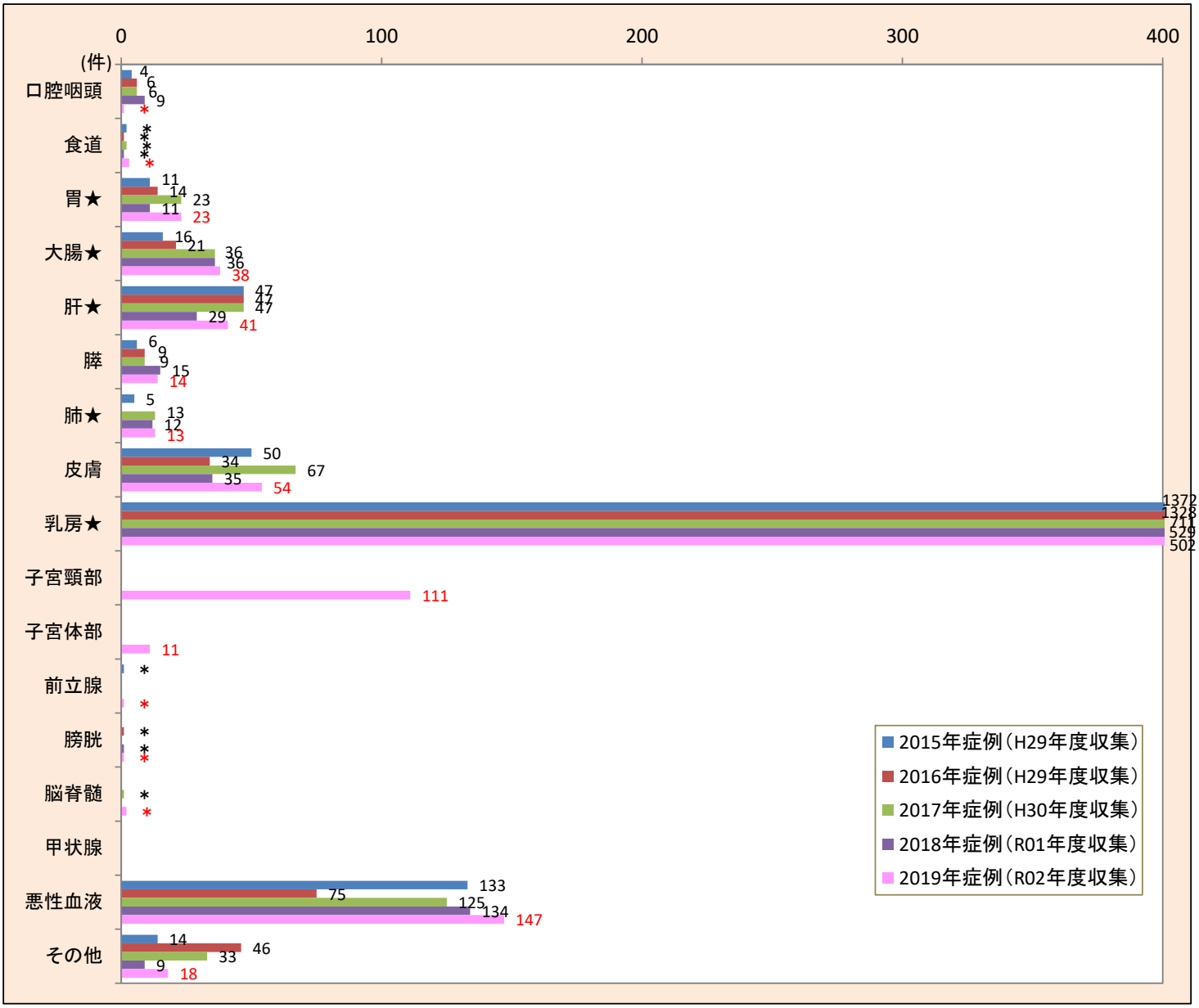
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	4	6	6	9	*
食道	*	*	*	*	*
胃★	11	14	23	11	23
大腸★	16	21	36	36	38
肝★	47	47	47	29	41
膵	6	9	9	15	14
肺★	5		13	12	13
皮膚	50	34	67	35	54
乳房★	1372	1328	711	529	502
子宮頸部	29（頸部・体部）	56（頸部・体部）	80（頸部・体部）	92（頸部・体部）	111
子宮体部					11
前立腺	*				*
膀胱		*		*	*
脳脊髄			*		*
甲状腺					
悪性血液疾患	133	75	125	134	147
その他	14	46	33	9	18
計	1,690	1,638	1,153	913	980

2019年診断症例　主要部位別割合

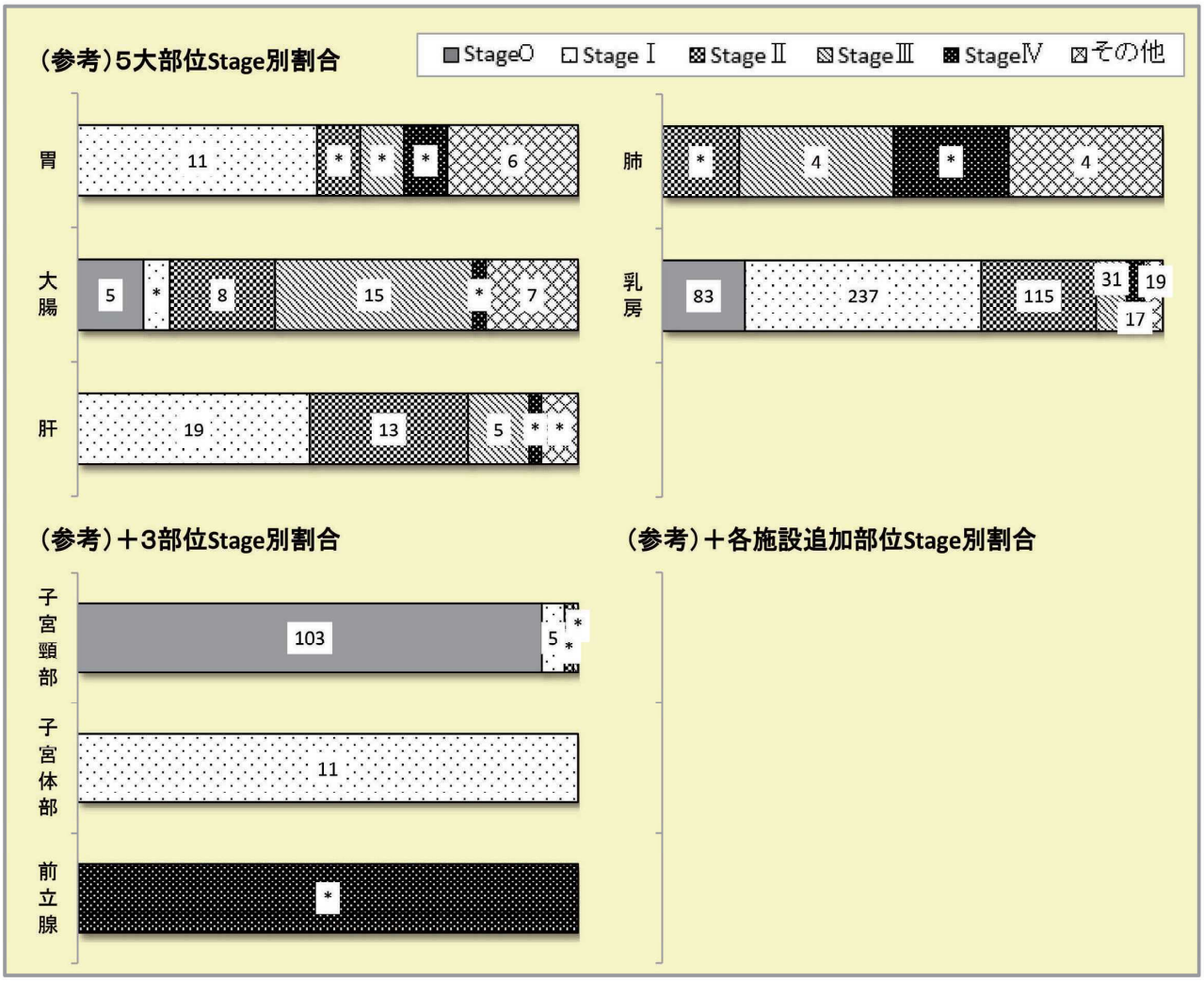


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

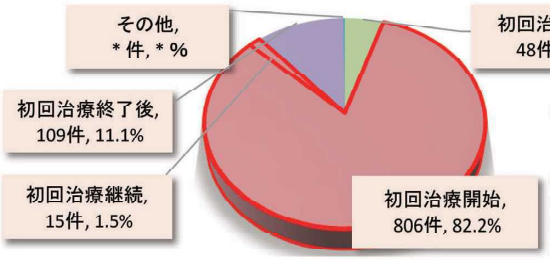
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	*					*	
食道	*	*					*
胃★	23		11	*	*	*	6
大腸★	38	5	*	8	15	*	7
肝★	41		19	13	5	*	*
膵	14			*		*	9
肺★	13			*	4	*	4
皮膚	54	25	23	5	*		
乳房★	502	83	237	115	31	17	19
子宮頸部	111	103	5	*	*		
子宮体部	11		11				
前立腺	*					*	
膀胱	*					*	
脳脊髄	*						*
甲状腺	0						
悪性血液疾患	147		15	12	8	20	92
その他	18	*	*	*	*		13
計	980	218	324	163	69	49	157



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

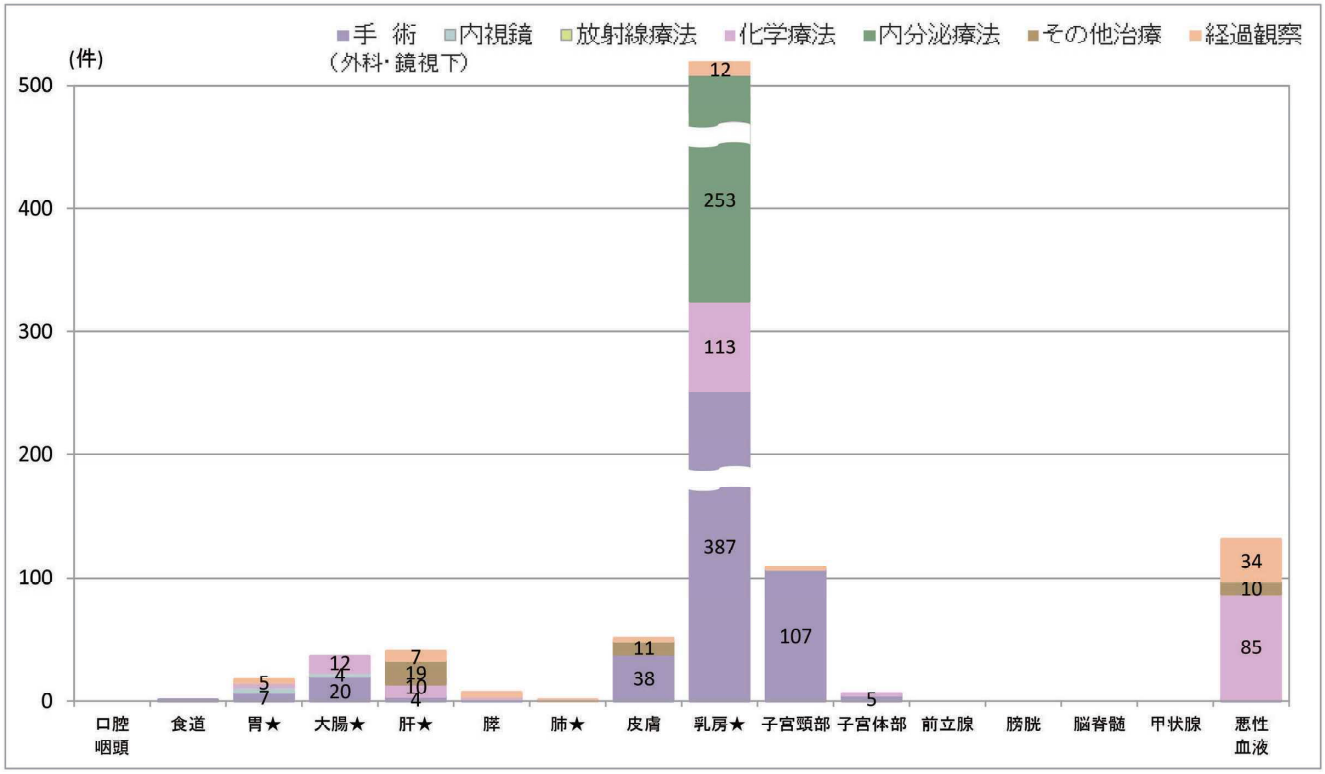
治療施設	件数
1初回治療せず	48
2初回治療開始	806
3初回治療継続	15
4初回治療終了後	109
8その他	*
計	980



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

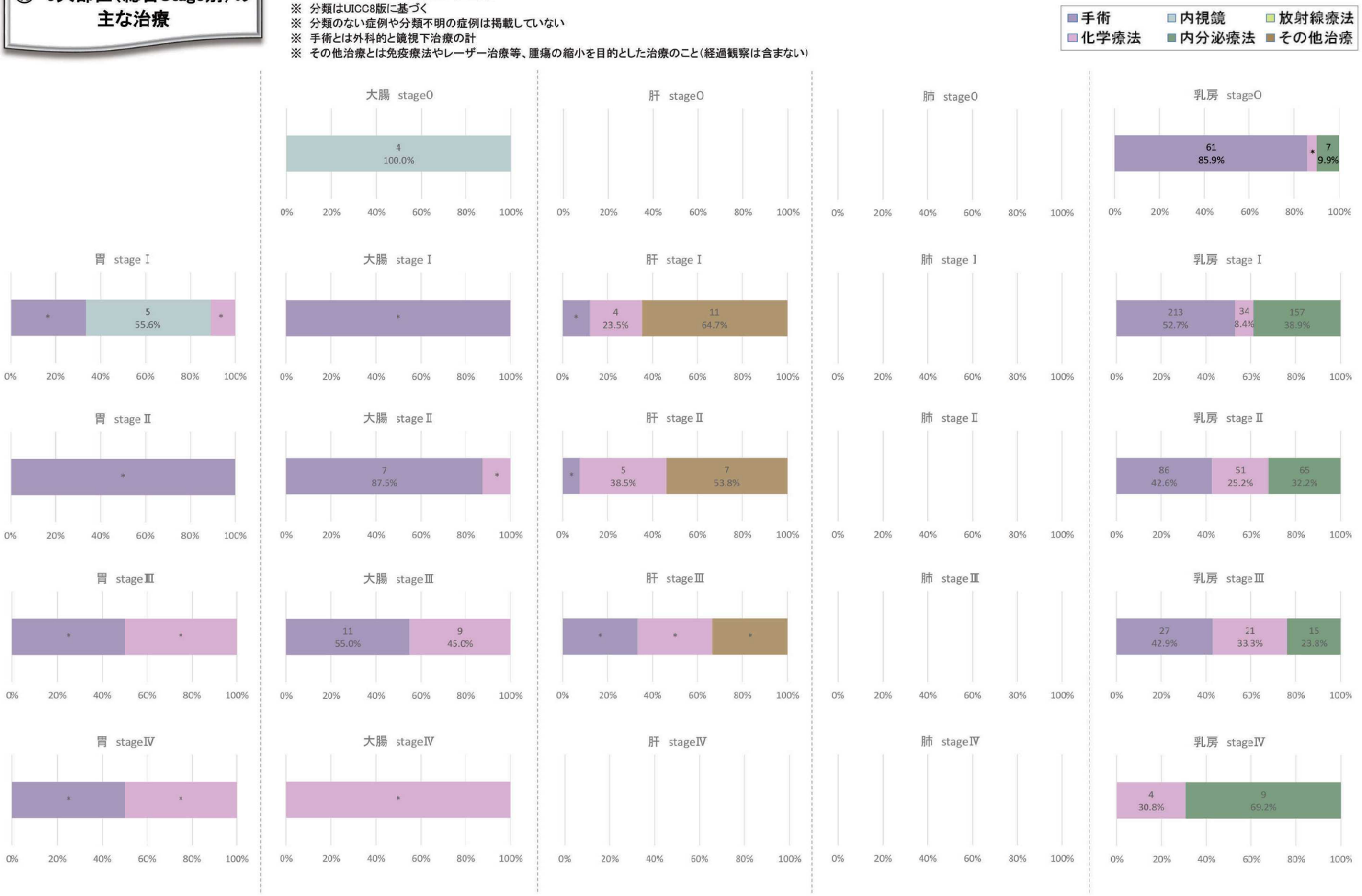
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	7	5		*			*	17	90.9%	9.1%	0.0%
大腸★	20	4		12				36	95.8%	4.2%	0.0%
肝★	4			10		19	7	40	100.0%	0.0%	0.0%
膵	*			*			*	7	100.0%	0.0%	0.0%
肺★							*	*			
皮膚	38					11	*	51	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	387			113	253		12	765	99.5%	0.5%	0.0%
子宮頸部	107						*	108	99.1%	0.9%	0.0%
子宮体部	5			*				6	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患	*			85		10	34	131	100.0%	0.0%	0.0%
計	572	9	0	227	253	40	62	1,163			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医 療 機 関 名	一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	熊本市中央区本荘5丁目16－10
病　床　数	227床
診 療 科 数	15科
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07
がん登録開始基準日	2011.01.01
平均在院日数	10.5（日）
入院患者数	5,857（人）
外来患者延数	67,071（人）
院内がん登録件数	516（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　3　／他　1（名）

○医療機関からのコメント

【症例数】 2019年の症例数は516件であり、前年より36件増加となった。男女別では男性277件で20件の増加、女性239件で16件の増加であった。全体の平均年齢は、73.8歳（男性72.8歳、女性75.0歳）であり、前年(74.4歳)と同様であった。
【診断時住所】 熊本市が全体の83.5%を占めており、前年の84.6%と同様であった。熊本市に次いで菊池（6.6%）、上益城（3.9%）から受け入れがあった。当院は熊本市医師会病院であり、医師会員からの紹介患者が主体であり、熊本市が大半を占めている。
【上位5部位】 大腸（28.7%）、膵（16.3%）、肺（15.3%）、胃（14.9%）、乳房（5.8%）であった。また、その他の部位に含まれる胆道系（5.6%）が肝（4.8%）を上回った。2011年症例からの推移をみると、院内がん登録件数は毎年500件前後である。上位5部位を患者住所医療圏別にみると、大腸、膵、肺、胃、乳房のそれぞれにおいて患者数の約8割を熊本市が占めている。
【初回治療】 初回治療の45.6%（前年39.7%）を手術が占め、化学療法が37.9%（前年32.1%）、内視鏡治療が15.8%（前年15.1%）であった。件数を前年と比較すると、大腸、膵、胃の手術と化学療法件数が増加している。大腸の内視鏡件数も微増であった。また、2013年の腹腔鏡手術センターの設立以来、腹腔鏡下手術の割合が高くなってきている。胃の50.0%（前年39.1%）、大腸の85.9%（前年69.3%）が腹腔鏡下で行われ、年々腹腔鏡下件数が増加している。膵に関しては、2011年の症例登録開始から徐々に増加しており今回初めて部位別で2位となった。主にステージⅠ期、Ⅱ期に対する亜全胃温存膵頭十二指腸切除術が17件、その他の切除術が16件（腹腔鏡下4件）行われた。化学療法も術後補助化学療法を含め48件行われた。医療圏別にみても市外からの患者の割合が多くなっている。

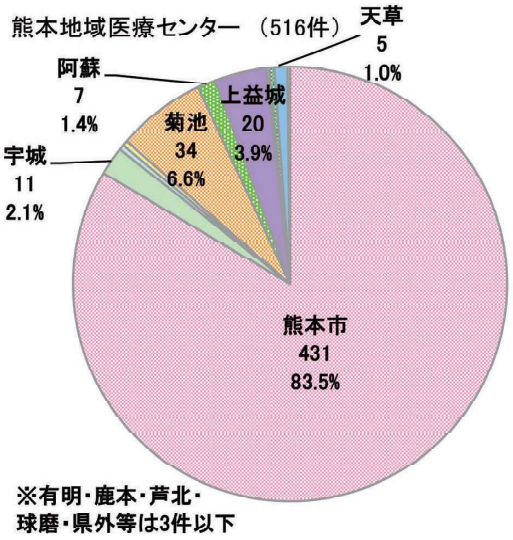
★よかとこネット（がんサロン）は、2009年がん患者さんとその家族を支援したいという強い思いから当院の有志ある看護師等によって結成された組織である。毎月1回、看護師、MSW、薬剤師、管理栄養士等、多職種の有志によりイベントを開催。患者さん、患者さん家族、院外参加者の心のよりどころとなる会を目指し活動している。

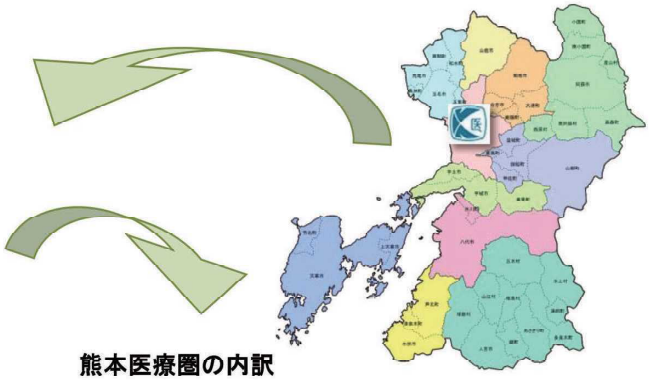
診断年別登録件数
（参考）

※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





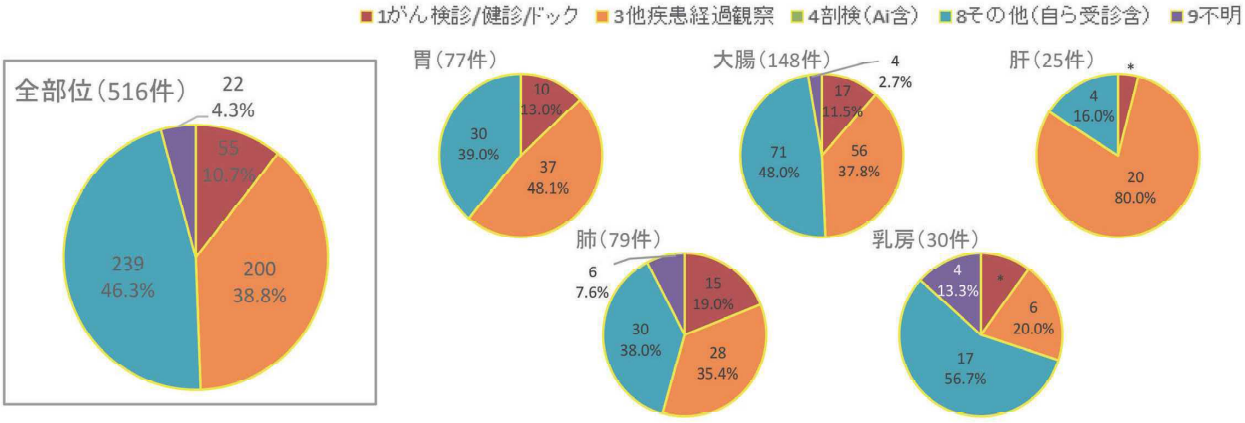
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	大腸	125	鹿本	複数部位	*	上益城	大腸	8	球磨	複数部位	*
	肺	74					胃	6			
	膵	65					複数部位	*			
	胃	58									
	その他	37									
宇城	膵	5	菊池	大腸	8	八代			天草	複数部位	*
	大腸	4		胃	7						
	複数部位	*		膵	7						
				その他	5						
				複数部位	*						
有明	複数部位	*	阿蘇	胃	4	芦北	複数部位	*	県外等	複数部位	*
				複数部位	*						

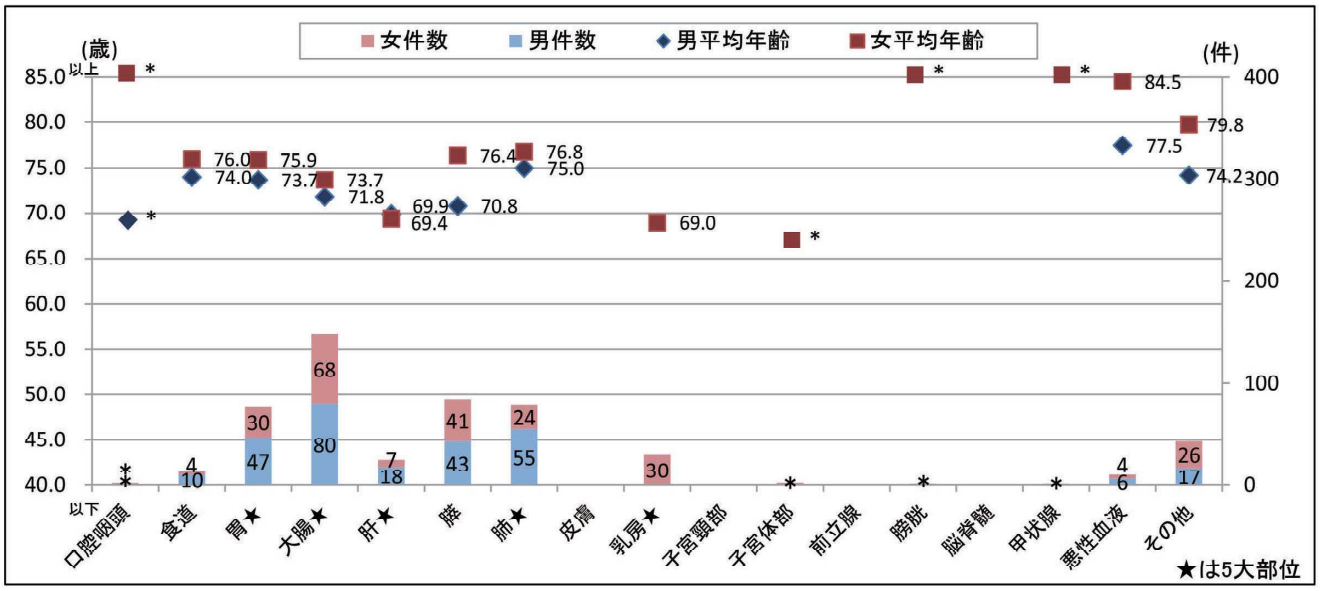
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	80
肺	55
胃	47
膵	43
肝	18
その他	17
食道	10
悪性血液	6
口腔咽頭	*
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
計	277

0～14歳	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
大腸	4
複数部位	*
計	12

50～59歳	
大腸	7
複数部位	*
計	17

60～69歳	
大腸	16
膵	16
肺	12
胃	11
肝	6
複数部位	*
計	67

70～79歳	
大腸	31
肺	17
胃	15
膵	10
その他	8
など	
計	93

80～89歳	
肺	19
大腸	18
胃	17
膵	11
その他	5
複数部位	*
計	79

90歳～	
複数部位	*
計	8

女性全体	
大腸	68
膵	41
胃	30
乳房	30
その他	26
肺	24
肝	7
食道	4
悪性血液	4
子宮体部	*
口腔咽頭	*
膀胱	*
甲状腺	*
皮膚	
子宮頸部	
前立腺	
脳脊髄	
計	239

0～14歳	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
乳房	5
複数部位	*
計	8

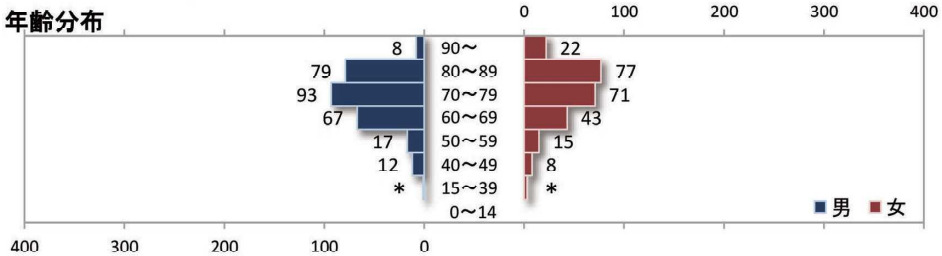
50～59歳	
膵	5
複数部位	*
計	15

60～69歳	
大腸	14
乳房	7
肺	6
胃	4
膵	4
複数部位	*
計	43

70～79歳	
大腸	25
膵	15
肺	11
胃	8
その他	6
など	
計	71

80～89歳	
大腸	17
膵	14
その他	14
胃	11
乳房	8
など	
計	77

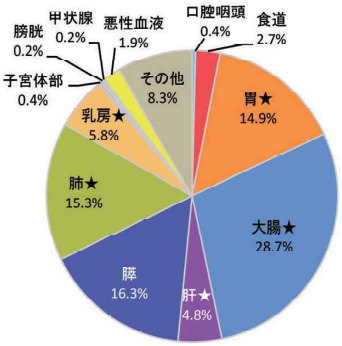
90歳～	
大腸	5
胃	4
肺	4
複数部位	*
計	22



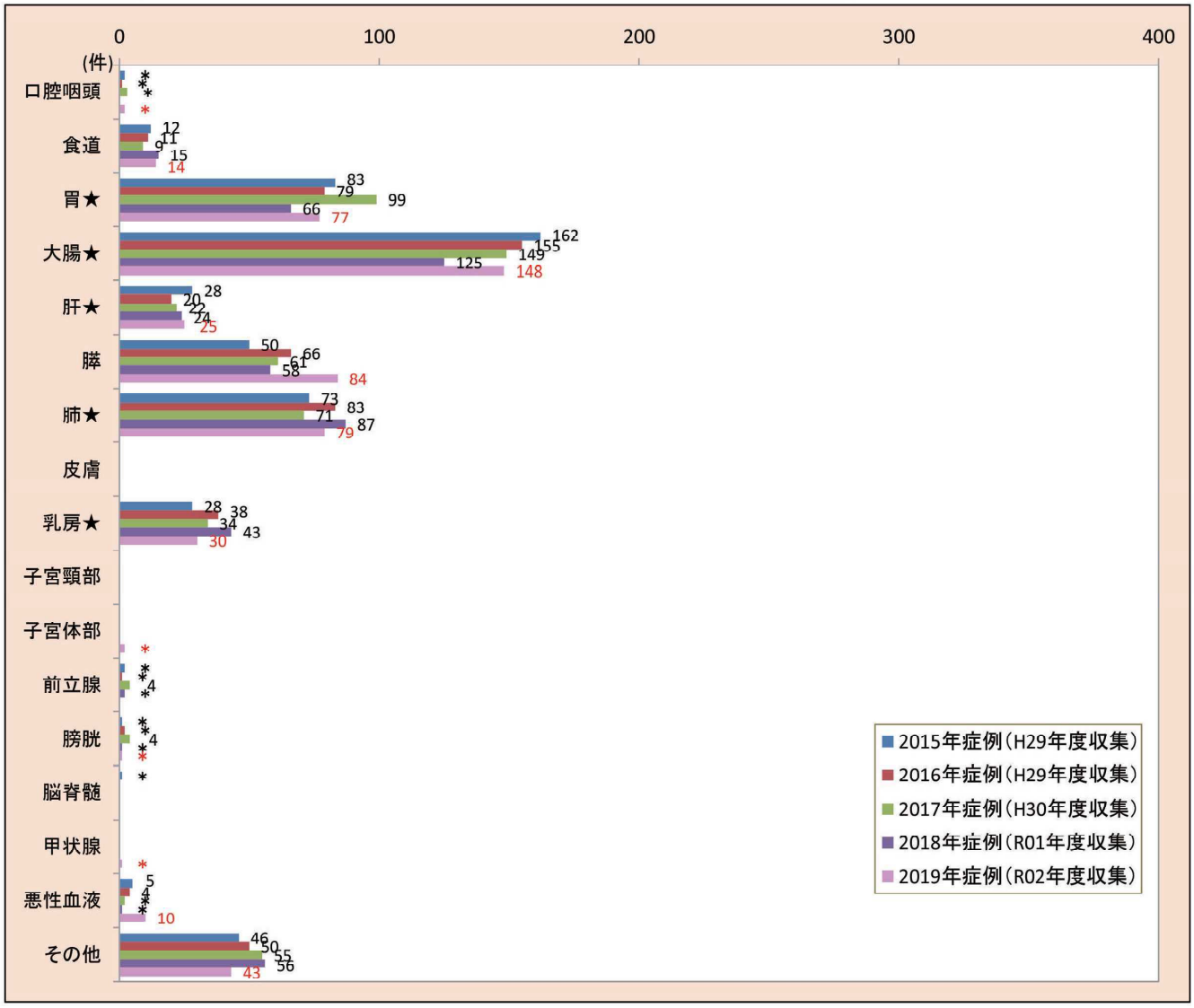
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	*	*	*		*
食道	12	11	9	15	14
胃★	83	79	99	66	77
大腸★	162	155	149	125	148
肝★	28	20	22	24	25
膵	50	66	61	58	84
肺★	73	83	71	87	79
皮膚					
乳房★	28	38	34	43	30
子宮頸部	*	*		*	
子宮体部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	*
前立腺	*	*	4	*	
膀胱	*	*	4	*	*
脳脊髄	*				
甲状腺					*
悪性血液疾患	5	4	*	*	10
その他	46	50	55	56	43
計	496	513	513	480	516

2019年診断症例　主要部位別割合

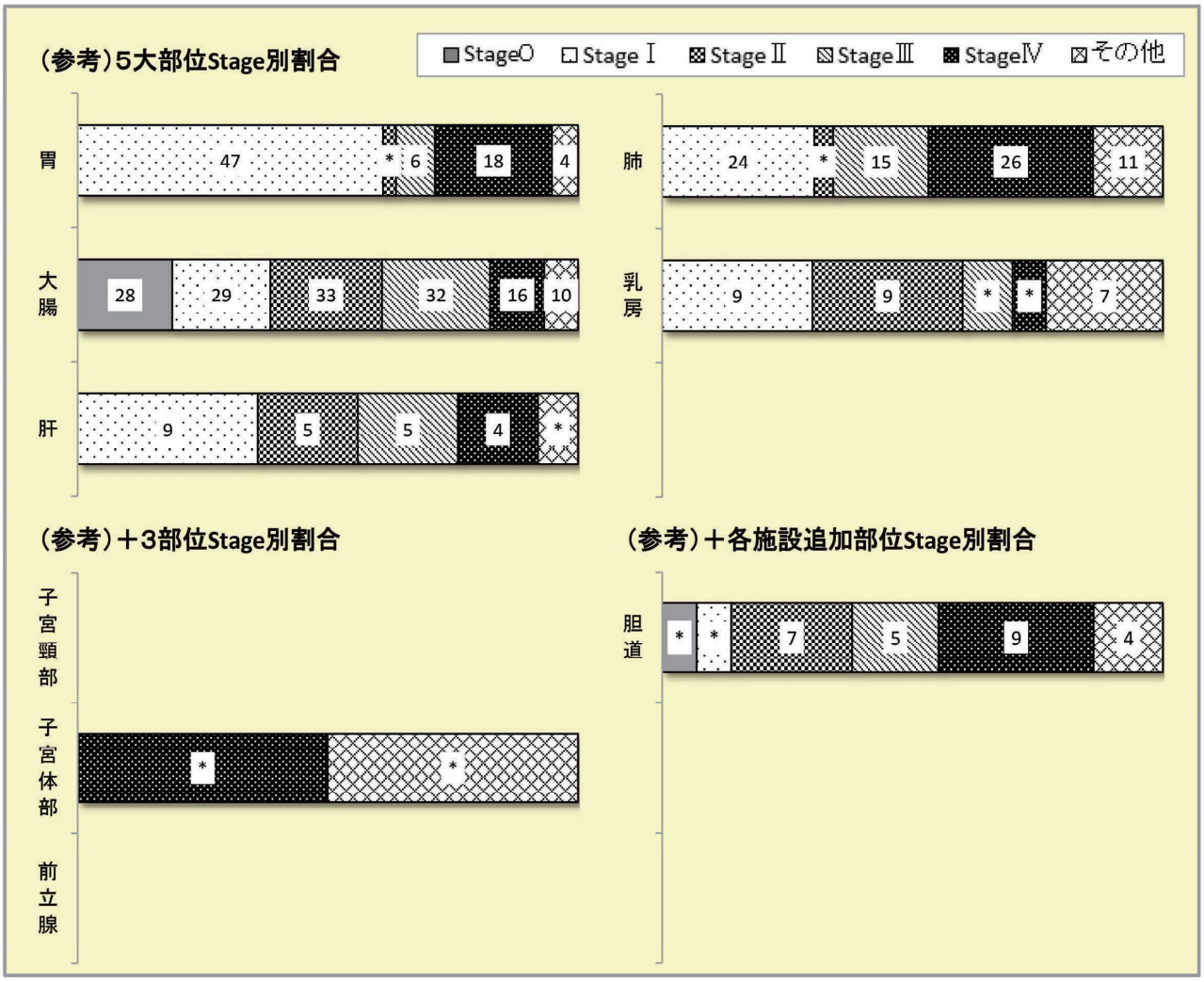


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

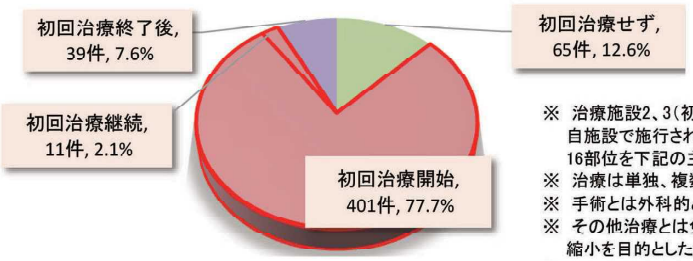
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	*					*	*
食道	14	5	*	*		*	*
胃★	77		47	*	6	18	4
大腸★	148	28	29	33	32	16	10
肝★	25		9	5	5	4	*
膵	84	*	18	13	15	34	*
肺★	79		24	*	15	26	11
皮膚	0						
乳房★	30		9	9	*	*	7
子宮頸部	0						
子宮体部	*					*	*
前立腺	0						
膀胱	*						*
脳脊髄	0						
甲状腺	*				*		
悪性血液疾患	10		*	*		*	7
その他	43	*	*	8	6	12	12
計	516	37	143	77	83	116	60



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

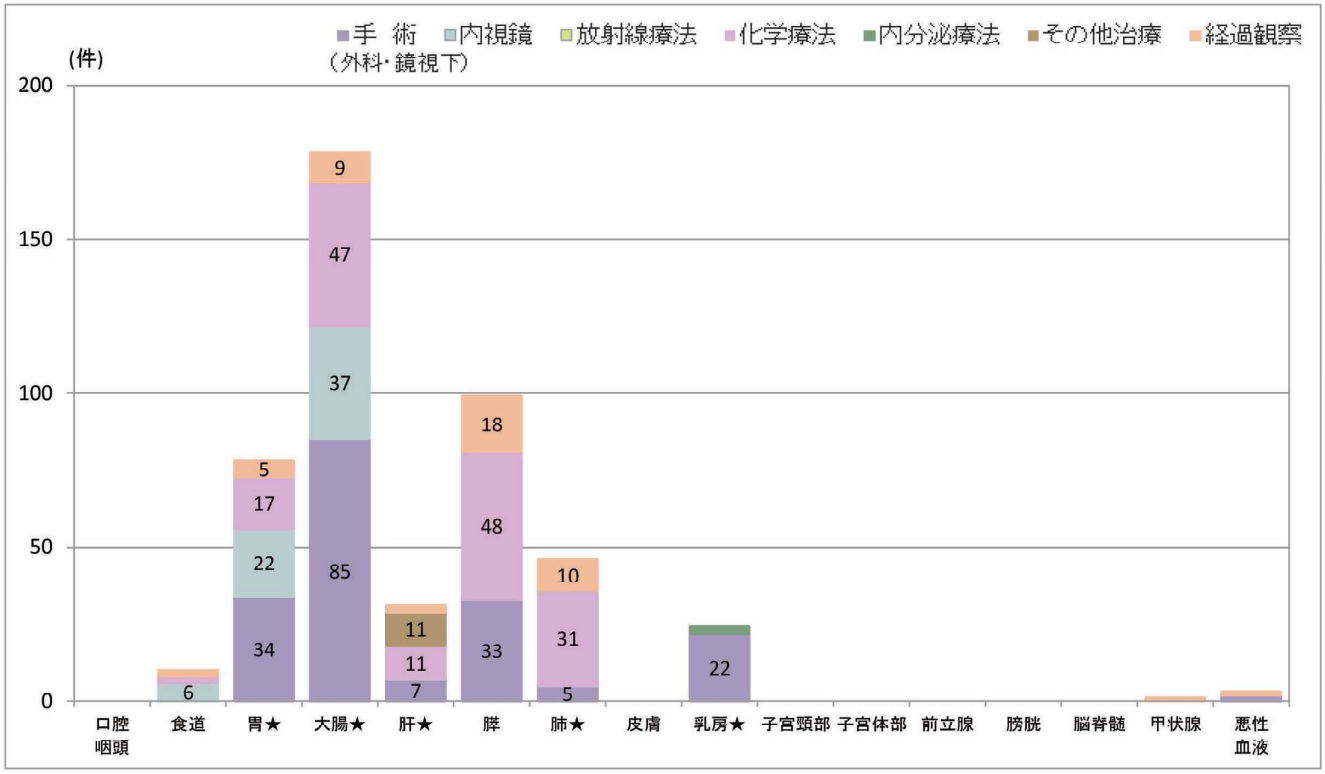
治療施設	件数
1初回治療せず	65
2初回治療開始	401
3初回治療継続	11
4初回治療終了後	39
8その他	0
計	516



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

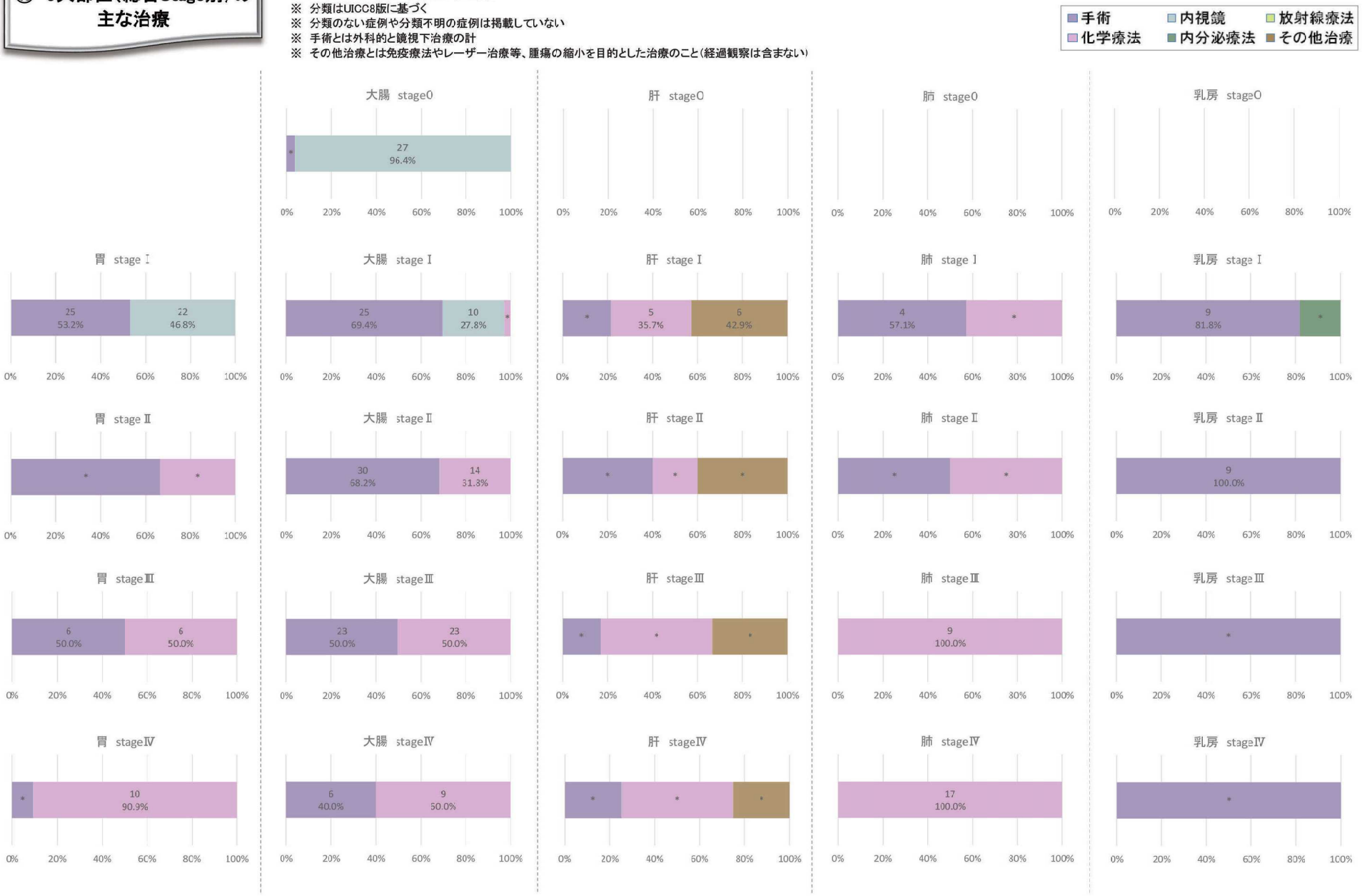
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		6		*			*	10	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	34	22		17			5	78	98.2%	1.8%	0.0%
大腸★	85	37		47			9	178	96.5%	3.5%	0.0%
肝★	7			11		11	*	31	100.0%	0.0%	0.0%
膵	33			48			18	99	96.9%	3.1%	0.0%
肺★	5			31			10	46	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	22				*			24	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺							*	*			
悪性血液疾患	*						*	*	50.0%	50.0%	0.0%
計	188	65	0	156	*	11	48	470			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医療機関名	社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	熊本市中央区大江3丁目2番55号
病　床　数	166床
診療科数	10科
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07
がん登録開始基準日	2010.01.01
平均在院日数	14.0（日）
入院患者数	4,161（人）
外来患者延数	66,111（人）
院内がん登録件数	383（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　2　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

【登録件数】院内がん登録を2010年症例より開始し、2019年は383件を登録した（前年比101.6%）。
【発生部位】当院は大腸肛門の専門病院であるため大腸が248件（64.8%）と多くを占める。次いで、その他41件（10.7%）、胃19件（5.0%）である。
【医療圏】熊本市が212件（55.4%）と最も多く、次いで県北部地域（有明、鹿本、菊池、阿蘇）で77件（20.1%）と両地域で75.5%を占めている。また県外からの受診も27件（7.0%）あり、これは当院が大腸がん検診を行っており、その事業が県外に及ぶことに加え、肛門機能の温存を希望し、医師紹介により当院を受診されることが影響しているものと考えられる。熊本医療圏では、当院所在地である中央区86件（40.6%）、および東区57件（26.9%）が多い。
【性・年齢】男女共に30代から80代まで広く分布し、男性の70代が最も多い。また、診断時の平均年齢は67.0歳（男性66.5歳、女性67.6歳）と昨年より男女とも少し低かった。
【発見経緯】大腸248件の内訳は自主受診を含むその他が133件（53.6%）と最も多く、次いでがん検診・健診・ドックが105件（42.3%）であった。
【病期分類】大腸においてStage0期が60件（24.2%）、StageI期が61件（24.6%）、StageII期が40件（16.1%）、StageIII期が38件（15.3%）、StageIV期が22件（8.9%）、その他が27件（10.9%）となっており、早期がんが高い割合を占めている。
【治療】主要部位別治療の大腸において、手術142件（48.8%）、内視鏡81件（27.8%）と観血的治療の割合が高く、そのうち原発巣切除（遺残なし）が201件（92.6%）とほとんどである。
【部位】大腸がん248件のうち直腸の割合が112件（45.2%）と多く、これは当院が大腸がん術後のQOLを保つ肛門括約筋温存術を多く行っていることでその治療を希望し、受診する患者が多いことが要因の一つと考えられる。

診断年別登録件数
（参考）

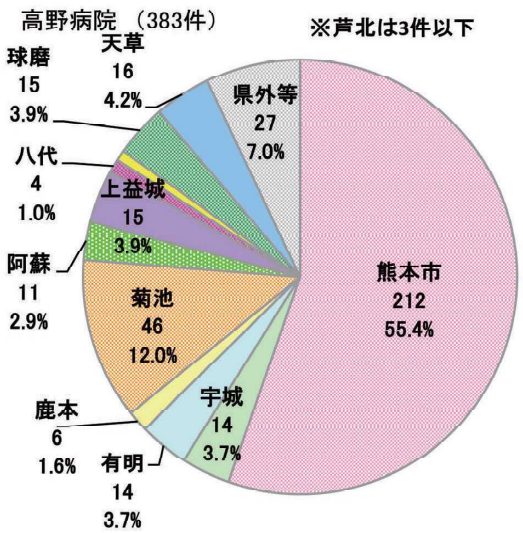
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

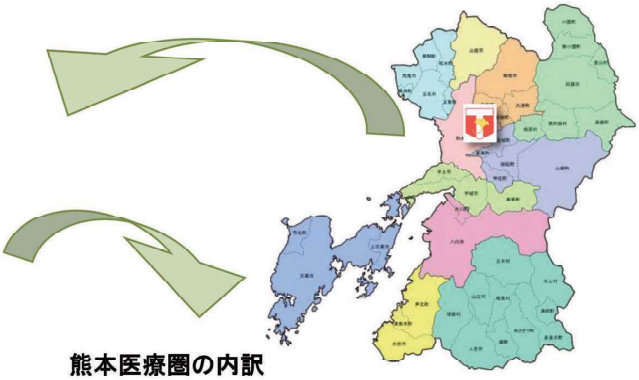
Ⅱ　施設別統計

高野病院

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





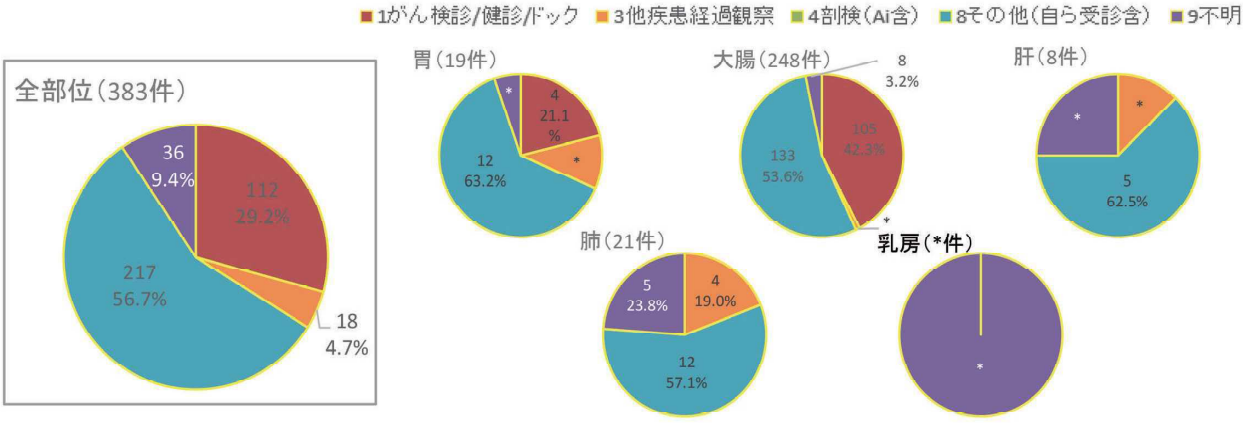
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	大腸	113	鹿本	複数部位	*	上益城	大腸	11	球磨	大腸	15
	その他	30					複数部位	*			
	肺	16									
	胃	11									
	膵	8									
宇城	大腸	10	菊池	大腸	37	八代	複数部位	*	天草	大腸	14
	複数部位	*		複数部位	*					複数部位	*
有明	大腸	9	阿蘇	大腸	8	芦北	複数部位	*	県外等	大腸	24
	複数部位	*		複数部位	*					複数部位	*

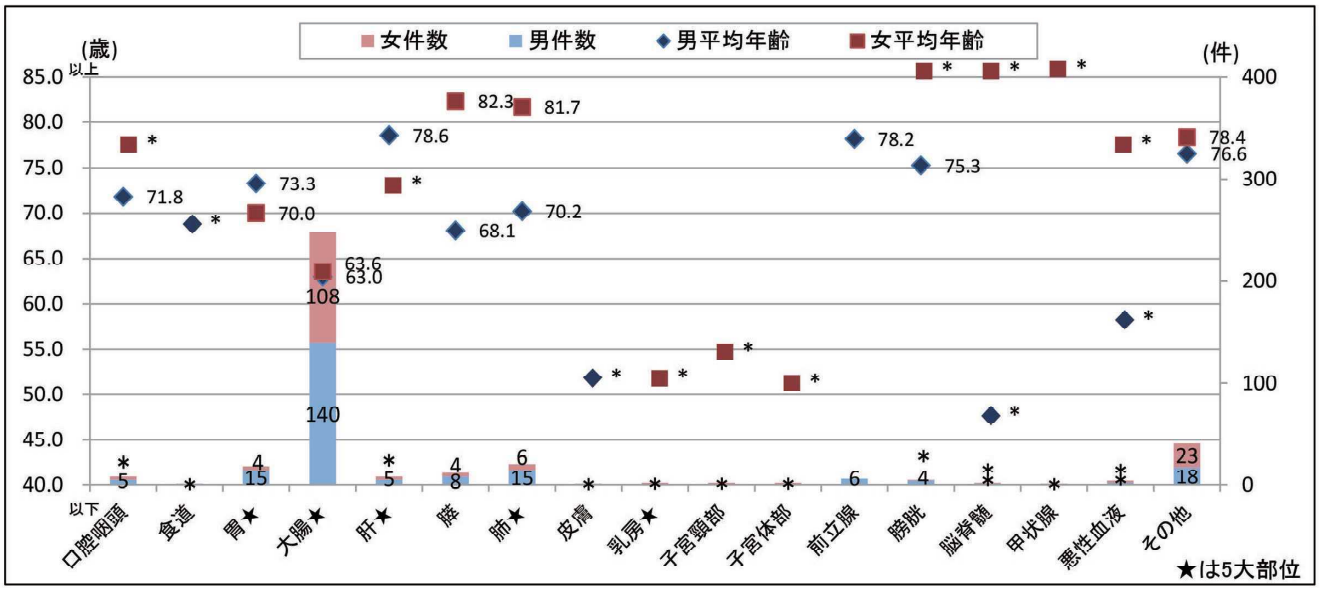
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	140
その他	18
胃	15
肺	15
膵	8
前立腺	6
口腔咽頭	5
肝	5
膀胱	4
悪性血液	*
食道	*
皮膚	*
脳脊髄	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	221

0～14歳	
計	

15～39歳	
大腸	11
計	11

40～49歳	
大腸	16
複数部位	*
計	22

50～59歳	
大腸	21
複数部位	*
計	28

60～69歳	
大腸	42
胃	5
その他	4
複数部位	*
計	58

70～79歳	
大腸	34
その他	6
胃	4
膵	4
前立腺	4
複数部位	*
計	61

80～89歳	
大腸	14
胃	4
その他	4
複数部位	*
計	32

90歳～	
複数部位	*
計	9

女性全体	
大腸	108
その他	23
肺	6
胃	4
膵	4
口腔咽頭	*
肝	*
乳房	*
子宮頸部	*
子宮体部	*
悪性血液	*
膀胱	*
脳脊髄	*
甲状腺	*
食道	
皮膚	
前立腺	
計	162

0～14歳	
計	

15～39歳	
大腸	6
複数部位	*
計	7

40～49歳	
大腸	13
複数部位	*
計	15

50～59歳	
大腸	16
複数部位	*
計	20

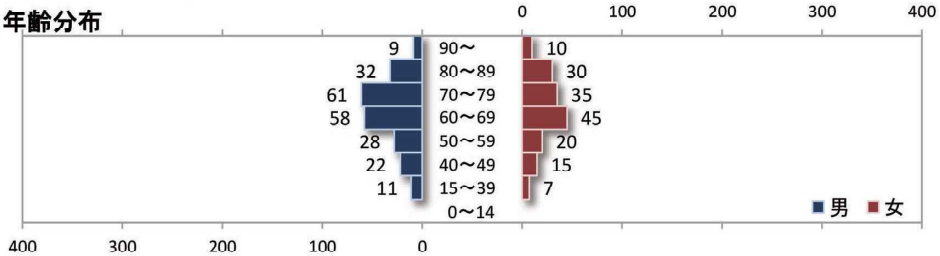
60～69歳	
大腸	37
複数部位	*
計	45

70～79歳	
大腸	23
複数部位	*
計	35

80～89歳	
大腸	11
その他	8
肺	4
複数部位	*
計	30

90歳～	
その他	6
複数部位	*
計	10

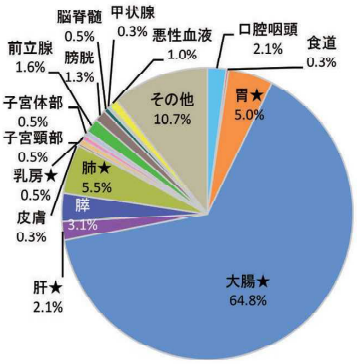
年齢分布



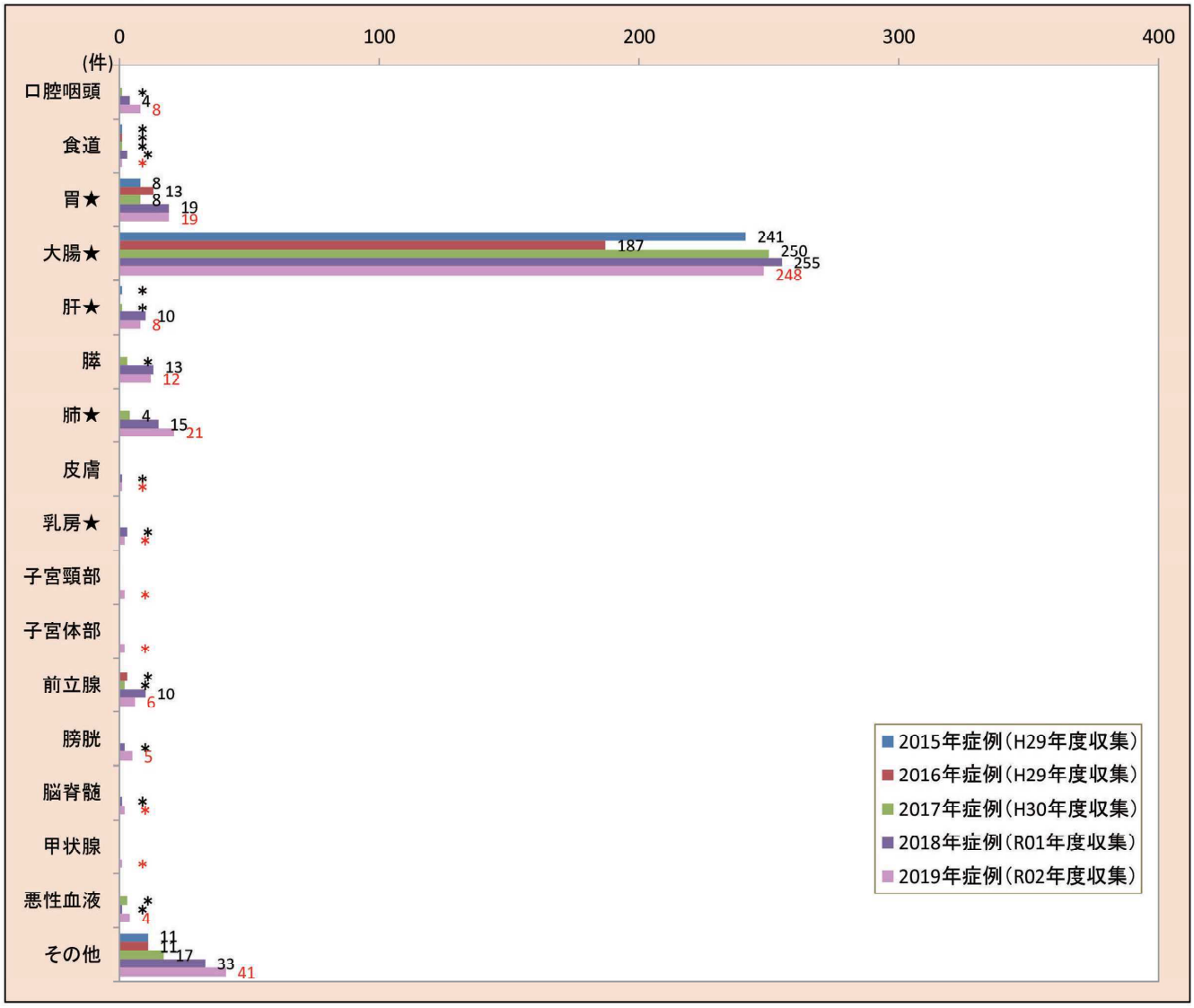
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭			*	4	8
食道	*	*	*	*	*
胃★	8	13	8	19	19
大腸★	241	187	250	255	248
肝★	*		*	10	8
膵			*	13	12
肺★			4	15	21
皮膚				*	*
乳房★				*	*
子宮頸部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	*（頸部・体部）	7（頸部・体部）	*
子宮体部					*
前立腺		*	*	10	6
膀胱				*	5
脳脊髄				*	*
甲状腺					*
悪性血液疾患			*	*	4
その他	11	11	17	33	41
計	262	215	291	377	383

2019年診断症例　主要部位別割合

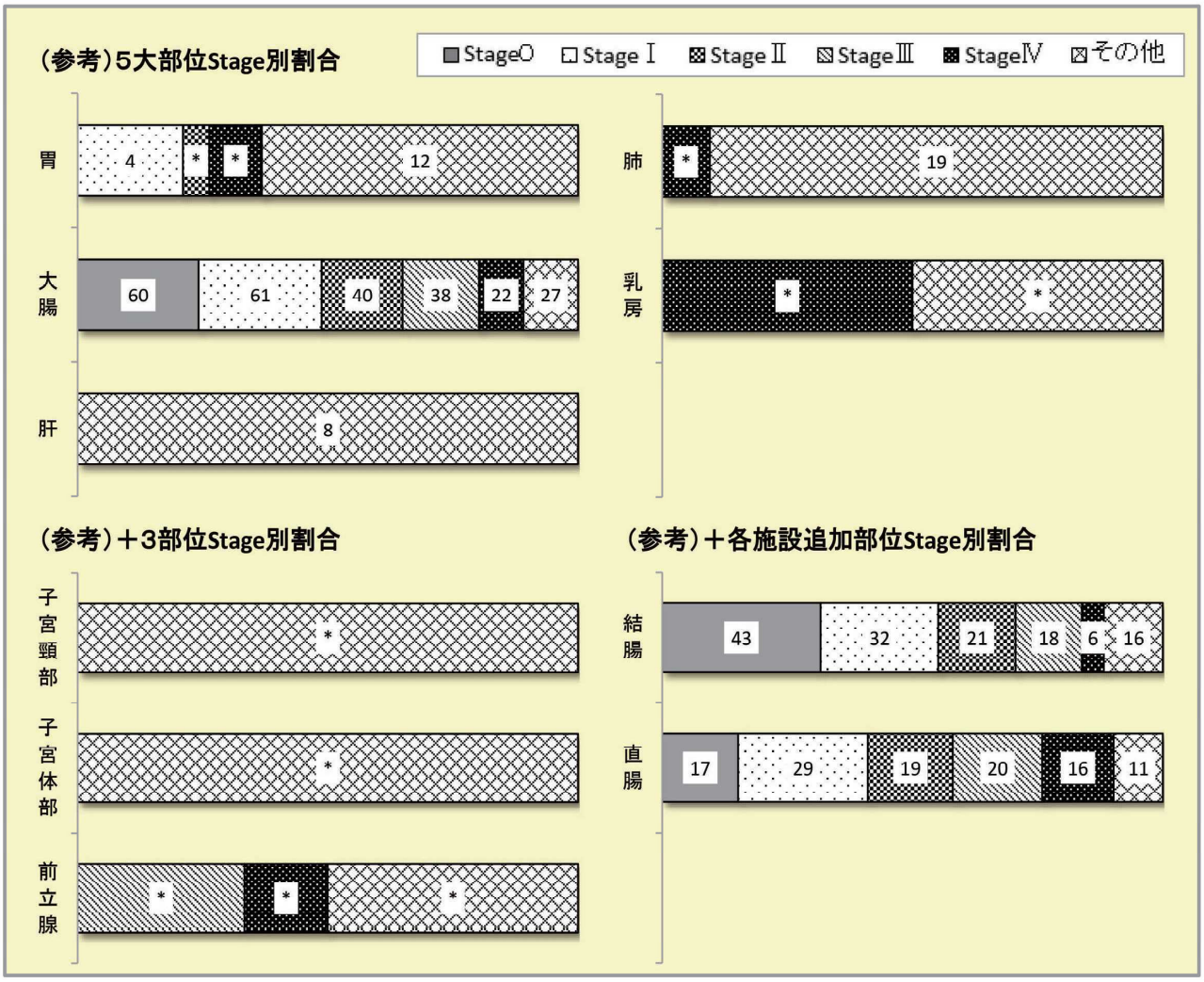


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

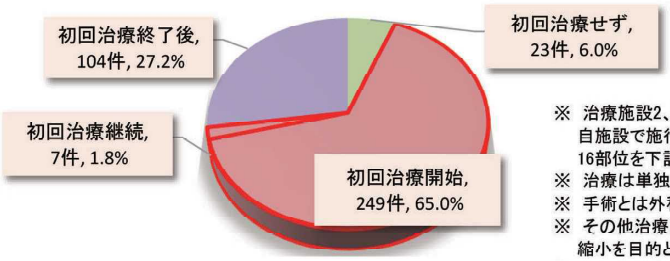
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	8					*	7
食道	*						*
胃★	19		4	*		*	12
大腸★	248	60	61	40	38	22	27
肝★	8						8
膵	12		*			*	10
肺★	21					*	19
皮膚	*						*
乳房★	*					*	*
子宮頸部	*						*
子宮体部	*						*
前立腺	6				*	*	*
膀胱	5						5
脳脊髄	*						*
甲状腺	*						*
悪性血液疾患	4						4
その他	41		*	*	*	4	32
計	383	60	67	43	42	34	137



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

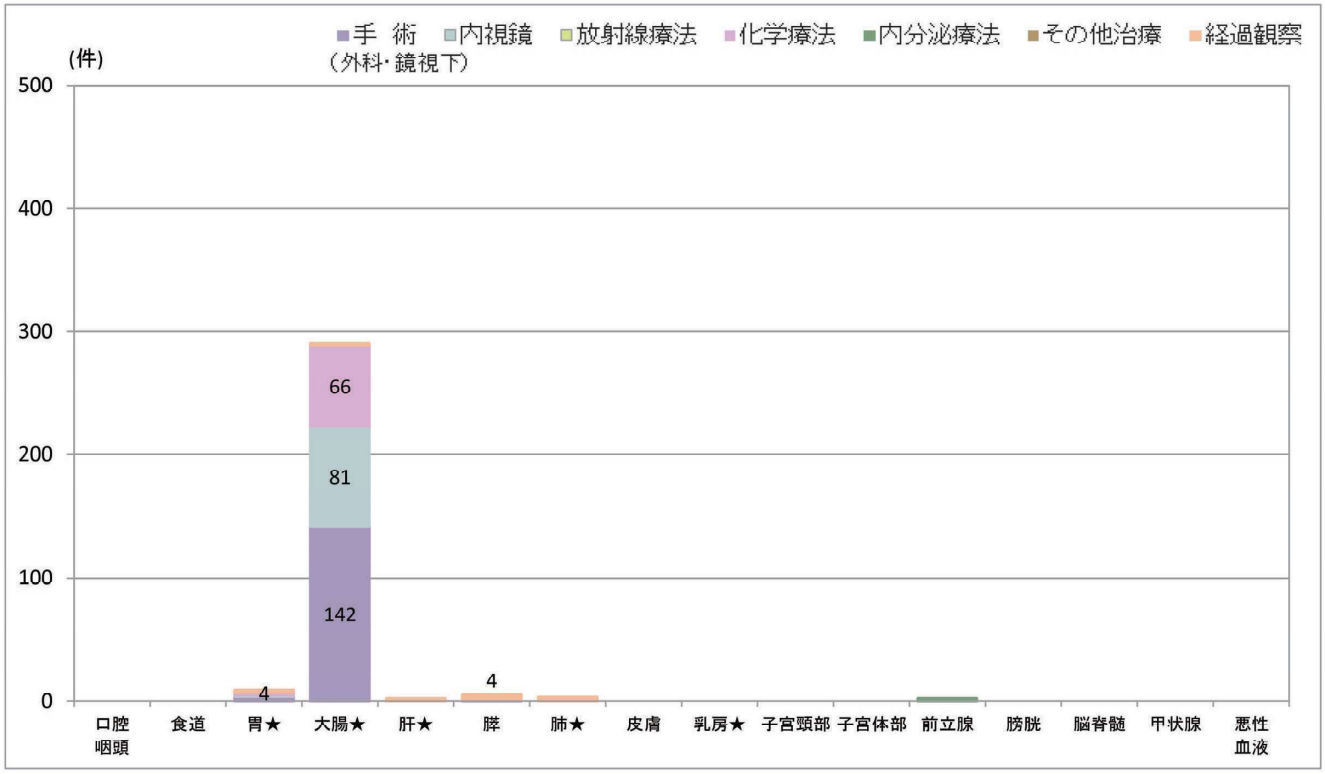
治療施設	件数
1初回治療せず	23
2初回治療開始	249
3初回治療継続	7
4初回治療終了後	104
8その他	0
計	383



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

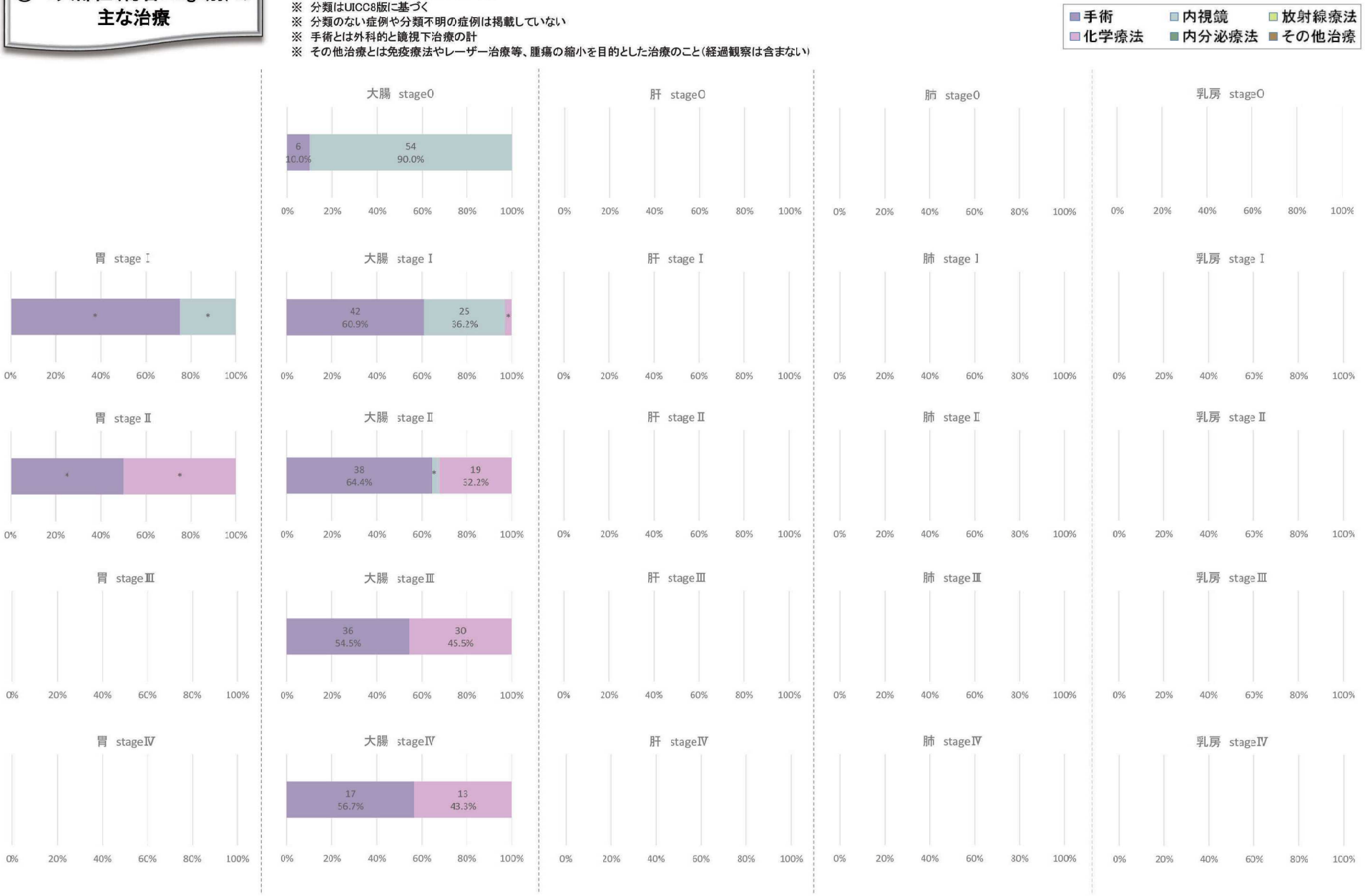
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★	4	*		*			*	9	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	142	81		66			*	291	92.6%	7.4%	0.0%
肝★							*	*			
膵	*						4	5	100.0%	0.0%	0.0%
肺★							*	*			
皮膚								0			
乳房★								0			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺					*			*			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	147	82	0	68	*	0	13	312			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医 療 機 関 名	山鹿市民医療センター

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	山鹿市山鹿511
病　床　数	201床
診 療 科 数	20科
がん診療連携拠点病院指定日	2012.11.16
がん登録開始基準日	2010.04.01
平均在院日数	17.6（日）
入院患者数	2,683（人）
外来患者延数	52,842（人）
院内がん登録件数	252（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　2　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

当施設では院内がん登録を2010年診断入院症例から開始し、全国がん登録の開始とともに外来分の登録も開始しました。

2019年症例を5大部位別に見ると大腸が58件と最も多く、次いで胃の39件、乳房の35件、肺の25件、肝臓の23件と続いています。消化器内科での内視鏡的手術を積極的に実施しているため胃と大腸は毎年上位を占めています。肝臓は、院内がん登録の対象ではない転移性肝腫瘍に対する治療も含めると2016年以降大幅に増加しています。

性別では、男性が117件、女性が135件と女性が多く、昨年までとは違い男女の件数が逆転しました。年齢別に見ると男性の平均年齢が75.4歳、女性の平均年齢が74.8歳で、前年と比較すると男女ともに1歳程度上昇しています。この中で女性特有のがん（乳房・子宮）のみ抽出した場合では、平均年齢が68.3歳と明らかに下がります。約26%が乳がん検診や子宮がん検診による発見で、検診に対する若年層の関心が高まってきたことが考えられます。

全体の症例数が減少傾向にある要因として泌尿器科、呼吸器科及び一般内科の常勤医が不在になったことが大きく影響していると思われます。また、2019年は緩和ケアの症例数が減少したこともあり全体の件数が減少しました。

鹿本医療圏で唯一の拠点病院ということもあり、医療圏別件数では鹿本が73.0%となっていますが、2016年以降二次医療圏外のがん患者の入院は2016年19%、2017年21%、2018年34%、2019年33%と増加傾向となっています。「わたしのカルテ」の運用や化学療法の充実、2011年7月にがん相談支援センターを開設し、がん情報の発信や患者様とその家族の様々な相談に対応できるようになったこと、2012年4月には緩和ケア病棟の開棟、さらに、2016年には肝胆膵外科の立ち上げ、2019年4月にはがん総合的診療チームの立ち上げが行われたことによって、がんの発見から治療、その後のフォローまで一貫して行える医療機関として地域の医療機関との更なる連携を図れるようになったからではないかと考えます。

また、緩和ケア病棟の開棟は、終末期を地元で過ごしたいという要望に応えられるようになったことから、治療開始後の症例が増加していることにも繋がっていると考えます。

今後も地域のがん拠点病院として、がん治療の質の向上、患者様のQOL向上に貢献していきたいと考えています。

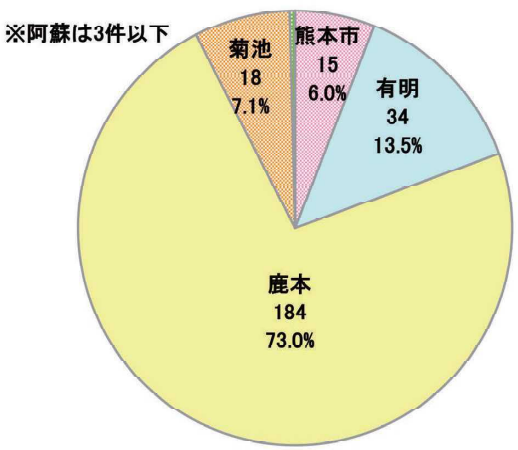
診断年別登録件数
（参考）

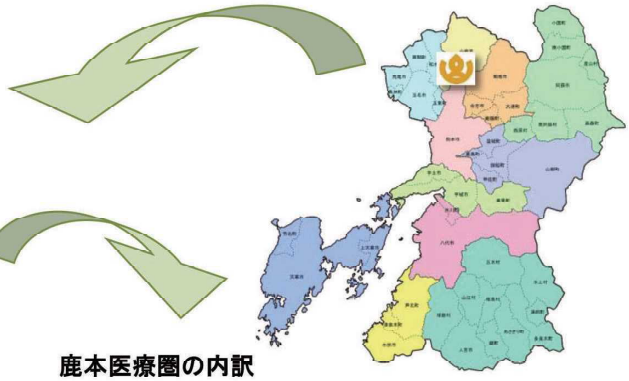
※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

山鹿市民医療センター　（252件）





鹿本医療圏の内訳

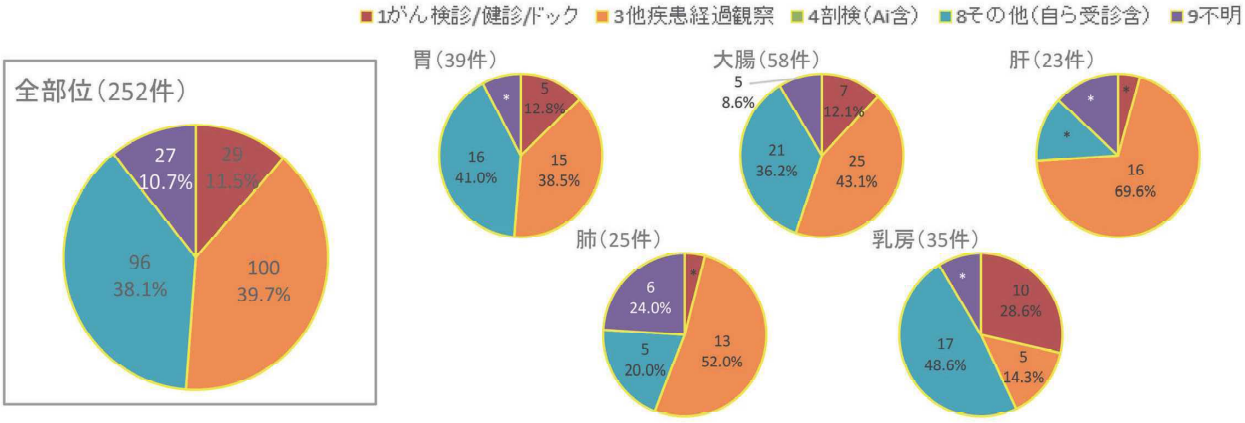
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	大腸	6	鹿本	大腸	40	上益城			球磨		
	胃	4		胃	32						
	複数部位	*		乳房	31						
				肝	17						
				肺	17						
宇城			菊池	大腸	6	八代			天草		
				複数部位	*						
有明	その他	7	阿蘇	複数部位	*	芦北			県外等		
	大腸	6									
	膵	4									
	肺	4									
	複数部位	*									

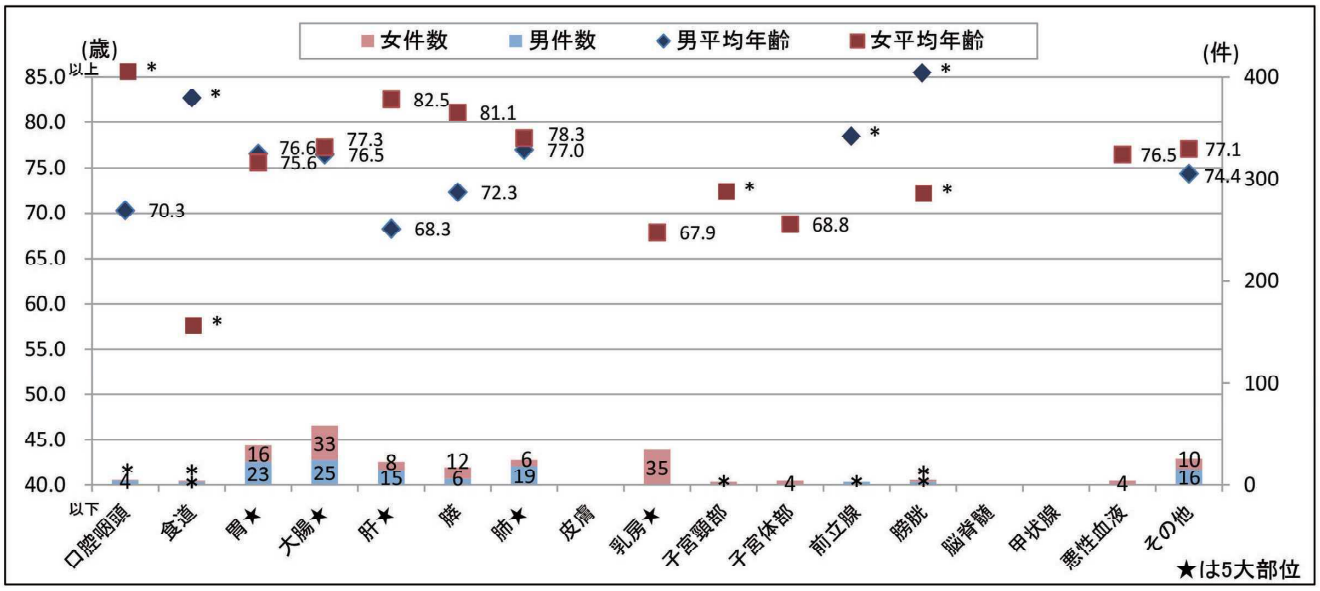
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	25
胃	23
肺	19
その他	16
肝	15
膵	6
口腔咽頭	4
食道	*
前立腺	*
膀胱	*
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	117

0～14歳	
計	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
複数部位	*
計	*

50～59歳	
複数部位	*
計	8

60～69歳	
大腸	6
肝	5
肺	4
複数部位	*
計	18

70～79歳	
胃	9
その他	9
大腸	6
肝	4
複数部位	*
計	38

80～89歳	
胃	9
肺	9
大腸	8
複数部位	*
計	36

90歳～	
複数部位	*
計	13

女性全体	
乳房	35
大腸	33
胃	16
膵	12
その他	10
肝	8
肺	6
子宮体部	4
悪性血液	4
子宮頸部	*
膀胱	*
口腔咽頭	*
食道	*
皮膚	
前立腺	
脳脊髄	
甲状腺	
計	135

0～14歳	
計	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
複数部位	*
計	*

50～59歳	
乳房	8
複数部位	*
計	15

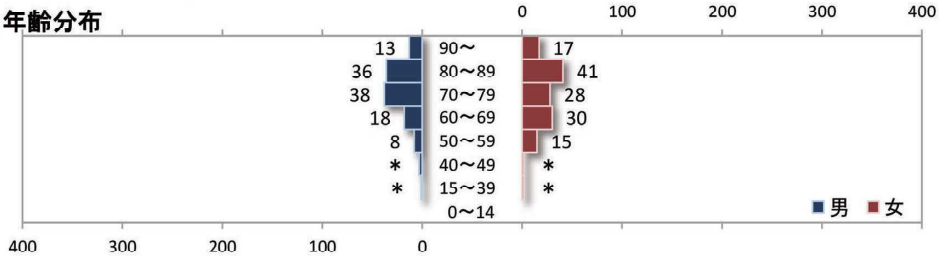
60～69歳	
乳房	9
大腸	5
複数部位	*
計	30

70～79歳	
乳房	9
大腸	8
胃	4
複数部位	*
計	28

80～89歳	
大腸	13
胃	5
膵	5
乳房	5
複数部位	各4
複数部位	*
計	41

90歳～	
大腸	4
複数部位	*
計	17

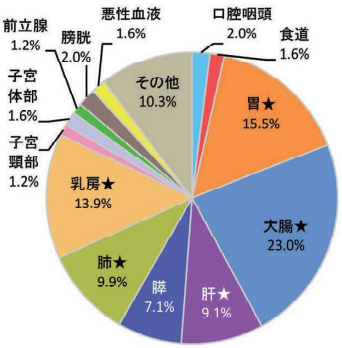
年齢分布



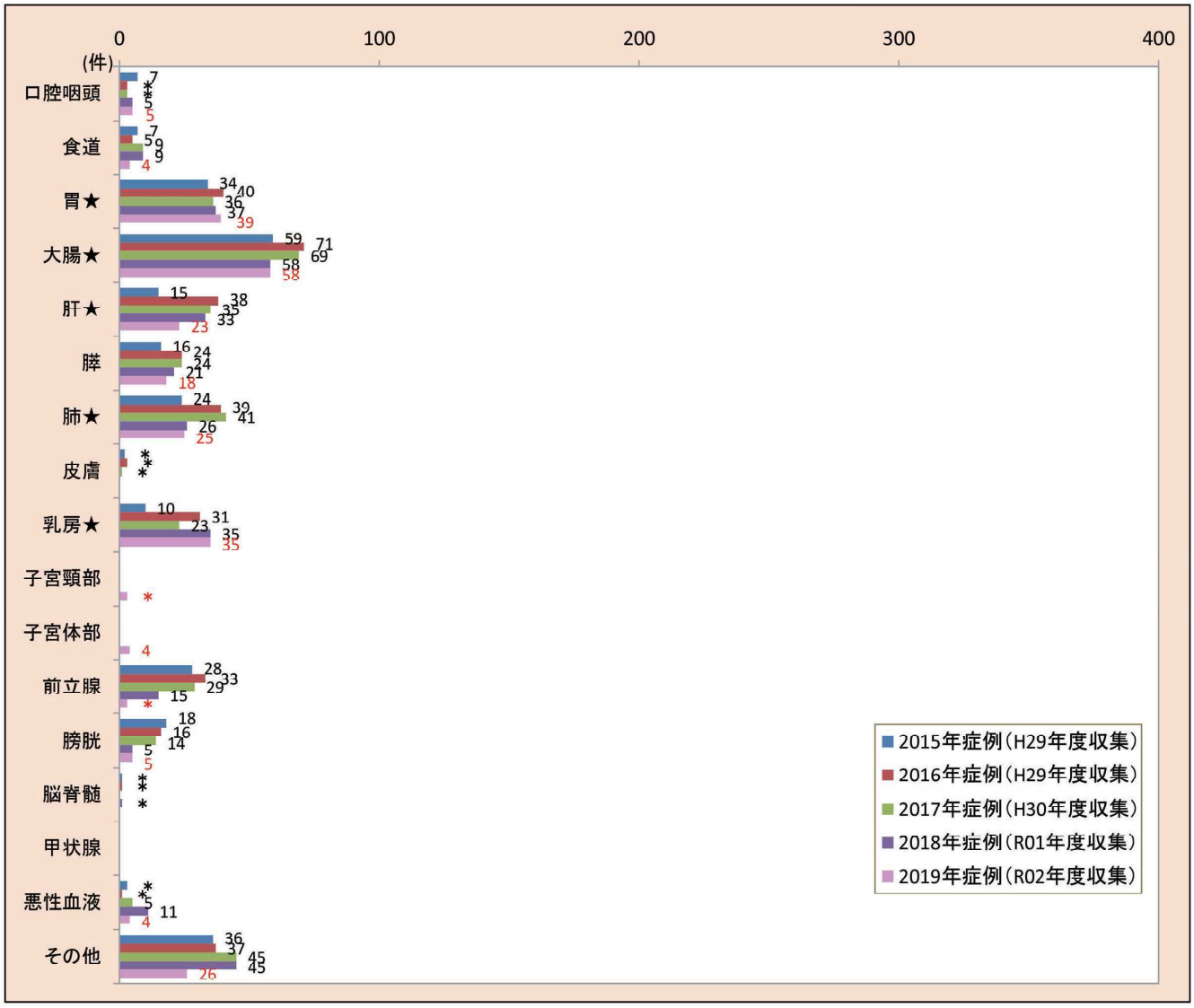
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	7	*	*	5	5
食道	7	5	9	9	4
胃★	34	40	36	37	39
大腸★	59	71	69	58	58
肝★	15	38	35	33	23
膵	16	24	24	21	18
肺★	24	39	41	26	25
皮膚	*	*	*		
乳房★	10	31	23	35	35
子宮頸部	*	10	12	11	*
子宮体部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	4
前立腺	28	33	29	15	*
膀胱	18	16	14	5	5
脳脊髄	*	*		*	
甲状腺					
悪性血液疾患	*	*	5	11	4
その他	36	37	45	45	26
計	263	352	346	312	252

2019年診断症例　主要部位別割合

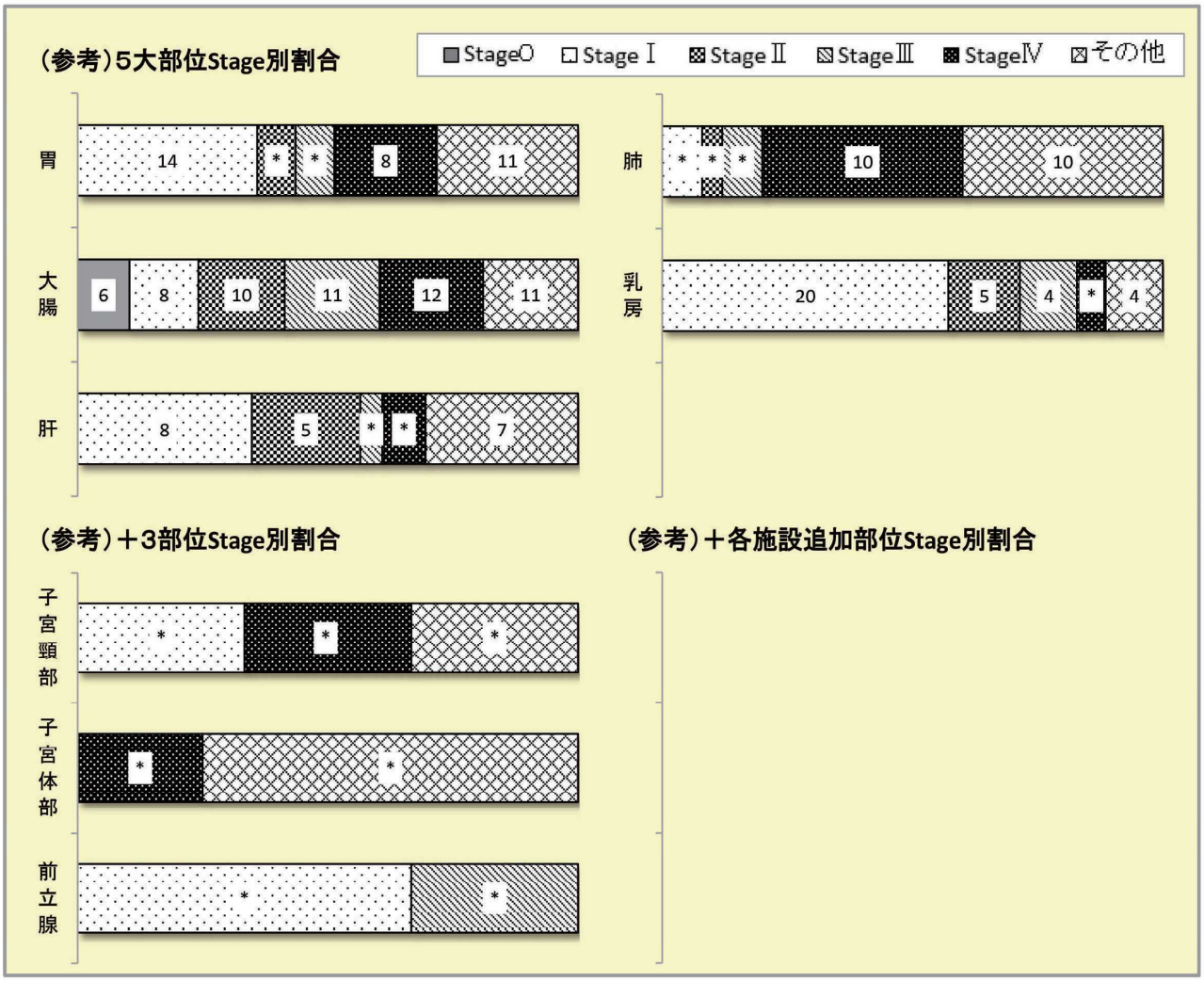


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

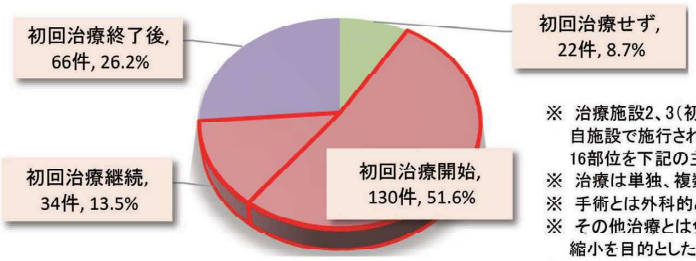
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	5					＊	4
食道	4	＊	＊			＊	
胃★	39		14	＊	＊	8	11
大腸★	58	6	8	10	11	12	11
肝★	23		8	5	＊	＊	7
膵	18		＊	＊	＊	7	4
肺★	25		＊	＊	＊	10	10
皮膚	0						
乳房★	35		20	5	4	＊	4
子宮頸部	＊		＊			＊	＊
子宮体部	4					＊	＊
前立腺	＊		＊		＊		
膀胱	5					＊	4
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	4					＊	＊
その他	26		5	＊	＊	6	11
計	252	7	64	27	28	53	73



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

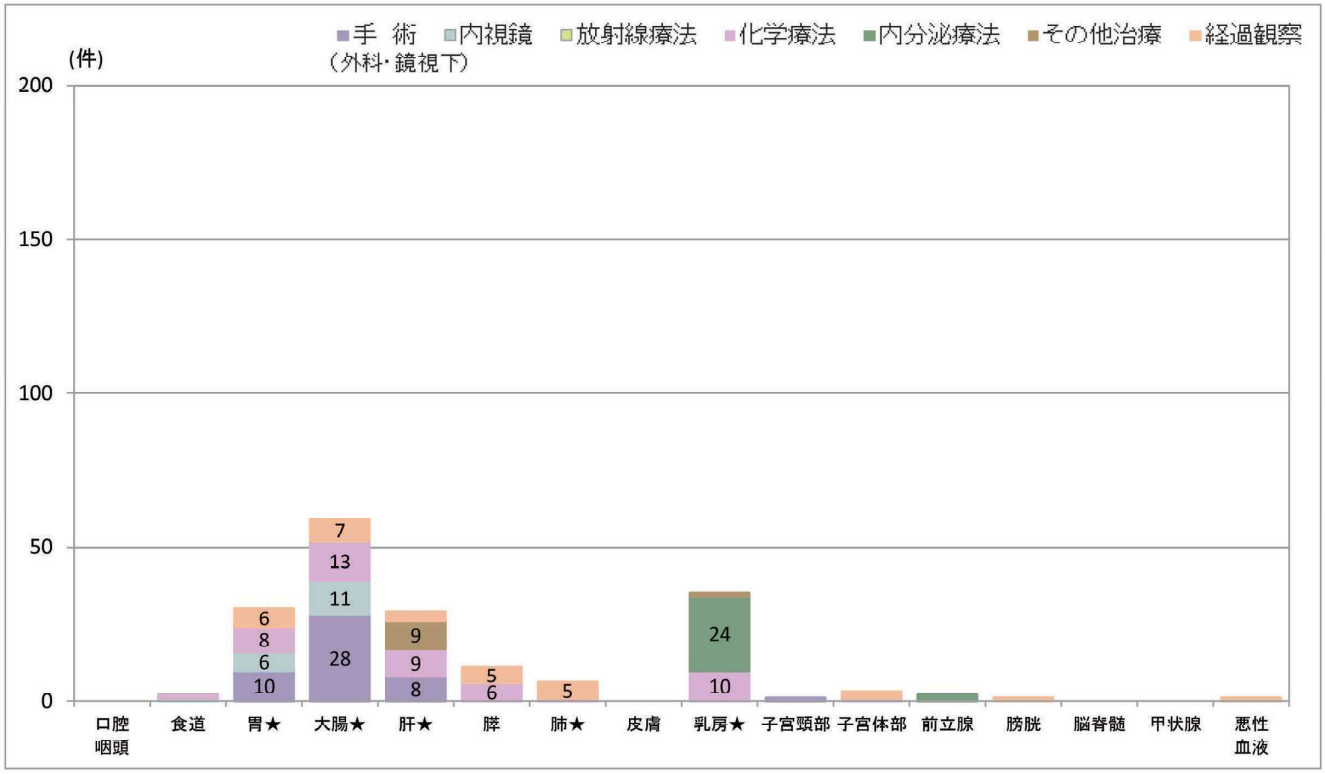
治療施設	件数
1初回治療せず	22
2初回治療開始	130
3初回治療継続	34
4初回治療終了後	66
8その他	0
計	252



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

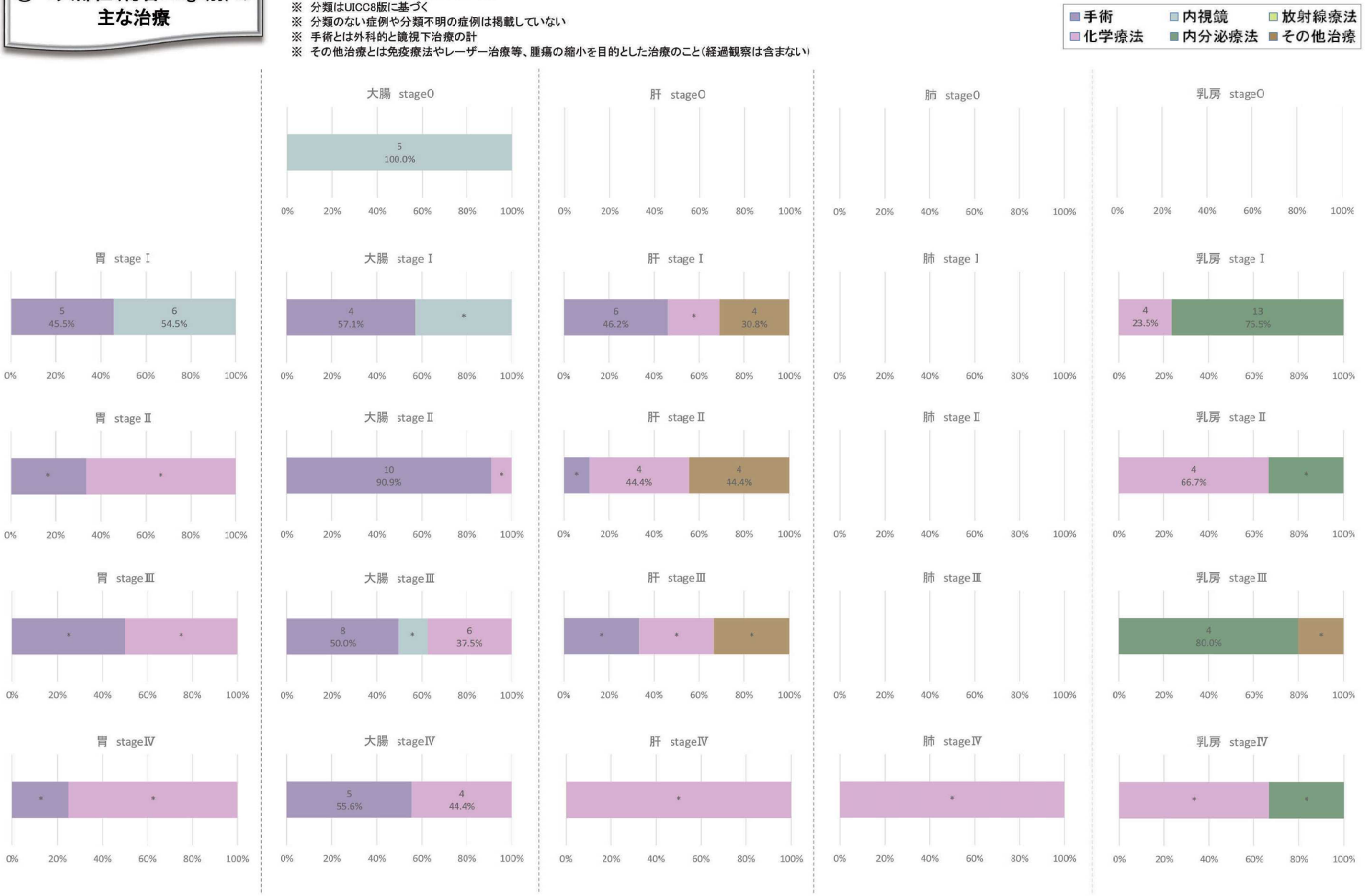
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		*		*				*	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	10	6		8			6	30	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	28	11		13			7	59	100.0%	0.0%	0.0%
肝★	8			9		9	*	29	100.0%	0.0%	0.0%
膵				6			5	11			
肺★				*			5	6			
皮膚								0			
乳房★				10	24	*		35			
子宮頸部	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部				*			*	*			
前立腺					*			*			
膀胱							*	*			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患							*	*			
計	47	18	0	49	26	10	30	180			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医療機関名	独立行政法人国立病院機構 熊本南病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	宇城市松橋町豊福2338番地
病　床　数	172床
診療科数	13科
がん診療連携拠点病院指定日	2014.02.28
がん登録開始基準日	2012.04.01
平均在院日数	31.0（日）
入院患者数	1,552（人）
外来患者延数	32,644（人）
院内がん登録件数	302（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　2　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

≪登録件数≫
・当院の2019年登録件数は、302件であり前年より6件増となった。
≪患者住所医療圏≫
・宇城80.8%（前年78.4%）、八代8.6%、熊本3.3%と宇城が全患者の8割以上を占めている。
≪平均年齢・男女比≫
・登録症例の全体の平均年齢は77.1歳。男性、女性とも平均77.1歳となった。
・年齢分布で一番多い80歳代男性は全患者の約21%、女性が約15%、70歳代男性が全患者の約16%、女性が約12%となっている。男女比は、男性59.3%（179件）、女性40.7%（123件）となっている。
≪部位別登録件数≫
・悪性血液疾患57件（18.9%）、肺55件（18.2%）、大腸40件（13.2%）、前立腺24件（7.9%）、胃20件（6.6%）、その他18件（6%）、乳房17件（5.6%）の順となり、前年と比較すると肝がん患者の減少と、前立腺がん患者が増加傾向にあることがわかる。
≪部位別病期分類の割合≫
・Stage0期（1%）、Stage Ⅰ期（8.9%）、Stage Ⅱ期（9.9%）、StageⅢ期（7.9%）、StageⅣ期（34.1%）、その他（38.1%）となった。当院は悪性血液疾患が多いため、その他の割合が多いと考えられる。
≪特徴≫
・宇城地域医療圏からの患者がもっとも多い。高齢者（70歳以上）が7割以上を占めている。
・がんの診断、治療、緩和ケアまで一貫した治療や療養ができる病院として宇城医療圏での熊本県指定「がん診療連携拠点病院」である。診断はもちろんのこと、外科的治療、抗がん剤治療、再発または高度進行例に対する緩和ケア治療を行っている。
　また、さまざまな広報に取り組み、地域ケア連携研修会や市民公開講座の開催等、地域との連携を深めている。「私のカルテ」による連携や、「宇城がんサロン～ほっとカフェ～」が関係者に利用しやすくなるように努め、更に地域医療の質の向上を目指している。

診断年別登録件数
（参考）

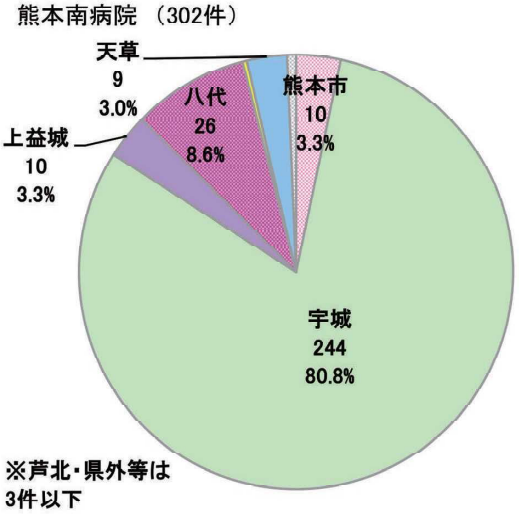
※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

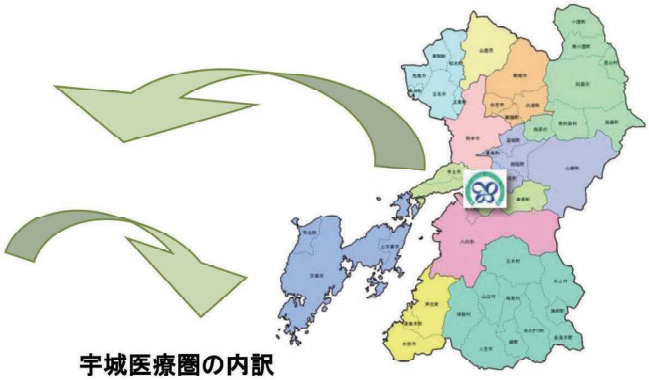
Ⅱ　施設別統計

熊本南病院

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



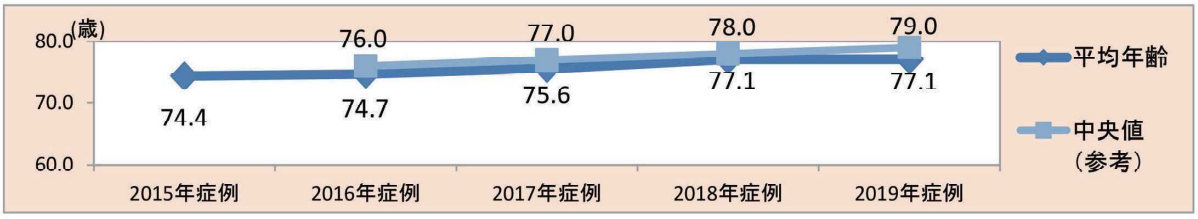


◇　医療圏別上位5部位

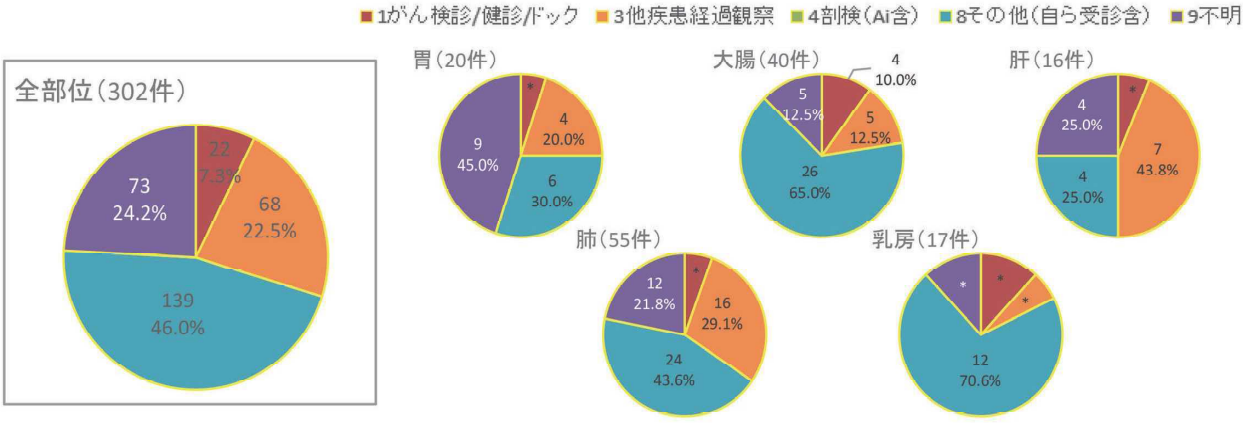
熊本市	悪性血液	6	鹿本			上益城	複数部位	*	球磨		
	複数部位	*									
宇城	肺	45	菊池			八代	肺	6	天草	悪性血液	5
	悪性血液	42					口腔咽頭	4		複数部位	*
	大腸	36					複数部位	*			
	前立腺	20									
	胃	19									
有明			阿蘇			芦北	複数部位	*	県外等	複数部位	*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

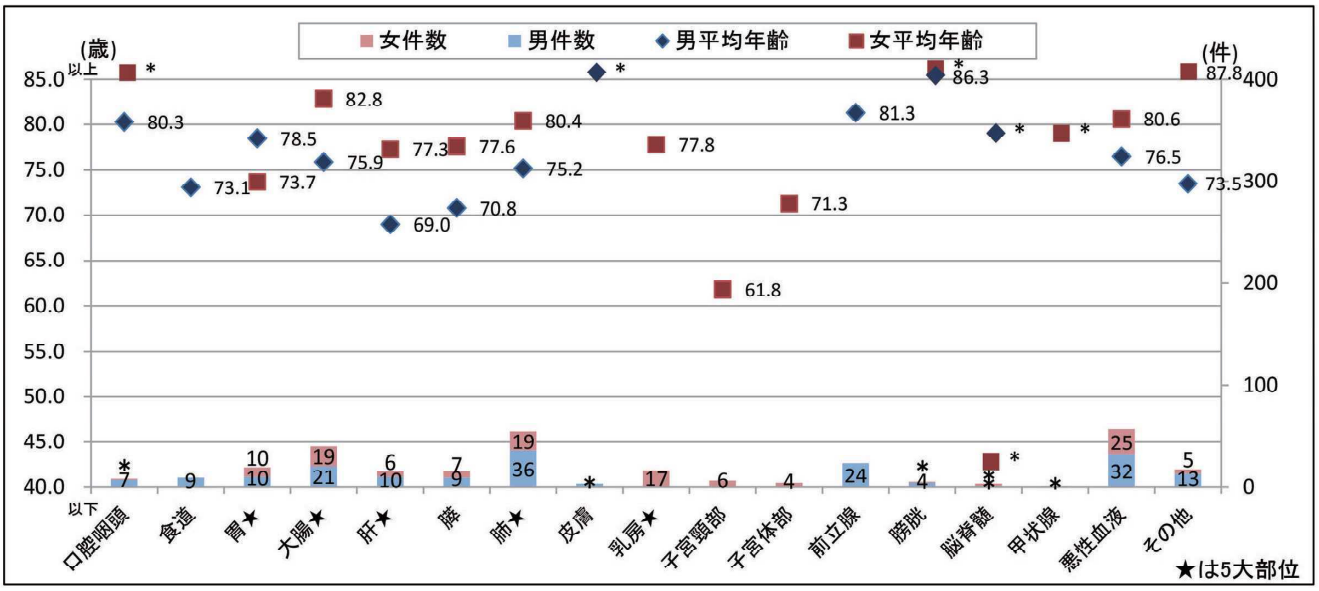
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
肺	36
悪性血液	32
前立腺	24
大腸	21
その他	13
胃	10
肝	10
食道	9
膵	9
口腔咽頭	7
膀胱	4
皮膚	*
脳脊髄	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	179

0～14歳	

15～39歳	

40～49歳	
複数部位	*
計	*

50～59歳	
複数部位	*
計	9

60～69歳	
肺	10
悪性血液	6
大腸	5
肝	4
複数部位	*
計	38

70～79歳	
肺	11
悪性血液	11
前立腺	7
大腸	5
複数部位	*
計	49

80～89歳	
悪性血液	14
肺	10
前立腺	10
胃	5
複数部位	各4
など	
計	64

90歳～	
大腸	5
前立腺	4
複数部位	*
計	16

女性全体	
悪性血液	25
大腸	19
肺	19
乳房	17
胃	10
膵	7
肝	6
子宮頸部	6
その他	5
子宮体部	4
脳脊髄	*
口腔咽頭	*
膀胱	*
甲状腺	*
食道	
皮膚	
前立腺	
計	123

0～14歳	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
複数部位	*
計	*

50～59歳	
複数部位	*
計	7

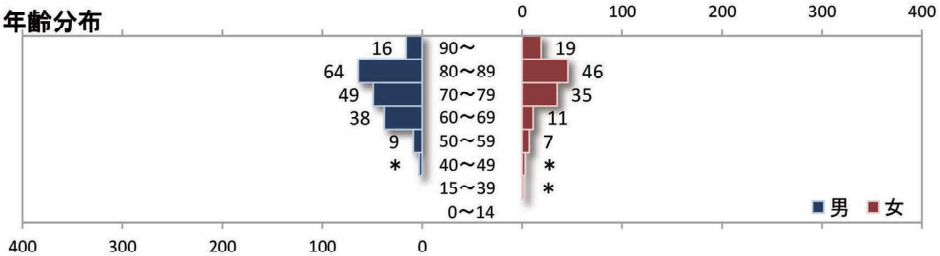
60～69歳	
複数部位	*
計	11

70～79歳	
乳房	7
悪性血液	7
大腸	6
肺	5
複数部位	*
計	35

80～89歳	
大腸	9
肺	9
悪性血液	8
乳房	6
胃	5
複数部位	*
計	46

90歳～	
悪性血液	6
大腸	4
複数部位	*
計	19

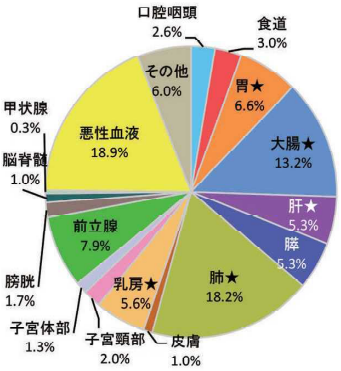
年齢分布



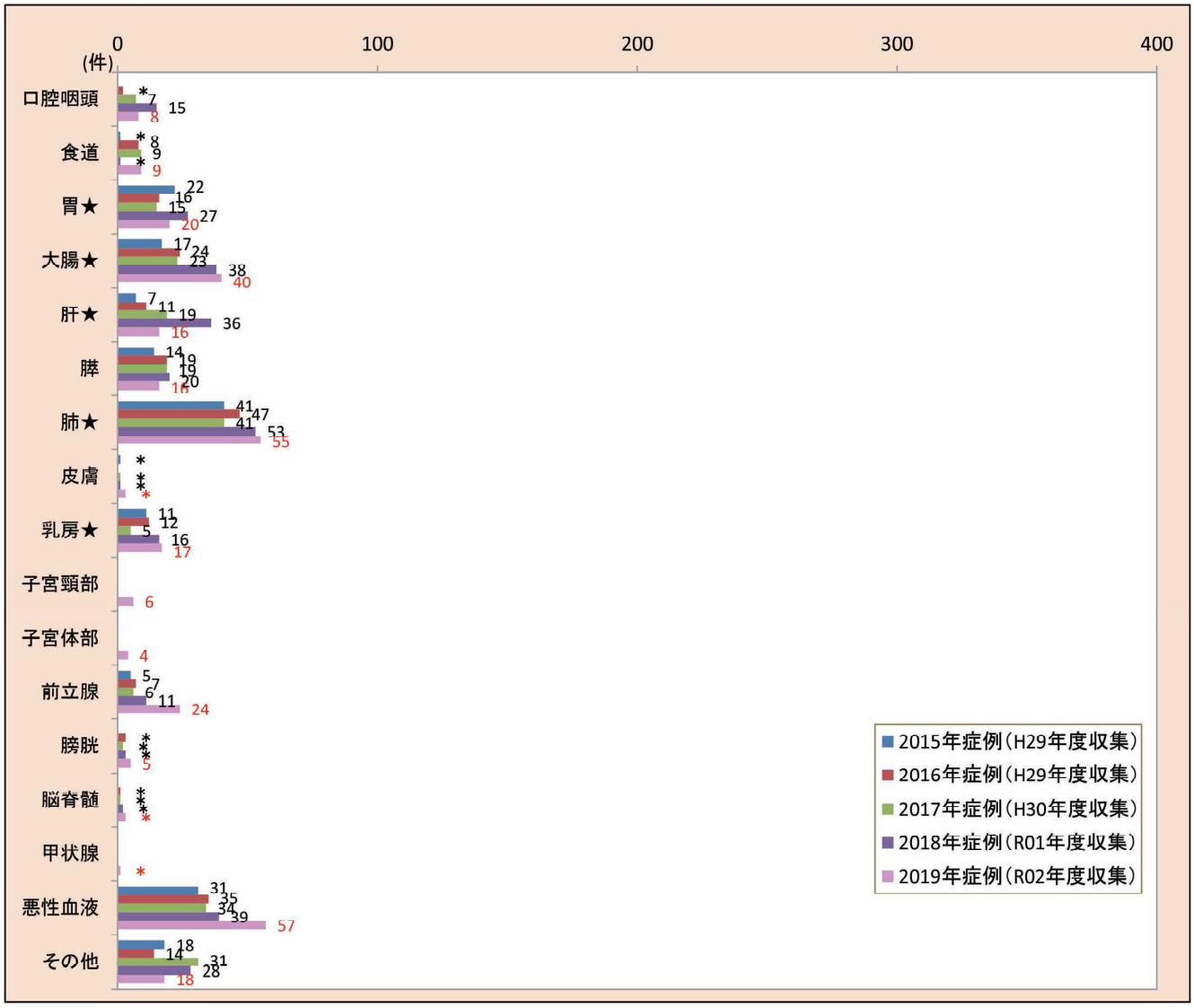
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭		*	7	15	8
食道	*	8	9	*	9
胃★	22	16	15	27	20
大腸★	17	24	23	38	40
肝★	7	11	19	36	16
膵	14	19	19	20	16
肺★	41	47	41	53	55
皮膚	*		*	*	*
乳房★	11	12	5	16	17
子宮頸部	（頸部・体部）	*（頸部・体部）	6（頸部・体部）	6（頸部・体部）	6
子宮体部					4
前立腺	5	7	6	11	24
膀胱		*	*	*	5
脳脊髄		*	*	*	*
甲状腺					*
悪性血液疾患	31	35	34	39	57
その他	18	14	31	28	18
計	168	201	219	296	302

2019年診断症例　主要部位別割合

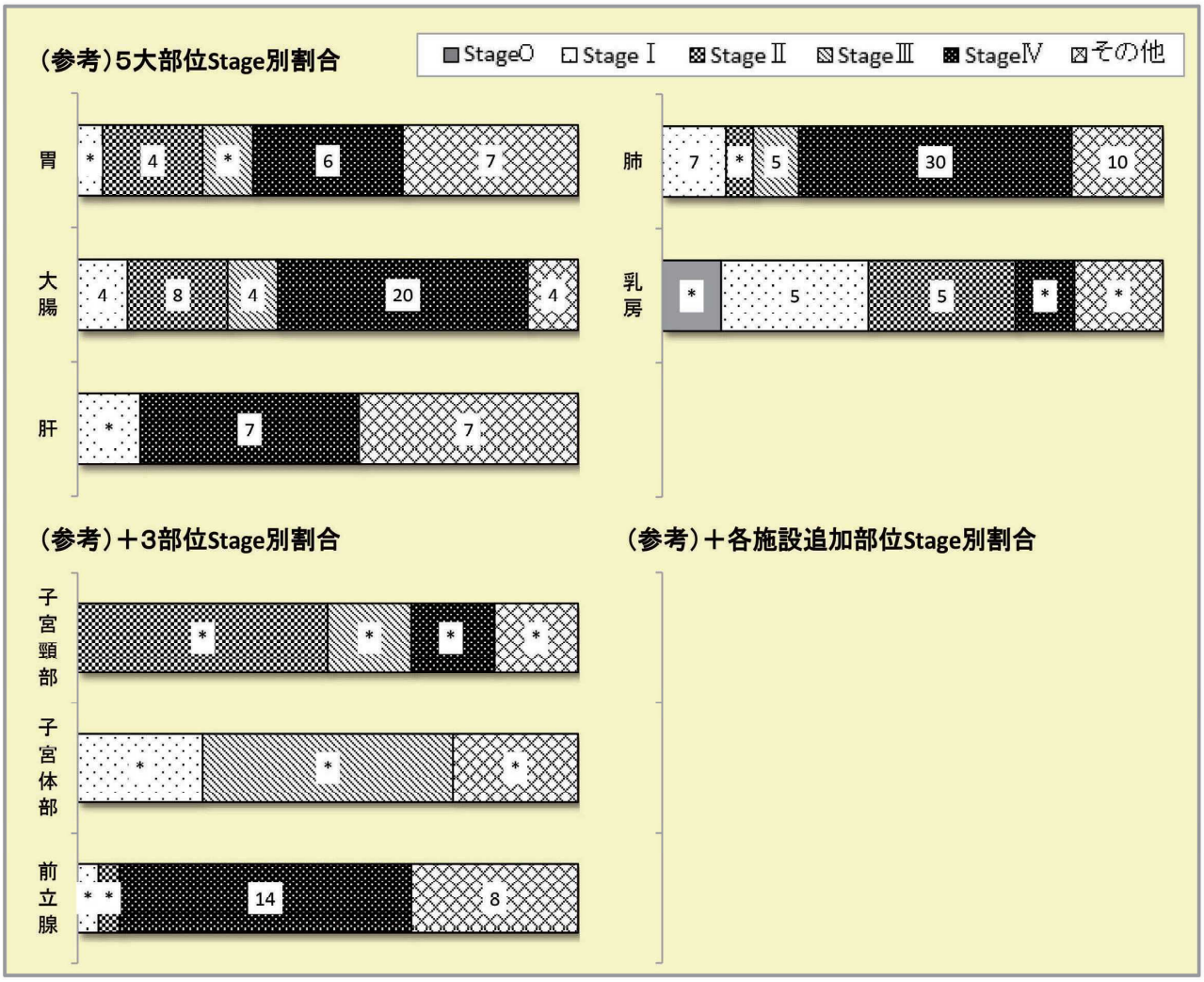


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

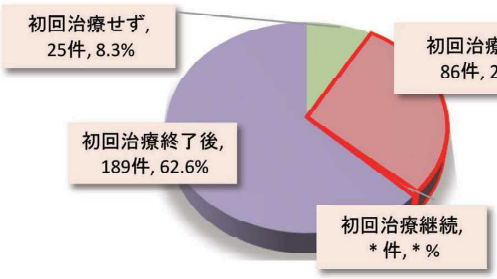
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	8		*			*	5
食道	9	*	*	*	*	*	4
胃★	20		*	4	*	6	7
大腸★	40		4	8	4	20	4
肝★	16		*			7	7
膵	16		*	*	*	9	*
肺★	55		7	*	5	30	10
皮膚	*						*
乳房★	17	*	5	5		*	*
子宮頸部	6			*	*	*	*
子宮体部	4		*		*		*
前立腺	24		*	*		14	8
膀胱	5		*	*	*		*
脳脊髄	*						*
甲状腺	*					*	
悪性血液疾患	57		*	*	*	*	51
その他	18		*		5	8	4
計	302	*	27	30	24	103	115



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

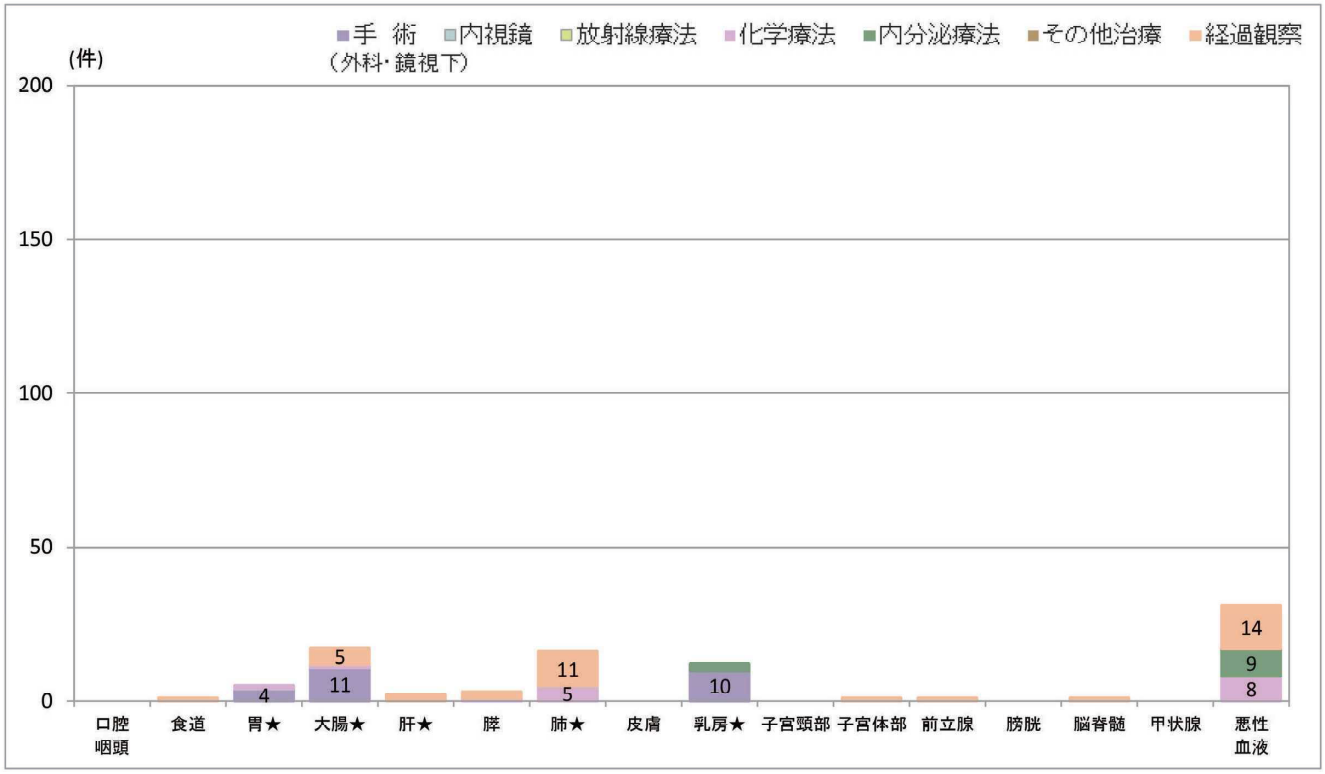
治療施設	件数
1初回治療せず	25
2初回治療開始	86
3初回治療継続	*
4初回治療終了後	189
8その他	0
計	302



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

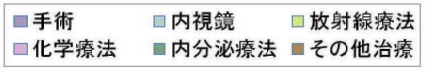
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道							*	*			
胃★	4			*				5	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	11			*			5	17	100.0%	0.0%	0.0%
肝★							*	*			
膵				*			*	*			
肺★				5			11	16			
皮膚								0			
乳房★	10				*			12	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部							*	*			
前立腺							*	*			
膀胱								0			
脳脊髄							*	*			
甲状腺								0			
悪性血液疾患				8	9		14	31			
計	25	0	0	16	11	0	38	90			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医 療 機 関 名	社会医療法人黎明会宇城総合病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	宇城市松橋町久具691
病　床　数	204床
診 療 科 数	18科
がん診療連携拠点病院指定日	ー
がん登録開始基準日	2010.04.01
平均在院日数	37.5（日）
入院患者数	1,964（人）
外来患者延数	56,454（人）
院内がん登録件数	41（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　0　／他　3（名）

○医療機関からのコメント

1. 症例件数
　当院における2019年の症例件数は41件(前年症例:69件)となった。
2. 医療圏
　宇城地区 90.2%　八代市 4.9%　熊本市 2.4%　上益城 2.4%
　○宇城地区が全患者の9割を占めている。
　○宇城地区の内訳:宇城市 56.1%　宇土市 17.1%　美里町 17.1%
3. 平均年齢・男女比
　平均年齢:75.6歳 〈男性平均:75.7歳　女性平均:75.6歳〉
　○男性　1位:70歳代　2位:90歳代
　○女性　1位:80歳代　2位:70歳代
　　男女比は男性 61.0%、女性 39.0%となった
4. 主要部位別割合
　大腸 34.1%(前年:31.9%)、胃 17.1%(前年:15.9%)、乳房 7.3%(前年:7.2%)、
　肝 4.9%(前年:8.7%)、肺 7.3%(前年:7.2%)
　※ここ近年は大腸の割合が多い。
5. 特徴
　例年同様に宇城地域医療圏からの患者が多く、高齢者が増加している。手術対応が困難な末期状態で積極的な治療を希望されない、または癌に対する積極的な検査若しくは治療を希望されない患者が多いため、病理診断レベルでの病期分類の確定診断がされていない症例が反映している。
　来院経路としては自主受診 24.4%(前年:37.7%)、他施設紹介 61.0%(前年:43.5%)、他疾患経過観察中 12.2%(前年:18.8%)と、何らかの症状があり、当院を受診されるケースが多かった。治療としては、前年同様StageⅡで手術施行されている症例が多かった。5大部位以外で増えつつある部位は膵 9.8%、前立腺 7.3%であった。

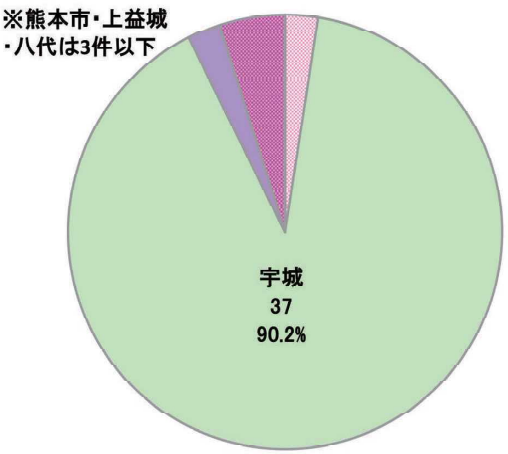
診断年別登録件数
（参考）

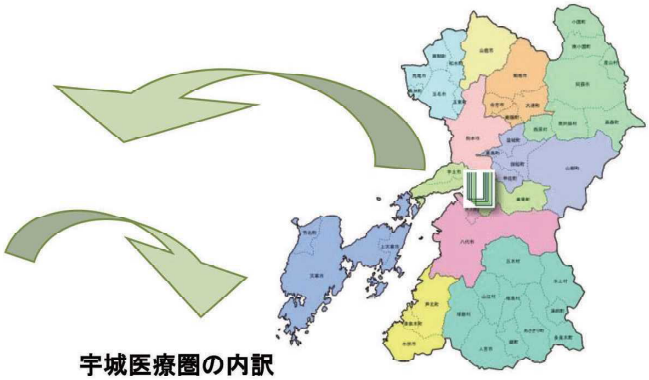
※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

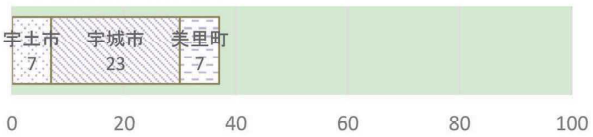
※　全般において3件以下は*又は非表示

宇城総合病院　（41件）





宇城医療圏の内訳

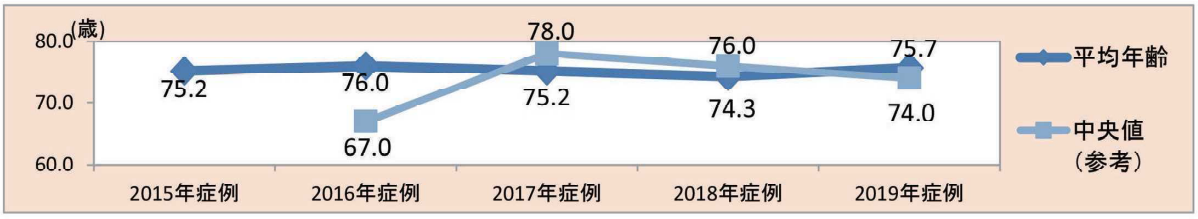


◇　医療圏別上位5部位

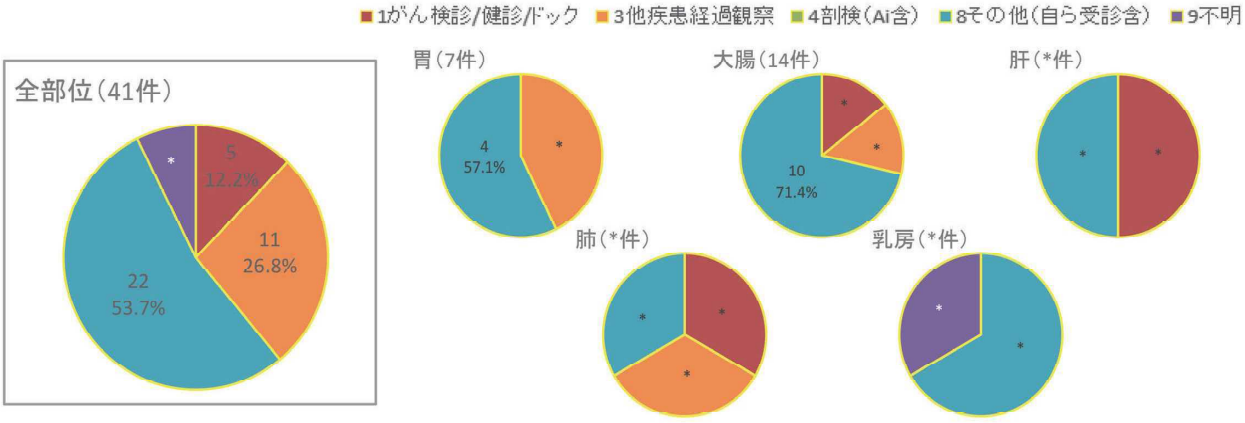
熊本市	複数部位	*	鹿本			上益城	複数部位	*	球磨		
宇城	大腸	11	菊池			八代	複数部位	*	天草		
	胃	7									
	膵	4									
	複数部位	*									
有明			阿蘇			芦北			県外等		

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

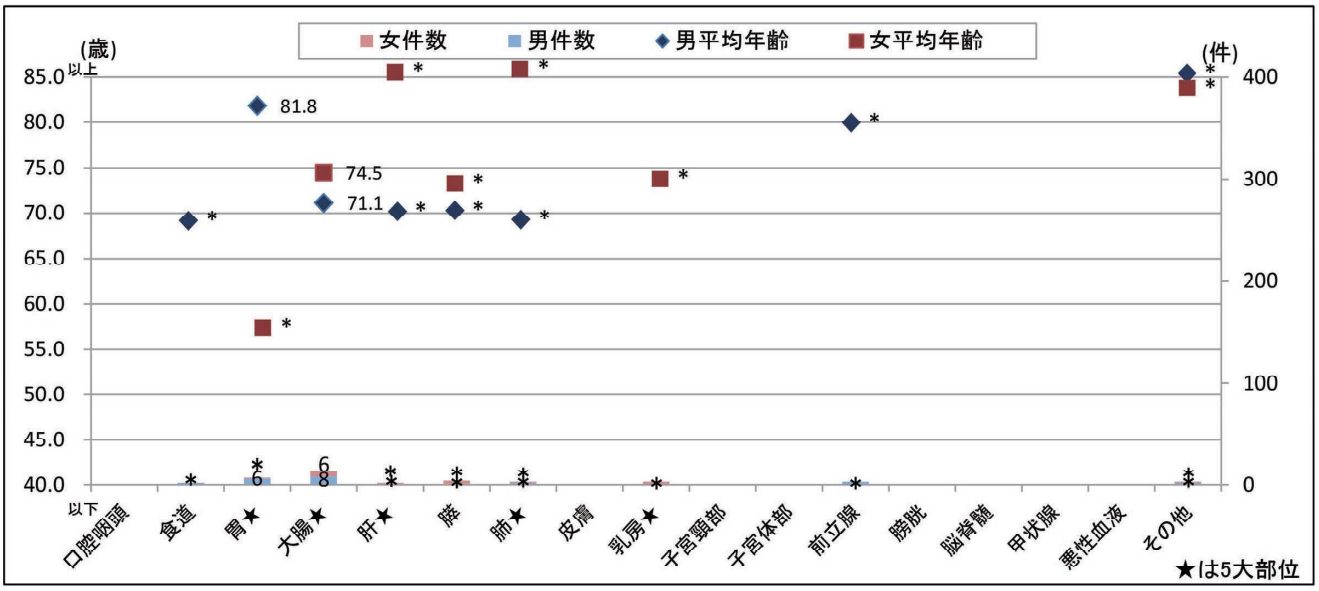
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	8
胃	6
前立腺	*
食道	*
肺	*
その他	*
肝	*
膵	*
口腔咽頭	
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	25

0～14歳	

15～39歳	

40～49歳	

50～59歳	
複数部位	*
計	*

60～69歳	
複数部位	*
計	5

70～79歳	
複数部位	*
計	8

80～89歳	
複数部位	*
計	4

90歳～	
複数部位	*
計	6

女性全体	
大腸	6
膵	*
乳房	*
胃	*
肝	*
肺	*
その他	*
口腔咽頭	
食道	
皮膚	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	16

0～14歳	

15～39歳	

40～49歳	

50～59歳	
複数部位	*
計	*

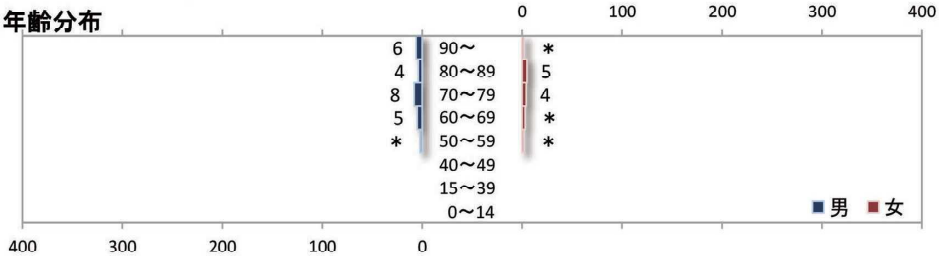
60～69歳	
複数部位	*
計	*

70～79歳	
複数部位	*
計	4

80～89歳	
複数部位	*
計	5

90歳～	
複数部位	*
計	*

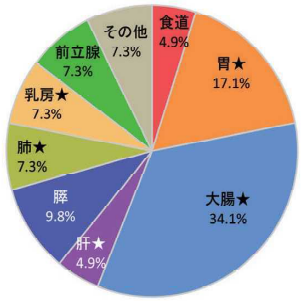
年齢分布



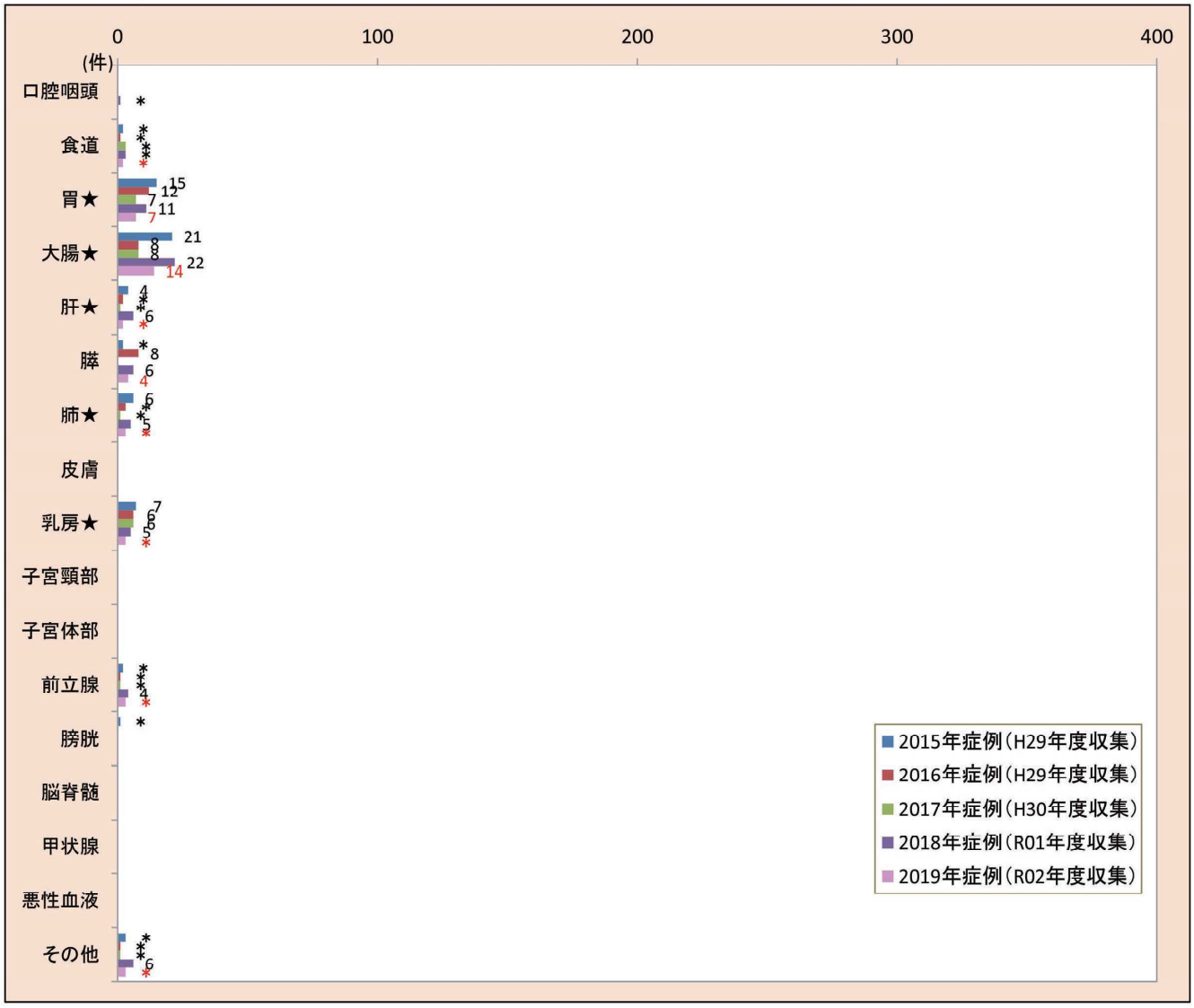
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭				*	
食道	*	*	*	*	*
胃★	15	12	7	11	7
大腸★	21	8	8	22	14
肝★	4	*	*	6	*
膵	*	8		6	4
肺★	6	*	*	5	*
皮膚					
乳房★	7	6	6	5	*
子宮頸部	（頸部・体部）	* （頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	
子宮体部					
前立腺	*	*	*	4	*
膀胱	*				
脳脊髄					
甲状腺					
悪性血液疾患					
その他	*	*	*	6	*
計	63	43	28	69	41

2019年診断症例　主要部位別割合

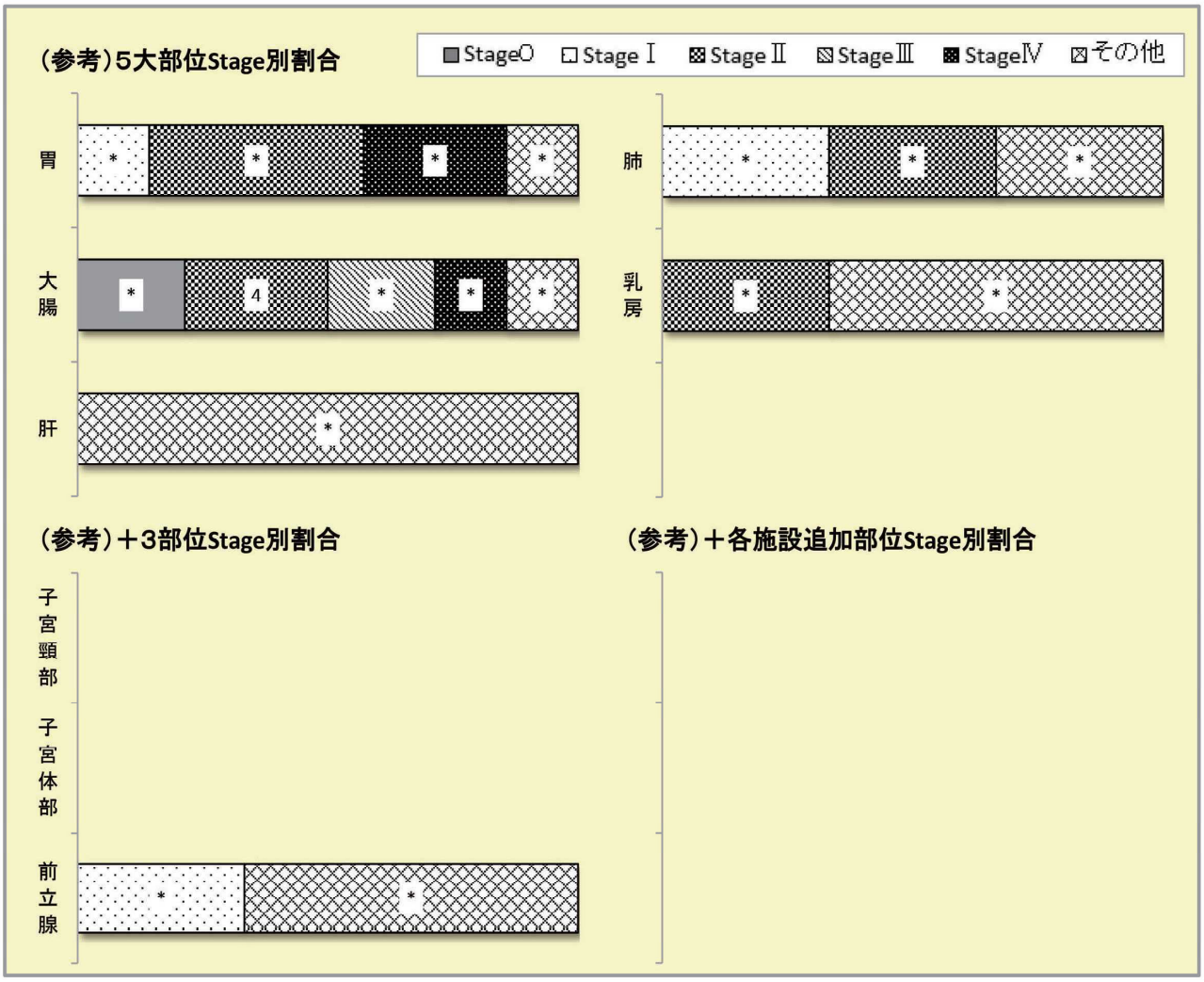


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

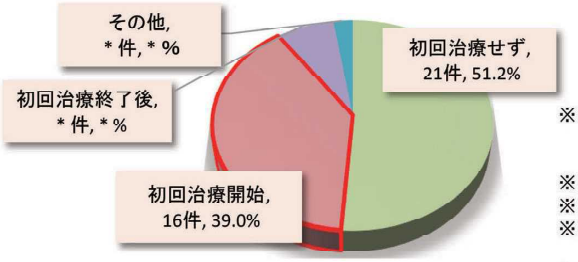
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	0						
食道	*					*	*
胃★	7		*	*		*	*
大腸★	14	*		4	*	*	*
肝★	*						*
膵	4			*	*	*	*
肺★	*		*	*			*
皮膚	0						
乳房★	*			*			*
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	*		*				*
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	0						
その他	*					*	*
計	41	*	*	10	4	8	13



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

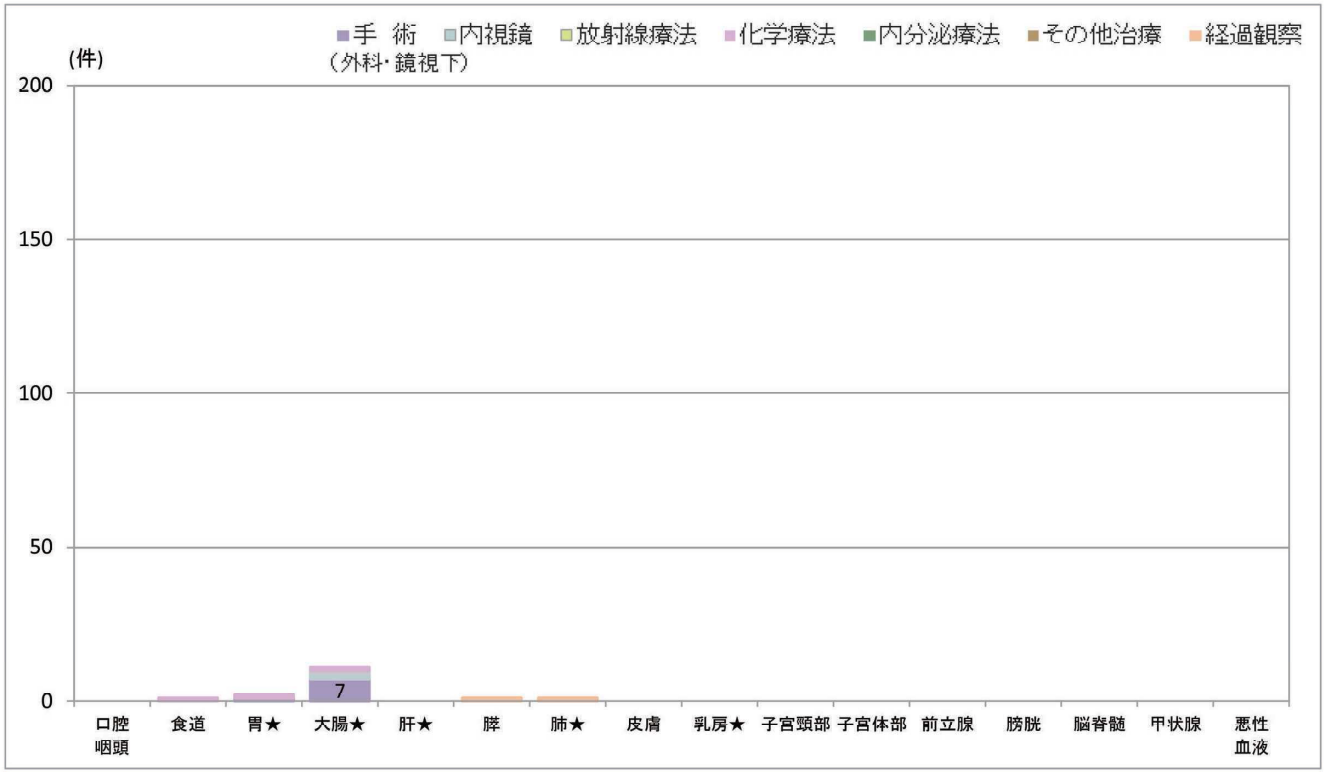
治療施設	件数
1初回治療せず	21
2初回治療開始	16
3初回治療継続	0
4初回治療終了後	*
8その他	*
計	41



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

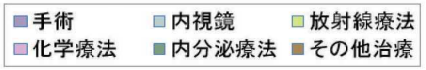
⑨ 主要部位別治療の内訳

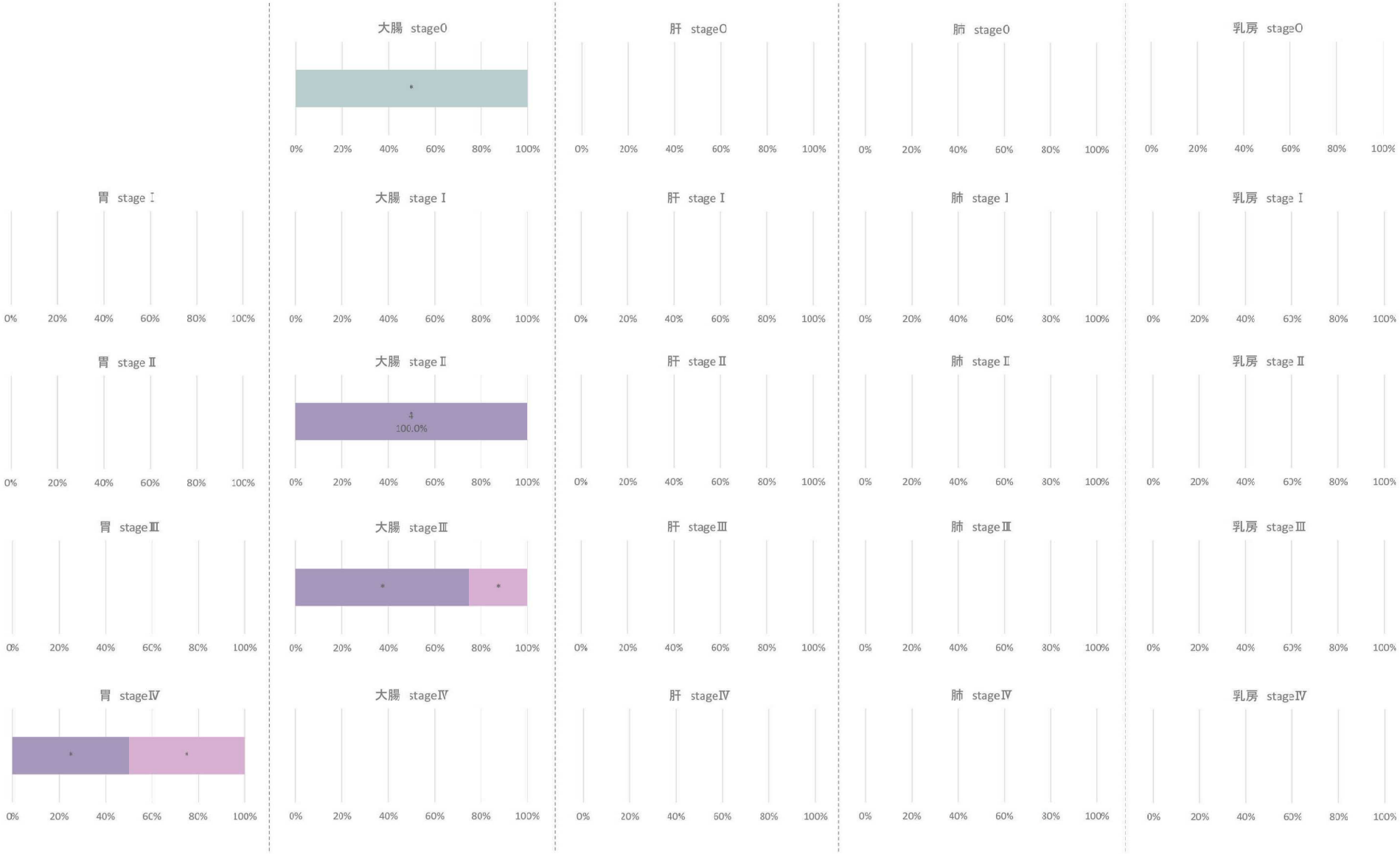
	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道				*				*			
胃★	*			*				*	0.0%	100.0%	0.0%
大腸★	7	*		*				11	80.0%	10.0%	10.0%
肝★								0			
膵							*	*			
肺★							*	*			
皮膚								0			
乳房★								0			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	8	*	0	*	0	0	*	16			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）





熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医療機関名	球磨郡公立多良木病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	球磨郡多良木町大字多良木4210
病　床　数	183床
診療科数	16科
がん診療連携拠点病院指定日	－
がん登録開始基準日	2014.04.01
平均在院日数	16.4（日）
入院患者数	2,437（人）
外来患者延数	92,922（人）
院内がん登録件数	189（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　1　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

当院は2018年から緩和ケア病棟を開設しました。
【登録件数】 2019年登録件数は189件
【性別・年齢】 189件の内訳は　男性101件　女性88件　男性の平均年齢は76.9歳　女性の平均年齢は78.1歳と年齢では差はあまりありませんでした。
【発見経路】 自主的に受診されたものが75.6%、がん検診・人間ドックで発見されたものが12.0%でした。
【部位】 男性1位-前立腺、2位-胃、3位-肺　女性1位-大腸、皮膚、3位-肝　男性は昨年2位だった前立腺が1位でした。女性においては乳房・子宮も増えており、自主受診される方も多いですが、早期に発見できるよう併設する健診センターとも連携し啓蒙していきたいと思っております。
当地域は高齢者世帯が多いため、全職員がチームとして診療にあたり、遠隔地に居住する家族との連携をスムーズに行い、患者さまに適切な医療を行えるようにしていきたいと思います。

診断年別登録件数
（参考）

※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

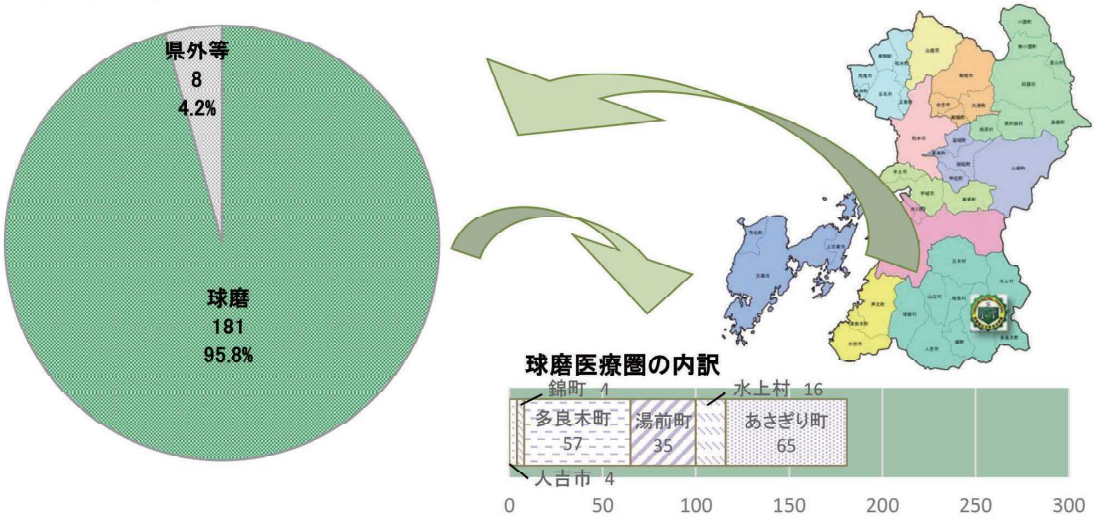
Ⅱ　施設別統計

多良木病院

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

多良木病院　（189件）

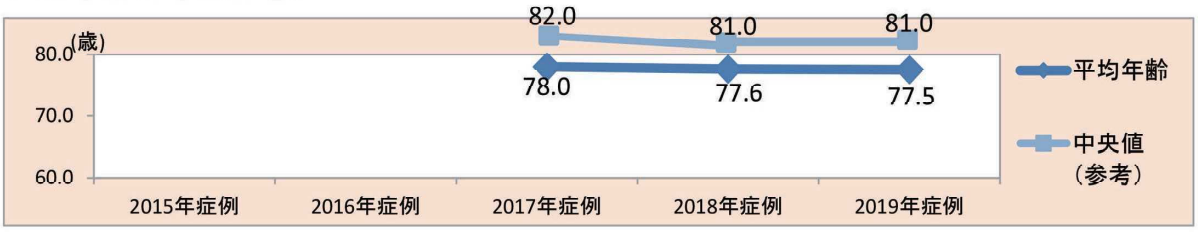


◇　医療圏別上位5部位

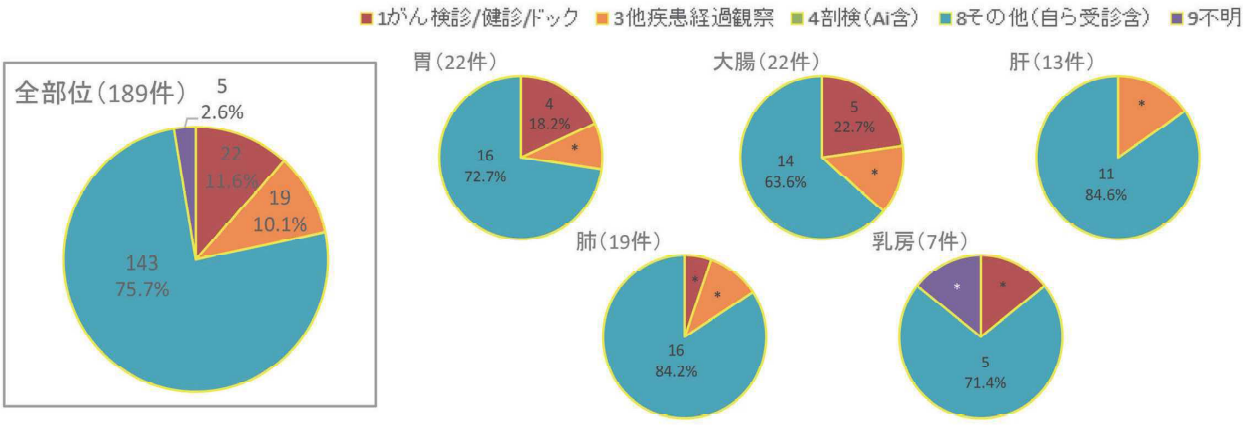
熊本市			鹿本			上益城			球磨	その他	25
										大腸	22
										胃	21
										前立腺	18
										肺	17
宇城			菊池			八代			天草		
有明			阿蘇			芦北			県外等	複数部位	*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

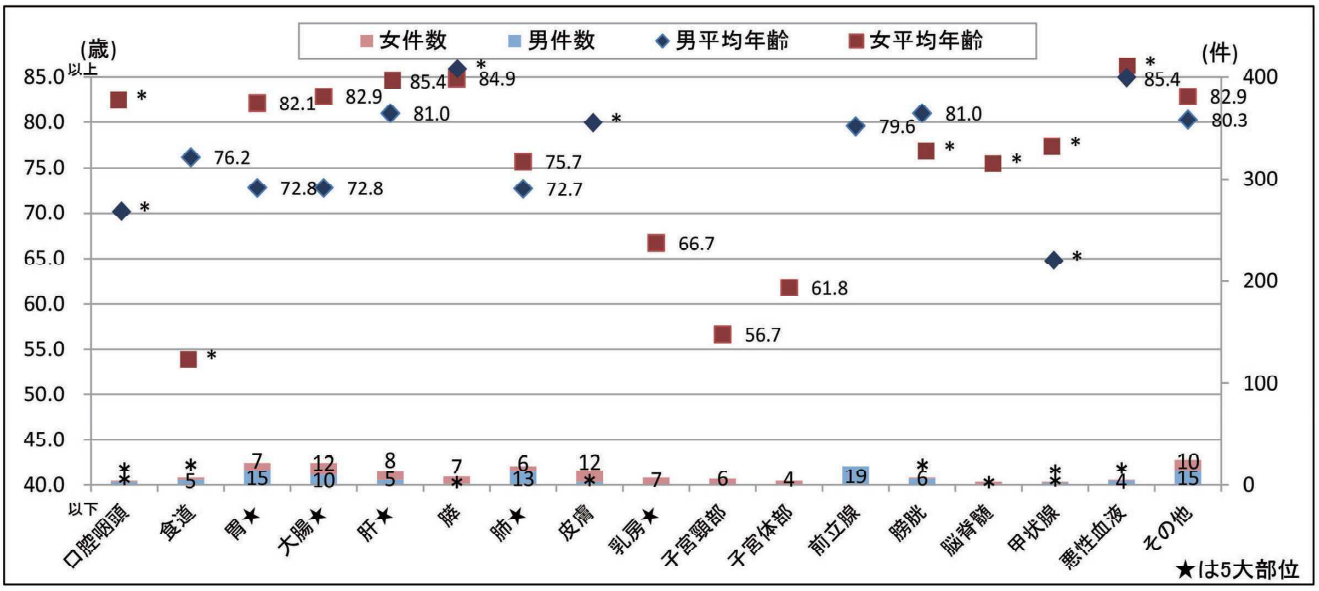
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	19
胃	15
その他	15
肺	13
大腸	10
膀胱	6
食道	5
肝	5
悪性血液	4
口腔咽頭	*
皮膚	*
甲状腺	*
膵	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
計	101

0～14歳	
計	

15～39歳	
計	

40～49歳	
計	

50～59歳	
複数部位	*
計	7

60～69歳	
胃	5
複数部位	*
計	19

70～79歳	
胃	6
前立腺	5
大腸	4
肺	4
複数部位	*
計	29

80～89歳	
前立腺	9
その他	7
肺	4
複数部位	*
計	36

90歳～	
複数部位	*
計	10

女性全体	
大腸	12
皮膚	12
その他	10
肝	8
胃	7
膵	7
乳房	7
肺	6
子宮頸部	6
子宮体部	4
脳脊髄	*
食道	*
口腔咽頭	*
膀胱	*
甲状腺	*
悪性血液	*
前立腺	
計	88

0～14歳	
計	

15～39歳	
複数部位	*
計	*

40～49歳	
複数部位	*
計	6

50～59歳	
複数部位	*
計	*

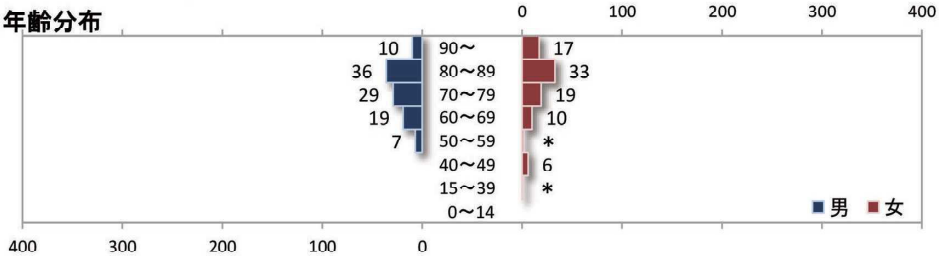
60～69歳	
複数部位	*
計	10

70～79歳	
大腸	4
複数部位	*
計	19

80～89歳	
大腸	6
皮膚	6
その他	5
膵	4
複数部位	*
計	33

90歳～	
皮膚	4
複数部位	*
計	17

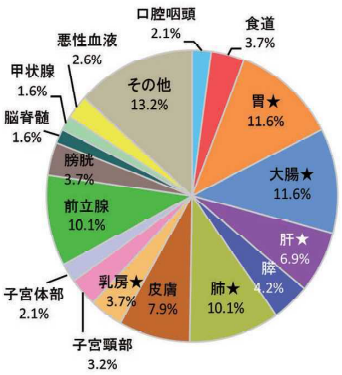
年齢分布



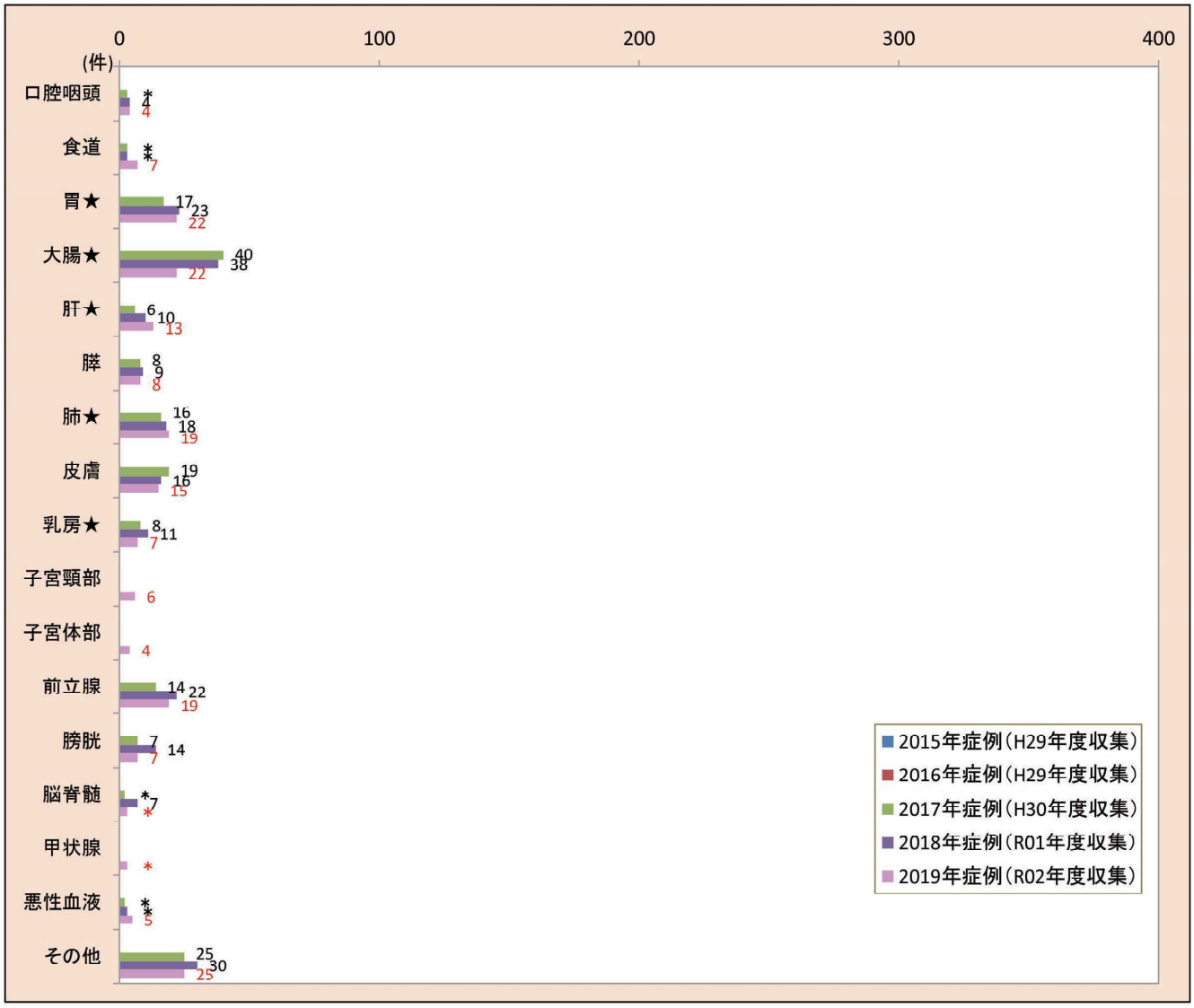
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭			*	4	4
食道			*	*	7
胃★			17	23	22
大腸★			40	38	22
肝★			6	10	13
膵			8	9	8
肺★			16	18	19
皮膚			19	16	15
乳房★			8	11	7
子宮頸部			5（頸部・体部）	4（頸部・体部）	6
子宮体部					4
前立腺			14	22	19
膀胱			7	14	7
脳脊髄			*	7	*
甲状腺					*
悪性血液疾患			*	*	5
その他			25	30	25
計			175	212	189

2019年診断症例　主要部位別割合

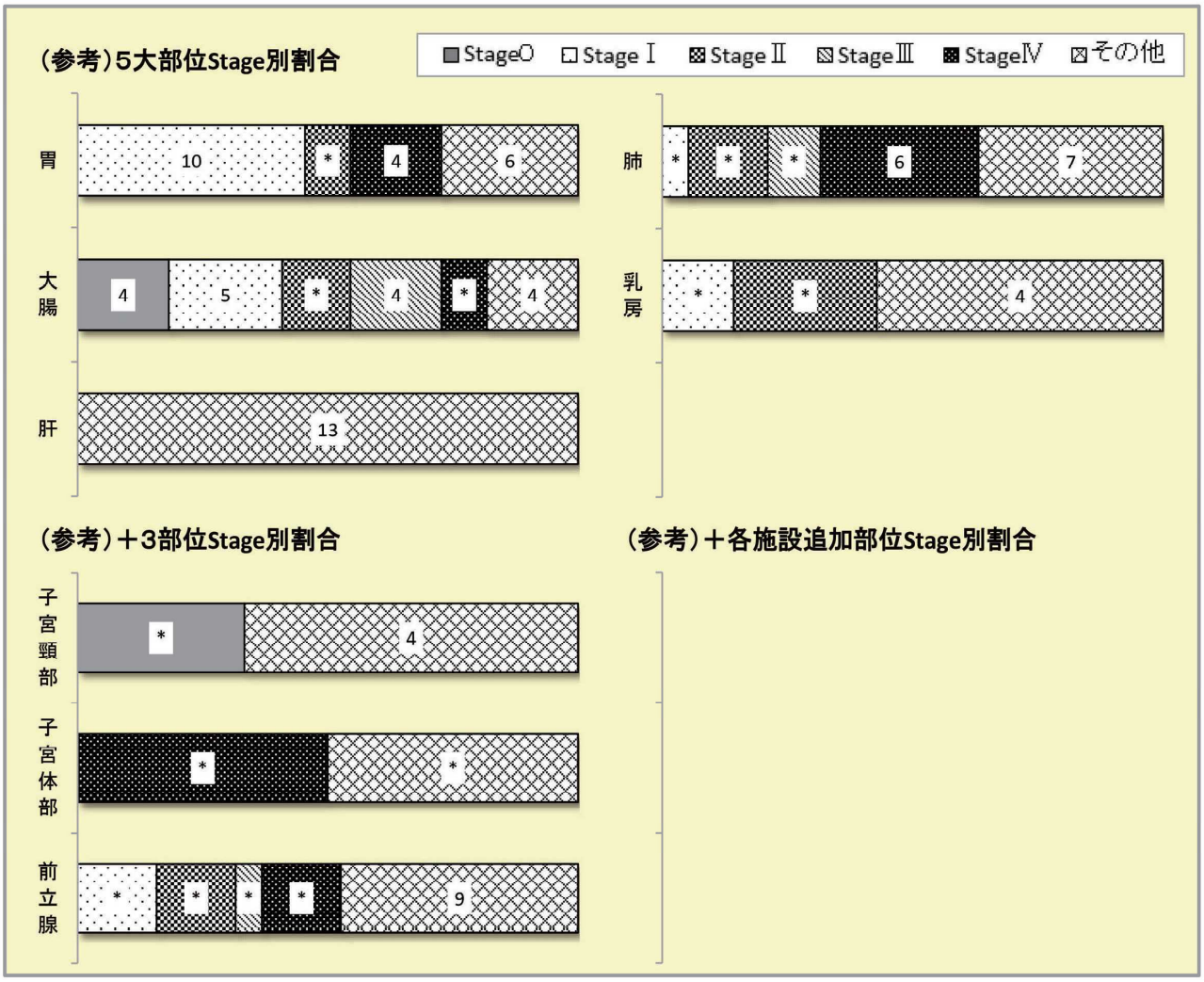


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

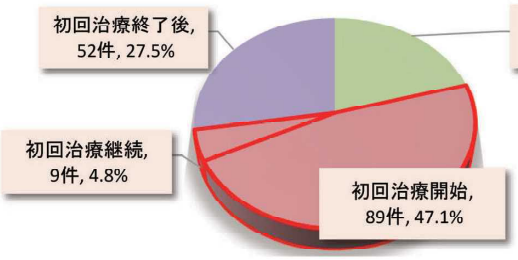
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	4	*	*			*	*
食道	7		*		*		4
胃★	22		10	*		4	6
大腸★	22	4	5	*	4	*	4
肝★	13						13
膵	8					5	*
肺★	19		*	*	*	6	7
皮膚	15	*	9	*	*		
乳房★	7		*	*			4
子宮頸部	6	*					4
子宮体部	4					*	*
前立腺	19		*	*	*	*	9
膀胱	7			*	*		5
脳脊髄	*						*
甲状腺	*						*
悪性血液疾患	5						5
その他	25		*	*		5	14
計	189	10	35	19	10	28	87



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

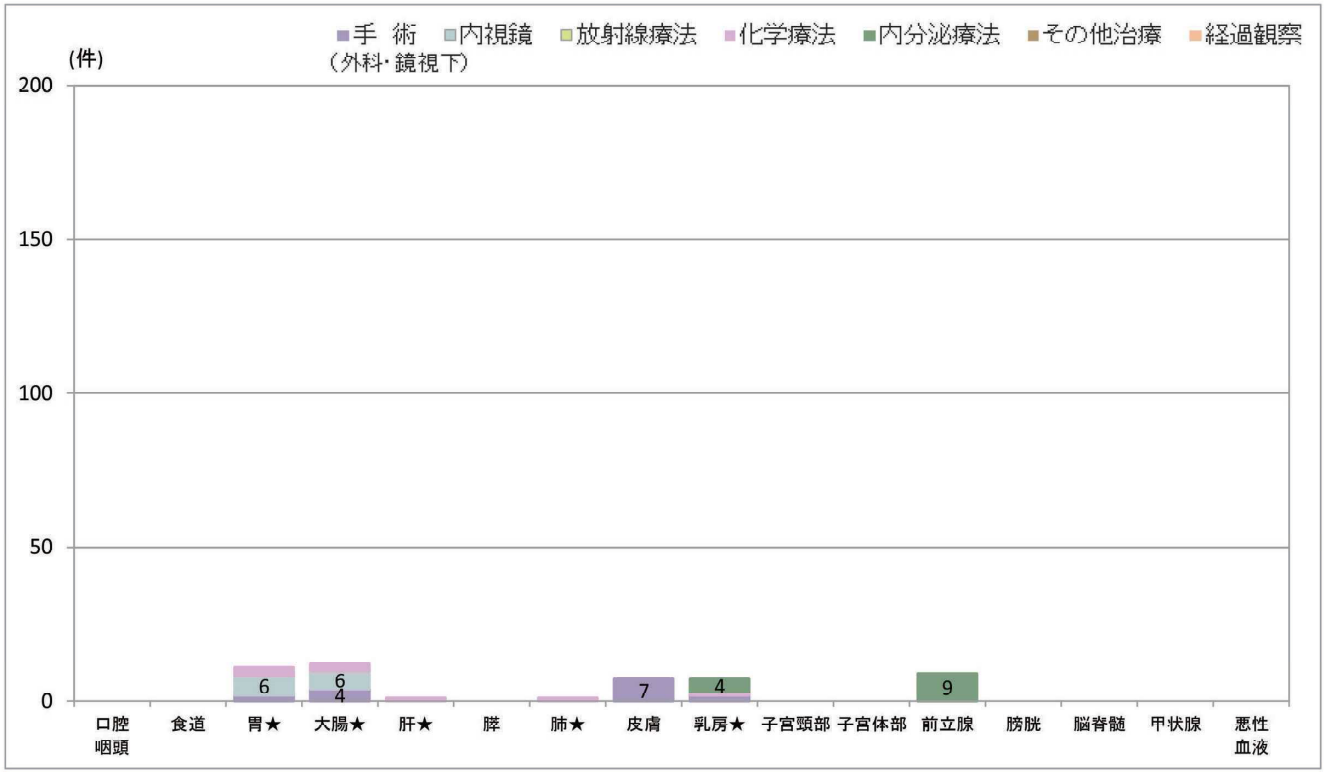
治療施設	件数
1初回治療せず	39
2初回治療開始	89
3初回治療継続	9
4初回治療終了後	52
8その他	0
計	189



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

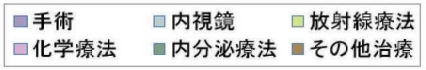
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★	*	6		*				11	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	4	6		*				12	100.0%	0.0%	0.0%
肝★				*				*			
膵								0			
肺★				*				*			
皮膚	7							7	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	*			*	4			7	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺					9			9			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	15	12	0	8	13	0	0	48			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　ー2019年診断症例ー

医 療 機 関 名	熊本市立熊本市民病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	熊本市東区東町4丁目1-60
病　床　数	388床
診 療 科 数	32科
がん診療連携拠点病院指定日	ー
がん登録開始基準日	1981.01.01
平均在院日数	9.5（日）
入院患者数	1,831（人）
外来患者延数	66,366（人）
院内がん登録件数	353（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　1　／他　0（名）

○医療機関からのコメント

【症例件数】
2019年は353件で前年(116件)と比較して237件増加。2019年10月に新病院が開院したため、後半で登録件数が増えている。
【性別】
男性166件(47.0%)、女性187件(52.9%)でやや女性が多い。前年は前立腺癌による男性が多かったが、2019年は乳房疾患が多かったため女性割合が増えたと考えられる。
【年齢】
平均年齢64.6歳、男性平均66.4歳、女性平均63.0歳。前年と比較して平均年齢が下がっている。新病院が開院したために、積極的な治療を希望する患者が増えたためと考えられる。
【医療圏】
熊本市東区133件(37.7%)、上益城47件(13.3%)、熊本市中央区38件(10.8%)であった。これは、当院が担当する医療圏を示しており、地域の医療機関との連携を深めて行きたい。
【部位別状況】
最も多かったものは脳脊髄疾患49件(13.9%)、次いで乳房疾患48件(13.6%)であった。これは新病院開院前の準備段階で脳神経外科医と乳腺内分泌外科医が着任したためと考えられる。
悪性血液疾患36件(10.2%)も増えているが、旧病院から治療継続していた影響と思われる。
胃、大腸、肺などに関しても新規の患者数が徐々に増えてきている。
【治療】
新病院が開院後は、手術、化学療法、放射線治療の3つが可能となっており、当院で治療完結出来る状況になりつつある。その為に、2019年10月の開院後、がん登録の件数は徐々に増えており、地震以前の状態に戻りつつある。

統計を作成した2020年現在、当院は「熊本県指定がん診療連携拠点病院」に指定された。
今後はより一層、地域のがん診療に貢献していきたい。

診断年別登録件数
（参考）

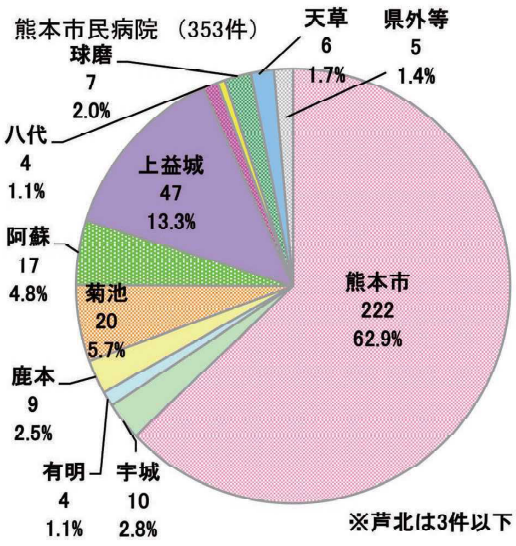
※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

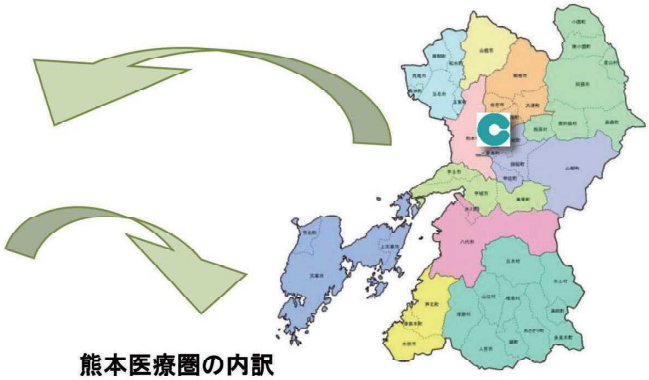
Ⅱ　施設別統計

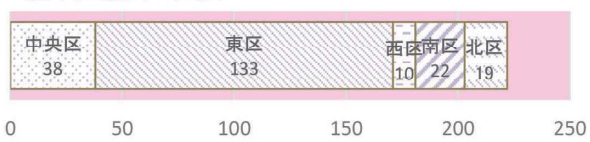
熊本市民病院

①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示







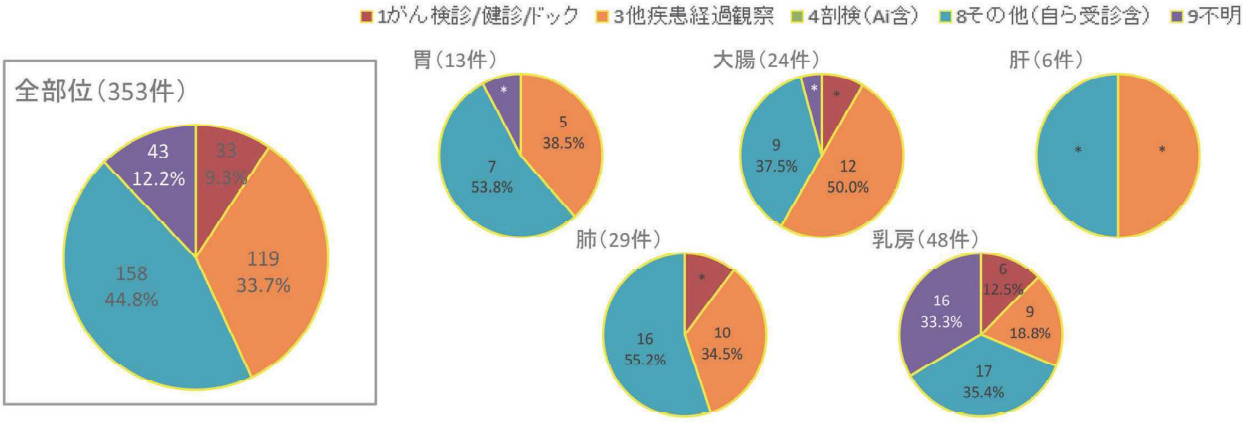
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	脳脊髄	31	鹿本	複数部位	*	上益城	肺	7	球磨	その他	4
	乳房	27					皮膚	5		複数部位	*
	悪性血液	24					前立腺	5			
	大腸	20					悪性血液	5			
	その他	19					その他	5			
宇城	複数部位	*	菊池	複数部位	*	八代	複数部位	*	天草	複数部位	*
有明	複数部位	*	阿蘇	乳房	5	芦北	複数部位	*	県外等	複数部位	*
				脳脊髄	4						
				複数部位	*						

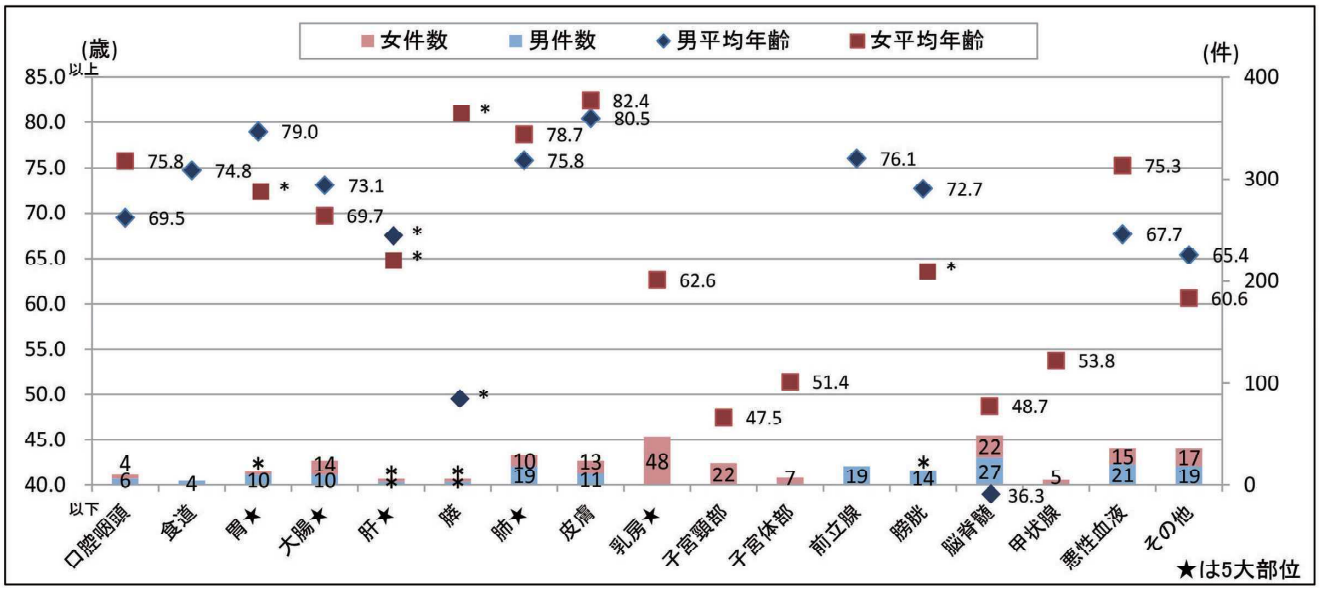
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
脳脊髄	27
悪性血液	21
肺	19
前立腺	19
その他	19
膀胱	14
皮膚	11
胃	10
大腸	10
口腔咽頭	6
食道	4
肝	*
膵	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	166

0～14歳	
脳脊髄	5
計	5

15～39歳	
脳脊髄	11
複数部位	*
計	14

40～49歳	
複数部位	*
計	5

50～59歳	
複数部位	*
計	15

60～69歳	
その他	6
複数部位	*
計	27

70～79歳	
前立腺	11
悪性血液	9
肺	8
膀胱	8
大腸	7
など	
計	64

80～89歳	
前立腺	6
皮膚	5
胃	4
肺	4
悪性血液	4
複数部位	*
計	30

90歳～	
複数部位	*
計	6

女性全体	
乳房	48
子宮頸部	22
脳脊髄	22
その他	17
悪性血液	15
大腸	14
皮膚	13
肺	10
子宮体部	7
甲状腺	5
口腔咽頭	4
胃	*
肝	*
膵	*
膀胱	*
食道	
前立腺	
計	187

0～14歳	
複数部位	*
計	*

15～39歳	
子宮頸部	6
脳脊髄	6
複数部位	*
計	19

40～49歳	
子宮頸部	10
乳房	4
脳脊髄	4
複数部位	*
計	23

50～59歳	
乳房	16
複数部位	*
計	29

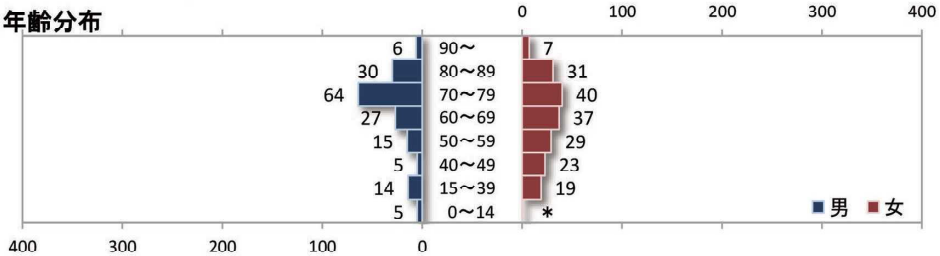
60～69歳	
乳房	12
その他	5
大腸	4
複数部位	*
計	37

70～79歳	
乳房	11
皮膚	5
悪性血液	5
肺	4
複数部位	*
計	40

80～89歳	
悪性血液	6
大腸	4
肺	4
皮膚	4
乳房	4
複数部位	*
計	31

90歳～	
複数部位	*
計	7

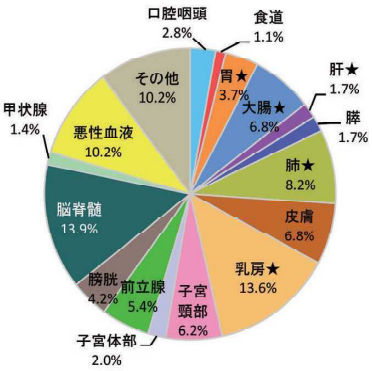
年齢分布



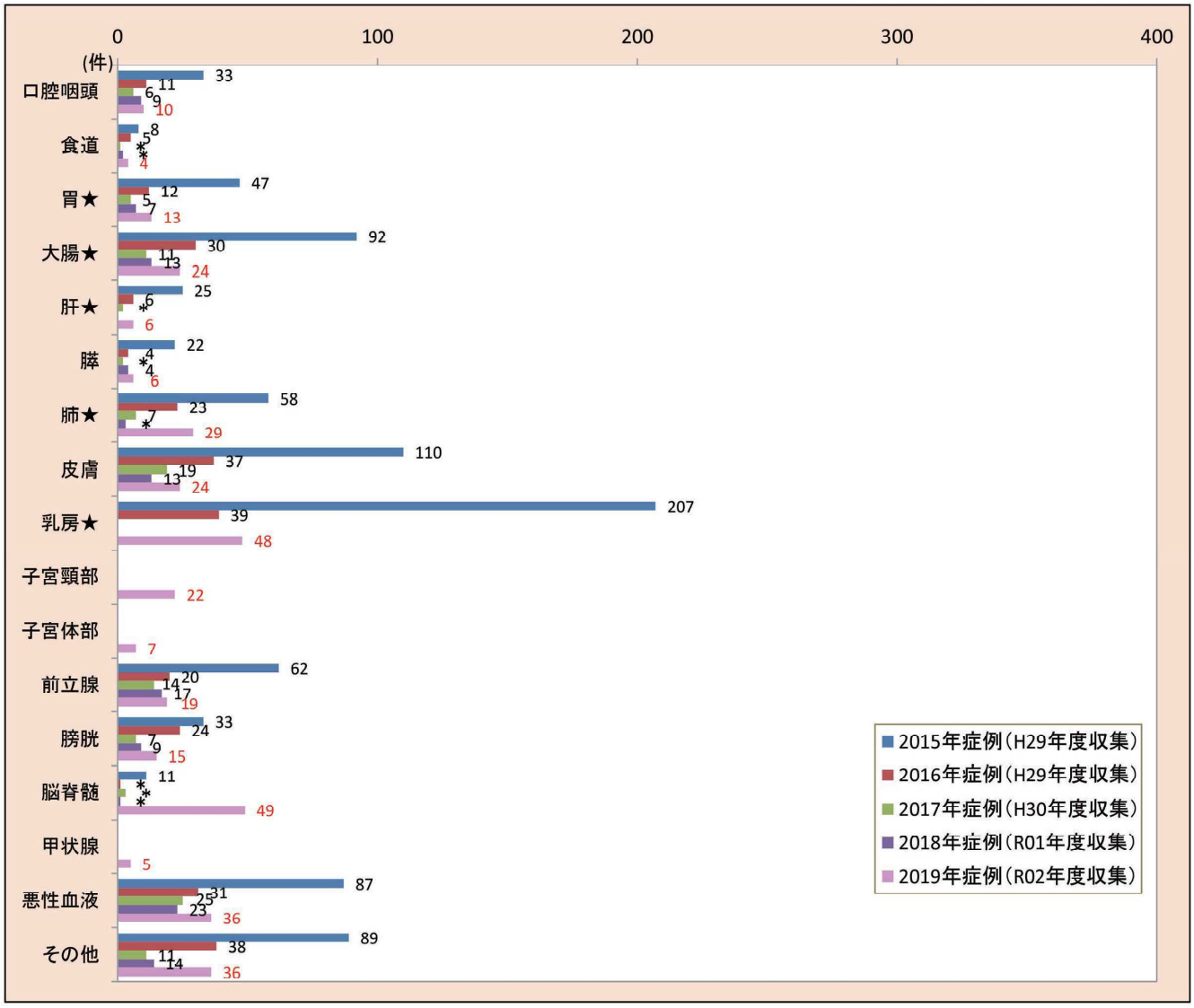
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭	33	11	6	9	10
食道	8	5	*	*	4
胃★	47	12	5	7	13
大腸★	92	30	11	13	24
肝★	25	6	*		6
膵	22	4	*	4	6
肺★	58	23	7	*	29
皮膚	110	37	19	13	24
乳房★	207	39			48
子宮頸部	90（頸部・体部）	21（頸部・体部）	*（頸部・体部）	*（頸部・体部）	22
子宮体部					7
前立腺	62	20	14	17	19
膀胱	33	24	7	9	15
脳脊髄	11	*	*	*	49
甲状腺					5
悪性血液疾患	87	31	25	23	36
その他	89	38	11	14	36
計	974	302	114	116	353

2019年診断症例　主要部位別割合

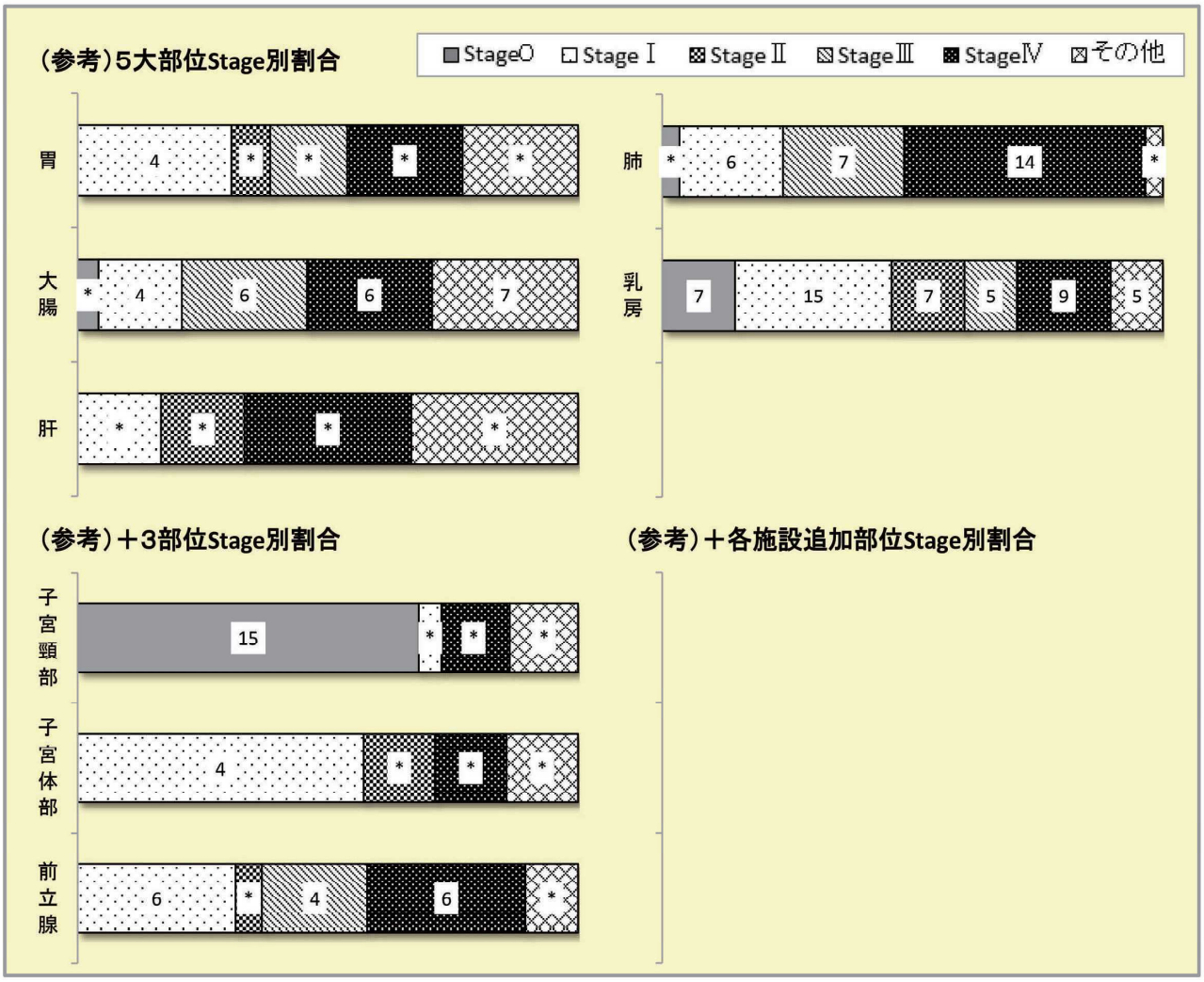


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

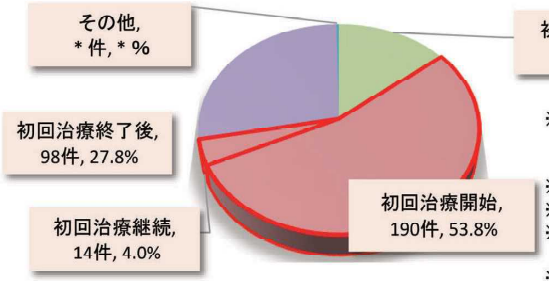
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	10		*	*			4
食道	4	*		*			*
胃★	13		4	*	*	*	*
大腸★	24	*	4		6	6	7
肝★	6		*	*		*	*
膵	6			*	*	*	*
肺★	29	*	6		7	14	*
皮膚	24	5	14	*	*		*
乳房★	48	7	15	7	5	9	5
子宮頸部	22	15	*			*	*
子宮体部	7		4	*		*	*
前立腺	19		6	*	4	6	*
膀胱	15	6	4	*			*
脳脊髄	49						49
甲状腺	5		4				*
悪性血液疾患	36		6	*		6	23
その他	36	*	9	4	*	5	14
計	353	38	81	25	29	58	122



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

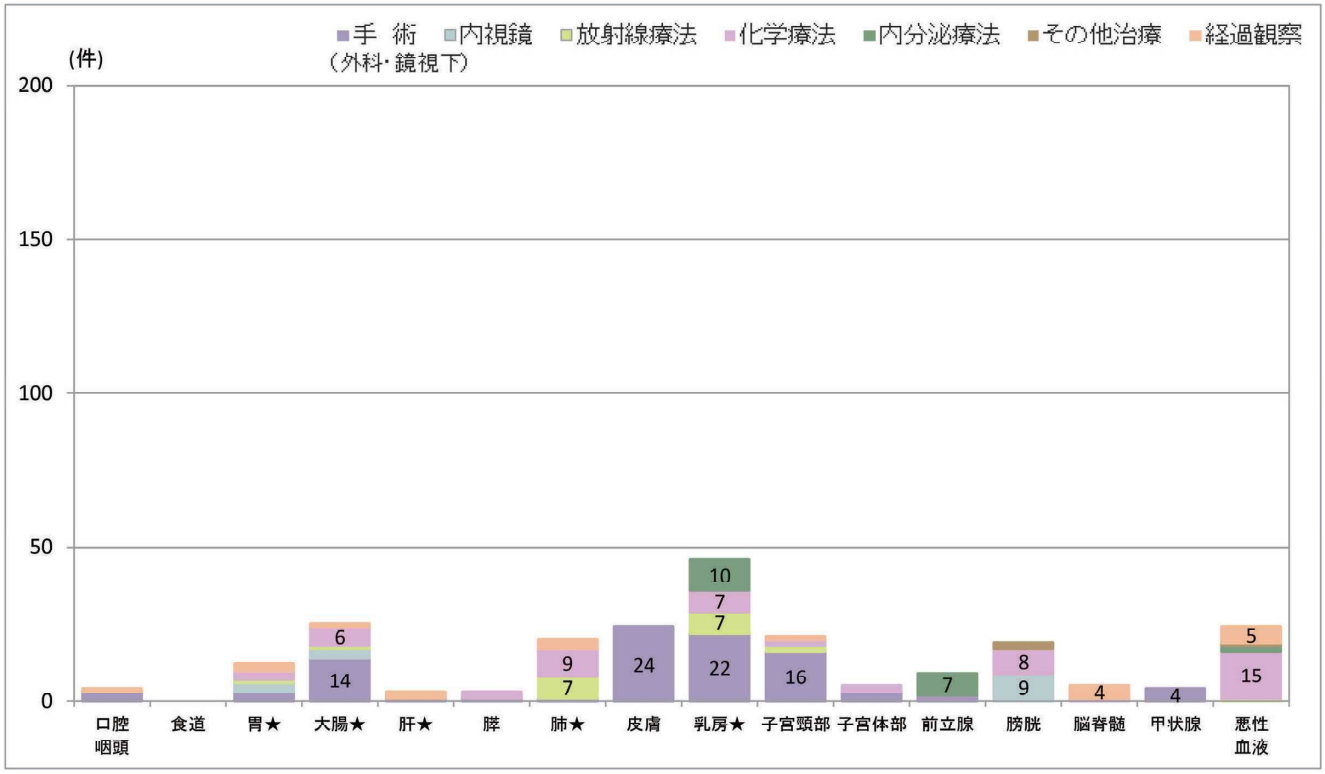
治療施設	件数
1初回治療せず	50
2初回治療開始	190
3初回治療継続	14
4初回治療終了後	98
8その他	*
計	353



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

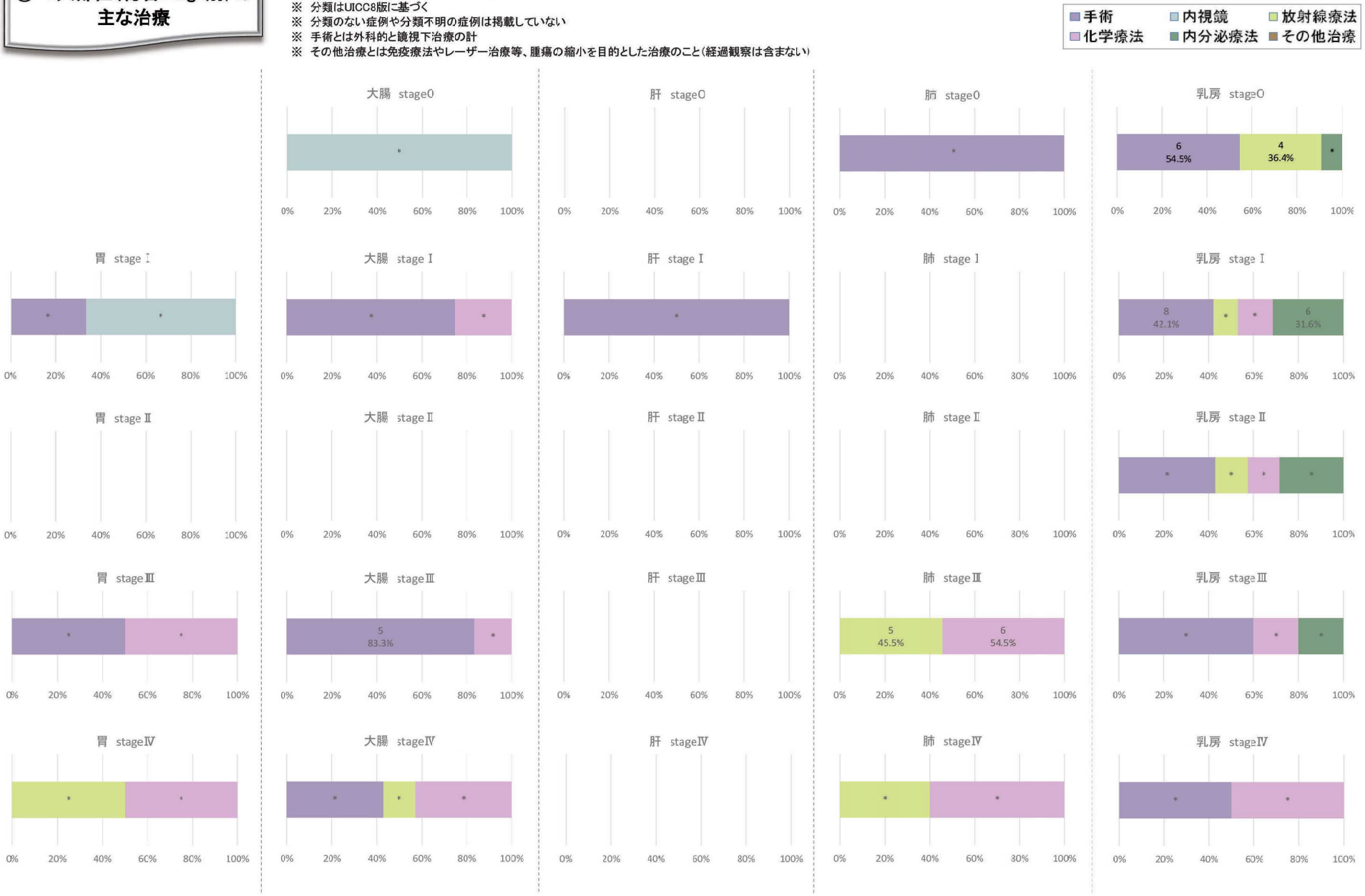
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	*						*	4	100.0%	0.0%	0.0%
食道								0			
胃★	*	*	*	*			*	12	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	14	*	*	6			*	25	81.3%	12.5%	6.3%
肝★	*						*	*	100.0%	0.0%	0.0%
膵	*			*				*	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	*		7	9			*	20	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	24							24	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	22		7	7	10			46	86.4%	9.1%	4.5%
子宮頸部	16		*	*			*	21	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	*			*				5	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺	*				7			9	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱		9		8		*		19	88.9%	0.0%	11.1%
脳脊髄				*			4	5			
甲状腺	4							4	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患			*	15	*	*	5	24			
計	94	15	19	55	19	*	19	224			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2019年診断症例－

医 療 機 関 名	医療法人社団愛育会福田病院

○基本情報

【令和元年12月現在】

所　在　地	熊本市中央区新町2丁目2-6
病　床　数	161床
診 療 科 数	8科
がん診療連携拠点病院指定日	－
がん登録開始基準日	2017.01.01
平均在院日数	7.3（日）
入院患者数	46,130（人）
外来患者延数	133,683（人）
院内がん登録件数	113（件）
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　2　／他　3（名）

○医療機関からのコメント

当院では、子宮がん検診と乳がん検診をおこない、女性特有のがんの早期発見に努めております。今後も引き続き早期発見・早期治療へ繋がるように努めてまいります。

診断年別登録件数
（参考）

※多重率は、白施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

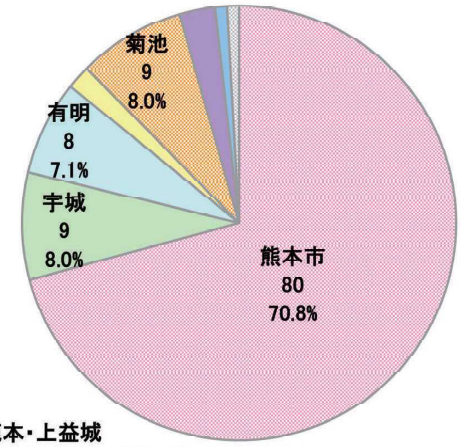
Ⅱ　施設別統計

福田病院

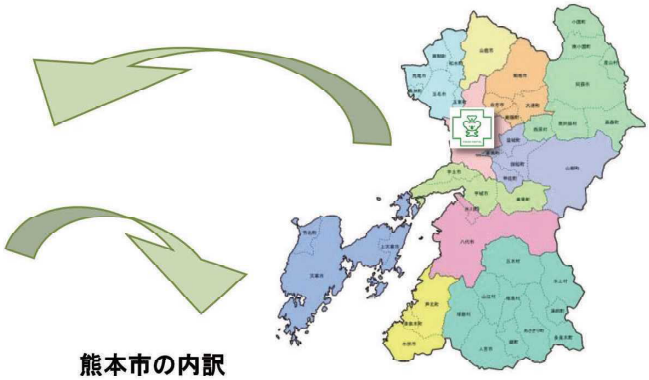
①　患者住所医療圏別登録の状況（2019年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

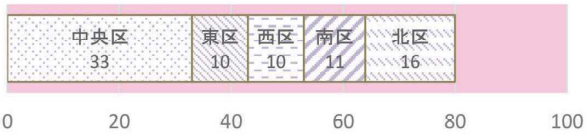
福田病院　（113件）



※鹿本・上益城
・天草・県外等は3件以下



熊本市の内訳



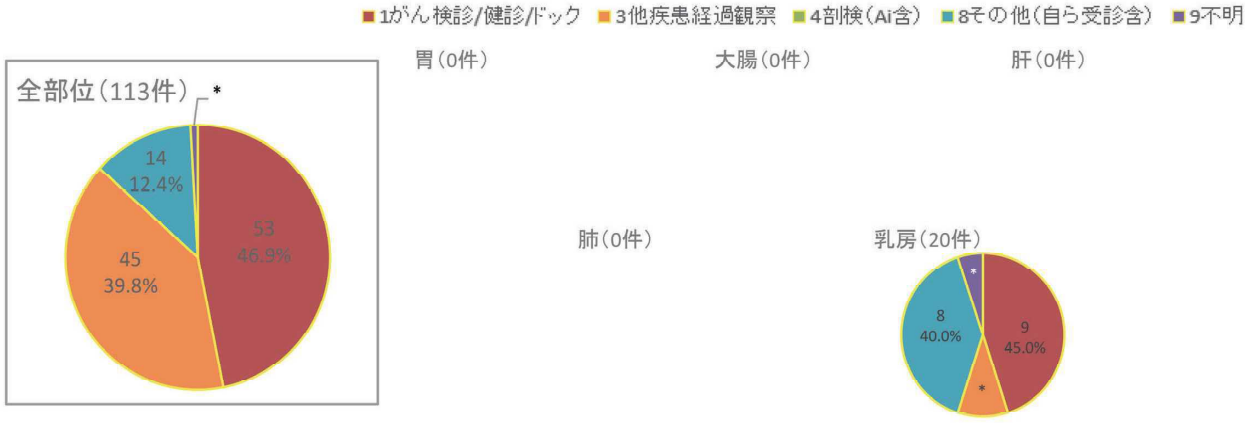
◇　医療圏別上位5部位

熊本市	子宮頸部	64	鹿本	複数部位	*	上益城	複数部位	*	球磨		
	乳房	14									
	複数部位	*									
宇城	乳房	4	菊池	子宮頸部	8	八代			天草	複数部位	*
	子宮頸部	4		複数部位	*						
	複数部位	*									
有明	子宮頸部	6	阿蘇			芦北			県外等	複数部位	*
	複数部位	*									

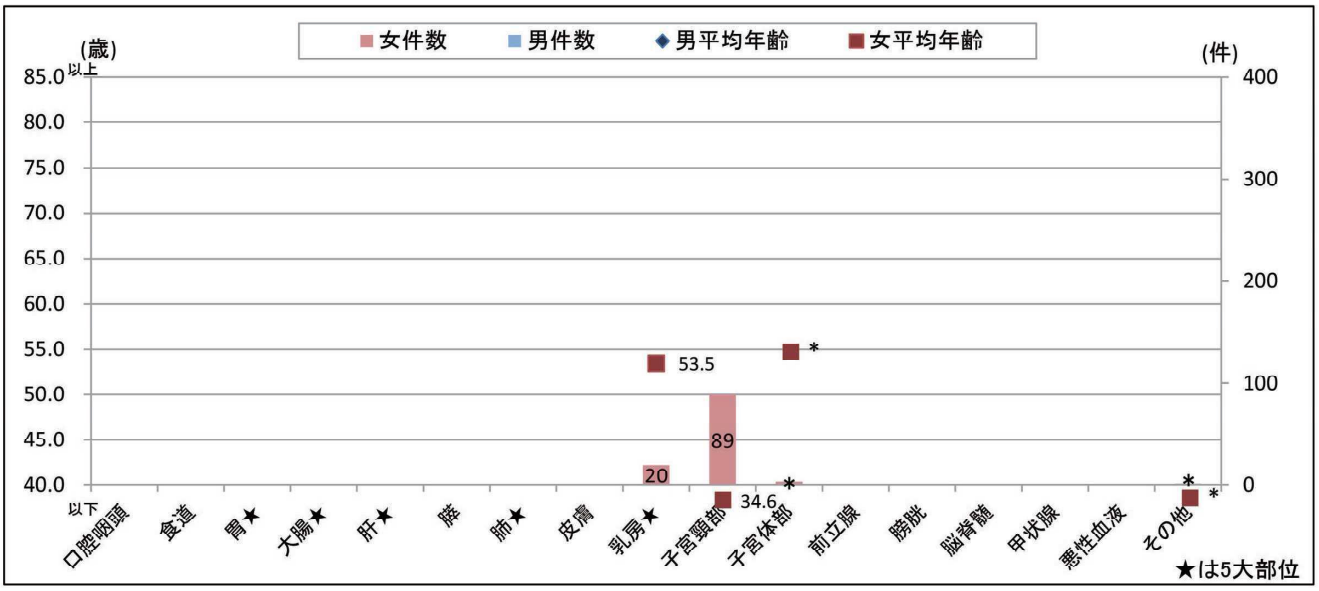
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

②　平均年齢と年次比較

③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
口腔咽頭	
食道	
胃	
大腸	
肝	
膵	
肺	
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
その他	
計	0

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	

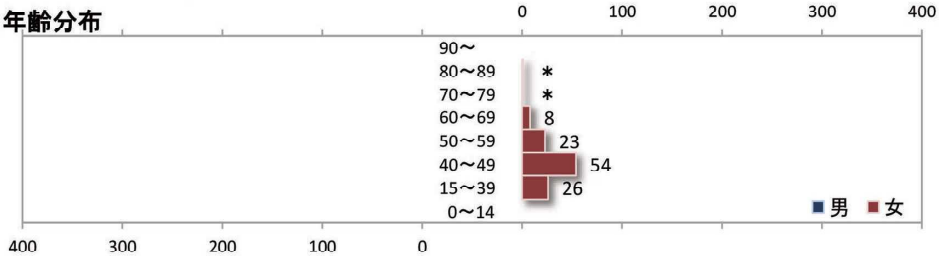
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	

女性全体	
子宮頸部	89
乳房	20
子宮体部	*
その他	*
口腔咽頭	
食道	
胃	
大腸	
肝	
膵	
肺	
皮膚	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	113

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		子宮頸部	22	子宮頸部	48	子宮頸部	16
		複数部位	*	乳房	6	乳房	6
						複数部位	*
		計	26	計	54	計	23

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	5	複数部位	*	複数部位	*		
複数部位	*						
計	8	計	*	計	*		

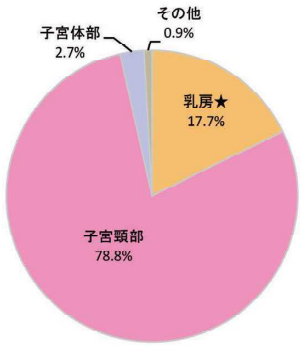
年齢分布



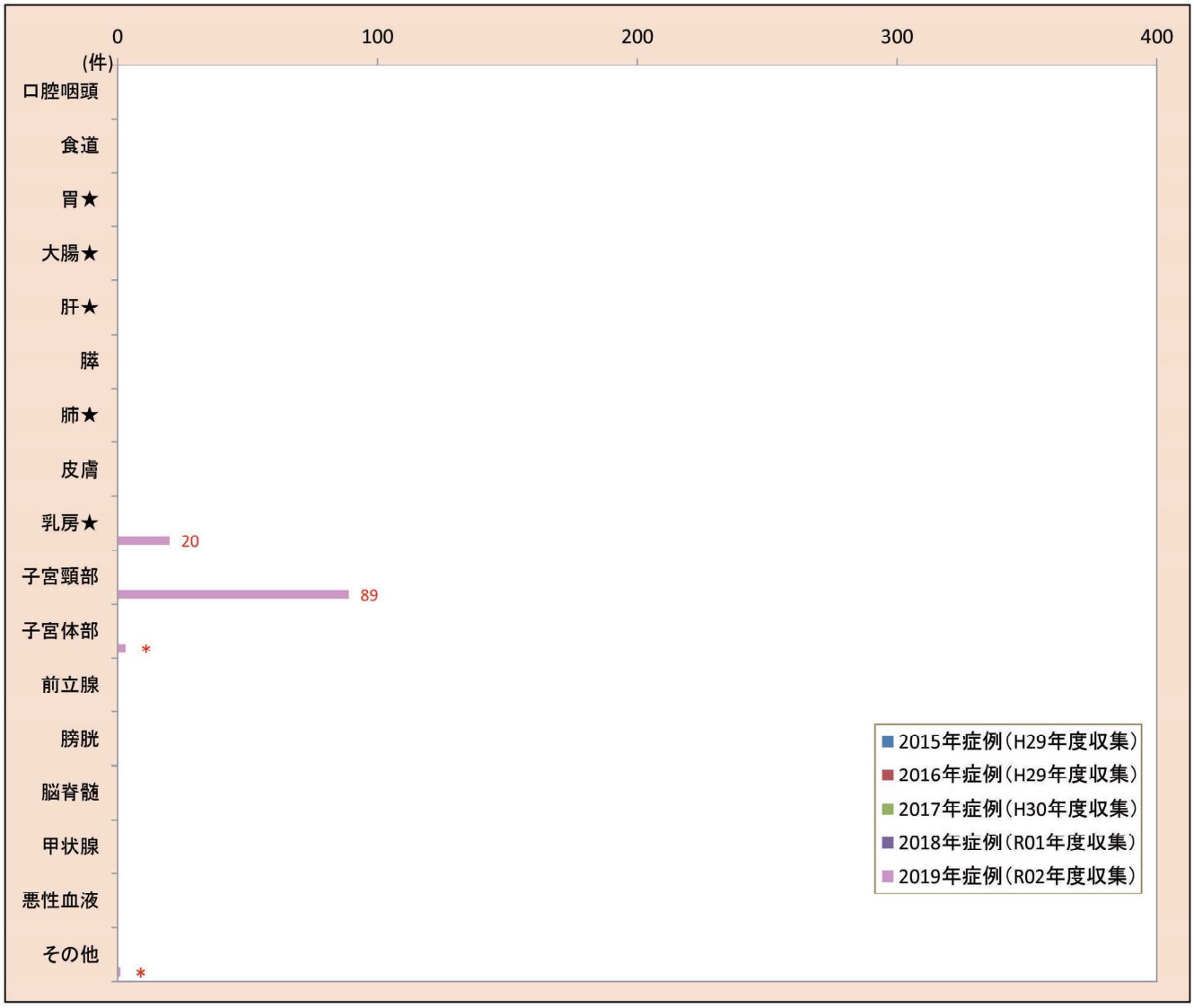
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例（H29年度収集）	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）
口腔咽頭					
食道					
胃★					
大腸★					
肝★					
膵					
肺★					
皮膚					
乳房★					20
子宮頸部					89
子宮体部				（頸部・体部）	*
前立腺					
膀胱					
脳脊髄					
甲状腺					
悪性血液疾患					
その他					*
計					113

2019年診断症例　主要部位別割合

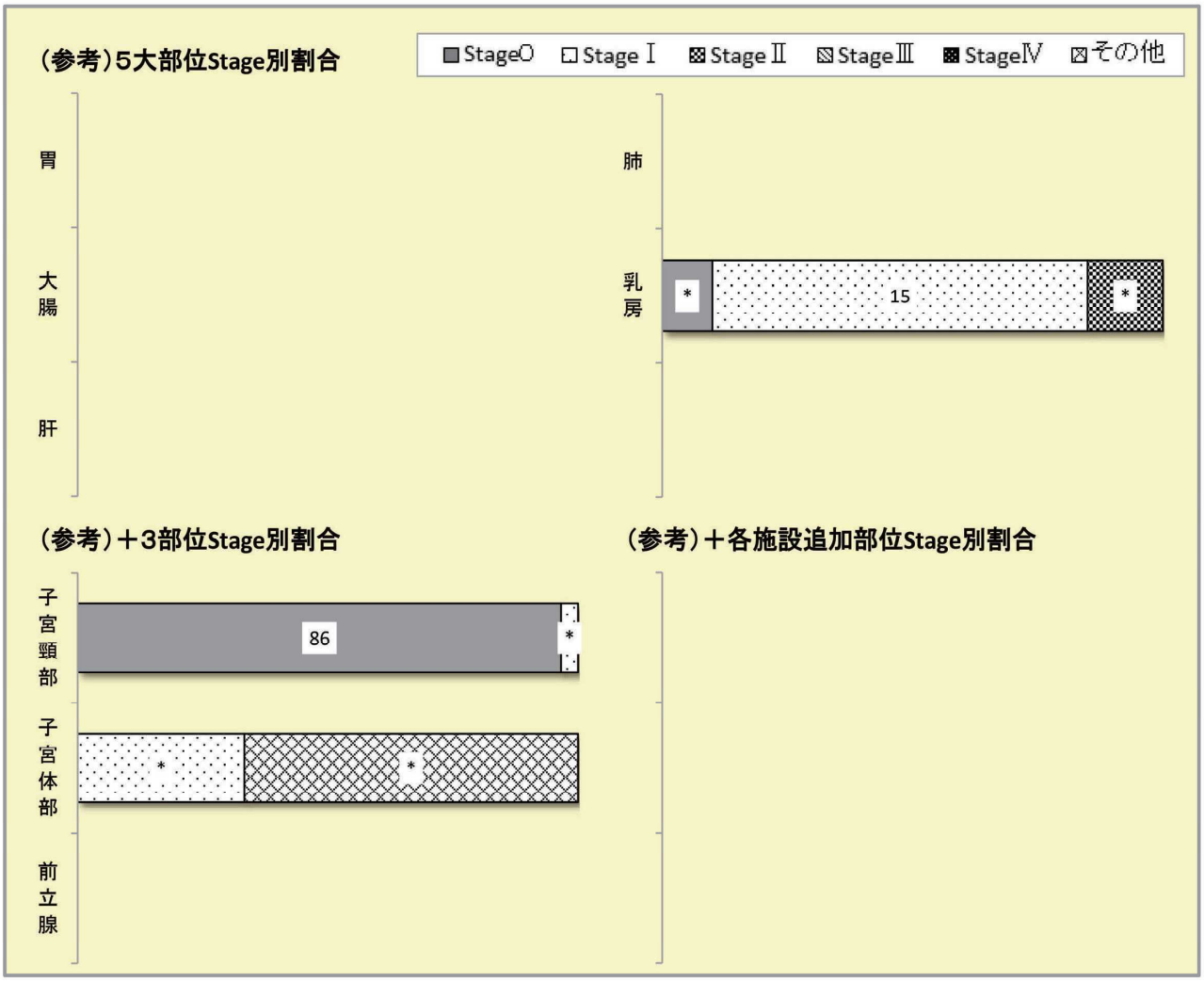


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

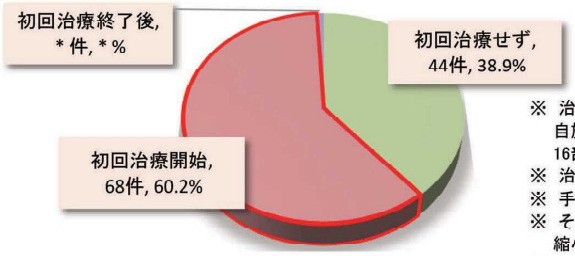
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	0						
食道	0						
胃★	0						
大腸★	0						
肝★	0						
膵	0						
肺★	0						
皮膚	0						
乳房★	20	＊	15	＊			
子宮頸部	89	86	＊				
子宮体部	＊		＊				＊
前立腺	0						
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	0						
その他	＊						＊
計	113	88	19	＊	0	0	＊



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

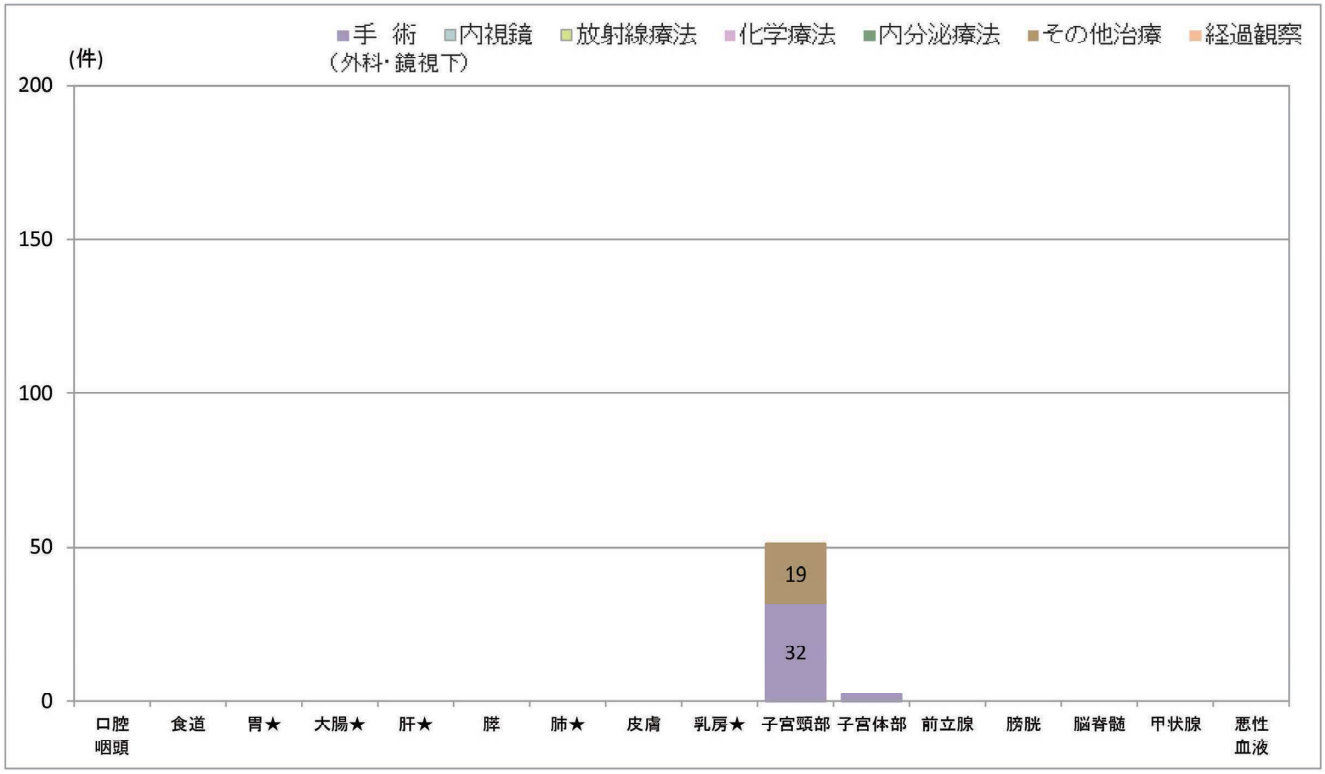
治療施設	件数
1初回治療せず	44
2初回治療開始	68
3初回治療継続	0
4初回治療終了後	*
8その他	0
計	113



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

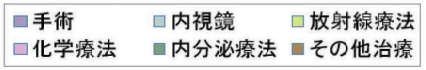
⑨ 主要部位別治療の内訳

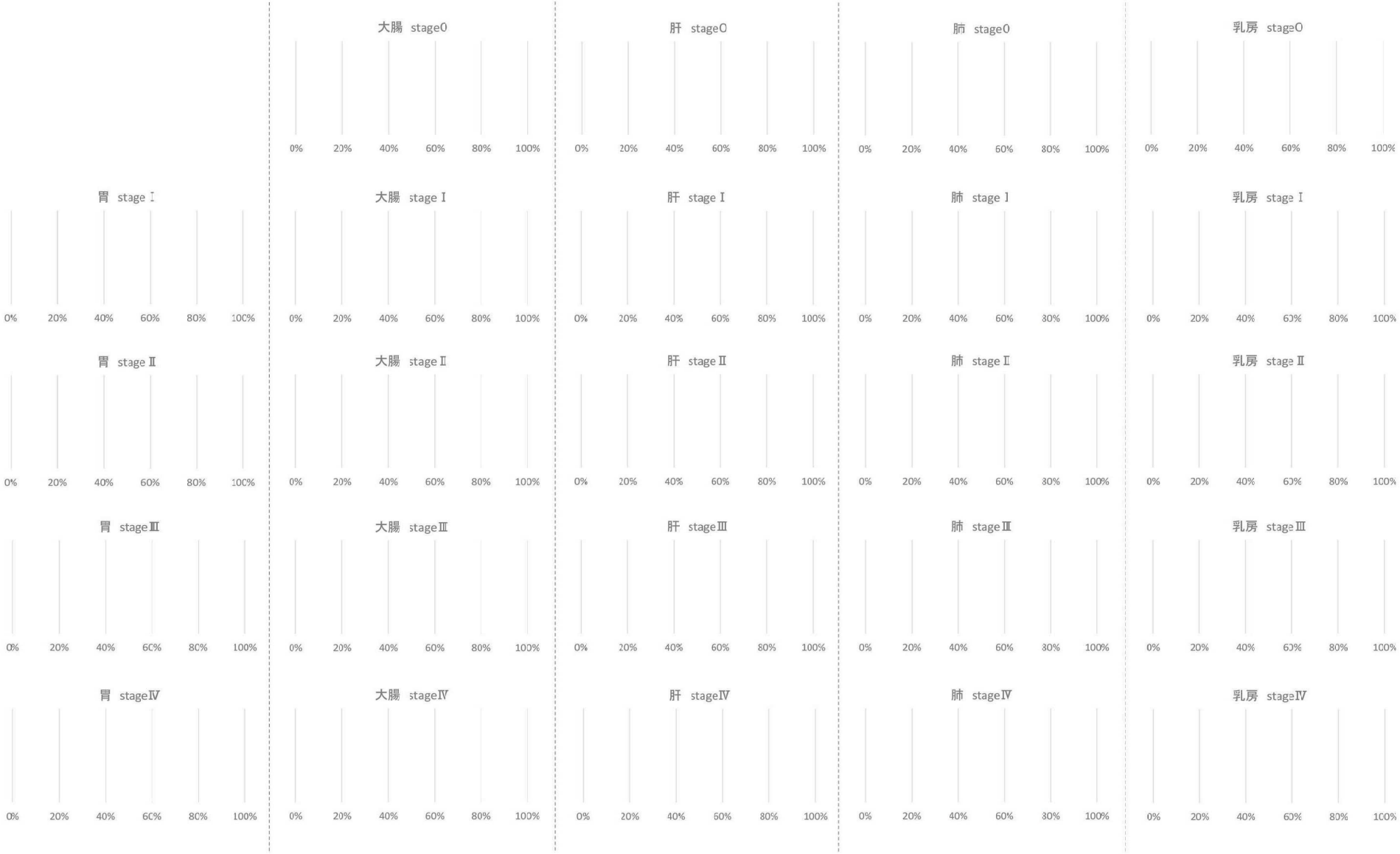
	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★								0			
大腸★								0			
肝★								0			
膵								0			
肺★								0			
皮膚								0			
乳房★								0			
子宮頸部	32					19		51	93.8%	6.3%	0.0%
子宮体部	*							*	0.0%	0.0%	100.0%
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	34	0	0	0	0	19	0	53			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）





熊本県院内がん登録データに係る統計

－2019 年診断症例－

編集・発行　熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会
〒860-8556 熊本市中央区本荘１丁目１番１号
電話：096-344-2111（代表）

令和 3 年 3 月